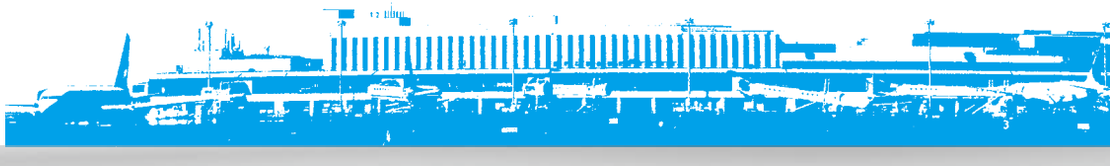
要覧ちとせ

令和２年版



北海道千歳市

要覧ちとせ

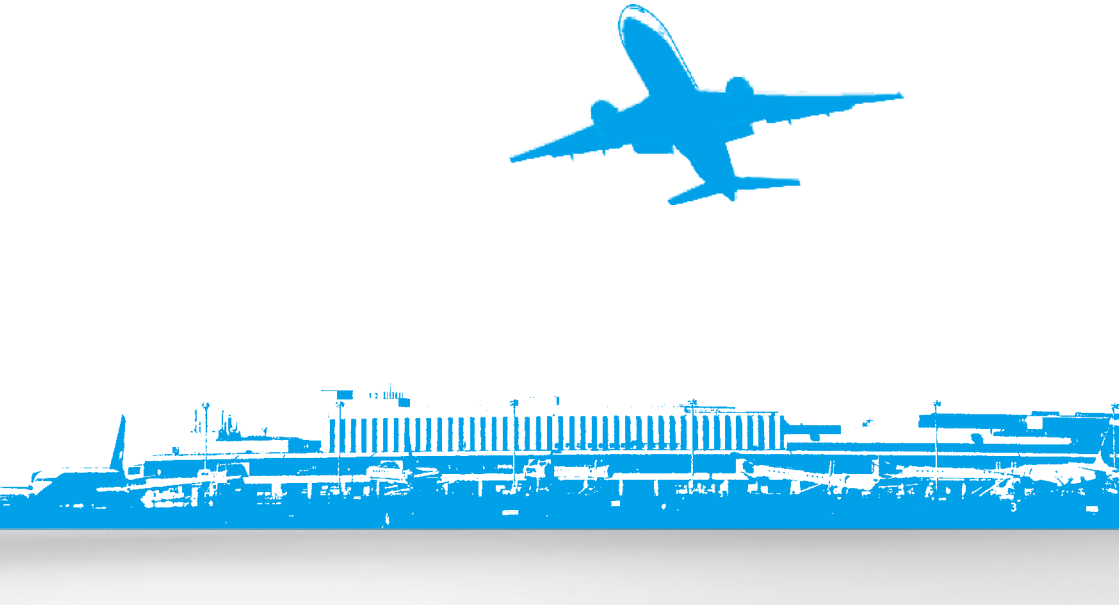
令和２年版

北海道千歳市

2020

要覧ちとせ

令和２年版



北海道千歳市

千　歳　市　章

町制施行10周年を記念して昭和27（1952）年５月１日に制定し、その後、33（1958）年の市制施行によって市章となりました。

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現すると共に、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など伸びゆく千歳の姿を描いています。

地　名　の　由　来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きなくぼ地又は谷」という意味で、大空に鶴が舞い、川にはサケが遡る、自然にあふれた大地でした。

シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートのシコツ越えがあり、万治元（1658）年に現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるほどに、人の往来が多い地でした。

文化２（1805）年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に、新しい地名を名付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから「鶴は千年、亀は万年」の故事から『千歳』と命名しました。

御　挨　拶

千歳市は石狩平野の南端に位置し、国立公園支笏湖や清流千歳川などの豊富な自然に囲まれた住環境と陸・空の交通アクセスや生活利便性に優れた都市環境が調和する道央圏の中核都市です。

北海道の空の玄関口「新千歳空港」の令和元年度乗降客数は2,281万人で、国際線では、アジア圏の路線が拡大したほか、新たにヘルシンキ、シドニーといった欧州・豪州長距離路線が就航するなど、本市をはじめ北海道内の地域活性化や観光振興へと繋がったところであります。

本市は、北海道内でも数少ない人口増加を続けている都市であり、平均年齢は道内一若いまちであります。人口は、平成30年４月に目標であった９万７千人を約２年前倒しで達成した後も、新千歳空港の活況や新規ホテルの建設、公立千歳科学技術大学をはじめとする高等教育機関の学生数の増加などにより、昨年11月には９万７千５百人を超え、堅調に推移しているところです。

今後におきましても、市の最上位計画であります千歳市第６期総合計画を着実に推進し、本市の持つ豊富な資源や優位性を最大限に生かしながら、市民の皆様が「このまちに住み続けたい」と思っていただけるよう、市民協働による活力あるまちづくりを進めてまいります。

また、さらなる高みであります人口10万人を目指し、千歳らしさを保ちながら、多様な価値観を受け入れることを念頭に千歳市第７期総合計画の策定作業を進めるとともに、「売り込め 千歳！」をキャッチフレーズとして本市の優れた資源や魅力を全道、全国に発信してまいります。

本書は、市勢の推移と現況を最新の統計資料に基づき体系的に総括したものであり、市民の皆様はもとより千歳市に関心を寄せていただいている多くの方々に様々な情報をわかりやすくお伝えし、より身近に千歳市を感じていただきたいと考えております。

末筆ではございますが、刊行に当たり資料の御提供をいただきました関係各位に対し、心から感謝の意を表しますとともに、今後とも市政に対して一層の御指導、御協力をお願い申し上げ御挨拶といたします。

令和２年９月

千歳市長　山口 幸太郎

千歳市民憲章

世界をつなぐ　北の大空。
千歳川の　清い流れ。
開拓　ここに一世紀。
私たちは、誇りある千歳市民です。
郷土の発展と、お互いのしあわせを願い、
この憲章をかかげて、力強く前進をつづけます。

1　心身をきたえ、仕事にはげみ、
　明るく　若々しい　まちにしましょう。
1　自然を愛し、季節に親しみ、
　快よく　楽しい　まちにしましょう。
1　きまりを守り、力を合わせて、
　美しく　住みよい　まちにしましょう。
1　年よりを敬い、子供の夢をはぐくみ、
　温かく　平和な　まちにしましょう。
1　文化を育て、希望にみちた、
　豊かな　おちついた　まちにしましょう。

昭和54（1979）年 7月1日制定

青葉公園入口に「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」をイメージする憲章像が5体建っています。平成３（1991）年 7月20日建立

市の鳥　ヤマセミ

市のシンボル

木	シラカバ	昭和43（1968）年４月１日制定
花	カツラ ツツジ ハナショウブ	昭和61（1986）年４月１日制定
鳥	コウライキジ ヤマセミ	昭和61（1986）年４月１日制定
魚	ヒメマス サ　ケ	平成８（1996）年11月１日制定

千歳市都市宣言塔　平成４（1992）年３月31日建設

交通安全都市宣言

産業、経済、文化の著しい発展向上に伴う車両交通の増加により、交通事故は、年々増加の傾向にあり、大きな社会問題となっている。

これら交通事故による悲惨な事故を防止し、市民生活の安全を守るためには、交通環境の改善を図るとともに、全市民が安全交通の自覚に徹することが必要である。

よって、千歳市は、関係機関の総力を結集し、全市民の一致協力のもとに、安全運動を強力に推進し、交通事故のない明るい都市の建設を期し、ここに千歳市を『交通安全都市』とすることを宣言する。

昭和37年３月12日

清く明かるく正しい選挙都市宣言

選挙は、民主政治の基盤であり、民主政治の健全な発展と確立のためには、選挙が清く明かるく、かつ正しく行なわれなければならない。

民主政治確立のため、本市議会は全市民の期待と熱意を結集し、ここに清く明かるく正しい選挙を推進する都市たることを宣言する。

昭和41年12月22日

青少年健全育成都市宣言

千歳市は次代を託すべき青少年が風雪百年輝やく未来を自ら開き、明るく豊かな郷土を建設、職業に誇りをもち、人間性豊かにして自主性を有し、心身ともに健全にして、創造的かつ新らしい文化的民主〃義的社会建設のにない手となるように成長することを願い、地域の大人達は自ら姿勢を正し、青少年に愛の手を注ぎ、明るい家庭と環境づくりに力を尽くし、全市民の総意を結集して健全育成につとめることを決意し、ここに「青少年健全育成都市」たることを宣言する。

昭和43年３月27日

スポーツ都市宣言

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

1　市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
2　力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
3　次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
4　スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

昭和45年６月29日

暴力追放・防犯都市宣言

私たちの日常生活が明るく平穏で、かつ安全であることは、市民の共通の願いであります。

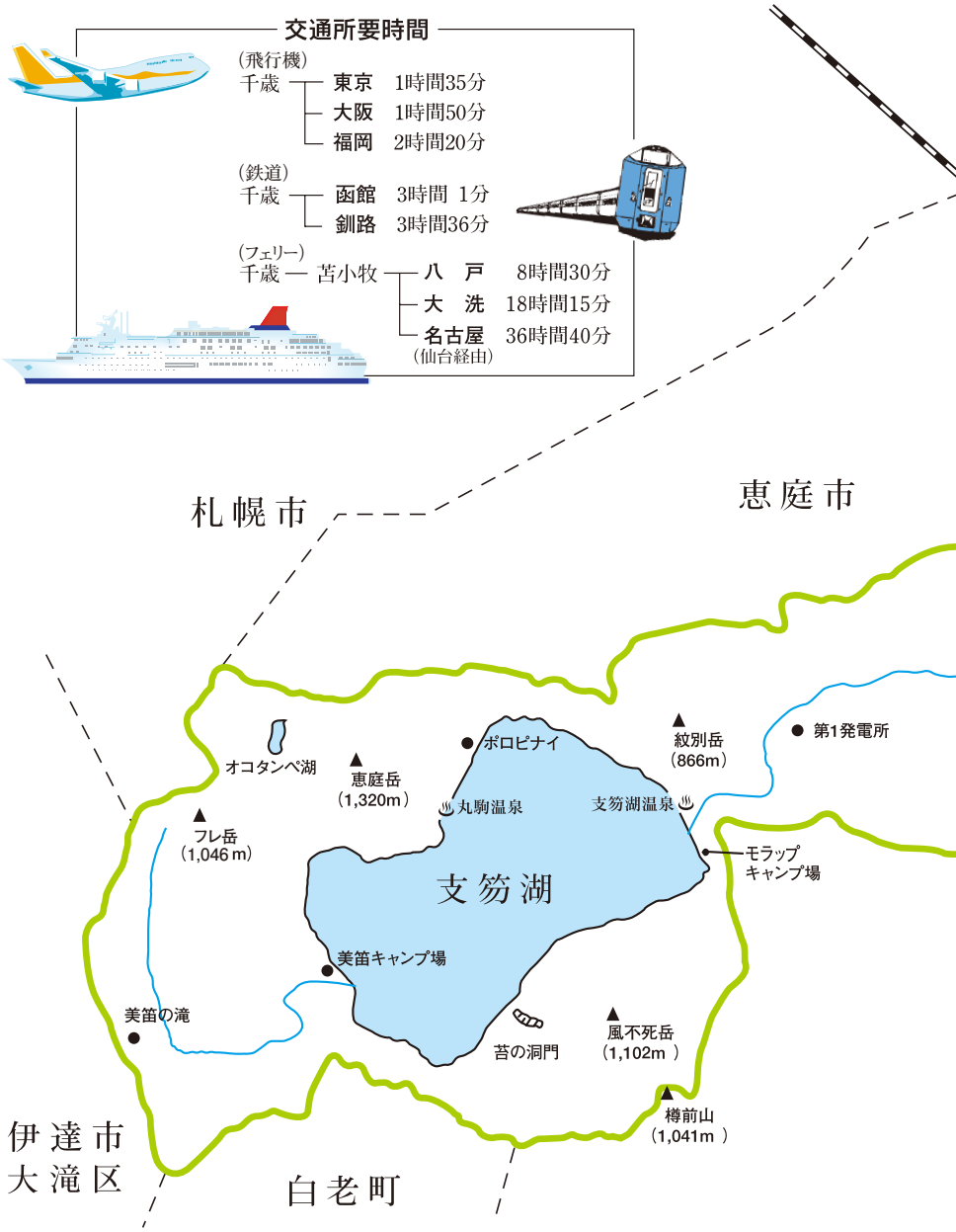
しかしながら、社会情勢の目まぐるしい変化に伴って、犯罪・暴力は一向に減少する傾向が見られません。

千歳市は、国際空港を目ざす新千歳空港と、1,000万人を超える乗降客、そして国立公園支笏湖が所在し、国際観光都市としての機能を有し国際都市を目ざしております。

市民の明るく安全で、かつ暴力のない平和な日常生活を確保するため、市民の総意を結集し、青少年の非行防止、長寿社会に対応した高揚を図り、犯罪・暴力のない明るく住みよい街づくりを決意し、ここに暴力追放・防犯都市を宣言します。

昭和63年３月28日

千歳市管内略図


交通所要時間
（飛行機）
千歳 ─ 東京 1時間35分
大阪 1時間50分
福岡 2時間20分
（鉄道）
千歳 ─ 函館 3時間 1分
釧路 3時間36分
（フェリー）
千歳 ─ 苫小牧 ─ 八 戸 8時間30分
大 洗 18時間15分
名古屋 36時間40分
（仙台経由）
札幌市
恵庭市
オコタンペ湖
恵庭岳
（1,320m）
ポロピナイ
紋別岳
（866m）
第1発電所
丸駒温泉
支笏湖温泉
フレ岳
（1,046 m）
モラップ
キャンプ場
支笏湖
美笛キャンプ場
美笛の滝
苔の洞門
風不死岳
（1,102m ）
樽前山
（1,041m ）
伊達市
大滝区
白老町

由仁町
長沼町
室蘭本線
千歳線
長都駅
道の駅サーモンパーク千歳
サケのふるさと千歳水族館
陸上自衛隊
東千歳駐屯地
千歳駅
陸上自衛隊
北千歳駐屯地
石勝線
公立千歳科学技術大学
安平町
南千歳駅
市役所
千歳飛行場
北海道区水産研究所
千歳さけます事業所
千歳川
航空自衛隊
千歳基地
新千歳空港駅
美々貝塚
新千歳空港
凡例
市街化区域
苫小牧市
札　幌
国道453号
国道36号
美笛の滝
至洞爺湖
国道276号
支笏湖温泉
道道支笏湖公園線
千　歳
苔の洞門
国道276号
国道36号
苫小牧

利用される皆様へ

1　特に注記しない限り年は暦年、年度は会計年度を示しています。
2　統計表などの番号について、掲載を中止したものは欠番となっています。
3　統計表などは千歳市の行政区域内が原則ですが区域外を含むものもあり、その旨注記しています。
4　個々の数値の計が総数と一致しないものがあるのは、単位未満四捨五入によるものです。
5　表・文中において特に単位表記していない数値は全て実数です。
6　統計表に用いた符号は次のとおりです。
　「０」……表章単位に満たないもの
　「－」……該当数値のないもの
　「…」……不　　詳
　「△」……負　　数
　「Ｘ」……数値が秘匿されているもの
7　本書に関する問い合わせ
　総務部総務課文書統計係　　電話（0123）24－0137　Fax（0123）22－8851

総　目　次

第1章　美しい水と豊かな緑……自　然　第１章
第2章　伸びゆく若いまち……人　口　第２章
第3章　活力ある事業所……事業所　第３章
第4章　自然が育む豊かな大地……農林水産業　第４章
第5章　最先端企業が集まる工業都市……工　業　第５章
第6章　地域とともに歩む商業……商　業　第６章
第7章　ゆとりのある市民生活……消費生活・金融　第７章
第8章　世界に開かれた国際都市……空港・運輸・通信　第８章
第9章　魅力あふれるまちづくり……住宅・土木・建設　第９章
第10章　名水と整備された都市基盤……電気・ガス・上下水道　第10章
第11章　豊かな心と人間性を育む……教育・文化・文化財　第11章
第12章　豊かな労働力……労　働　第12章
第13章　快適な都市生活……環境・保健・衛生　第13章
第14章　安心して暮らせるまちづくり……防災・防犯　第14章
第15章　信頼とぬくもりあるコミュニティ……社会福祉　第15章
第16章　鮮やかに彩る四季折々の風景……観光・レクリエーション　第16章
第17章　開かれたまちづくり……選挙・行政　第17章
第18章　伸びゆくまちの財政……財　政　第18章
第19章　地域を守る大きな力……防　衛　第19章
資　料　資　料
千歳略年表　千歳略年表

目　　次

第１章　美しい水と豊かな緑

1　位置と広さ …… 3

2　地目別面積 …… 3

3　最近５か年の気象 …… 4

4　令和元年の気象 …… 4

6　過去の気象記録 …… 5

7　主な河川・山岳・湖沼 …… 5

第２章　伸びゆく若いまち

8　人口・世帯数の推移 …… 8

⑴　国勢調査 …… 8

⑵　住民基本台帳 …… 9

9　町名別人口・世帯数 …… 12

10　年齢階級別人口 …… 14

11　産業別人口 …… 15

12　労働力人口の推移 …… 15

13　労働力状態別・男女別人口 …… 16

14　人口と労働力人口増減の推移 …… 16

15　世帯人員別一般世帯数の推移 …… 16

16　国籍別外国人住民登録者数の推移 …… 17

17　人口動態の推移 …… 17

18　人口の都道府県別移動状況（令和元年） …… 18

19　人口集中地区（DID）の推移 …… 19

20　昼間人口の推移 …… 19

21　北海道に見る千歳市の人口 …… 20

第３章　活力ある事業所

22　産業別事業所と従業者 …… 24

23　事業所と従業者の推移 …… 25

24　産業別・従業者規模別事業所と従業者 …… 26

25　経営組織別事業所と従業者 …… 27

第４章　自然が育む豊かな大地

27　農業従事者数と耕地面積の推移 …… 30

⑴　総農家数の推移（販売農家及び自給的農家） …… 30

⑵　農業従事者数と経営耕地面積の推移（販売農家） …… 30

28　専業・兼業別農家の推移（販売農家） …… 30

29　経営耕地利用別農家と面積の推移（販売農家） …… 31

30　家畜飼養農家と飼養頭羽数の推移（販売農家） …… 31

31　農業用機械所有農家数と所有台数の推移（販売農家） …… 32

32　農業経営体 …… 32

⑴　経営組織別農業経営体の推移 …… 32

⑵　農業経営体数と経営耕地面積の推移（除販売農家） …… 33

⑶　家畜飼養農業経営体の飼養頭羽数の推移（除販売農家） …… 33

33　農地転用の推移 …… 34

34　畜産防疫及び殺処分数の推移 …… 34

35　主要農産物生産量 …… 35

37　市営牧場 …… 35

⑴　施設概要 …… 35

⑵　利用状況の推移 …… 35

38　農業基盤整備事業 …… 36

⑴　国営土地改良事業 …… 36

⑵　道営土地改良事業 …… 38

⑶　補助事業 …… 40

39　森林面積と蓄積量 …… 41

40　国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所千歳さけます事業所 …… 42

⑴　施設概要 …… 42

⑵　サケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況 …… 43

⑶　サクラマス河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況 …… 43

⑷　ベニザケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況 …… 43

41　泉沢養魚場 …… 44

42　支笏湖ヒメマスふ化場 …… 45

⑴　施設概要 …… 45

⑵　ヒメマス親魚捕獲・ふ化の推移 …… 45

第５章　最先端企業が集まる工業都市

43　工場・従業者と製造品出荷額等の推移 …… 49

44　北海道に見る千歳市の工業出荷額等（平成30年） …… 49

45　産業別工場・従業者と製造品出荷額等 …… 50

46　工業団地 …… 51

⑴　施設概要 …… 51

⑵　土地利用区分 …… 52

⑶　第１工業団地立地状況 …… 54

⑷　第２工業団地立地状況 …… 55

⑸　第３工業団地立地状況 …… 55

⑹　第４工業団地立地状況 …… 57

⑺　臨空工業団地立地状況 …… 58

⑻　美々ワールド立地状況 …… 61

⑼　新千歳空港ロジスティクスセンター …… 61

⑽　工業専用地域内立地状況（除工業団地・製造業のみ）……62
47　サイエンスパーク……62
⑴　施設概要……62
⑵　企業立地状況……62
48　工業系業務団地……63
⑴　施設概要……63
⑵　土地利用区分……63
⑶　流通業務団地立地状況……64
⑷　根志越業務団地立地状況……65
⑸　オフィス・アルカディア立地状況……66

第６章　地域とともに歩む商業

49　産業別事業所・従業者と商品販売額の推移……68
50　従業者規模別事業所……69
51　公設地方卸売市場……70
⑴　施設概要……70
⑵　青果・水産物取扱いの推移……70
⑶　青果・水産物入荷先の推移……70

第７章　ゆとりのある市民生活

52　消費生活……74
⑴　内容別相談件数の推移……74
⑵　計量検査の状況……74
53　市内食料品等小売価格の推移……75
54　たばこ消費量の推移……76
55　金融機関店舗数の推移……76

56　銀行などの預金・貸出金の推移 …… 76
57　手形交換高の推移 …… 77
58　農協の貯金・貸付金の推移 …… 77

第８章　世界に開かれた国際都市

59　新千歳空港概要 …… 81
⑴　基本施設 …… 81
⑵　旅客ターミナルビル …… 81
⑶　国内線貨物ターミナルビル …… 83
⑷　ターミナルアネックスビル …… 83
⑸　ケータリング（機内食）施設 …… 83
⑹　車両整備格納庫 …… 83
60　新千歳空港乗降客数の推移 …… 84
61　新千歳空港乗降客数（令和元年） …… 85
62　新千歳空港貨物取扱量の推移 …… 86
63　千歳飛行場施設概要 …… 87
64　空港除雪車両車種別保有台数 …… 87
65　鉄道旅客輸送人員の推移（乗車人員） …… 87
66　令和30年度道内駅別乗車人員（１日平均） …… 87
67　高速自動車国道 …… 88
⑴　道央自動車道施設概要 …… 88
⑵　道東自動車道施設概要 …… 88
⑶　供用状況（インターチェンジ） …… 88
⑷　千歳インターチェンジ出入車両の推移 …… 89
68　バス輸送人員 …… 89
⑴　バス輸送人員の推移 …… 89
⑵　会社別・路線別輸送人員（令和元年度） …… 89

⑶　ビーバス輸送人員の推移 …… 90
69　タクシーの輸送状況の推移 …… 90
70　自動車車種別登録台数の推移 …… 91
71　電話加入状況の推移 …… 91
72　郵便施設数の推移 …… 92
73　テレビ受信契約数の推移 …… 92

第9章　魅力あふれるまちづくり

74　住宅所有形態別世帯数・世帯人員の推移 …… 95
75　公営住宅などの戸数と居住人員 …… 95
76　建築確認用途別件数の推移 …… 96
77　住宅防音施工別実施戸数の推移 …… 96
78　都市計画区域面積 …… 97
79　用途別地域面積 …… 97
80　高度利用地区と準防火地域 …… 98
81　都市計画施設 …… 99
⑴　都市計画道路 …… 99
⑵　都市高速鉄道 …… 100
⑶　都市計画公園 …… 101
⑷　都市計画緑地 …… 104
⑸　都市計画下水道 …… 104
⑹　都市計画河川 …… 105
⑺　その他の都市計画施設 …… 105
82　市街地開発事業 …… 106
⑴　土地区画整理事業の経過 …… 106
⑵　市街地再開発事業 …… 107
⑶　地区計画 …… 107

83　開発行為（宅地造成）許可の推移 …… 108
84　泉沢向陽台 …… 108
⑴　事業概要 …… 108
⑵　土地利用計画面積表 …… 109
85　道路種別延長 …… 110
86　橋梁の道路種別架橋状況 …… 110
87　都市計画道路種別整備状況 …… 111
88　道路工事種別件数・工事費の推移 …… 111
89　公園・緑地 …… 112
⑴　都市公園・緑地の状況 …… 112
⑵　市道樹種別本数 …… 114
⑶　都市公園・緑地の樹種別本数 …… 114
90　市発注工事の状況（令和元年度） …… 115

第10章　名水と整備された都市基盤

91　電灯状況の推移 …… 119
92　電力状況の推移 …… 119
93　王子製紙千歳川発電所 …… 119
⑴　施設概要 …… 119
⑵　電力需給状況の推移 …… 120
94　一般ガス …… 120
⑴　供給の推移 …… 120
⑵　用途別供給戸数と消費量の推移 …… 121
96　上水道 …… 122
⑴　給水の推移 …… 122
⑵　用途別給水戸数と有収水量の推移 …… 122
97　簡易水道 …… 123

⑴　給水の推移 …… 123
⑵　用途別給水戸数と有収水量の推移 …… 123
98　水道料金表 …… 124
99　下水道 …… 125
101　下水道使用料算定表 …… 126
102　個別排水処理施設（合併処理浄化槽） …… 126

第11章　豊かな心と人間性を育む

103　幼稚園の推移 …… 131
104　小学校の推移 …… 131
105　中学校の推移 …… 131
106　小・中学校学年別就学数の推移 …… 132
107　中学校卒業者の推移 …… 132
108　学校給食の推移 …… 132
109　高等学校・高等支援学校の生徒数 …… 133
110　高等学校・高等支援学校別入学者状況（令和２年） …… 133
111　高等学校全日制卒業者の推移 …… 134
112　専修学校の推移 …… 134
113　各種学校の推移 …… 134
114　大学の推移 …… 135
⑴　公立千歳科学技術大学 …… 135
⑵　北海道千歳リハビリテーション大学 …… 135
115　図書館 …… 136
⑴　施設概要 …… 136
⑵　移動図書館車（愛称「ブッくん」） …… 136
⑶　図書館の推移 …… 136
⑷　蔵書冊数の推移 …… 137

⑸　分類別貸出冊数の推移 …… 137
116　公民館等設置状況 …… 137
117　千歳公民館 …… 138
⑴　施設概要 …… 138
⑵　利用状況の推移 …… 138
118　北ガス文化ホール（千歳市民文化センター） …… 138
⑴　施設概要 …… 138
⑵　利用状況の推移 …… 139
119　市民ギャラリー …… 139
⑴　施設概要 …… 139
⑵　利用状況の推移 …… 139
120　千歳市民活動交流センター「ミナクール」 …… 140
⑴　施設概要 …… 140
⑵　利用状況の推移 …… 140
121　青少年会館 …… 140
⑴　施設概要 …… 140
⑵　利用状況の推移 …… 140
122　スポーツセンター・ダイナックスアリーナ …… 141
⑴　施設概要 …… 141
⑵　利用状況の推移 …… 141
123　開基記念総合武道館 …… 141
⑴　施設概要 …… 141
⑵　利用状況の推移 …… 141
124　温水プール …… 142
⑴　施設概要 …… 142
⑵　利用状況の推移 …… 142
125　埋蔵文化財センター …… 143
126　上長都文化財収蔵施設（旧埋蔵文化財センター） …… 143

127　社会体育施設利用状況 …… 144
128　学校別学校開放事業の推移 …… 145
129　社会教育関係団体・体育協会加盟団体 …… 146
⑴　社会教育関係団体 …… 146
⑵　千歳市文化団体連絡協議会加盟団体 …… 153
⑶　体育協会加盟団体 …… 156
130　少年団体 …… 157
131　文化財 …… 159
⑴　概況 …… 159
⑵　国指定史跡 …… 159
⑶　国指定重要文化財 …… 159
⑷　国指定重要無形民俗文化財 …… 160
⑸　国指定天然記念物 …… 160
⑹　市指定文化財 …… 160
⑺　主要文化財・遺跡 …… 163
132　宗教法人の概況 …… 164

第12章　豊かな労働力

133　労働力人口の推移 …… 166
134　労働力状態別・男女別人口 …… 166
135　人口と労働力人口増減の推移 …… 166
136　職業紹介状況 …… 167
⑴　新規求職数等の推移 …… 167
⑵　季節労働者の推移 …… 167
137　雇用保険給付額の推移 …… 167
138　労働組合数及び組合員数の推移 …… 167
139　労働会館利用者の推移 …… 168

140　高等学校全日制卒業者の推移 …… 168
141　自衛隊除隊者数の推移 …… 168

第13章　快適な都市生活

142　自然環境保全地区 …… 171
143　公害苦情の推移 …… 171
144　大気汚染測定結果（令和元年度） …… 171
145　河川水質調査結果（令和元年度） …… 172
146　自動車騒音面的評価結果（平成30年度） …… 172
147　航空機騒音測定結果（令和元年度） …… 173
148　医療施設設置状況の推移 …… 173
149　医療従事者の推移 …… 173
150　病院・診療所一覧 …… 174
⑴　病院 …… 174
⑵　一般診療所 …… 174
⑶　歯科診療所 …… 175
151　市立千歳市民病院 …… 176
⑴　施設概要 …… 176
⑵　医療従事者の推移 …… 176
⑶　入院・外来別患者数の推移 …… 176
152　休日夜間急病センター …… 177
⑴　施設概要 …… 177
⑵　従事者数 …… 177
⑶　外来別患者数の推移 …… 177
153　主要死因別死亡数の推移 …… 178
154　年齢階級別主要死因数（平成27年） …… 178
155　予防接種の推移 …… 179

156　結核予防の推移 …… 179
157　結核発生と死亡数の推移 …… 180
158　廃棄物処理実績の推移 …… 180
159　収集回数別世帯数の状況 …… 180
160　し尿処理実績の推移 …… 181
161　畜犬登録・野犬掃討などの推移 …… 181
162　千歳市葬斎場 …… 182
⑴　施設概要 …… 182
⑵　利用状況の推移 …… 182
⑶　小焼却炉利用状況の推移 …… 182
163　霊園区画数 …… 182

第14章　安心して暮らせるまちづくり

164　消防職員数と消防車等設備の推移 …… 185
165　消防水利 …… 185
⑴　施設数 …… 185
⑵　充足状況 …… 185
166　火災発生件数の推移 …… 186
167　原因別火災発生件数（令和元年） …… 186
168　救急出動件数等の推移 …… 186
169　刑法犯罪発生の推移 …… 188
170　交通安全 …… 189
⑴　年・月別発生状況の推移 …… 189
⑵　路線別発生状況（令和元年） …… 189
⑶　交通安全教育施設（交通公園） …… 189
171　非行少年等の推移 …… 190
172　防災学習交流施設 …… 190

⑴　施設概要 …… 190
⑵　利用状況の推移 …… 190

第15章　信頼とぬくもりあるコミュニティ

173　国民健康保険 …… 193
⑴　給付内容の推移 …… 193
⑵　保険料率（令和元年度） …… 196
⑶　加入状況の推移 …… 197
⑷　給付状況の推移 …… 197
⑸　年齢階層別被保険者の状況 …… 198
174　国民年金概要の推移 …… 198
175　社会福祉施設一覧 …… 199
176　民生委員児童委員数 …… 202
177　生活保護 …… 202
⑴　扶助別受給者の推移 …… 202
⑵　扶助別保護費支出の推移 …… 202
178　介護保険 …… 203
⑴　第１号被保険者（65歳以上）の状況 …… 203
⑵　要支援・要介護認定者数の推移 …… 204
⑶　介護保険給付状況の推移 …… 204
⑷　保険料収納状況の推移 …… 204
179　障がい者手帳等所持者数 …… 205
⑴　身体障がい部位別の推移 …… 205
⑵　身体障がい者級別所持者数の推移 …… 205
⑶　療育手帳所持者数の推移 …… 205
⑷　精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移 …… 205
180　後期高齢者医療制度 …… 206

⑴　後期高齢者医療被保険者数の推移 …… 206
⑵　保険料収納状況の推移 …… 206
181　共同募金会 …… 206
⑴　共同募金実績 …… 206
⑵　歳末たすけあい運動実績の推移 …… 206
182　日本赤十字社費募金の推移 …… 206
183　コミュニティセンター・町内会館等集会施設一覧 …… 207
184　コミュニティセンター利用の推移 …… 209
185　共同利用施設利用の推移 …… 210
186　児童遊園地一覧 …… 210
187　福祉団体一覧 …… 211
188　社会福祉協議会 …… 216
⑴　組織図 …… 216
⑵　第７次地域福祉実践計画（令和２年度～６年度） …… 216
⑶　重点推進項目 …… 216

第16章　鮮やかに彩る四季折々の風景

189　国立公園支笏湖 …… 221
⑴　支笏湖周辺の概要 …… 221
⑵　風不死岳（1,103m） …… 221
⑶　樽前山（1,041m） …… 221
⑷　恵庭岳（1,320m） …… 221
⑸　紋別岳（866m） …… 222
⑹　苔の洞門 …… 222
⑺　野鳥の森 …… 222
⑻　オコタンペ湖（特別保護地区） …… 222
⑼　キャンプ場 …… 223

190　王子製紙千歳川発電所 …… 223
191　捕魚車（通称インディアン水車） …… 224
192　道の駅サーモンパーク千歳 …… 224
193　サケのふるさと千歳水族館 …… 224
⑴　施設概要 …… 224
⑵　利用状況の推移 …… 225
194　支笏湖遊覧船舶の概要 …… 225
195　観光入込客数 …… 225
⑴　市内観光入込客数の推移 …… 225
⑵　市街地観光入込客数の推移 …… 225
⑶　支笏湖観光入込客数の推移 …… 225
196　市内宿泊施設の概要 …… 226
197　ホテル・旅館の概況（地区別） …… 226
⑴　市街地・周辺地区 …… 226
⑵　支笏湖周辺 …… 227
198　温泉 …… 227

第17章　開かれたまちづくり

199　選挙人名簿登録者数の推移 …… 231
200　投票区別選挙人名簿登録者数 …… 231
201　各種選挙投票概要 …… 232
202　市議会機構図 …… 232
203　議員定数および常任委員会別委員定数 …… 233
204　案件別審議概要（平成31年１月～令和元年12月） …… 233
205　歴代市議会議長 …… 233
206　市議会議員名簿 …… 234
207　歴代市長 …… 235

208　歴代助役 …… 235
209　歴代副市長 …… 235
210　歴代収入役 …… 235
211　監査委員 …… 235
212　行政委員会 …… 236
⑴　教育委員会 …… 236
⑵　選挙管理委員会 …… 236
⑶　公平委員会 …… 237
⑷　固定資産評価審査委員会 …… 237
⑸　農業委員会 …… 237
213　市組織図・職員数 …… 238
214　主要広報広聴活動 …… 240
215　陳情・請願・要望件数の推移 …… 241
216　法律相談件数の推移 …… 241
217　名誉市民 …… 242
218　市功労者 …… 243
219　市民栄誉賞受賞者 …… 245
220　市技能功労者 …… 246
⑴　市技能功労者 …… 246
⑵　千歳市民文化表彰受賞者 …… 247
⑶　市スポーツ賞 …… 249

第18章　伸びゆくまちの財政

221　一般会計決算の推移 …… 252
222　平成30年度決算状況 …… 252
⑴　一般会計 …… 252
⑵　特別会計 …… 253

⑶　企業会計 …… 254
223　予算状況 …… 254
⑴　令和元年度 …… 254
⑵　令和２年度 …… 256
224　市税収入の推移 …… 257
225　市税収入の内訳（平成30年度） …… 257
226　地方債の状況 …… 258
227　財政力指数の推移 …… 258
228　経常収支比率の推移 …… 259
229　将来負担比率の推移 …… 259
230　実質公債費比率の推移 …… 259
231　市有財産の状況 …… 259
⑴　公有財産 …… 259
⑵　評定価格 …… 259

第19章　地域を守る大きな力

232　陸上自衛隊 …… 263
⑴　第７師団編成組織 …… 263
⑵　第１特科団編成組織 …… 264
⑶　第１高射特科団編成組織 …… 264
233　航空自衛隊 …… 265
⑴　千歳基地所在部隊編成組織 …… 265
⑵　第２航空団編成組織 …… 266
⑶　千歳飛行場施設概要 …… 266

資　　料 …… 267

1　千歳市第６期総合計画
2　コンベンション都市　千歳
⑴　施設
⑵　ホテル・旅館の概況（地区別）
⑶　令和元年度スポーツ大会実績
⑷　コンベンションの実績
⑸　国際会議の実績（再掲）
3　姉妹都市交流
⑴　アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市
⑵　鹿児島県指宿市
4　友好親善都市交流
⑴　ノルウェー王国ヴィッケン県コングスベルグ市
⑵　中華人民共和国吉林省長春市
5　その他の交流
⑴　大韓民国済州特別自治道観光協会
⑵　大韓民国空港高等学校

千歳略年表 …… 299

1　ちとせ略年表
2　事業年表
⑴　泉沢開発事業
⑵　水道事業
⑶　清掃事業
⑷　病院事業
⑸　下水道事業
3　資料入手先一覧

市の木　シラカバ

昭和43（1968）年 4月1日制定

（カバノキ科の落葉高木）

外側の樹皮が白色の美しい木です。

市内でも街路樹として見掛けますが、特に支笏湖道路の並木は「白樺街道」として広く知られています。

あらまし

美しい水と豊かな緑

北海道の中南部、石狩平野の南端に位置する千歳市は、札幌市や苫小牧市など４市４町に隣接し、札幌市へは北へ40km、ＪＲ快速電車で約30分の至近距離にあります。

市街地の標高は15m前後の低地となっていて、国内では最も低い25m前後の分水嶺が飛行場の付近にあり、江戸期には千歳川などを利用する北海道内部の河川交通の陸上部分・シコツ越えの地として栄えました。

市域の西部は山岳地帯で国立公園支笏湖地域を形成し、市街地は支笏湖を源とする千歳川の沖積地に広がり、飛行場・空港、工業団地、自衛隊駐屯地・基地などに、東部は丘陵地帯で自然豊かな農業地帯となっています。

千歳市民の誇りである支笏湖は約４万年前に支笏火山の大噴火でできたカルデラ湖で、面積が国内８位、最大水深及び貯水量は国内２位の大きな湖です。

支笏湖の周囲には世界でも珍しい溶岩円頂丘（ドーム）が北海道の天然記念物に指定された樽前山（1,041m）のほか、昭和47年に開催された冬季五輪札幌大会で滑降競技の会場となった恵庭岳（1,320m）など1,000m級の山々がそびえています。また、支笏湖は62年から始まった環境省の湖沼水質測定結果で、これまで20回も全国１位に輝くなど高い透明度が自慢で千歳川も水質ランキング１位を記録したことがある清冽な流れです。

支笏湖にはアイヌの人がカバチェップ（薄い魚／チップ）と呼ぶヒメマスが生息し、千歳川ではサケマスのふ化・放流が行われています。ヒメマスとサケは千歳市の魚に指定され、チップ釣りは支笏湖初夏の、また、遡上するサケを捕獲するインディアン水車は設置から120年以上の長きに渡り、千歳川の秋の風物詩として人気を博しています。千歳市は太平洋と日本海の気象の影響を受ける分岐点にあり、降水量は道内では少ない地域です。また、夏季の最高気温は32℃程度、年間の平均気温は７～８℃程度で避暑地として知られる軽井沢と

ほぼ同じ内陸型の気候です。

「千歳」という和地名も鶴が多く生息した自然に由来していて、四季折々に変化する自然環境の中で生活することができる千歳市は、北海道の中核都市です。

支笏湖畔から樽前山、風不死岳を望む

1　位置と広さ

位置						
方位		町名		経緯度		
極東		東丘		東経	141°	52′ 12″
極西		美笛		東経	141°	10′ 17″
極南		美笛		北緯	42°	40′ 53″
極北		新川		北緯	42°	57′ 12″

千歳市役所の位置	東経　141° 39′ 04″	北緯　42° 49′ 18″
広がり	東西　57.20km	南北　30.40km
面積	594.50㎢	
隣接市町村	東　由仁町　安平町	西　伊達市
	南　苫小牧市　白老町	北　札幌市　恵庭市　長沼町

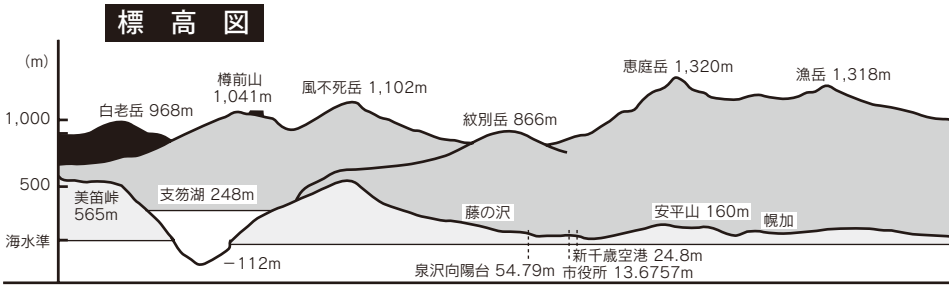
国土交通省国土地理院「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」
総務課

2　地目別面積

（単位　ha）

地目	面積			構成比（%）		
	総数	国・公有地	民有地	総数	国・公有地	民有地
総数	**59,450**	**44,843**	**14,607**	**100.0**	**75.5**	**24.5**
宅地	1,816	94	1,722	3.0	0.2	2.8
田	148	—	148	0.2	—	0.2
畑	6,919	448	6,471	11.6	0.7	10.9
山林	31,221	27,492	3,729	52.5	46.2	6.3
原野	3,838	3,789	49	6.5	6.4	0.1
牧場	734	336	398	1.3	0.6	0.7
池沼	9,892	9,881	11	16.6	16.6	0.0
雑種地	3,304	1,569	1,735	5.6	2.7	2.9
その他	1,578	1,234	344	2.7	2.1	0.6

1　平成31年1月1日現在
税務課



総務課

3　最近５か年の気象

年	気温（℃）			降水量（mm）	雪（cm）		最大風速（m／s）
	平均	最高	最低		降雪の深さの年合計値	年間の最深積雪	
27	8.1	31.6	−19.1	950.5	213	70	20
28	7.4	30.9	−19.7	1,161.0	198	31	22
29	7.1	31.3	−20.0	1,015.0	256	51	17
30	7.6	31.1	−22.4	1,091.5	220	55	23
元	**7.7**	**32.0**	**−25.4**	**896.5**	**190**	**36**	**16**

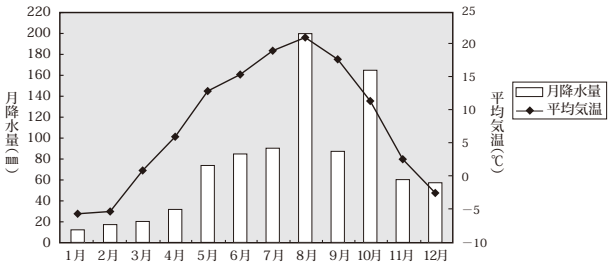
1　降雪の深さの年合計値及び年間の最深積雪は、前年降雪・積雪初日から当該年の降雪・積雪終日までの観測値
新千歳航空測候所観測課（環境課）
気象庁ホームページ「石狩地方千歳」（環境課）

4　令和元年の気象

区分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均	気温	℃	−5.9	−5.4	0.8	5.9	12.8	15.3	18.9	20.9	17.6	11.3	2.5	−2.6
	日最高気温	℃	−0.8	−0.2	5.4	12.2	19.3	20.0	22.3	24.7	23.3	17.1	8.1	2.4
	日最低気温	℃	−13.3	−12.8	−4.6	−0.6	7.1	11.3	16.5	17.7	12.0	4.5	−3.9	−8.7
月降水量		mm	12.0	17.0	20.0	31.5	73.5	84.5	90.0	199.5	87.0	164.5	60.0	57.0
極値	最高気温	℃	3.9	5.9	11.0	18.5	28.5	24.8	32.0	31.8	29.8	23.4	15.3	11.8
	最低気温	℃	−19.5	−25.4	−10.0	−7.3	1.3	6.1	10.6	11.6	3.7	−2.8	−14.4	−16.3
	最大風速	m/s	15.1	13.3	14.4	14.1	14.8	13.8	11.9	15.8	13.2	15.6	15.9	12.2
	最大瞬間風速	m/s	19.5	18.0	19.5	17.5	21.1	19.5	14.4	23.1	19.0	22.1	23.1	19.0
	降水量	mm	4.5	9.0	6.0	11.5	36.0	55.5	37.5	54.5	64.5	63.5	24.0	20.0
	降雪の深さ	cm	24.0	13.0	8.0	—	—	—	—	—	—	—	4.0	7.0
	積雪の深さ	cm	27.0	36.0	17.0	—	—	—	—	—	—	—	4.0	6.0
月降雪の深さ		cm	78.0	43.0	27.0	—	—	—	—	—	—	—	9.0	23.0

気象庁ホームページ「石狩地方千歳」（環境課）

令和元年の気温と降水量



環境課

6　過去の気象記録

区　　分	気　　温		降　水　量	風	
	最　　高	最　　低	日　最　大	日最大瞬間 （風向）	日　最　大 （風向）
年　月　日	H23.8.11	H31.2.9	H26.9.11	H30.9.5	H16.9.8
極　　値	34.2℃	－25.4℃	204.5㎜	33.4m/s （南南東）	23.0m/s （南西）

気象庁ホームページ「石狩地方千歳」（環境課）

7　主な河川・山岳・湖沼

（単位　km）

名　　称	流路延長	備　　考
千　歳　川	107.9	フレ岳～支笏湖～石狩川・普通河川を含む
マ マ チ 川	10.5	石狩川水系 1級河川
ケヌフチ川	8.0	
祝　梅　川	4.0	
長　都　川	3.8	
ユカンボシ川	2.3	
新ママチ川	0.5	
ナイベツ川	0.5	

（単位　m、㎢）

名　　称	標高・面積	備　　考
樽　前　山	1,041	溶岩円頂丘　那須火山帯
恵　庭　岳	1,320	那須火山帯
風 不 死 岳	1,102	那須火山帯
紋　別　岳	866	那須火山帯
支　笏　湖	78.4	カルデラ湖
オコタンペ湖	0.4	堰　止　湖

国土交通省国土地理院「日本の山岳標高一覧－1003山」
「全国都道府県市区町村別面積調」
北海道開発局札幌開発建設部資料（事業庶務課）

市の木　カツラ

昭和61（1986）年４月１日制定

（カツラ科の落葉高木）

昔から交通の手段として丸木舟に使用されるなど交通の要衝千歳と結び付きが深い木です。

また、ユーカラにもうたいこまれ、地名の「蘭越」もカツラの木が多くある所（＝ランコウシ）に由来しているように、蘭越・支笏湖方面にかけて相当数の大木が自生しています。

あらまし

人口はまちの発展の原動力です。

平成27年に実施された第20回国勢調査では、人口・世帯数は95,648人・40,638世帯で、22年調査と比較して2,044人・2.2％、2,097世帯・5.4％の増となりました。

道内179市町村のうち、人口が増加したのはわずかに８市町村で、千歳市は増加数では札幌市に次ぐ第２位、増加率では道内市部で第１位の伸びとなりました。

千歳市の人口の変遷をみると、大正９年に実施された第１回国勢調査では5,366人で、昭和10年までは横ばいの状況が続きました。人口が１万人を超えたのは、一級町村制が施行された昭和14年のことで、この年に日本海軍が北方防衛のための大規模な航空基地を開庁し、昭和17年には完成した航空機工場の建設に伴う多くの技術者などが集まってきたため人口が増加し、待望の町制を施行しました。

戦後、朝鮮戦争が勃発した昭和25年には２万人を超え、26年の米オクラホマ州兵からなる第45歩兵師団の駐留に伴うオクラホマ景気から町は急速に発展を遂げました。

昭和33年７月１日には北海道17位の人口で道内24番目の「市」となる千歳市が誕生し、40年の第10回調査では人口が５万人を超え、道内市部13位の都市となりました。

その後、市営工業団地への企業誘致や空港旅客ターミナルビルの完成など都市機能の充実を背景に、人口は順調に増えていき、平成７年の第16回調査で８万人、17年には９万人を超え、27年には95,648人と増加の一途をたどりました。

千歳市では、平成28年３月に「千歳市人口ビジョン・総合戦略－みんなで97,000プロジェクト」を策定し、目標人口９万７千人の達成に向けた、各種施策に取り組み、平成30年４月には約２年前倒しで目標を達成、昨年11月には９万７千５百人を超え、現在も増加を続けています。今後は新たな目標である10万人達成に向け、企業誘致の推進などによる雇用の創出、観光資源を活かした交流人口の拡大、さらには子育て支援や教育環境の充実などの取組を着実に推進します。

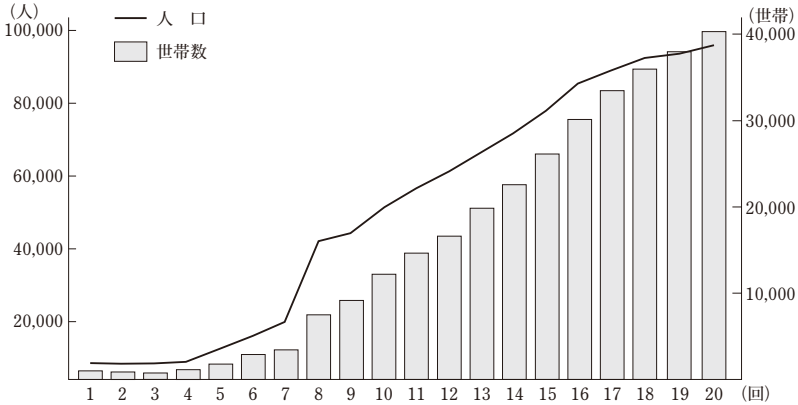
8　人口・世帯数の推移

(1) 国勢調査

回	年	世帯数	人口			対前回との増減率（%）
			総数	男	女	
1	大正 9年	1,065	5,366	2,825	2,541	
2	14年	991	5,252	2,881	2,371	△ 2.2
3	昭和 5年	947	5,275	2,753	2,522	0.4
4	10年	1,057	6,557	3,713	2,844	24.3
5	15年	1,856	10,512	5,960	4,552	60.3
6	22年	2,956	14,816	7,722	7,094	40.9
7	25年	3,346	20,030	11,974	8,056	35.2
8	30年	7,525	42,317	25,594	16,723	111.3
9	35年	9,267	44,522	25,873	18,649	5.2
10	40年	12,156	51,243	28,623	22,620	15.1
11	45年	14,667	56,118	30,330	25,788	9.5
12	50年	16,849	61,031	32,692	28,339	8.8
13	55年	19,907	66,788	35,544	31,244	9.4
14	60年	22,681	73,610	38,749	34,861	10.2
15	平成 2年	26,010	78,946	41,586	37,360	7.2
16	7年	30,071	84,866	44,237	40,629	7.5
17	12年	33,532	88,897	46,155	42,742	4.7
18	17年	35,983	91,437	46,985	44,452	2.9
19	22年	38,541	93,604	47,836	45,768	2.4
20	**27年**	**40,638**	**95,648**	**48,588**	**47,060**	**2.2**

1　各年10月 1 日調査
2　世帯数が住民基本台帳数値と大きく異なるのは、市内に駐屯する自衛隊営内居住者を中隊等ごとに 1 世帯としていることなどによる
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

国勢調査世帯・人口の推移



総務課

(2) 住民基本台帳

年	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
明治13	（ 47	209	…	…）	戸長役場開庁
14	（ 48	208	121	87）	
16	（ 51	173	91	82）	
20	（ 81	371	…	…）	
27	（192	789	447	342）	
39	799	3,084	1,603	1,481	
大正 4	778	3,931	2,074	1,857	２級町村制施行
5	735	3,695	1,896	1,799	
6	812	4,242	2,178	2,064	
7	851	3,895	2,016	1,879	
8	913	4,884	2,563	2,321	
9	1,012	5,297	2,734	2,563	
10	1,038	5,587	2,880	2,707	
12	934	5,441	2,798	2,643	
昭和 元	…	5,045	…	…	鉄道開通・着陸場造成（大正15年）
2	890	4,717	2,590	2,127	
3	…	4,733	…	…	
4	918	4,865	2,671	2,194	
5	965	5,275	2,752	2,523	
6	…	5,056	…	…	
7	928	5,076	2,602	2,474	
8	926	5,273	2,688	2,585	
9	972	5,513	2,805	2,708	飛行場完成
11	1,064	6,580	3,761	2,819	
12	1,190	7,420	4,242	3,178	
13	1,259	8,794	5,064	3,730	
14	…	10,678	…	…	１級町村制施行 海軍航空隊開庁
15	2,113	12,240	7,260	4,980	
16	2,183	12,986	…	…	第２次世界大戦参戦
17	2,250	13,994	…	…	町制施行
18	2,109	16,753	…	…	
19	2,510	17,688	…	…	
20	1,965	10,505	5,394	5,111	終戦
21	2,167	11,479	5,887	5,592	
22	2,956	14,635	7,628	7,007	
23	3,041	15,427	8,054	7,373	
24	3,123	15,757	8,107	7,650	「開基」70年

年	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
昭和25	3,345	20,030	11,975	8,055	
26	4,061	20,212	10,432	9,780	民間航空機就航
27	4,967	25,286	12,900	12,386	自衛隊駐屯開始
28	6,192	29,816	15,118	14,698	
29	6,520	32,942	17,460	15,482	
30	8,501	34,545	17,478	17,067	
31	8,395	35,371	17,863	17,508	
32	9,308	37,017	18,431	18,586	
33	10,245	47,188	27,748	19,440	市制施行
34	10,615	48,963	28,924	20,039	「開基」80年
35	11,155	48,880	28,335	20,545	
36	11,767	49,608	28,340	21,268	
37	11,674	48,554	27,494	21,060	
38	19,893	51,661	29,526	22,135	空港旅客ターミナルビル完成
39	21,376	54,484	31,241	23,243	
40	20,293	53,608	30,028	23,580	
41	20,099	54,942	30,416	24,526	市営工業団地誘致企業操業
42	21,175	57,094	31,614	25,480	
43	22,460	59,658	33,103	26,555	
44	22,477	60,592	33,180	27,412	「開基」90年
45	22,326	60,031	32,626	27,405	
46	21,106	56,748	30,673	26,075	
47	21,660	57,685	31,251	26,434	
48	22,002	58,514	31,588	26,926	
49	22,373	59,206	31,974	27,232	
50	22,724	60,455	32,664	27,791	米軍基地完全閉鎖
51	22,877	61,472	32,983	28,489	
52	23,075	62,171	33,242	28,929	
53	23,184	62,842	33,519	29,323	
54	24,044	64,610	34,403	30,207	「開基」100年
55	24,678	66,021	35,153	30,868	旧空港駅開業
56	25,096	67,040	35,572	31,468	国際定期航空機就航
57	25,882	68,523	36,302	32,221	
58	26,341	69,680	36,782	32,898	
59	26,988	71,009	37,458	33,551	
60	27,858	72,514	38,268	34,246	
61	28,472	73,931	39,022	34,909	
62	28,909	74,810	39,418	35,392	

年	世帯数	人口			備考
		総数	男	女	
昭和63	29,558	76,128	40,043	36,085	新空港供用開始
平成 元	30,616	77,306	40,766	36,540	「開基」110年、テクノポリス承認
2	31,078	77,905	40,915	36,990	
3	31,440	78,599	41,090	37,509	
4	32,413	80,022	41,808	38,214	新空港旅客ターミナルビル完成
5	33,403	81,632	42,588	39,044	地方拠点都市指定
6	34,000	82,680	43,122	39,558	
7	34,694	84,048	43,741	40,307	千歳命名190年
8	35,232	84,974	44,145	40,829	
9	36,040	86,017	44,548	41,469	
10	36,939	87,208	45,097	42,111	千歳科学技術大学開学
11	37,508	87,742	45,353	42,389	千歳命名195年・開庁120年
12	38,265	88,126	45,623	42,503	
13	38,849	88,472	45,745	42,727	鉄道・飛行場75年　民航50年
14	39,073	88,679	45,576	43,103	
15	39,900	89,477	46,019	43,458	
16	40,444	89,976	46,155	43,821	
17	41,116	90,507	46,476	44,031	（千歳命名200年）
18	41,819	91,242	46,693	44,549	
19	42,348	91,808	47,019	44,789	
20	42,870	92,017	47,059	44,958	市制施行50周年
21	43,320	92,393	47,103	45,290	千歳命名205年・開庁130年
22	43,777	92,785	47,252	45,533	新空港国際線旅客ターミナルビル完成
23	44,210	93,212	47,342	45,870	
24	44,701	93,584	47,464	46,120	
25	45,368	94,172	47,714	46,458	
26	46,002	94,700	48,075	46,625	
27	46,338	94,820	48,027	46,793	
28	47,176	95.413	48,362	47,051	
29	47,780	95,761	48,397	47,364	
30	48,407	96,119	48,601	47,518	
31	49,202	96,565	48,855	47,710	千歳命名215年・開庁140年
令和 2	**50,101**	**97,198**	**49,183**	**48,015**	

1　明治13年～27年の（　）内数値は千歳村の数値
2　昭和36年以降は各年３月31日現在の数値
3　平成９年から千歳市は「開基」を「千歳命名○○年・開庁○○年」に改称したが、過去に実施した事業名までは変更していない
「住民基本台帳」（市民課）

9　町名別人口・世帯数

町名	世帯数	人口			面積（㎢）	1世帯当たり人口
		男	女	計		
総数	**50,101**	**49,183**	**48,015**	**97,198**	**594.500**	**1.94**
本町	543	496	472	968	0.271	1.78
東雲町	405	322	299	621	0.223	1.53
朝日町	551	456	399	855	0.313	1.55
清水町	571	364	413	777	0.162	1.36
幸町	728	530	456	986	0.107	1.35
千代田町	326	201	228	429	0.127	1.32
栄町	599	436	532	968	0.246	1.62
錦町	304	225	230	455	0.111	1.50
春日町	970	865	782	1,647	0.230	1.70
緑町	712	584	700	1,284	0.163	1.80
大和	802	731	836	1,567	0.529	1.95
桂木	851	856	815	1,671	0.432	1.96
北栄	904	807	819	1,626	0.429	1.80
新富	1,819	1,728	1,881	3,609	0.537	1.98
信濃	2,025	1,910	1,818	3,728	0.531	1.84
富士	898	860	795	1,655	0.269	1.84
富丘	1,788	1,585	1,785	3,370	0.816	1.88
真町	1	1	0	1	0.540	1.00
青葉丘	7	6	3	9	1.014	1.29
青葉	1,315	1,203	1,121	2,324	0.669	1.77
住吉	1,609	1,535	1,376	2,911	0.573	1.81
東郊	562	510	559	1,069	0.255	1.90
日の出丘	4	5	5	10	0.122	2.50
平和	955 (782)	899 (692)	236 (90)	1,135 (782)	17.687	1.19
柏台	—	—	—	—	6.202	1.00 —
美々	1	1	0	1	10.638	1.00
駒里	159	132	148	280	19.659	1.76
祝梅	1,478 (1,454)	1,372 (1,342)	136 (112)	1,508 (1,454)	10.343	1.02 1.00
根志越	75	66	66	132	12.508	1.76
中央	48	50	61	111	31.660	2.31
泉郷	103	98	81	179	9.735	1.74
北信濃	692 (445)	777 (413)	290 (32)	1,067 (445)	4.773	1.54 1.00
自由ヶ丘	1,301	1,319	1,434	2,753	0.489	2.12
北斗	1,360	1,288	1,310	2,598	0.522	1.91
上長都	23	19	21	40	9.878	1.74
桜木	935	1,002	1,003	2,005	0.410	2.14
都	52	61	48	109	6.565	2.10
長都	84	106	92	198	8.598	2.36
釜加	41	46	47	93	5.906	2.27
泉沢	256	169	87	256	17.039	1.00
藤の沢	—	—	—	—	31.396	—
蘭越	134	92	62	154	9.321	1.15
水明郷	—	—	—	—	15.668	—

町名	世帯数	人口			面積（㎢）	1世帯当たり人口
		男	女	計		
西森	—	—	—	—	22.903	—
紋別	—	—	—	—	40.719	—
幌美内	2	0	2	2	14.359	1.00
奥潭	—	—	—	—	26.320	—
モラップ	4	1	3	4	16.278	1.00
支寒内	—	—	—	—	29.528	—
美笛	—	—	—	—	58.864	—
幌加	27	38	42	80	11.630	2.96
協和	29	32	29	61	17.207	2.10
新川	39	54	54	108	7.761	2.77
東丘	54	81	71	152	13.386	2.81
若草	820	776	869	1,645	0.541	2.01
白樺	834	762	795	1,557	0.471	1.87
里美	573	519	560	1,079	0.382	1.88
真々地	554	626	586	1,212	0.319	2.19
稲穂	864	903	954	1,857	0.365	2.15
高台	1,008	806	1,009	1,815	0.317	1.80
花園	1,141	963	1,060	2,023	0.385	1.77
末広	1,938	1,360	1,584	2,944	0.353	1.52
梅ヶ丘	578	580	638	1,218	0.224	2.11
弥生	883	854	896	1,750	0.271	1.98
寿	812	853	783	1,636	0.245	2.01
豊里	879	916	921	1,837	0.326	2.09
日の出	734	728	745	1,473	0.287	2.01
支笏湖温泉	91	64	78	142	7.454	1.56
旭ヶ丘	789	793	756	1,549	0.259	1.96
文京	1,400	1,481	1,374	2,855	0.801	2.04
柏陽	554	550	623	1,173	0.432	2.12
福住	338	379	377	756	0.286	2.24
北光	933	922	951	1,873	0.738	2.01
北陽	1,493	1,958	2,089	4,047	0.737	2.71
長都駅前	1,253	1,185	1,263	2,448	0.473	1.95
流通	8	13	8	21	0.521	2.63
あずさ	857	1,143	1,198	2,341	0.444	2.73
幸福	512	671	686	1,357	0.290	2.65
柏台南	—	—	—	—	0.404	—
清流	1,457	1,639	1,712	3,351	0.785	2.30
新星	108	118	116	234	0.189	2.17
勇舞	1,416	1,959	2,026	3,985	0.626	2.81
みどり台北	479	743	753	1,496	0.286	3.12
みどり台南	649	1,000	958	1,958	0.356	3.02
（支笏湖）	—	—	—	—	78.340	—

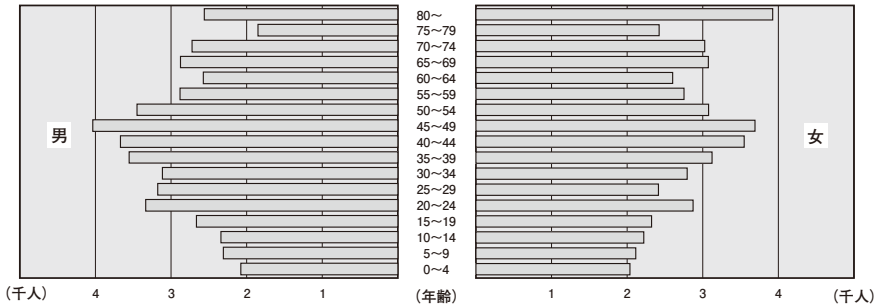
1　令和２年４月１日現在
2　平和、祝梅、北信濃の（　）内は営内自衛官を再掲
3　町名別面積は、庁内各部署の資料から算出した推計値
「住民基本台帳」（市民課）

10　年齢階級別人口

区　　分	人口			構成比（%）		
	総　数	男	女	総　数	男	女
総　　数	**97,198**	**49,183**	**48,015**	**100.0**	**100 .0**	**100.0**
年少人口（0～14）	**13,096**	**6,725**	**6,371**	**13.5**	**13.7**	**13.3**
0　～　4	4,114	2,077	2,037	4.2	4.2	4.2
5　～　9	4,422	2,308	2,114	4.6	4.7	4.4
10　～　14	4,560	2,340	2,220	4.7	4.8	4.6
生産年齢人口（15～64）	**61,647**	**32,451**	**29,196**	**63.4**	**66.0**	**60.8**
15　～　19	4,987	2,664	2,323	5.1	5.4	4.8
20　～　24	6,207	3,335	2,872	6.4	6.8	6.0
25　～　29	5,590	3,176	2,414	5.8	6.5	5.0
30　～　34	5,908	3,114	2,794	6.1	6.3	5.8
35　～　39	6,677	3,554	3,123	6.9	7.2	6.5
40　～　44	7,217	3,669	3,548	7.4	7.5	7.0
45　～　49	7,726	4,035	3,691	8.0	8.2	7.7
50　～　54	6,527	3,450	3,077	6.7	7.0	6.4
55　～　59	5,633	2,881	2,752	5.8	5.9	5.7
60　～　64	5,175	2,573	2,602	5.3	5.2	5.4
老年人口（65以上）	**22,455**	**10,007**	**12,448**	**23.1**	**20.3**	**25.9**
65　～　69	5,949	2,875	3,074	6.1	5.9	6.4
70　～　74	5,748	2,722	3,026	5.9	5.5	6.3
75　～　79	4,273	1,850	2,423	4.4	3.8	5.1
80　～	6,485	2,560	3,925	6.7	5.2	8.2

1　令和２年４月１日現在
「住民基本台帳」（市民課）

年齢別人口ピラミッド



市民課

11　産業別人口

区　　分	人口			構成比（%）		
	総　数	男	女	総　数	男	女
総　　数	**46,015**	**27,907**	**18,108**	**100.0**	**100.0**	**100.0**
第1次産業	**1,303**	**754**	**549**	**2.8**	**2.7**	**3.0**
農業、林業	1,298	753	545	2.8	2.7	3.0
漁業	5	1	4	0.0	0.0	0.0
第2次産業	**8,253**	**6,186**	**2,067**	**17.9**	**22.2**	**11.4**
鉱業、採石業砂利採取業	16	14	2	0.0	0.1	0.0
建設業	2,231	1,915	316	4.8	6.9	1.7
製造業	6,006	4,257	1,749	13.1	15.3	9.7
第3次産業	**34,047**	**19,563**	**14,484**	**74.0**	**70.1**	**80.0**
電気・ガス・熱供給・水道業	165	138	27	0.4	0.5	0.1
情報通信業	301	208	93	0.7	0.7	0.5
運輸業、郵便業	3,593	2,573	1,020	7.8	9.2	5.6
卸売業、小売業	5,511	2,166	3,345	12.0	7.8	18.5
金融業、保険業	523	182	341	1.1	0.7	1.9
不動産業、物品賃貸業	916	570	346	2.0	2.0	1.9
学術研究、専門・技術サービス業	691	410	281	1.5	1.5	1.6
宿泊業、飲食サービス業	2,870	966	1,904	6.2	3.5	10.5
生活関連サービス業、娯楽業	2,062	818	1,244	4.5	2.9	6.9
教育、学習支援業	1,350	597	753	2.9	2.1	4.2
医療、福祉	3,848	784	3,064	8.4	2.8	16.9
複合サービス事業	217	140	77	0.5	0.5	0.4
サービス業（他に分類されないもの）	2,970	1,850	1,120	6.5	6.6	6.2
公務（他に分類されるものを除く）	9,030	8,161	869	19.6	29.2	4.8
分類不能の産業	**2,412**	**1,404**	**1,008**	**5.2**	**5.0**	**5.6**

1　平成27年10月1日現在
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

12　労働力人口の推移

年	人口総数	15歳以上人口	労働力人口
7	84,866	68,986	45,848
12	88,897	73,870	47,208
17	91,437	77,015	47,491
22	93,604	79,554	47,639
27	**95,648**	**81,887**	**47,948**

1　各年10月1日調査
2　表133に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

13　労働力状態別・男女別人口

区　　分	人　　口			構　成　比（%）			男女別割合（%）	
	総　数	男	女	総　数	男	女	男	女
15歳以上人口	**81,887**	41,485	40,402	**100.0**	100.0	100.0	50.7	49.3
労働力人口	**47,948**	29,116	18,832	**58.6**	70.2	46.6	60.7	39.3
就　業　者	**46,015**	27,907	18,108	**56.2**	67.3	44.8	60.6	39.4
完全失業者	**1,933**	1,209	724	**2.4**	2.9	1.8	62.5	37.5
非労働力人口	**29,641**	9,992	19,649	**36.2**	24.1	48.6	33.7	66.3

1　平成27年10月１日調査
2「労働力不詳」は総数に含む
3　表134に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

14　人口と労働力人口増減の推移

年	増　減　数					増　減　率（%）				
	人口総数	15歳以上人口	労働力人口			人口総数	15歳以上人口	労働力人口		
			総　数	男	女			総　数	男	女
7	5,920	6,611	4,670	2,306	2,364	7.5	10.6	11.3	8.2	18.1
12	4,031	4,884	1,360	426	934	4.7	7.1	3.0	1.4	6.0
17	2,540	1,122	283	△ 644	927	2.9	4.3	0.6	△ 2.1	5.7
22	2,167	2,539	148	△ 477	625	2.4	3.3	0.3	△ 1.6	3.6
27	**2,044**	**2,333**	**309**	**△ 612**	**921**	**2.2**	**2.9**	**0.6**	**△ 2.1**	**5.1**

1　各年10月１日調査
2　表135に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

15　世帯人員別一般世帯数の推移

年	一　般　世　帯												
	世　帯　数											世帯人員	1世帯当たり人員
	総　数	世帯人員が１人	2	3	4	5	6	7	8	9	10人以上		
7	29,937	7,518	7,768	5,884	5,896	2,170	496	162	30	8	5	79,615	2.66
12	33,330	9,371	9,235	6,473	5,728	1,920	455	112	25	8	3	83,589	2.51
17	35,786	10,856	10,210	6,863	5,684	1,684	360	101	18	7	3	86,130	2.41
22	38,374	12,567	11,091	7,116	5,615	1,520	346	86	25	4	4	89,113	2.32
27	**40,465**	**14,048**	**11,872**	**7,308**	**5,267**	**1,501**	**352**	**81**	**28**	**6**	**2**	**91,267**	**2.26**

1　各年10月１日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

16　国籍別外国人住民登録者数の推移

国　　籍	27　年	28　年	29　年	30　年	**元　年**
総　　数	480	525	564	675	**791**
韓国・朝鮮	150	164	165	182	**173**
中　　国	130	136	147	155	**174**
フィリピン	38	36	41	62	**90**
アメリカ	25	23	24	30	**27**
その他	137	166	187	246	**327**

1　各年12月31日現在
「住民基本台帳」（市民課）

17　人口動態の推移

年・月	人口増減数	自然動態			社会動態				婚姻	離婚
		増減数	出生	死亡	増減数	転入	転出	その他		
21年	366	260	915	655	106	5,653	5,582	35	662	220
22年	305	328	959	631	△23	5,310	5,358	25	621	220
23年	571	276	932	656	295	5,676	5,434	53	601	210
24年	548	251	926	675	297	5,329	5,489	457	585	245
25年	543	276	943	667	267	5,756	5,529	40	589	205
26年	43	251	916	665	△208	5,593	5,823	22	579	213
27年	393	241	903	662	152	5,942	5,844	54	549	225
28年	489	150	897	747	339	5,921	5,579	−3	535	210
29年	423	85	804	719	338	6,195	5,872	15	548	209
30年	214	△4	776	780	218	6,244	6,051	25	547	191
元年	**505**	**49**	**812**	**763**	**456**	**6,575**	**6,134**	**15**	**516**	**201**
1月	9	△14	68	82	23	285	256	△6	34	13
2月	△55	5	65	60	△60	280	339	△1	35	19
3月	△408	11	63	52	△419	1,455	1,882	8	64	20
4月	860	10	73	63	850	1,302	447	△5	27	12
5月	△32	8	65	57	△40	295	334	△1	55	13
6月	△111	△14	57	71	△97	310	412	5	58	14
7月	33	18	79	61	15	659	650	6	41	17
8月	182	3	69	66	179	563	385	1	31	26
9月	△87	24	74	50	△111	373	490	6	47	12
10月	103	△6	74	80	109	416	304	△3	36	20
11月	49	20	70	50	29	312	288	5	49	15
12月	△38	△16	55	71	△22	325	347	0	39	20

1　社会動態「その他」は職権による登録の抹消及び職権回復等
「住民基本台帳」（市民課）

18　人口の都道府県別移動状況（令和元年）

区　　分	転　入	転　出	超過数	構成比（%）	
				転　入	転　出
総　　数	**6,575**	**6,134**	**441**	**100.0**	**100.0**
道内計	3,914	3,716	198	59.5	60.6
道外計	2,661	2,418	243	40.5	39.4
青森県	112	88	24	1.7	1.4
宮城県	87	60	27	1.3	1.0
秋田県	16	29	△13	0.2	0.5
山形県	33	16	17	0.5	0.3
福島県	23	31	△8	0.3	0.5
茨城県	91	57	34	1.4	0.9
栃木県	46	19	27	0.7	0.3
埼玉県	260	193	67	4.0	3.1
千葉県	149	168	△19	2.3	2.7
東京都	254	440	△186	3.9	7.2
神奈川県	265	188	77	4.0	3.1
新潟県	17	16	1	0.3	0.3
石川県	35	23	12	0.5	0.4
岐阜県	24	21	3	0.4	0.3
静岡県	158	91	67	2.4	1.5
愛知県	84	113	△29	1.3	1.8
京都府	20	33	△13	0.3	0.5
大阪府	62	75	△13	0.9	1.2
兵庫県	45	43	2	0.7	0.7
広島県	16	11	5	0.2	0.2
福岡県	122	111	11	1.9	1.8
熊本県	17	26	△9	0.3	0.4
大分県	8	16	△8	0.1	0.3
宮崎県	34	35	△1	0.5	0.6
鹿児島県	21	26	△5	0.3	0.4
沖縄県	76	60	16	1.2	1.0
その他の県	259	248	11	3.9	4.0
国　　外	327	181	146	5.0	3.0

1　全国都道府県順に掲載した
「住民基本台帳」（市民課）

19　人口集中地区（ＤＩＤ）の推移

区　分	12　年			17　年			22　年			27　年		
	市全域	人口集中地区	市全域比（%）	市全域	人口集中地区	市全域比（%）	市全域	人口集中地区	市全域比（%）	市全域	人口集中地区	市全域比（%）
人　口	88,897	72,908	82.0	91,437	71,940	78.7	93,604	78,977	84.4	95,648	80,072	83.7
面積(㎢)	594.95	31.7	5.3	594.95	31.53	5.3	594.95	32.69	5.5	594.5	33.02	5.6
人口密度	149.4	2,299	—	153.7	2,281.6	—	157.3	2,415.9	—	160.9	2,425	—

1　各年10月１日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

20　昼間人口の推移

	12　年		17　年		22　年		27　年	
昼間人口		92,338		96,531		98,026		99,138
常住人口		88,860		91,388		93,604		95,648
人口差		3,478		5,143		4,422		3,490
人口比率(%)		103.9		105.6		104.7		103.6
流入人口		11,623		13,702		13,681		13,874
通勤者		10,511		12,389		12,420		12,777
	恵庭市	4,349	恵庭市	5,164	恵庭市	5,085	恵庭市	5,501
	札幌市	2,790	札幌市	3,265	札幌市	3,456	札幌市	3,419
	苫小牧市	1,137	苫小牧市	1,277	苫小牧市	1,336	苫小牧市	1,365
	その他	2,235	その他	2,683	その他	2,543	その他	2,492
通学者		1,112		1,313		1,261		1,097
	札幌市	413	札幌市	447	札幌市	365	札幌市	293
	恵庭市	309	恵庭市	445	恵庭市	470	恵庭市	395
	北広島市	271	北広島市	197	北広島市	194	北広島市	153
	その他	119	その他	224	その他	232	その他	256
流出人口		8,132		8,513		10,106		10,454
通勤者		5,947		6,429		7,748		8,200
	恵庭市	1,967	恵庭市	1,959	恵庭市	2,211	恵庭市	2,478
	札幌市	1,744	札幌市	1,745	札幌市	1,748	札幌市	1,960
	苫小牧市	1,150	苫小牧市	1,352	苫小牧市	1,602	苫小牧市	1,907
	その他	1,086	その他	1,373	その他	2,187	その他	1,855
通学者		2,185		2,084		2,358		2,254
	札幌市	911	札幌市	853	札幌市	937	札幌市	998
	恵庭市	577	恵庭市	561	恵庭市	588	恵庭市	580
	北広島市	357	北広島市	305	北広島市	307	北広島市	255
	その他	340	その他	365	その他	526	その他	421

1　各年10月１日調査
2　常住人口＝確定人口－年齢不詳の人口
3　昼間人口（常住人口－流出人口＋流入人口）の算出に際しては、15歳未満通学者を含めているが、流出人口通学者の算出には15歳以上の者のみを集計しているため、必ずしも算式に当てはまらない
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

21　北海道に見る千歳市の人口

区　分	人　　口		
	総　　数	男	女
北　海　道	5,267,762	2,488,629	2,779,133
札　幌　市	1,959,313	915,342	1,043,971
旭　川　市	334,070	155,194	178,876
函　館　市	255,308	116,270	139,038
苫小牧市	171,242	83,705	87,537
釧　路　市	168,086	79,066	89,020
帯　広　市	166,043	79,205	86,838
江　別　市	119,580	56,888	62,692
北　見　市	116,630	55,408	61,222
小　樽　市	114,425	51,655	62,770
千　歳　市	97,552	49,517	48,035
室　蘭　市	82,977	39,761	43,216
岩見沢市	80,410	37,572	42,838
恵　庭　市	70,049	34,097	35,952
石　狩　市	58,288	28,177	30,111
北広島市	58,265	27,950	30,315
登　別　市	47,608	22,749	24,859
北　斗　市	46,031	21,588	24,443
滝　川　市	39,861	18,946	20,915
網　走　市	35,039	17,148	17,891
伊　達　市	33,896	15,755	18,141
稚　内　市	33,605	16,507	17,098
名　寄　市	27,277	13,292	13,985
根　室　市	25,457	12,153	13,304
富良野市	21,593	10,161	11,432
紋　別　市	21,582	10,114	11,468
美　唄　市	21,058	10,003	11,055
留　萌　市	20,715	9,917	10,798
深　川　市	20,422	9,580	10,842
士　別　市	18,562	8,780	9,782
砂　川　市	16,848	7,803	9,045
芦　別　市	13,204	6,036	7,168
赤　平　市	9,906	4,501	5,405
三　笠　市	8,302	3,758	4,544
夕　張　市	7,769	3,612	4,157
歌志内市	3,130	1,474	1,656
町　村　計	943,659	454,945	488,714

1　令和２年１月１日調査
北海道総合政策部地域振興局市町村課「住民基本台帳人口・世帯数」（総務課）

人口集中地区（ＤＩＤ）地図

人口集中区域（ＤＩＤ）とは

国勢調査区を基礎単位として、人口密度が4,000人／㎢以上の調査区が隣接し、かつ、人口5,000人以上を有している地域

224　千 歳 市　Chitose-shi

1　平成27年10月１日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

あらまし

平成26年に実施された経済センサス（基礎調査）では、千歳市内の事業所数は3,269事業所、従業者数は50,231人で、前回調査である平成21年と比較すると、事業所数は125事業所（3.7％）の減となりましたが、従業者数は748人（1.5％）の増となりました。

産業別事業所数（構成比）をみると、卸売・小売業が857事業所（26.2％）、宿泊・飲食サービス業が631事業所（19.3％）、生活関連サービス・娯楽業が311事業所（9.5％）と続いています。

また、産業別従業者数（構成比）をみると、公務が10,042人（20.0％）、製造業が7,172人（14.3％）、運輸・郵便業が4,792人（9.5％）と続いています。

千歳市における事業所の特徴として、二点が挙げられます。

一点目は、宿泊・飲食サービス業と運輸・郵便業の割合が高いところにあります。千歳市内の事業所数と従業者数の構成比（括弧内＝北海道内構成比）は、それぞれ宿泊・飲食サービス業が19.3％・9.3％（13.9％・8.9％）、運輸・郵便業が4.2％・9.5％（2.7％・5.8％）であり、ともに北海道内構成比を上回る結果となっております。この理由は、宿泊・飲食サービス業については観光地支笏湖のほか、空港利用者が到着日・出発日の前後泊に利用するホテルなどが多いこと、運輸・郵便業については、新千歳空港を核として、「空・陸・海」が有機的に結びつく立地条件の良さなどが挙げられます。

二点目は、製造業の従業者数の構成比が特に高いところにあります。千歳市内製造業の事業所数・従業者数の構成比（括弧内＝北海道内構成比）は、それぞれ4.7％・14.3％（4.8％・8.2％）となっています。これは、千歳市内には１事業所当たりの従業者数が多い大規模な工場が多く立地しているためです。

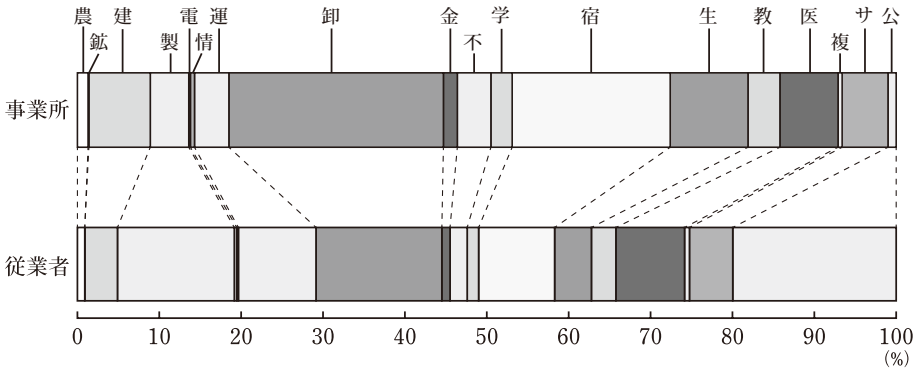
南千歳駅に隣接する千歳オフィス・アルカディアには、道内最大級のアウトレットモールがあり、従業者数は1,000人規模となっています。また、新千歳空港から至近距離にある千歳美々ワールドでは、国内最大級のレンタカー事業所が集中しています。

22　産業別事業所と従業者

産業分類	事業所数	構成比（%）	従業者数	構成比（%）
全産業	**3,269**	**100.0**	**50,231**	**100.0**
農・林・漁業	42	1.3	439	0.9
鉱・採石・砂利採取業	2	0.1	3	0.0
建設業	245	7.5	2,013	4.0
製造業	153	4.7	7,172	14.3
電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.2	140	0.3
情報通信業	17	0.5	82	0.2
運輸・郵便業	136	4.2	4,792	9.5
卸売・小売業	857	26.2	7,717	15.4
金融・保険業	56	1.7	493	1.0
不動産・物品賃貸業	135	4.1	1,066	2.1
学術研究、専門・技術サービス業	85	2.6	706	1.4
宿泊・飲食サービス業	631	19.3	4,670	9.3
生活関連サービス・娯楽業	311	9.5	2,242	4.5
教育、学習支援業	129	3.9	1,472	3.0
医療、福祉	232	7.1	4,210	8.4
複合サービス事業	17	0.5	293	0.6
サービス業（他に分類されないもの）	182	5.6	2,679	5.3
公務（他に分類されないもの）	32	1.0	10,042	20.0

1　平成26年７月１日調査
総務省統計局「経済センサス（基礎調査）」（総務課）

事業所産業別構成比



総務省統計局「経済センサス（基礎調査）」（総務課）

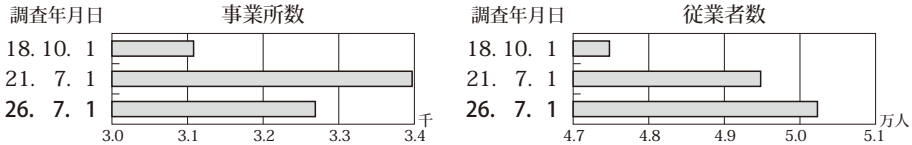
23　事業所と従業者の推移

調査年月日	事業所			従業者		
	事業所数	対前回調査との比較		従業者数	対前回調査との比較	
		増減数	増減率（%）		増減数	増減率（%）
（1）全事業所						
18. 10. 1	3,105	△ 92	△ 2.9	47,487	△ 495	△ 1.0
21. 7. 1	3,394	289	9.3	49,483	1,996	4.2
26. 7. 1	**3,269**	**△ 125**	**△ 3.7**	**50,231**	**748**	**1.5**
（2）非農林漁業						
18. 10. 1	3,082	△ 88	△ 2.8	47,165	△ 144	△ 0.3
21. 7. 1	3,350	268	8.7	49,036	1,871	4.0
26. 7. 1	**3,227**	**△ 123**	**△ 3.7**	**49,792**	**756**	**1.5**
（3）民営事業所						
18. 10. 1	2,960	△ 82	△ 2.7	34,376	△ 975	△ 2.8
21. 7. 1	3,274	314	10.6	37,138	2,762	8.0
24. 2. 1	3,006	△ 268	△ 8.2	34,957	△ 2,181	△ 5.9
26. 7. 1	**3,142**	**136**	**4.5**	**38,058**	**3,101**	**8.9**

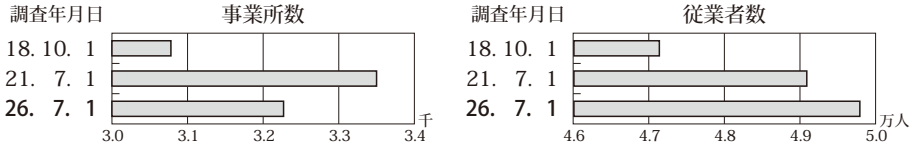
総務省統計局「事業所・企業統計調査」・「経済センサス（基礎調査）」・「経済センサス（活動調査）」（総務課）

事業所数・従業者数推移

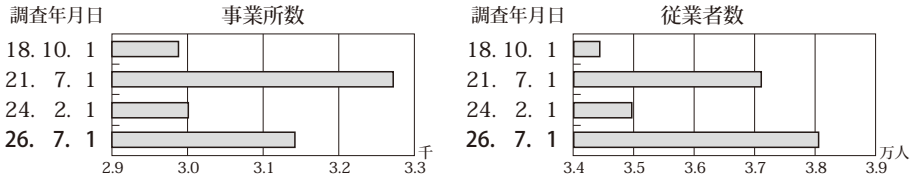
（1）全事業所



（2）非農林漁業



（3）民営事業所



総務省統計局「事業所・企業統計調査」・「経済センサス（基礎調査）」・「経済センサス（活動調査）」（総務課）

24　産業別・従業者規模別事業所と従業者

産業分類	総数		民営							
			総数		1～4人		5～9人		10～19人	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全産業	**3,269**	**50,231**	**3,142**	**38,058**	**1,578**	**3,519**	**675**	**4,449**	**468**	**6,336**
農・林・漁業	42	439	38	428	11	29	13	86	9	108
鉱・採石・砂利採取業	2	3	2	3	2	3	—	—	—	—
建設業	245	2,013	245	2,013	109	278	68	463	49	667
製造業	153	7,172	153	7,172	38	93	30	200	23	339
電気・ガス・熱供給・水道業	7	140	3	89	1	2	—	—	—	—
情報通信業	17	82	17	82	9	18	5	28	3	36
運輸・郵便業	136	4,792	136	4,792	40	89	26	177	22	315
卸売・小売業	857	7,717	857	7,717	396	1,029	230	1,503	137	1,843
金融・保険業	56	493	56	493	27	65	14	97	9	123
不動産・物品賃貸業	135	1,066	131	1,048	73	149	26	181	17	214
学術研究、専門・技術サービス業	85	706	79	587	54	126	10	57	10	130
宿泊・飲食サービス業	631	4,670	629	4,658	355	756	119	791	93	1,260
生活関連サービス・娯楽業	311	2,242	306	2,204	218	387	39	261	23	316
教育、学習支援業	129	1,472	95	555	71	102	7	40	8	121
医療、福祉	232	4,210	204	3,311	72	171	52	340	42	548
複合サービス事業	17	293	17	293	6	19	9	50	—	—
サービス業（他に分類されないもの）	182	2,679	174	2,613	96	203	27	175	23	316
公務（他に分類されないもの）	32	10,042	—	—	—	—	—	—	—	—

民営									国、地方公共団体		産業分類
20～29人		30～49人		50～99人		100人以上		派遣従業者のみ			
事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	従業者数	事業所数	従業者数	
173	**4,034**	**105**	**3,943**	**76**	**5,324**	**41**	**10,453**	**26**	**127**	**12,173**	**全産業**
1	20	3	112	1	73	—	—	—	4	11	農・林・漁業
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	鉱・採石・砂利採取業
12	285	6	248	1	72	—	—	—	—	—	建設業
13	312	16	638	16	1,149	16	4,441	1	—	—	製造業
—	—	2	87	—	—	—	—	—	4	51	電気・ガス・熱供給・水道業
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	情報通信業
12	273	16	619	11	690	8	2,629	1	—	—	運輸・郵便業
43	991	18	688	15	1,165	2	498	16	—	—	卸売・小売業
1	28	3	110	1	70	—	—	1	—	—	金融・保険業
10	231	4	150	—	—	1	123	—	4	18	不動産・物品賃貸業
2	53	—	—	3	221	—	—	—	6	119	学術研究、専門・技術サービス業
35	801	14	511	9	539	—	—	4	2	12	宿泊・飲食サービス業
11	262	5	170	9	614	1	194	—	5	38	生活関連サービス・娯楽業
6	142	2	64	1	86	—	—	—	34	917	教育、学習支援業
17	399	9	302	6	421	6	1,130	—	28	899	医療、福祉
1	25	—	—	—	—	1	199	—	—	—	複合サービス事業
9	212	7	244	3	224	6	1,239	3	8	66	サービス業（他に分類されないもの）
—	—	—	—	—	—	—	—	—	32	10,042	公務（他に分類されないもの）

1　平成26年７月１日調査
総務省統計局「経済センサス（基礎調査）」（総務課）

25　経営組織別事業所と従業者

区　分	事業所数	構成比（%）	従業者数	構成比（%）
総　　数	**3,269**	**100.0**	**50,231**	**100.0**
民　　営	3,142	96.1	38,058	75.7
個人経営	887	27.1	2,325	4.6
法　　人	2,240	68.5	35,667	71.0
・会社	2,014	61.6	31,474	62.7
・会社以外の法人	226	6.9	4,193	8.3
法人でない団体	15	0.5	66	0.1
国	25	0.8	9,448	18.8
地方公共団体	102	3.1	2,725	5.4

1　平成26年７月１日調査
総務省統計局「経済センサス（基礎調査）」（総務課）

市の花　ツツジ

昭和61(1986)年４月１日制定

（ツツジ科の常緑又は落葉低木）

春から夏にかけ紫・白・紅色などの花が咲きます。

種類が多く、鉢植えや造園用に適し栽培管理もしやすく、家庭での植栽も多く見られます。

あらまし

2015年農林業センサスによると、平成27年２月の千歳市における総農家数は223戸、農業就業人口は465人、そのうち専業農家は123戸で55％となっています。

千歳市は、農業基盤整備をもとに大規模経営と近代化を進め、令和元年の作付面積の大きな作物を見ると、小麦（1,320ha）、てん菜（674ha）、大豆（617ha）などとなっていて高い生産量を誇っています（全作付面積5,870ha うち田638ha、畑5,230ha）。

農業を取り巻く状況は農業者の高齢化、後継者不足などにより生産力の低下が懸念されるため、平成23年度にスタートした千歳市農業振興計画（第３次）の基本目標のもと、「農業経営の強化」「農業の担い手の育成・確保」「企業と連携した農業」など各種施策を展開しています。

令和元年度における千歳市の森林面積は31,882haで林野率は54％、そのうち82％が国立公園支笏湖地域から市街地へと続く国有林野となっています。民有林は主に東部地区に点在し森林面積は3,909haで占有率は12％、人工林率は国有林、民有林とも25％前後となっています。

水産業では、国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所が、明治21年から続くサケ・マス増殖のため、千歳川でサケ、サクラマスのふ化・放流事業を実施し、北海道日本海地域におけるサケ・マス増殖事業の中心的な役割を担っています。

令和元年度には、約26万尾のサケが捕獲され、3,160万尾の稚魚が今春放流されました。

支笏湖では、ヒメマスの資源保護と増殖のために明治以来100年以上にわたり、ふ化事業が実施されています。平成10年からは水産庁から千歳市に施設及び事業が引き継がれた千歳市支笏湖ヒメマスふ化場（26年12月改築）において、親魚の採捕、採卵、ふ化・放流などのヒメマス保護事業を実施しています。20年３月には支笏湖漁業協同組合が漁業権を取得し、ヒメマスを次の世代に継承するため増殖事業を行っています。

27　農業従事者数と耕地面積の推移

（1）総農家数の推移（販売農家及び自給的農家）

（単位　戸）

年	総農家数	販売農家数	自給的農家数
17	283	375	3
22	231	211	20
27	**223**	**181**	**42**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

（2）農業従事者数と経営耕地面積の推移（販売農家）

（単位　ha）

年	農家数	農家人口		経営耕地面積			
		総数	うち農業従業者数	総数	田	畑	樹園地
17	275	1,052	765	5,553	535	4,999	19
22	211	787	540	5,345	571	4,760	14
27	**181**	**676**	**465**	**5,035**	**604**	**4,410**	**21**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

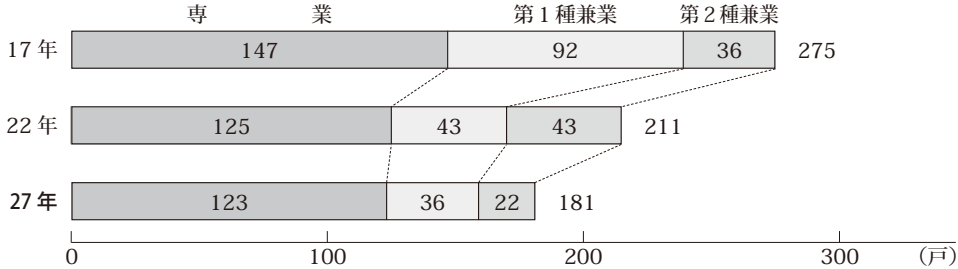
28　専業・兼業別農家の推移（販売農家）

（単位　戸）

年	農家数	専業農家	兼業農家		
			総数	第１種兼業	第２種兼業
17	275	147	128	92	36
22	211	125	86	43	43
27	**181**	**123**	**58**	**36**	**22**

1　各年２月１日調査
2　「第１種兼業農家」とは農業所得が兼業所得より家計に占める割合が多い農家をいう
3　「第２種兼業農家」とは農業所得が兼業所得より家計に占める割合が少ない農家をいう
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

専業・兼業別農家戸数の推移



農林水産省「農林業センサス」（総務課）

29　経営耕地利用別農家と面積の推移（販売農家）

（単位　戸、ha）

年	経営耕地総面積	田					畑					樹園地		年
		実農家数	面積計	稲を作った田	稲以外の作物を作った田	不作付地	実農家数	面積計	普通畑	飼料用作物・牧草専用地	不作付地	実農家数	面積計	
17	5,553	96	535	181	346	9	244	4,999	3,427	1,527	45	21	19	17
22	5,345	75	571	152	393	27	197	4,760	3,061	1,672	28	17	14	22
27	**5,035**	**88**	**604**	**129**	**459**	**16**	**169**	**4,410**	**2,824**	**1,470**	**117**	**22**	**21**	**27**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

30　家畜飼養農家と飼養頭羽数の推移（販売農家）

（単位　頭、百羽）

年	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数
17	57	4,787	7	502	11	3,648	2	X
22	53	4,284	10	592	3	344	1	X
27	**47**	**4,503**	**12**	**X**	**6**	**9,246**	**5**	**16,905**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

31　農業用機械所有農家数と所有台数の推移（販売農家）

年	動力田植機		トラクター		コンバイン	
	農家数	台　数	農家数	台　数	農家数	台　数
17	…	…	…	968	…	…
22	33	35	197	801	72	105
27	**19**	**19**	**162**	**761**	**62**	**90**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

32　農業経営体

（1）経営組織別農業経営体の推移

年	総 数	法人化している							地方公共団体	法人化していない	
		小　計	農　事組合法人	会　社		農　協	その他の各種団体	その他の法　人			家族経営体
				株式会社	その他会社						
17	308	31	4	2	23	2	…	…	1	276	274
22	230	23	3	19	－	1	…	…	1	206	203
27	**216**	**42**	**5**	**35**	**－**	**－**	**1**	**1**	**－**	**174**	**173**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

ハスカップの実

美しい青紫色の実に独特の甘酸っぱい風味で、千歳のシンボルになっているハスカップ。最近では一村一品としてジャム、ゼリー、ワインなど約30種の加工品が作られ全国的にも有名です。今では栽培する農家も増えてきましたが、最初の一粒はシベリアから海を越えて渡り鳥が運んできたといわれています。

(2) 農業経営体数と経営耕地面積の推移（除販売農家）

（単位　ha）

年	経営体数	耕地面積			
		総数	田	畑	樹園地
17	33	934	75	846	13
22	19	966	61	903	3
27	**14**	**402**	**33**	**369**	**－**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

(3) 家畜飼養農業経営体の飼養頭羽数の推移（除販売農家）

（単位　頭、千羽）

年	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数
17	7	1,049	5	1,916	3	5,700	7	1,369
22	5	713	1	X	1	X	2	X
27	**2**	**348**	**1**	**X**	**4**	**8,010**	**3**	**1,688**

1　各年２月１日調査
農林水産省「農林業センサス」（総務課）

33　農地転用の推移

（単位　ha）

年度	総数		住宅用地		工場用地		その他	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積
27	22	3.7	16	2.8	1	0.2	5	0.7
28	10	12.0	8	10.5	—	—	2	1.5
29	12	4.1	9	1.0	—	—	3	3.1
30	11	1.8	11	1.8	—	—	—	—
元	**12**	**1.7**	**12**	**1.7**	**—**	**—**	**—**	**—**

1　住宅用地とは一般住宅、農家住宅、倉庫、車庫及び農業用施設を含む
2　火山礫採取等一時転用は含まない
農業委員会事務局

34　畜産防疫及び殺処分数の推移

年度	区分	鶏	豚	牛				馬	
		ニューカッスル病	豚丹毒	ＩＢＲ	アカバネ	結核	ヨーネ病ブルセラ病	伝貧	インフルエンザ
		延べ							
27	防疫	3,849,077	—	1,875	17	—	23	—	—
	殺処分	—	—	—	—	—	—	—	—
28	防疫	3,658,105	—	1,826	13	—	1,001	—	—
	殺処分	—	—	—	—	—	1	—	—
29	防疫	4,225,116	—	1,675	11	—	1,586	27	—
	殺処分	—	—	—	—	—	—	—	—
30	防疫	4,030,775	—	1,925	11	—	—	—	—
	殺処分	—	—	—	—	—	—	—	—
元	防疫	**4,115,776**	**—**	**1,481**	**9**	**—**	**794**	**—**	**—**
	殺処分	**—**	**—**	**—**	**—**	**—**	**—**	**—**	**—**

1　ＩＢＲ：牛伝染性鼻気管支炎、３種～５種混合含む
2　インフルエンザ：ウイルス３種混合含む
農業振興課

35　主要農産物生産量

農産物	作付面積(ha)	生産量(t)
水稲	96	465
小麦	1,320	7,030
大豆	617	1,390
馬鈴薯	132	4,670
てん菜	674	47,400

1　馬鈴薯は平成30年、それ以外は令和元年の値
北海道農林水産統計年報（農業振興課）

37　市営牧場

(1) 施設概要

施設名	所在地	面積(ha)
市営牧場	駒里1032番地の1外	220
育成畜舎	駒里1032番地の1	

牧場　放牧地　131ha　　**放牧期間**　5月15日～10月15日
　　その他　89ha　　**舎飼期間**　10月16日～ 5月14日
　　計　220ha

農業振興課

(2) 利用状況の推移

（単位　頭）

年度	放牧		舎飼		計
	牛		牛		
	実頭数	延頭数	実頭数	延頭数	延頭数
27	339	54,648	295	47,773	102,421
28	323	52,428	287	44,758	97,186
29	331	53,622	291	50,466	104,088
30	246	54,266	291	51,984	106,250
元	**283**	**60,174**	**329**	**59,043**	**119,217**

農業振興課

38　農業基盤整備事業

(1) 国営土地改良事業

完了事業（S50年以降完了）

事業名	地区名	受益 面積(ha)	受益 戸数
かんがい排水事業（施設改修）	長都	1,512 （うち千歳市 527）	225 （うち千歳市 52）
直轄明渠排水事業	千歳	450	67
総合かんがい排水事業	ネシコシ	2,878	312
農用地等緊急保全整備事業	石狩川下流左岸	14,470 （うち千歳市 550）	2,185 （うち千歳市 78）
かんがい排水事業	道央	28,823 （うち千歳市 608）	3,417 （うち千歳市 113）
	道央用水（一期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）
	道央用水（二期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）
	道央用水（三期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）

1「ℓ」は延長、「φ」は直径、「Q」は計画排水量、「A」は面積を表す
農村整備課

全体		施工年度	備考
事業費（千円）	事業量		
310,000	第15号幹線排水路鋼矢板 右　岸　ℓ＝618.63m 左　岸　ℓ＝732.63m 　計　　ℓ＝1,351.26m	S53	千歳市　長沼町
1,349,000	排水機場　φ＝1,000㎜　2台 　　φ＝　600㎜　2台 　　Q＝6.5㎥／S 排水路　2条　ℓ＝3.5km	S59～H2	千歳市
特別 （6,285,000） 一般 （5,482,000） 計 11,767,000	大学排水機場　φ＝2,000㎜　2台 　〃　　φ＝1,350㎜　2台 　〃　　Q＝27.0㎥／S 中央長都排水機場除塵機及び改修 φ=900㎜　3台　φ=500㎜　1台 Q＝5.25㎥／S 排水路12条　ℓ＝29.6km 道　路 8条　ℓ＝12.6km 農地造成　230ha 防風林　ℓ＝3.28km A＝9.8ha	S61～H6	千歳市　長沼町
長都第２工区 8,469,636	漁太排水機場　φ＝1,500 ㎜　3台 　　Q＝13㎥／S 漁太第１集水路　ℓ＝5.6 km 漁太第２集水路　ℓ＝3.1 km 南18号排水機場　φ＝1,350 ㎜　2台 　　Q＝8.5㎥／S	S63～H7	千歳市　江別市　恵庭市　岩見沢市 栗沢町　南幌町　長沼町　北村
80,600,000	排水機場　２か所 揚水機場　７か所 用水路16条　ℓ＝112.5km 排水路24条　ℓ＝80.9 km	S55～H16	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　栗沢町　由仁町 長沼町　南幌町
23,051,000	夕張シューパロダム新設 クォーベツダム改修	H7～H16	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　栗沢町　由仁町 長沼町　南幌町　早来町　追分町
57,316,827	夕張シューパロダム新設	H14～H26	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　岩見沢市　由仁町 長沼町　南幌町　安平町
69,290,000	頭首工　　４か所 揚水機場　　６か所 用水路６条　ℓ＝10.2km	H16～H30	千歳市　江別市　恵庭市　北広島市 夕張市　栗山町　岩見沢市　由仁町 長沼町　南幌町　安平町

(2) 道営土地改良事業

ア　完了事業（S50年以降完了）

事業名	地区名	受益 面積(ha)	受益 戸数	全事業費(千円)
圃場整備	上山口	420 (うち千歳市 227)	127 (うち千歳市 47)	1,675,940
一般農道整備 (基幹舗装)	第2中央	754	71	109,400
排水対策特別	中長都	616 (うち千歳市 400)	129 (うち千歳市 71)	1,029,480
一般農道整備 (基幹舗装)	第2東千歳	805	57	392,460
一般農道整備 (基幹舗装)	第2中央2期	574	71	103,920
圃場整備	釜加	227	67	1,932,788
農免農道整備	根志越	370	60	422,070
圃場整備事業	泉郷	198	42	1,830,540
土地改良総合整備事業	中長都	203	31	346,000
開拓地整備事業	南長都	99	12	146,000
農免農道整備事業	東丘北部	483	29	685,580 (2期分含む)
畑地帯総合土地改良事業	都	342	48	1,533,600
畑地帯総合土地改良事業	長都	196	36	1,620,793
畑地帯総合土地改良事業	東丘	1,151	57	4,476,720
畑地帯総合土地改良事業	新幌	1,193	89	6,866,080
土地改良総合整備事業	釜加	92.6	23	154,500
畑地帯総合整備事業	ネシコシ	198	19	253,814
経営体育成基盤整備事業	泉郷	50	7	49,685
水田振興緊急整備事業	中長都第2	51.3	18	91,964
畑地帯総合整備事業	中央	307.7	43	38,500
基幹水利施設補修事業	南21号	605 (うち千歳市 391.7)	122 (うち千歳市 69)	213,063
畑地帯総合整備事業	新川	28.8	12	52,511
かんがい排水事業 (基幹水利施設保全型)	新幌	934.6	60	112,020

1「ℓ」は延長、「φ」は直径、「Q」は計画排水量、「A」は面積を表す

体 事　　業　　量	施工年度	備　　考
道路（路盤改良）ℓ＝8,996m　道路（舗装）ℓ＝545m 排水路　ℓ＝4,519m　区画整理　A＝420ha 暗渠　A＝420ha	S46～S56	千歳市　恵庭市
道路（舗装）　ℓ＝2,993m	S52～S56	千歳市
排水機場（南21号）　φ＝1,100㎜　2台　Q＝5.0㎥／S （移設）　φ＝　600㎜　1台　Q＝0.75㎥／S 排水路　ℓ＝3,547m	S54～S59	千歳市　恵庭市
道路（舗装）　ℓ＝5,559m	S54～S59	千歳市
道路（舗装）　ℓ＝2,152m	S57～S60	千歳市　長沼町
区画整理　A＝226.9ha　暗渠　A＝226.9ha 農道（防塵）　ℓ＝2,750m　排水路　ℓ＝650m	S49～S63	千歳市
道路（舗装）　ℓ＝3,643m　橋梁　1か所	S60～S63	千歳市
区画整理　A＝ 198.4ha　暗渠　A＝ 197.8ha	S52～H2	千歳市
農道　ℓ＝2,782m　明渠　ℓ＝539m　暗渠　A＝36.4ha	H元～H4	千歳市
道路（改良）ℓ＝1,503m　（舗装）ℓ＝1,503m	H2～H5	千歳市
農道（舗装）ℓ＝5,444m　（改良）ℓ＝5,444m	S63～H7	千歳市　由仁町
農道（舗装）ℓ＝5,916m　（改良）ℓ＝5,916m 明渠　ℓ＝3,525m　暗渠 A＝51.6ha　改良転客土 A＝46.6ha	S61～H8	千歳市
農道（舗装）ℓ＝3,581m　（改良）ℓ＝3,589m 明渠　ℓ＝1,021m　暗渠　A＝33.1ha　排水機場　2か所	S63～H9	千歳市
農道（舗装）ℓ＝12,171m　（改良）ℓ＝14,005m 明渠　ℓ＝13,202m　暗渠　A＝117.8ha　区画　A＝200.5ha 農地造成　A＝44.6ha　営農用水 ℓ＝27,097m　客土 A＝66.2ha	S55～H10	千歳市
農道（舗装）ℓ＝16,559m　（改良）ℓ＝16,559m 明渠　ℓ＝16,061m　暗渠 A＝244.7ha　区画 A＝320.4ha 営農用水　ℓ＝31,425m	S56～H10	千歳市
明渠　ℓ＝236m　暗渠　A＝91.6ha	H11～H14	千歳市
暗渠　A＝197.8ha　心土破砕　A＝158.1ha	H14～H17	千歳市
明渠　ℓ＝80m　暗渠　A＝31.7ha	H15～H17	千歳市
明渠　ℓ＝543m　暗渠　A＝47.7ha	H16～H18	千歳市
明渠　ℓ＝1,262m　暗渠　A＝223.9ha	H16～H19	千歳市
南21号排水機場の施設整備補修	H17～H19	千歳市　恵庭市
暗渠　A＝26.8ha　客土　A＝3.2ha	H20～H22	千歳市
排水路補強・補修　ℓ＝1,371m	H23～H27	千歳市

イ　継続地区

事　業　名	地区名	受　益 面積（ha）	全　体 事　業　内　容
多面的機能 支払事業 （事業開始年度　H26）	釜加・中長都 泉　郷 幌　加 新　川 協　和 東　丘 駒　里 中　央	4,140.84 田　500.63 畑　3,097.28 草地　542.93	農業用排水路や農道などの施設を維持保全する活動や、農村の景観形成など地域共同活動に対する支援

農村整備課

(3) 補助事業

完了地区

事　業　名	地区名	受　益 面積（ha）	戸数	全　体 事業費（千円）	事　業　量
ふるさと農道緊急整備事業 （施工年度　H６～H８）	幌加・新川			48,885	農道（舗装）ℓ＝332.8m （改良）ℓ＝332.8m
農業水利施設台帳整備事業 （施工年度　H７～H９）	千　歳			20,640	排水機場、排水路等の農業水利施設台帳の整備
畜産環境整備特別対策事業	千　歳	2,209.01	58	2,812,274	草地整備　A＝181.91ha 暗渠　A＝92.4ha 施設整備　1式 周辺環境整備　1式

1 「ℓ」は延長、「A」は面積を表す
農村整備課

令和元年度までの実績	令和２年度の予定
事 業 費（千円）	事 業 費（千円）
338,197	62,189

39　森林面積と蓄積量

所有区分	林野率（%）	面積（ha）					蓄積（千㎥）		
		計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹
国有林	44.2	26,275	18,210	6,827	2	1,236	3,743	1,435	2,308
その他国有林	2.9	1,698	1,654	44	－	－	116	17	99
市有林	0.5	324	254	70	－	－	43	18	25
その他民有林	6.0	3,585	2,601	821	162	－	405	167	237
計	**53.6**	**31,882**	**22,719**	**7,762**	**164**	**1,236**	**4,307**	**1,637**	**2,670**

1　平成31年４月１日現在
2　林野率とは市総面積59,450haに対する占有率
北海道水産林務部総務課「北海道林業統計」（農村整備課）

40　国立研究開発法人水産研究・教育機構　北海道区水産研究所千歳さけます事業所

（1）施設概要

所在地　蘭越９番地

第１・第２事業棟（サケ）

ふ化室	ボックス式ふ化器	84台	3,400万粒
養魚池	2,486㎡		3,100万尾
飼育池	3,200㎡		3,000万尾

第３事業棟（サクラマス）

飼育池	120㎡	10万尾

水産研究・教育機構　北海道区水産研究所千歳さけます事業所

人工ふ化放流を行っているサケ・マス類

▼サケ
chum salmon

体長55～85㎝、体重1.5～7.5㎏。韓国から北米のカリフォルニアまで、北太平洋の広範囲に分布。主にベーリング海およびアラスカ湾で２～５年間索餌回遊した後、９～12月に北日本の沿岸へ来遊し、生まれた河川へそ上して産卵する。翌年の３～５月に体長５㎝程度に成長した稚魚は降海し、北太平洋で索餌回遊する。

北日本の主要な漁業対象種であり、各地で人工ふ化放流が行われている。一般にアキサケ、アキアジと呼ばれ、他のさけ・ます類と区別するためにシロザケとも呼ばれる。

▼サクラマス
masu salmon

体長40～65㎝、体重0.8～3.5㎏。北太平洋西部の日本海からオホーツク海及び北日本東部沿岸の狭い範囲に分布。北日本周辺からオホーツク海で１年間索餌回遊した後、４～６月に生まれた河川へそ上し、河川で越夏した後、９～10月に産卵する。稚魚は１～２年河川で生活し、４～６月に体長13㎝程度に成長してから降海し、夏季にオホーツク海、その後は北太平洋で索餌回遊する。

同じ親から生まれた稚魚のうち、雄の一部に一生を淡水で過ごす河川残留型が出現し、ヤマメ（ヤマベ）と呼ばれる。一般に本マス、ママスと呼ばれ、富山の鱒鮨の原料として有名。

▼ベニザケ（ヒメマス）
sockeye salmon

体長40～60㎝、体重0.8～3.0㎏。千島列島・カムチャツカ半島から北米のオレゴンまで、北太平洋の広範囲に分布。北太平洋で１～３年間索餌回遊した後、６～９月に生まれた河川・湖沼へそ上し、上流域の河川で10～11月頃に産卵する。稚魚は１～２年湖沼で生活し、５～６月に体長13㎝程度に成長してから降海し、北太平洋で索餌回遊する。

日本では湖沼型（ヒメマス）が北海道東部の阿寒湖とチミケップ湖に自然分布していたが、現在では支笏湖などの高地の湖沼に移殖されている。湖沼型から降海型のベニザケを育てる技術開発に成功し、安平川など北海道の３河川で人工ふ化放流が行われている。

水産研究・教育機構　北海道区水産研究所千歳さけます事業所

(2) サケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
27	138,274	141,519	279,793	81,703	34,103	31,381	30,935
28	76,717	87,994	164,711	112,347	34,103	30,647	30,373
29	76,959	79,320	156,279	93,756	34,009	30,306	30,190
30	65,949	73,261	139,210	92,660	34,000	30,735	30,353
元	**115,235**	**143,710**	**258,945**	**85,773**	**34,600**	**32,019**	**31,635**

1　令和元年度は確定値（放流数は生まれ年）
水産研究・教育機構　北海道区水産研究所　千歳さけます事業所

(3) サクラマス河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
27	76	46	122	120	120	111	107
28	366	307	673	130	130	113	106
29	57	43	100	90	90	73	67
30	832	550	1,382	130	130	121	118
元	**389**	**294**	**683**	**131**	**130**	**108**	**100**

1　令和元年度は概数値（放流数は生まれ年）
水産研究・教育機構　北海道区水産研究所　千歳さけます事業所

(4) ベニザケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
27	31	33	64	60	60	54	51
28	58	153	211	92	92	83	74
29	189	180	369	275	275	200	118
30	374	394	768	191	191	113	100
元	**1,312**	**880**	**2,192**	**210**	**210**	**141**	**100**

1　採卵したベニサケ卵は移殖された静内さけます事業所でふ化飼育等を実施
2　令和元年度は概数値（放流数は生まれ年）
水産研究・教育機構　北海道区水産研究所　千歳さけます事業所

41　泉沢養魚場

施設概要

所在地　泉沢1009番地の19
開　場　昭和57年４月（養魚場休止　平成19年３月）
魚　種　ヒメマス
施設等

最大取水量		7,646㎥／日（5.31㎥／分）
建　物		
ア　管理棟及びふ化室		210.60㎡
イ　稚魚池上屋		141.48㎡
ウ　ポンプ室		18.90㎡
施　設		
ア　養魚池	14面	580㎡
（ア）稚魚池	6面	60㎡
（イ）養魚池	4面	120㎡
（ウ）飼育池	4面	400㎡
イ　導水路その他		一　式
ふ化能力		1,200千粒

現　状

平成23年３月から施設等は、日本海さけ・ます増殖事業協会がサケの２次飼育施設として活用している。

観光課

42　支笏湖ヒメマスふ化場

(1) 施設概要

所在地　支笏湖温泉番外地
開　場　平成10年８月11日（水産庁から譲渡）
　　平成26年12月25日（事務所及びふ化室建替）

施設等
最大取水量　717㎥／日
建　物
ア　事務所及びふ化室等　405.01㎡
イ　倉庫（旧支笏湖ヒメマスふ化場事務所）　140.24㎡
施　設
ア　養魚池　長さ18m　幅1.5m　３列
イ　導水路その他　一式

観光課

(2) ヒメマス親魚捕獲・ふ化の推移

年度	捕獲数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
	尾	尾	尾	千粒	千粒	千尾	千尾
27	1,532	793	2,325	553	220	205	185
28	827	586	1,413	588	200	197	185
29	1,203	587	1,790	535	214	210	185
30	4,520	5,126	9,646	647	221	220	185
元	**4,875**	**7,026**	**11,901**	**828**	**221**	**220**	**185**

観光課

市の花　ハナショウブ

昭和61（1986）年４月１日制定

（アヤメ科の多年草）

新緑を背景に、水辺に紫・白・紫紅色などの花が咲き乱れる風情は日本的情緒にあふれています。

市内でも、ママチ川、勇舞川の河畔などで美しい花が見られます。

あらまし

最先端企業が集まる工業都市

北海道内有数の工業都市ちとせの歴史は、昭和37年に札幌通商産業局（現・北海道経済産業局）が実施した「工業団地造成調査」に端を発します。

駐留米軍の撤退に伴う離職者対策と生産都市への脱皮を図るため、北信濃地区に北海道の自治体で初めてとなる千歳市第１市営工業団地の造成を昭和39年に、千歳市第２市営工業団地の造成を42年に着手、両団地ともに47年に分譲を終了しています。

また、昭和47年からは北海道初の民間デベロッパー方式による千歳第３工業団地を造成し、48年に分譲を終了しました。

昭和54年には恵まれた自然が広がる泉沢地区に千歳臨空工業団地、61年には試験研究用団地として千歳サイエンスパークを、平成４年には千歳市第４工業団地を、さらに６年には学術研究・生産・交流・保健休養の機能を有機的に展開する千歳美々ワールドをそれぞれ造成・分譲してきました。

交通立地条件の良さから物流拠点としての工業系用地の需要に応えるため、平成４年には千歳市根志越業務団地を造成・分譲したほか、24時間対応の機能を持つ広域物流拠点として千歳流通業務団地、８年には国際ビジネス交流拠点として千歳オフィス・アルカディアを造成・分譲しました。27年からは北海道空港㈱が物流拠点として新千歳空港ロジスティクスセンターの分譲を開始しています。

工業団地、工業系団地への進出企業数は260社を超えており、令和元年工業統計調査結果によると、製造品出荷額は約2,535億円で全道35市中、苫小牧市、室蘭市、札幌市に次ぐ第４位となっています。

千歳市では、初期投資の軽減制度や助成金の優遇措置など、企業立地を促進するために様々な制度を充実させ、製造業をはじめ多業種にわたる企業誘致に取り組んでいます。

「空・陸・海」の交通ネットワークが有機的に結びつく北海道の一大交通拠点である千歳市は、豊富な地下水や上下水道、天然ガスなど

の産業インフラが充実し、理工系の専門知識や技能を有する人材にも恵まれた、企業立地に適した環境が整う北海道屈指の工場適地です。

43　工場・従業者と製造品出荷額等の推移

年	工場数		従業者数		製造品出荷額等		
	総数	うち工業団地	総数	うち工業団地	総数（万円）	うち工業団地（万円）	対前年増減率（%）
24	93	68	6,288	6,214	22,301,199	20,726,837	16.1
25	91	…	6,149	…	21,787,285	…	—
26	96	…	7,020	…	24,548,350	…	—
29	93	…	7,372	…	24,554,720	…	—
30	**94**	**…**	**7,438**	**…**	**25,643,215**	**…**	**—**

1　各年12月31日調査（平成29年以降６月１日調査）
2　従業者４人以上の事業所を対象としている
3　「製造品出荷額等」とは製造品出荷額、加工賃及びその他の収入額
4　「うち工業団地」は市独自集計
5　平成23年、27年、28年は調査実施なし
6　平成29年より調査日が６月１日（従前は12月31日）に変更したため、製造品出荷額等については前年の実績により調査

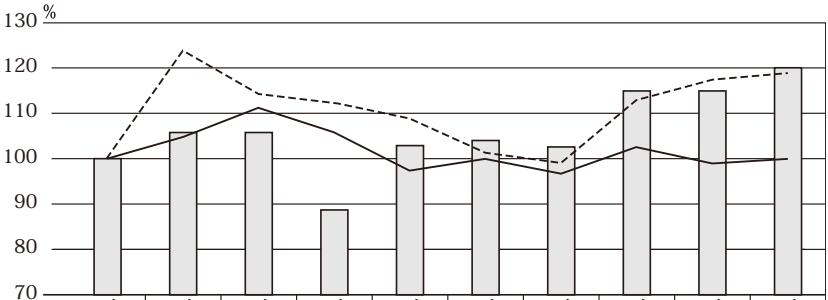
経済産業省「工業統計調査」（総務課）

44　北海道に見る千歳市の工業出荷額等（平成30年）

順位	市名	出荷額等（百万円）
1	苫小牧市	1,139,994
2	室蘭市	667,284
3	札幌市	560,445
4	**千歳市**	**256,432**
5	釧路市	233,695
6	旭川市	215,567
7	恵庭市	153,571
8	函館市	175,416
9	小樽市	174,420
10	帯広市	171,794

経済産業省「工業統計調査」（総務課）

工場数・従業者数・出荷額等の推移



	18年	19年	20年	21年	22年	24年	25年	26年	29年	30年
出荷額	100	106	106	89	103	104	102	115	115	120
工場数	100	105	111	106	97	100	97	102	99	100
従業者数	100	123	114	112	109	101	99	113	118	119

1　図は平成18年を基準（100）とした推移

経済産業省「工業統計調査」（総務課）

45　産業別工場・従業者と製造品出荷額等

業種	工場数	構成比(%)	従業者数	構成比(%)	製造品出荷額等（万円）	構成比(%)
総数	**94**	**100.0**	**7,438**	**100.0**	**25,643,215**	**100.0**
食料品	22	23.4	2,134	28.7	5,391,922	10.2
飲料・たばこ・飼料	6	6.4	155	2.1	2,176,196	3.5
繊維工業品	—	—	—	—	—	—
木材・木製品	2	2.1	30	0.4	X	X
家具・装備品	3	3.2	22	0.3	X	X
パルプ・紙・紙加工品	2	2.1	119	1.6	X	X
印刷・同関連品	3	3.2	112	1.5	189,873	0.4
化学工業製品	6	6.4	379	5.1	1,003,205	1.3
石油・石炭製品	—	—	—	—	—	—
プラスチック製品	5	5.3	201	2.7	568,118	0.7
ゴム製品	2	2.1	57	0.8	X	X
なめし革・同製品・毛皮	—	—	—	—	—	—
窯業・土石製品	10	10.6	260	3.5	604,670	1.1
鉄鋼	1	1.1	43	0.6	X	X
非鉄金属	1	1.1	9	0.1	X	X
金属製品	13	13.8	233	3.1	899,636	1.0
はん用機械器具	1	1.1	14	0.2	X	X
生産用機械器具	4	4.3	308	4.1	1,159,933	3.0
業務用機械器具	—	—	—	—	—	—
電子部品・デバイス・電子回路	7	7.4	2,524	33.9	X	X
電気機械器具	3	3.2	117	1.6	703,399	0.9
情報通信機械器具	1	1.1	162	2.2	X	X
輸送用機械器具	2	2.1	559	7.5	X	X
その他の製品	—	—	—	—	—	—

1　平成30年６月１日調査
経済産業省「工業統計調査」（総務課）

46　工業団地

(1) 施設概要

位　　置	第１～４工業団地	千歳市街地の北方約2.5㎞で、北海道縦貫自動車道とＪＲ北海道千歳線の間に位置しています。
	臨空工業団地	新千歳空港の西方約５㎞で、北海道縦貫自動車道の西側に位置しています。
	美々ワールド	新千歳空港の北東約4.5㎞で、ＪＲ北海道千歳線とＪＲ北海道石勝線の間に位置しています。
	新千歳空港ロジスティクスセンター	新千歳空港の西方約3.5㎞で、北海道縦貫自動車道の東側に位置しています。
所 在 地	第１・２工業団地	北信濃　上長都
	第３・４工業団地	上長都
	臨空工業団地	泉沢
	美々ワールド	美々
	新千歳空港ロジスティクスセンター	平和
立地条件	交通運輸　鉄　道	ＪＲ北海道千歳線・石勝線
	道　路	国道36号外 道道島松千歳線外
	高速道路	北海道縦貫自動車道 大沼公園－長万部－室蘭－苫小牧－千歳－札幌－旭川－士別 ├小樽 └余市 剣淵
		北海道横断自動車道 ┌足寄 千歳－夕張－占冠－清水－音更－本別－阿寒
	空　港	新千歳空港
	港　湾	苫小牧港
	上下水道・電気・ガス	完備

地域開発等の指定

新産業都市		昭和39年４月指定
工場適地	北信濃	昭和37年３月指定
	臨空工業団地	昭和53年３月指定
	サイエンスパーク	平成５年３月指定
	美々ワールド	平成６年３月指定
	流通業務団地	平成８年３月指定
	根志越業務団地	平成10年３月指定
工業再配置特別誘導地域		昭和53年４月指定
特例工業団地の認定団地（工場立地法）	臨空工業団地	昭和56年７月指定
テクノポリス		平成元年２月指定
地方拠点都市		平成５年８月指定

都市計画法上の用途指定地域

都市計画法・工業専用地域	第１～第３工業団地 臨空工業団地 新千歳空港ロジスティクスセンター（業務施設地区）
都市計画法・工業地域	第４工業団地 流通業務団地 美々ワールド（第２期の一部） 新千歳空港ロジスティクスセンター（業務保管・交流地区）
都市計画法・準工業地域	サイエンスパーク 美々ワールド（第１期及び第２期の一部） 根志越業務団地 オフィス・アルカディア

企業振興課

(2) 土地利用区分

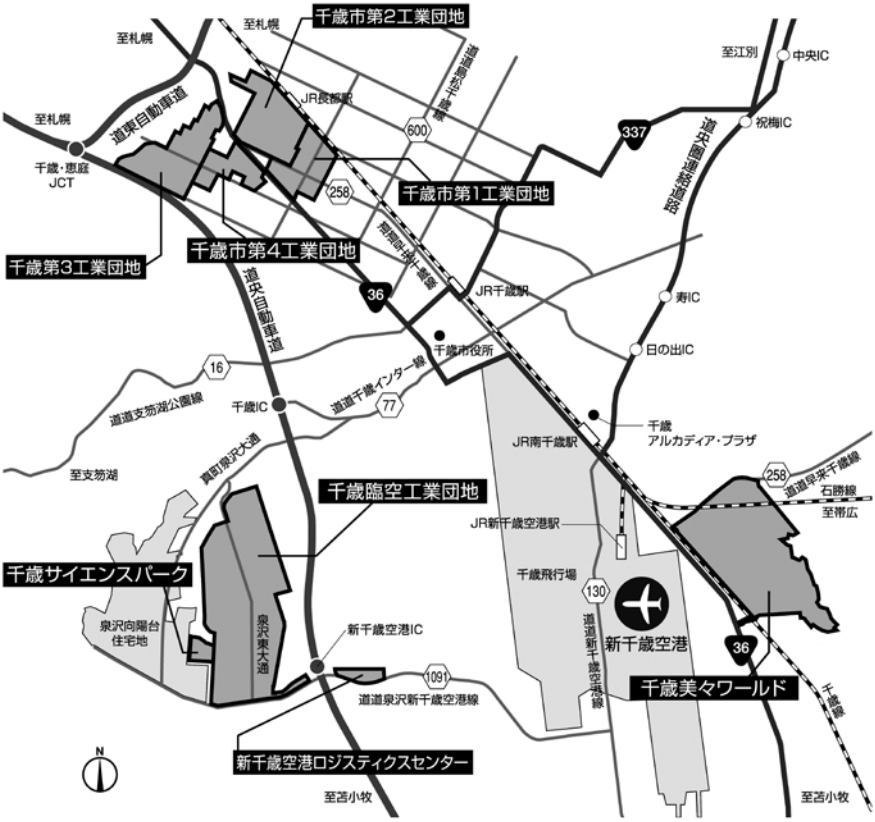
(単位　ha)

区　　分	第１工業団地	第２工業団地	第３工業団地	第４工業団地	臨空工業団地	美々ワールド	新千歳空港ロジスティクスセンター	計
工業団地総面積	55.66	83.00	94.23	38.42	433.80	147.50	45.75	**898.36**
事業場敷地総面積	47.98	64.59	78.28	31.38	214.27	111.63	33.58	**581.71**
共通施設面積	4.04	9.26	4.11	3.66	168.61	26.55	5.19	**221.42**
うち緑地	2.50	8.43	1.52	1.71	100.20	5.03	4.15	**123.54**
緑地以外の環境施設	0.55	―	2.59	1.95	22.65	21.52	―	**49.26**
その他の共通施設	0.99	0.83	―	―	45.76	―	1.04	**48.62**
その他の施設	3.64	9.15	11.84	3.38	50.92	9.32	6.98	**95.23**

1　工場立地法の規定による

企業振興課

工業団地位置図


千歳市第2工業団地
至札幌
至札幌
至札幌
道東自動車道
千歳・恵庭
JCT
JR長都駅
600
258
千歳市第1工業団地
千歳第3工業団地
千歳市第4工業団地
道央自動車道
36
JR千歳駅
千歳市役所
16
道道千歳インター線
77
千歳IC
道道支笏湖公園線
至支笏湖
真町泉沢大通
千歳臨空工業団地
千歳サイエンスパーク
泉沢向陽台
住宅地
泉沢東大通
新千歳空港IC
109
道道泉沢新千歳空港線
新千歳空港ロジスティクスセンター
至苫小牧
至江別
中央IC
祝梅IC
337
道央道
寿IC
日の出IC
千歳
アルカディア・プラザ
JR南千歳駅
258
道道泉来千歳線
石勝線
至帯広
JR新千歳空港駅
千歳飛行場
130
新千歳空港
道道新千歳空港線
36
千歳美々ワールド
千歳線
至苫小牧
N

(3) 第１工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
フランスベッド㈱	東京都	5,604	S38.11	S42.12	61,010	家具・装備品製造業
㈱エネサンス北海道	札幌市	250	S41. 7	S42. 7	4,225	燃料小売業
日本高圧コンクリート㈱	札幌市	495	S42. 2	S43. 9	116,433	コンクリート製品製造業
鴻池運輸㈱	大阪府	1,688	S42. 3	S42. 3	9,705	貨物自動車運送業
文化シヤッター㈱	東京都	15,051	S42. 3	S42.10	16,719	シャッター製造業
北海道日産自動車㈱	札幌市	150	S42. 4	S54.10	3,974	自動車小売業
㈱ダイヘン	大阪府	10,596	S42. 5	S42.12	20,726	変圧器製造業
㈱白生舎	千歳市	10	S43. 9	S46.11	8,526	リネンサプライ業
㈱井坂商会	千歳市	20	S43.10	S43.12	6,612	自動車整備業
㈱積水化成品北海道	千歳市	100	S43.12	S44. 9	26,127	発泡プラスチック製品製造業
カルビー㈱	東京都	12,044	S44. 3	S44.12	31,539	菓子製造業
未来のアグリ㈱	札幌市	60	S45. 8	S46. 7	13,886	畜産酪農器具製造業
㈱トッパンパッケージプロダクツ	東京都	400	S45.12	S49. 6	45,197	印刷業
㈱共立鉄工所	千歳市	20	S46.11	S49. 2	3,314	建設用金属製品製造業
ブリヂストンＢＲＭ㈱	埼玉県	100	S54.11	S57. 5	6,596	更生タイヤ製造業
道藤ゴム工業㈱	千歳市	15	S56. 9	S56.10	1,653	工業用ゴム製品製造業
㈱ダスキンプロダクト北海道	千歳市	80	H 2.11	H 3.11	8,019	リース・レンタルサービス業
北海道ガス㈱	札幌市	7,515	H 9. 6	H 9. 6	9,912	ガス供給所
サントリーMONOZUKURIエキスパート㈱	東京都	100	H12.11	－	11,998	(清涼飲料水製造業)
新栄工業㈱	千歳市	20	H15. 4	H15. 4	9,912	管工事業
㈱エヌ・ケーエンジニアリング	千歳市	10	H15. 4	H15. 4	9,912	廃棄物処理業
日本アスパラガス㈱	岩内町	170	H18. 4	H18. 4	71,971	清涼飲料製造業
フォトニック・サイエンス・テクノロジ㈱	千歳市	22	H24.12	H24.12	3,314	非通信分野光ファイバ製造業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(4) 第２工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱ナスタ	東京都	100	S44.12	S45. 5	26,011	工業用プラスチック製品製造業
パナソニック㈱	大阪府	258,700	S45. 5	S45.12	99,641	電子部品・デバイス・電子回路製造業
東洋製罐㈱	東京都	1,000	S46.12	S47.10	90,159	金属素形材製品製造業
キリンビール㈱	東京都	30,000	S47. 2	S50. 5	238,908	酒類製造業
千歳市公設地方卸売市場	千歳市	－	S47. 3	S48. 2	44,052	公設地方卸売市場
北海道森紙業㈱	千歳市	310	S47. 3	H 3. 7	27,831	段ボール製造業
道央農業協同組合	恵庭市	－	S57. 4	S57. 4	13,572	農畜産物卸売業
苫小牧埠頭㈱	苫小牧市	876	S60. 7	S61. 3	11,645	倉庫業
㈱北潤ボトリング	千歳市	10	H30. 4	H30. 4	21,206	清涼飲料製造業
三立化工機㈱	愛知県	30	H元. 8	H元.12	35,417	FRP製品製造業
住商アグリビジネス㈱	東京都	250	H 9.10	H 9.11	14,483	化学肥料製造業
東洋インキ北海道㈱	札幌市	300	H11. 9	H11. 9	13,029	印刷用インキ卸売業
東洋アドレ㈱	東京都	480	H18.11	H18.11	40,000	食品添加物製造業
藤工業㈱	埼玉県	10	H27. 5	H28. 4	2,495	金属製品製造業
東亜建材工業㈱	千歳市	22	－	－	7,695	土木工事業
千歳相互観光バス㈱	千歳市	31	H30. 6	H30.10	3,780	一般旅客自動車運送業
パナソニック環境エンジニアリング	大阪府	300	H30. 8	H30. 8	－	設備工事業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(5) 第３工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
ブリヂストンＢＲＭ㈱	埼玉県	100	S47. 2	S57. 5	20,265	更生タイヤ製造業
オリオン機械㈱	長野県	100	S47. 8	S48. 9	26,823	農業用機械製造業
㈱ダイナックス	千歳市	500	S47. 8	S49.12	51,177	自動車部分品製造業
タイヨウ㈱	札幌市	97	S47. 9	S50. 4	9,961	貨物自動車運送業
日本ケーブル㈱	東京都	100	S48. 3	－	17,015	荷役運搬設備製造業
㈱エンパイアー	札幌市	216	S48. 3	S50. 2	10,978	リネンサプライ業
岩田醸造㈱	札幌市	31	S48. 5	S49. 7	33,058	みそ製造業
山一ピーエスコンクリート㈱	札幌市	50	S48. 6	S49. 5	17,015	コンクリート製品製造業
ハウス食品グループ本社㈱	大阪府	9,948	S48.10	－	86,029	（食料品製造業）
㈱ＩＨＩアグリテック	千歳市	1,111	S48.11	S53. 6	86,102	農業機械製造業
ジェコス㈱	東京都	4,397	S49. 2	H12. 8	55,790	建設機械器具製造業
札幌日清㈱	千歳市	250	S53. 1	S53.10	26,439	めん類製造業

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
三好梱包商事㈲	札幌市	－	S53. 4	S53. 6	86,102	運輸に附帯するサービス業
㈱ケイセイ	千歳市	74	S54.11	S56. 8	24,295	鉄鋼卸売業
千歳市水道局	千歳市	－	S56.10	S59. 4	3,306	高架配水池
北陵ジー・アール・シー工業㈱	千歳市	25	S58. 4	S58. 4	34,034	建築材料卸売業
スガノ農機㈱	茨城県	156	S59. 3	S59. 6	3,810	農業用機械器具卸売業
東名化学工業㈱	愛知県	90	S60.10	S61. 9	9,325	プラスチック製容器製造業
ケィ・マックインダストリー㈱	大阪府	50	S61. 7	S61.10	9,917	金属加工業
㈱上田商会	登別市	72	S63. 6	H元.10	54,957	コンクリート製品製造業
㈱マテック	帯広市	96	H元. 2	H元. 9	27,179	鉄スクラップ加工処理業
リサイクルファクトリー㈱	札幌市	12	H23.11	－	2,717	（廃棄物処理業）
㈱ニレミックス	札幌市	289	H 4.10	H 5. 3	6,611	生コンクリート製造業
共同配管工業㈱	千歳市	10	H 4.12	H 5. 8	1,652	管工事業
㈱丸畑家具センター	千歳市	10	H 5. 3	H 5.11	1,000	家具・建具卸売業
㈱岡村	東京都	30	H 5. 6	H 5.10	1,985	食品用包装品卸売業
北海道北三㈱	札幌市	41	H 8. 7	H16. 6	10,651	木材・木製品製造業
道央資源開発事業協同組合	千歳市	20	H10. 6	H10. 8	9,918	産業廃棄物処理業
㈱ビコンジャパン	埼玉県	46	H11. 4	H11. 4	4,592	農業用機械器具卸売業
ソフトバンクモバイル㈱	東京都	177,251	H13. 6	H13. 8	347	携帯電話中継基地局
日本ドアコーポレーション㈱	札幌市	20	H14.11	H15. 3	6,562	木製品製造業
㈲スカイ物流	千歳市	5	H17.10	H17.12	2,975	一般貨物自動車運送業
㈱杉本運輸	小樽市	35	H18. 4	H18. 4	10,396	建設機械器具賃貸業
共和コンクリート工業㈱	札幌市	833	H18. 4	H18. 5	34,034	コンクリート製品製造業
㈱毛利エンジニアリング	苫小牧市	3	H18. 5	H19. 8	1,305	各種機械・同部品製造修理業
ＨＩＫＡＲＩ・トランス㈱	千歳市	5	H18. 8	H18.12	1,000	一般貨物自動車運送業
㈱ｅｃｏライフ	千歳市	8	H18. 9	H19. 4	363	再生資源卸売業
㈱かんきょう	千歳市	10	H21. 5	H21. 5	9,918	廃棄物処理業
㈱ホシボデー	千歳市	1	H23. 1	H23. 1	3,462	自動車整備業
㈲塩田機械	札幌市	300	H23. 7	H23. 7	992	機械等修理業
苫小牧ヂーゼル機器㈱	苫小牧市	10	H23. 7	H23. 7	1,653	自動車整備業
北海道建設サービス㈱	千歳市	35	H24. 8	H24. 8	9,918	廃棄物処理業
トライフード㈱	千歳市	10	H27. 5	H27. 5	6,980	野菜卸売業
久健興業㈱	千歳市	2	H27.12	H27.12	2,277	とび工事業
㈱ＹＳマシナリー	千歳市	300	H28.10	H28.10	1,653	各種機械製造業
㈱共成レンテム	帯広市	500	H30. 3	－	55,801	（建設機械器具賃貸業）
千翔建設㈱	千歳市	－	－	－	11,455	（建設業）
東札幌日通輸送㈱	札幌市	49	－	－	13,080	一般貨物自動車運送事業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(6) 第４工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱ダイナックス	千歳市	500	S47. 8	S49.12	16,763	自動車部品製造業
地崎商事㈱	札幌市	93	S48. 7	－	39,154	建築工事業
チザキ機工㈱	千歳市	30	S61. 3	S61. 3	19,834	建築用資材加工業
北興自動車工業㈱	千歳市	10	H 4.10	H13. 3	2,934	自動車整備業
千歳市管工事業協同組合	千歳市	4	H 4.10	H 6. 3	1,500	管工事業
㈱長崎工業	千歳市	10	H 4.10	H 6. 6	1,000	管工事業
北海道電力㈱	札幌市	114,291	H 4.10	H 7.10	6,658	変電所
北海産業㈱	苫小牧市	50	H 4.11	H 6. 7	8,304	産業用機械器具賃貸業
千歳液化石油ガス協同組合	千歳市	6	H 5. 6	H 7. 4	1,200	燃料小売業
㈱ｅｃｏａハウス	千歳市	20	H 5.12	H 6. 4	1,459	住宅建築工事業
㈱後藤孵卵場	岐阜県	99	H 6. 4	H 6. 9	2,769	農畜産物卸売業
北海道ミツウロコ㈱	北広島市	20	H 6. 8	H 6.11	1,487	燃料小売業
堺商事㈱	大阪府	820	H 6. 8	H 7.10	2,479	化学製品卸売業
㈱ウインテム	千歳市	20	H 6.10	H 7. 2	1,036	建具卸売業
㈱道新サービスセンター	札幌市	80	H 6.10	H 8.12	1,211	広告業
近藤電設工業㈱	千歳市	20	H 6.12	H19. 4	1,036	一般電気工事業
生活協同組合コープさっぽろ	札幌市	62,015	H 7.12	H 8. 8	7,827	各種商品小売業
菅原興業㈱	千歳市	10	H19. 1	H19. 4	3,306	とび工事業
㈱ケーエス北の星観光バス	函館市	13	H21. 5	H21. 5	2,077	一般旅客自動車運送業
北海道千歳ハム㈱	千歳市	8	H21.11	H21.11	10,000	肉加工品製造業
フジッコ㈱	兵庫県	6,566	H24. 1	H25. 1	33,983	乳製品・惣菜製造業
㈱ウッドベル	北広島市	10	H25. 5	H25. 7	2,143	一般貨物自動車運送業
㈱ボンタイム北海道	千歳市	5	H26. 3	H26. 7	7,033	菓子製造業
旭新運輸開発㈱	大阪府	40	H29. 6	H30.12	5,938	一般貨物自動車運送業
千歳市環境整備事業協同組合	千歳市	－	H31. 1	－	4,397	土木事業
㈱サンエンタイヤ産業	千歳市	－	－	－	5,714	自動車中古部品卸売業
㈱ＥＶＥＮＴ ＯＮＥ	千歳市	－	－	－	5,714	物品賃貸業
㈱ソーラークリーニング	茨城県	12	R 2. 3	－	23,783	太陽光発電事業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(7) 臨空工業団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
(一社)日本血液製剤機構	東京都	－	S56. 4	S58. 6	68,694	医薬品製造業
鹿島建設㈱	東京都	81,447	S56.10	－	57,102	(総合建設)
田中製餡㈱	東京都	100	S56.12	S58. 8	24,766	製餡業
臼井国際産業㈱	静岡県	305	S57. 3	－	5,827	(電機部品製造業)
三甲㈱	岐阜県	100	S57. 8	H 3.10	47,906	プラスチック製品製造業
北海道キッコーマン㈱	千歳市	350	S58. 3	S61. 8	88,822	醤油製造業
エア・ウォーター㈱	大阪府	32,263	S58. 5	S60. 4	40,284	圧縮ガス・液化ガス製造業
㈱セロテック	札幌市	98	S58. 8	S59. 9	13,278	医薬品製造業
㈱モダン化成	札幌市	16	S58. 9	S62. 3	5,186	プラスチック製容器製造業
北海道電力㈱	札幌市	114,291	S58.12	S59. 7	9,584	変電所
㈱八神エモーション	札幌市	70	S59. 3	S59.10	9,948	電子部品製造加工業
㈱北海道シーアイシー研究所	千歳市	35	S59. 6	S59.12	4,849	特殊クリーニング業
極東高分子㈱	小樽市	165	S59. 8	－	20,085	(ポリエチレン製品製造業)
北海ケミー㈱	札幌市	30	H30. 4	H30. 4	10,535	薬品卸売業
㈱巴商会	東京都	75	S59.11	S60. 4	2,735	燃料卸売業
㈱ヤング・ライン	千歳市	8	S60. 9	S62.11	23,120	清涼飲料製造業
㈱北のアトリエ	千歳市	10	S61. 3	S61. 9	45,668	パン・菓子製造業
㈱星光社	東京都	98	S61. 7	S62.10	2,425	電気通信機械器具製造業
多治見無線電機㈱	東京都	50	S61. 8	H 6.10	10,499	通信機部品製造業
今津運輸㈱	大阪府	10	S61.11	S62. 7	3,311	貨物自動車運送業
㈱ムトウ	札幌市	501	S62. 2	H 4. 2	6,975	医療機器卸売業
北海道北港運輸㈱	千歳市	33	S62.12	H 4. 4	7,000	貨物自動車運送業
北興運輸㈱	旭川市	80	S63. 1	－	3,344	(運送業)
ホッコウ物流㈱	札幌市	80	S63. 1	－	3,305	(運送業)
㈱日本サーモエナー	東京都	491	S63. 9	H 4.10	3,500	機械器具設置工事業
北興昭和㈱	千歳市	60	H元. 2	H元. 9	10,839	金属製品製造業
㈱技研製作所	高知県	3,240	H元. 8	－	7,200	(建設用機械製造業)
㈱中尾アルミ製作所	東京都	48	H 3. 9	H 3. 9	7,200	業務用厨房器物製造業
北海道日興電気通信㈱	千歳市	30	H元.10	H 3.11	16,016	電子・通信機器用部品製造業
㈱北泉	千歳市	30	H元.10	H 5. 9	14,350	青果物卸売業
㈱メビウス	千歳市	1	H21. 1	H21. 1	2,721	リネンサプライ業
㈱アーキビジョン21	千歳市	50	H元.11	H 5. 1	23,225	木造建築工事業
㈱エルス	千歳市	24	H 2. 2	H 2. 8	2,406	ソフトウエア業

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
岩塚製菓㈱	新潟県	1,634	H 2. 2	H 2.11	19,008	菓子製造業
㈱ワイム	山形県	50	H 2. 2	H 3. 3	8,748	電気機械器具製造業
北宝運輸㈱	旭川市	10	H 2. 6	H 2. 6	3,324	貨物自動車運送業
日本メドトロニック㈱	東京都	100	H 2. 6	－	19,974	（医療用機械器具製造業）
アベテック㈱	札幌市	100	H 2.11	－	9,918	（洗浄機器製造業）
㈱東京R＆D太陽光発電	神奈川県	10	H 3. 1	H27. 7	9,918	太陽光発電事業
関東開発㈱	東京都	100	H 3. 2	－	46,736	（レジャー産業）
フルサト工業㈱	大阪府	5,232	H 3. 3	H 4. 6	9,899	建築用金属製品製造業
㈱カネショー	埼玉県	50	H 3. 9	H 4. 9	6,611	荷役運搬設備製造業
㈱SUMCO	東京都	138,700	H 3.12	H 5. 6	70,000	半導体用シリコンウエーハ製造業
ヤマト運輸㈱	東京都	50,000	H 4. 3	H10.12	29,245	貨物自動車運送業
フタバ食品㈱	栃木県	492	H 4. 5	H 4. 9	8,974	冷菓製造業
三菱マテリアルテクノ㈱	東京都	1,042	H 4. 9	－	9,943	（プラントメンテナンス業）
㈱友和	東京都	350	H 7. 3	H 8.12	37,624	各種商品卸売業
㈱ケイシイシイ	千歳市	80	H 8. 4	H 8. 4	14,585	菓子製造業
央幸設備工業㈱	札幌市	70	H11. 3	－	2,400	（設備工事業）
大虎運輸㈱	大阪府	50	H12. 5	H12.12	15,701	一般貨物自動車運送業
産機テクノ㈱	札幌市	40	H16.10	H16.10	5,185	一般機械器具卸売業
ミツミ電機㈱	東京都	20,000	H16.12	H16.12	95,367	集積回路製造業
㈱トランシス	千歳市	35	H17. 5	H17. 6	26,613	一般貨物自動車運送業
㈱ホンダユーテック	埼玉県	480	H17. 5	H17.11	13,223	中古自動車販売業
㈱北海道シルバーサービス	札幌市	30	H18. 5	H18. 9	2,854	リネンサプライ業
理工協産㈱	東京都	60	H18. 5	H18.10	5,270	食品工業用洗浄剤製造業
溝端紙工印刷㈱	和歌山県	73	H18.10	H20. 2	4,971	紙製品製造業
㈱エコフィールド	千歳市	3	H19. 1	H19. 5	7,904	飼料・有機質肥料製造業
㈱岩井プラントサービス	千歳市	50	H19. 4	H19.11	3,324	食品製造機械整備業
㈱デンソー北海道	千歳市	2,600	H19. 6	H21. 4	163,484	自動車部分品製造業
㈲ゴールデンモーター	千歳市	20	H19. 9	H20. 1	4,003	自動車中古部品卸売業
㈱トヨタユーゼック	千葉県	6,830	H19.10	H20.10	43,559	中古自動車販売業
千歳市水道局	千歳市	－	H20.10	H27. 4	5,850	高架配水池
㈱アルファテック	山梨県	10	H21. 9	H21.10	3,000	半導体装置製造業
㈱フルヤ金属	東京都	5,445	H21.12	H22.12	5,551	工業用貴金属製品製造業
㈲大成工業	三重県	3	H22.12	H26. 7	3,308	機械組立・加工業
KDDI㈱	東京都	141,851	H23. 3	H23. 3	1,113	携帯電話中継基地局

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
佐藤水産鮨㈱	千歳市	10	H23. 4	H23.12	2,969	弁当製造業
旭川通運㈱	旭川市	50	H24. 4	H24. 7	11,570	一般貨物自動車運送業
㈲恒和配送	千歳市	12	H24. 4	H24. 8	3,347	一般貨物自動車運送業
㈱ほくうん	札幌市	45	H25. 8	H25. 8	23,141	一般貨物自動車運送業
佐藤水産㈱	札幌市	60	H25. 2	H25. 2	2,969	水産食料品製造業
アストラ㈱	東京都	1	H25. 3	H26.10	51,580	太陽光発電事業
チトセ浜理薬品㈱	千歳市	100	H25. 4	H25. 4	56,760	医薬品製造業
京葉プラントエンジニアリング㈱	千葉県	80	H26. 6	H26. 9	59,883	太陽光発電事業
セイノースーパーエクスプレス㈱	東京都	100	H26. 6	H26. 6	7,200	一般貨物自動車運送業
学校法人淳心学園	千歳市	－	H26. 9	H27. 9	6,375	教育機関
グリーンロジスティクス㈱	滋賀県	55	H26.10	－	18,364	（一般貨物自動車運送業）
不二電子工業㈱	静岡県	675	H27. 1	H28. 9	9,917	工業用プラスチック製品製造業
㈱横森製作所	東京都	60	H28. 2	H29. 1	6,720	金属製品製造業
㈱ＭＭＣフードサービス	札幌市	10	H29. 6	H29. 6	9,900	飲食料品卸売業
㈱アビヅ	愛知県	270	H29. 7	H29.10	5,439	鉄スクラップ等加工処理業
FREアセットマネジメント㈱	東京都	100	H30. 2	－	48,850	（不動産賃貸業）
㈲すけっと運輸	千歳市	3	－	－	2,989	（運送業）
㈱ニッカリ	岡山県	48	H30.10	H30.10	2,889	生産用機械・装置製造業
㈱ジオコン	神奈川県	10	H30.10	H30.10	2,889	総合工事業
スカパーＪＳＡＴ㈱	東京都	50,083	R元.12	R元.12	4,000	情報提供サービス業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(8) 美々ワールド立地状況

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
オリックス自動車㈱	東京都	500	H10. 6	H10. 6	33,057	自動車賃貸業
ニッポンレンタカー北海道㈱	札幌市	20	H10. 6	H10. 7	28,099	自動車賃貸業
㈱トヨタレンタリース札幌	札幌市	15	H13. 1	H13. 7	35,632	自動車賃貸業
㈱トヨタレンタリース新札幌	札幌市	20	H13. 1	H13. 7	32,397	自動車賃貸業
セイコーエプソン㈱	長野県	53,204	H13. 3	H17. 4	160,528	電子デバイス製造業
ブリヂストンタイヤセンター北日本㈱	東京都	10	H20. 6	H20. 6	4,960	自動車部分品卸売業
㈲ウイングサービス	千歳市	7	H21. 4	－	1,798	(一般旅客自動車運送業)
ワールドネットレンタカー㈱	千歳市	15	H25. 4	H26. 1	10,087	自動車賃貸業
エネワンソーラーパーク千歳共同事業体	東京都	－	H26.10	H27.12	53,536	太陽光発電事業
㈱トラベルレンタカー	沖縄県	90	H28.11	H29. 4	19,946	自動車賃貸業
㈱イデックスオート・ジャパン	福岡県	100	H29. 2	H29. 9	26,739	自動車賃貸業
㈱田方自動車学校	静岡県	30	H29. 3	H30. 4	11,327	自動二輪車賃貸業
㈱石狩モーターコンサルタント	千歳市	18	H29. 4	H29. 4	2,646	自動車賃貸業
㈱トランスウェブ	千葉県	20	H30.10	H30.12	21,655	一般貨物自動車運送業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(9) 新千歳空港ロジスティクスセンター

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
エア・ウォーター物流㈱	札幌市	177	H30. 9	R元.12	34,062	一般貨物自動車運送業
トランスパック㈱	福島県	10	R元. 8	R 2. 1	3,606	一般旅客自動車運送業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は操業予定業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(10) 工業専用地域内立地状況（除工業団地・製造業のみ）

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
千歳ブロック工業㈮	千歳市	10	S27. 4	S27. 4	13,530	ブロック製造業
㈱三晄プレコンシステム	札幌市	72	S42. 5	S42. 8	30,400	コンクリート製品製造業
太陽生コン㈱	江別市	80	S57.11	H 2. 5	10,678	コンクリート製品製造業
新生飼料㈱	東京都	100	S60. 6	S62. 5	7,591	有機質肥料製造業
㈱サッポロ精器	札幌市	10	－	H18. 4	－	飼料製造業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

47　サイエンスパーク

(1) 施設概要

位　　置　新千歳空港の西方約６㎞で、千歳臨空工業団地と泉沢向陽台住宅地の中間に位置しています。

所 在 地　文京２丁目

土地利用区分

団地総面積　123,828㎡　　分譲可能面積　89,456㎡
道　　路　22,212㎡　　緑　　地　12,160㎡

立地条件　都市計画法上の用途指定地域は、**46　工業団地 (1) 施設概要**を参照してください。
上下水道・電気・ガスは完備しています。

企業振興課

(2) 企業立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
(一財)日本食品分析センター	東京都	－	H 2. 3	H14. 6	38,966	食品関連試験研究
㈱奈良機械製作所	東京都	40	H 3.11	H11. 4	9,917	化学機械・同装置製造業
A社	神奈川県	15	H 4. 3	－	3,310	（ソフトウェア業）
㈲ダイケー	愛知県	10	H28.11	－	4,277	（中古自動車販売業）

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

48　工業系業務団地

(1) 施設概要

位　　置	流通業務団地	千歳市中心部から北東約３㎞で、ＪＲ北海道千歳線の東側に位置しています。
	根志越業務団地	ＪＲ千歳駅の北方約2.3㎞で、国道337号の西0.1㎞に位置しています。
	オフィス・アルカディア	ＪＲ南千歳駅及び道央圏連絡道路日の出Ｉ.Ｃに直結し、新千歳空港の北方約３㎞に位置しています。
所 在 地	流通業務団地	流通　旭ヶ丘
	根志越業務団地	清流
	オフィス・アルカディア	柏台南
立地条件	都市計画法上の用途指定地域、**46　工業団地 (1) 施設概要**を参照してください。 上下水道・電気・ガスは完備しています。	

企業振興課

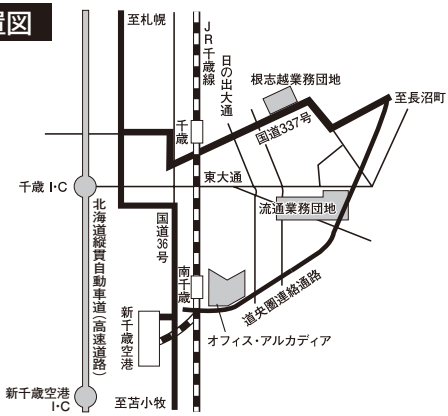
(2) 土地利用区分

（単位　ha）

区　　分	流通業務団地	根志越業務団地	オフィス・アルカディア	計
工業団地総面積	52.67	6.96	39.44	**99.07**
事業場敷地総面積	30.21	6.45	29.71	**66.37**
共通施設面積	18.40	0.51	8.68	**27.59**
うち緑地	3.59	—	2.00	**5.59**
緑地以外の環境施設	2.45	—	—	**2.45**
その他の共通施設	12.36	0.51	6.68	**19.55**
その他の施設	4.06	—	1.05	**5.11**

1　工場立地法の規定による
企業振興課

工業系業務用地位置図



企業振興課

(3) 流通業務団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金(百万円)	立地年月	操業年月	面積(㎡)	業種
㈱協栄土建	千歳市	55	H 7. 8	H 8. 4	2,670	土木建築工事業
㈱クリーン開発	千歳市	30	H 7. 9	H 7. 9	5,742	ビルメンテナンス業
㈱共進ダクト工業	千歳市	10	H 7. 9	H 7. 9	1,051	管工事業
㈱電材重機	室蘭市	25	H 7.10	H 8. 4	5,501	土木工事業
石油資源開発㈱	東京都	14,288	H 7.11	H 8. 4	3,770	天然ガス供給所
㈲野村運送	千歳市	3	H 8.12	H 9. 2	1,125	貨物自動車運送業
千歳市温水プール	千歳市	－	H 9. 1	H10. 7	7,712	スポーツ施設
北海道電力㈱	札幌市	114,291	H10. 3	H14.11	3,657	変電所
祝梅在宅介護支援センター	千歳市	－	H10. 6	H12. 4	2,590	老人福祉事業
国際空輸㈱	東京都	91	H13. 4	H13.10	2,253	航空運送業
越智建設㈱	苫小牧市	94	H13. 5	H13. 5	1,038	一般建設業
東洋コンクリート㈱	北広島市	48	H13. 5	H13. 9	4,836	生コンクリート製造業
㈱HALサーブ	千歳市	10	H14. 5	H14. 6	5,111	リネンサプライ業
㈲肉の山本	千歳市	5	H15. 8	H15.11	2,172	肉加工品製造業
㈱NTTドコモ	東京都	949,679	H17. 8	H18. 3	497	携帯電話中継基地局
㈱札幌ビケ足場	札幌市	30	H18.10	H19. 5	3,497	建設機械器具賃貸業
田辺商事㈱	神奈川県	90	H19.10	H22. 1	2,337	各種商品卸売業
KDDI㈱	東京都	141,851	H20. 8	H20.12	275	携帯電話中継基地局
㈱ゴーランド	東京都	10	H23. 3	H23. 5	992	ペットホテル・ペット用品販売業
ふらのバス㈱	富良野市	50	H23. 9	H23.12	1,698	一般旅客自動車運送事業
あぼじ食品㈱	札幌市	10	H25. 9	H26.11	3,062	調味料製造業
㈱つたい	帯広市	100	H26. 5	H29. 6	958	一般旅客自動車運送事業
ヤマト運輸㈱	東京都	50,000	H27. 6	H27.10	3,419	貨物自動車運送業
㈱友愛観光バス	大阪府	75	H27.10	H28. 4	3,870	一般旅客自動車運送事業
札幌エムケイ㈱	札幌市	8	H27.11	H27.11	1,082	一般旅客自動車運送事業
㈱メデック	函館市	23	H28. 2	H28. 8	4,094	生産用機械器具製造業
札幌空輸㈱	千歳市	10	H28. 6	H28.11	5,577	貨物自動車運送業
北海道トラベルサービス�同	千歳市	－	H28.11	H29. 1	2,082	自動車賃貸業
ほくしょう運輸㈱	苫小牧市	30	H29. 5	H29. 8	977	一般旅客自動車運送事業
北海道拓殖バス㈱	音更町	27	H30. 5	H30. 8	506	一般旅客自動車運送事業
(一社)千歳観光連盟	千歳市	－	H30.10	H31. 3	25,211	観光業・駐車場業
㈱ブレンアップ	札幌市	－	H30. 8	H30. 9	1,843	自動車賃貸業
㈱フジカーズジャパン	東京都	10	R元. 8	－	7,508	(自動車賃貸業)

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱育未	千歳市	2	R元. 8	R 2. 4	3,602	児童福祉事業
㈱カーポイントビック	札幌市	30	R 2. 4	－	10,153	（自動車賃貸業）
㈱じょうてつ	札幌市	20	－	－	1,706	（不動産業）

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(4) 根志越業務団地立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈲日勝建設工業	千歳市	3	H 9. 3	H 9. 6	1,295	土木建築工事業
清流町内会館	千歳市	－	H10. 5	H10. 9	991	集会場
㈲いまむら	千歳市	10	H10. 9	H11. 3	8,794	冠婚葬祭業
せいりゅう児童館	千歳市	－	H13. 8	H14. 4	1,396	その他の児童福祉事業
いずみワークセンター	千歳市	－	H14. 4	H15. 4	3,233	その他の社会保険・社会福祉・介護事業
宗谷バス㈱	稚内市	27	H23.12	H24. 4	1,858	一般旅客自動車運送事業
㈱トライアルカンパニー	福岡県	2,123	H25. 2	H26. 7	13,940	飲食料品小売業
㈲サンスイ	福岡県	5	H26.10	－	1,652	（飲食店）
地崎道路㈱	東京都	350	H26.12	H27.12	5,193	総合工事業
ヨシオカ商事㈱	札幌市	10	H28. 4	H28. 4	4,429	建築金物小売業
八千代工業㈱	札幌市	40	H30. 4	H30. 5	2,810	電気工事業

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

(5) オフィス・アルカディア立地状況

企業名	本社所在地	資本金（百万円）	立地年月	操業年月	面積（㎡）	業種
㈱日産カーレンタルソリューション	神奈川県	90	H10.11	H11. 6	13,221	自動車賃貸業
タイムズモビリティ㈱	広島県	500	H12. 7	H12.11	29,999	自動車賃貸業
㈱千歳国際ビジネス交流センター	千歳市	1,757	H12. 7	H13. 4	8,598	不動産賃貸業
ジョーンズラングラサール㈱	東京都	－	H15. 4	H17. 4	135,245	不動産管理業
千歳市駒里農業協同組合	千歳市	2	H17. 9	H18. 6	4,442	飲食店
㈱ディーサプライ	神奈川県	3	H19. 9	H22. 9	4,254	歯科材料製造業
㈱ＦＪコンポジット	千歳市	30	H20. 6	H27. 4	5,794	半導体素子部品製造業
㈱カーポイントビック	札幌市	30	H21. 6	H21. 6	25,992	自動車賃貸業
札幌バルナバフーズ㈱	札幌市	280	H22.12	H23. 4	4,663	弁当製造業
ジェイアール北海道レンタリース㈱	札幌市	100	H24. 4	H24. 5	4,177	自動車賃貸業
㈱スカイレンタカー北海道	東京都	10	H29. 5	H29. 5	19,496	自動車賃貸業
㈱ホンダカーズ南札幌	札幌市	30	H29. 5	H29. 5		自動車賃貸業
㈱ＭＩＣ	神奈川県	50	H29. 6	H29. 6		自動車賃貸業
大和ハウスパーキング㈱	東京都	100	H30. 7	H30. 7	8,648	駐車場業
Ｊネットレンタカー㈱	愛知県	50	Ｒ元.12	Ｒ元.12	25,992	自動車賃貸業
ａｉｒＢｅｓｔ㈱	福岡県	67	Ｒ元.12	－	16,890	（宿泊業）

1　令和２年６月１日現在
2　本社所在地は道内にある場合は市町名を、道外にある場合は都府県名を掲載した
3　企業名には千歳市における事業所名（工場名等）を省いている
4　業種は日本標準産業分類を基に千歳市における主要なものを掲載した
5　業種欄の（　）は未操業企業の主要業種
6　資本金は百万円未満を切り捨てた
企業振興課

あらまし

平成26年経済センサス（基礎調査）調査結果によると、千歳市の卸売・小売業の事業所数は857事業所、従業者数は7,717人となっています。

新千歳空港旅客ターミナルビルと、南千歳駅に隣接する道内最大級にして唯一の大型オープン型アウトレットモールは、道内外や海外からの観光客のみならず市内、近郊の消費者を幅広く集客する一大商業集積施設となっています。

個人商店などから成る商店街については、商店街振興組合連合会に６つの商店街振興組合と１つの振興会が加入しています。各商店街では、空き店舗の利用促進などの対策が行われ、一定の効果を上げており、組合員数も大きな変動はない状況にあります。

車中心の生活スタイルやインターネット販売の普及、大型の小売店舗や取扱商品を特化させた大型店舗の立地など、買物の形態や機会の多様化などにより、商業を取り巻く状況も大きく変化してきています。これらの状況から身近な商店街で買物をする機会が減りつつある中、商業者による活動・連携の推進や商業機能の充実・創造を図り、変化する商業環境に対応することを目的に、平成28年度から令和２年度までを計画期間とする「第２期千歳市商業振興プラン」を策定しています。

このプランに掲げる「個店の魅力向上」「商業者の連携づくり」「地域特性を生かした商店街づくり」「中心市街地としての賑わい形成」の４つの基本目標を柱とし、商業機能はもとより、賑わいを形成するための交流機能やコミュニティ機能の提供・充実等を図る「活力が共鳴する新たな機会と機能の形成」の実現に向けて、商業の活性化を図っています。

49　産業別事業所・従業者と商品販売額の推移

（単位　万円）

区分		事業所数	従業者数	売場面積（㎡）	年間商品販売額	対前回増加率（%）
14年		726	7,132	110,408	17,233,426	△ 3.9
16年		710	7,126	111,930	16,542,095	△ 4.0
19年		770	6,949	137,913	16,745,732	1.2
21年		838	8,245	…	…	1.2
26年		**857**	**7,717**	…	…	**2.3**
	卸売業	**146**	**1,186**	…	…	
	小売業	**711**	**6,531**	…	…	

（単位人）

卸売業	**146**	**1,186**
各種商品	1	10
衣服・身の回り品	5	20
農畜産物・水産物	14	182
食料・飲料	12	96
建築材料	20	146
化学製品	7	26
鉱物・金属材料	13	128
再生資源	2	9
一般機械器具	20	136
自動車	17	152
電気機械器具	4	17
その他機械器具	4	20
家具・建具・じゅう器	3	93
医薬品・化粧品等	3	10
他に分類されない	21	141

（単位人）

小売業	**711**	**6,531**
各種商品	3	404
織物・衣服・身の回り品	147	796
飲食料品	206	2,740
自動車・自転車	57	489
家具・じゅう器・機械器具	36	165
その他	262	1,937

1　数値は飲食店を除く
2　各年６月１日調査
経済産業省「商業統計調査」（平成26年は「経済センサス（基礎調査）」に併せて実施）
平成26年７月１日調査「経済センサス（基礎調査）」（総務課）

50　従業者規模別事業所

区　　分	総　数	1～4人	5～9人	10～19人	20～29人	30～49人	50～99人	100人以上	派遣従業者のみ	従業者数
総　　数	**857**	**396**	**230**	**137**	**43**	**18**	**15**	**2**	**16**	**7,717**
卸　売　業	**146**	**68**	**41**	**23**	**10**	**2**	**2**	**－**	**－**	**1,186**
各種商品	1	－	－	1	－	－	－	－	－	10
衣服・身の回り品	5	3	2	－	－	－	－	－	－	20
農畜産物・水産物	14	8	－	2	2	1	1	－	－	182
食料・飲料	12	7	1	3	1	－	－	－	－	96
建築材料	21	10	6	4	1	－	－	－	－	154
化学製品	7	5	2	－	－	－	－	－	－	26
鉱物・金属材料	12	3	4	4	－	1	－	－	－	120
再生資源	2	1	1	－	－	－	－	－	－	9
一般機械器具	20	8	8	2	2	－	－	－	－	136
自動車	17	6	6	3	2	－	－	－	－	152
電気機械器具	4	2	2	－	－	－	－	－	－	17
その他の機械器具	4	2	2	－	－	－	－	－	－	20
家具・建具・じゅう器	3	－	2	－	－	－	1	－	－	93
医療品・化粧品等	3	2	1	－	－	－	－	－	－	10
他に分類されない	21	11	4	4	2	－	－	－	－	141
小　売　業	**711**	**328**	**189**	**114**	**33**	**16**	**13**	**2**	**16**	**6,531**
各種商品	3	1	1	－	－	－	－	1	－	404
織物・衣服・身の回り品	147	83	39	11	3	－	1	－	10	796
飲食料品	206	62	51	55	23	5	9	1	－	2,740
自動車・自転車	57	26	13	14	1	3	－	－	－	489
家具・じゅう器・機械器具	36	27	7	1	－	1	－	－	－	165
その他	262	129	78	33	6	7	3	－	6	1,937

1　平成26年７月１日調査
経済産業省「経済センサス（基礎調査）」（総務課）

51　公設地方卸売市場

(1) 施設概要

所在地	上長都958番地の1
開設	昭和48年２月28日
開設者	千歳市
卸売業者	丸一苫小牧中央青果㈱千歳支店（青果部） ㈱恵千フーズ（水産物部）
面積	敷地　49,461㎡ 建物　　3,732㎡
市場施設	売場　倉庫　業者事務所　管理事務所　買受人控室 低温庫（冷却能力－45℃）買荷保管及び積込所
場外売場施設	千歳市食料品卸センター　434㎡ 青果２社
その他施設	パッケージセンター　　406㎡

1　令和２年３月31日現在
公設卸売市場

(2) 青果・水産物取扱いの推移

（単位　t、千円）

区分	年度	青果			水産物			
		総数	野菜	果物	総数	生鮮	加工	その他
数量	29	6,467	5,611	856	154	52	102	—
	30	6,012	5,353	659	197	81	115	1
	元	**5,795**	**5,172**	**623**	**192**	**96**	**95**	**1**
金額	29	1,467,829	1,165,600	302,229	304,799	108,860	195,939	—
	30	1,335,184	1,092,103	263,081	411,730	143,713	267,116	901
	元	**1,230,280**	**1,022,184**	**208,096**	**366,998**	**169,758**	**196,040**	**1,199**

公設卸売市場

(3) 青果・水産物入荷先の推移

（単位　t）

年度	青果入荷量				水産物入荷量					
	野菜		果物		生鮮		加工		その他	
	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)	道内(割合)	道外(割合)
29	4,168.4 (74%)	1,442.1 (26%)	306.2 (36%)	550.3 (64%)	41.3 (79%)	10.8 (21%)	25.8 (25%)	75.7 (75%)	—	—
30	3,877.7 (72%)	1,475.7 (28%)	244.1 (37%)	414.5 (63%)	69.9 (86%)	11.0 (14%)	47.3 (41%)	67.8 (59%)	0.7 (58%)	0.5 (42%)
元	**3,660.5** **(71%)**	**1,511.3** **(29%)**	**233.2** **(37%)**	**390.0** **(63%)**	**89.3** **(93%)**	**6.8** **(7%)**	**43.5** **(46%)**	**51.4** **(54%)**	**1.1** **(79%)**	**0.3** **(21%)**

公設卸売市場

千歳アウトレットモール・レラ

新千歳空港国内線ターミナルビル　ショッピングワールド内

あらまし

千歳市民を取り巻く消費生活は、情報化の発展、規制緩和や流通形態の多様化に伴い大きく変化しています。

千歳市では、消費者保護のため、昭和42年から消費生活モニター制度を開始し、消費者物価の監視を行うとともに、消費生活相談室については、平成14年４月から開設日を週５日に拡充したほか、23年４月からは、相談時間を延長し、消費者が相談しやすい環境の整備に努め、消費生活に関する苦情やトラブルの解決のためアドバイスを行っています。

令和元年度の相談件数は667件で、前年度から61件（約10％）増加しています。内容別の相談件数については、ハガキによる架空請求が最も多く、メールによる架空請求、インターネットや光回線など、通信サービスに関連するトラブルや賃貸アパート退去時の負担費用に関する相談も多くなっています。

悪質商法は、時代と共により巧妙化し、常に消費者を狙っています。消費者も「決してうまい話には乗らない」という自覚を持って、一人ひとりが賢い消費者にならなければならない時代になっています。

千歳市内には、令和２年４月１日現在、２行５店舗の地方銀行の支店・出張所があります。また、身近な金融機関として郵便局も千歳郵便局を始め14局が市街地を中心に開局されています。さらに勤労者の福祉の増進を目的とした労働金庫のほか、小中企業金融機関が３信用金庫４店舗と１信用組合３店舗、農業協同組合も１組合２店舗で営業しています。

年々人口が増加している千歳市は、工業団地進出企業や空港関連などの安定した事業所が多く、また、給与所得者に占める公務員の割合が全国的に見ても高いことから比較的安定した市場といわれています。

52　消費生活

(1) 内容別相談件数の推移

分類項目	主な内訳	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
商品一般	架空請求のハガキ・封書	2	3	144	123	**64**
	その他	3	12	8	14	**24**
食料品	健康食品、食品全般	28	29	29	31	**50**
住居品	布団、浄水器等	13	17	12	20	**21**
光熱水費・燃料	ガス・水道・電気	6	7	6	11	**9**
被服品	衣服、補正下着、宝石	18	15	16	13	**26**
保健衛生品	化粧品、各種治療器	6	12	10	20	**38**
教養娯楽品	新聞、電話、テレビ	34	29	30	25	**33**
車両・乗り物	自動車（新車・中古車）	19	22	18	24	**31**
土地・建物	賃貸アパート、投資マンション	20	41	39	61	**27**
住宅設備	屋根工事、塗装	24	23	25	14	**43**
金融・保険	借金、保険、投資	32	36	58	63	**66**
通信サービス	メールの架空請求	25	34	46	29	**18**
	アダルトサイト	41	36	13	3	**8**
	出会い系サイト	5	6	6	10	**6**
	その他（ネット関連）	67	62	63	75	**113**
教養・娯楽サービス	賞金当選通知、資格講座	15	9	8	12	**15**
保健・衛生サービス	エステ、理美容	13	11	16	13	**15**
その他サービス	学習塾、家庭教師、廃品回収	15	16	12	19	**25**
内職・副業・相場	雑貨創作、ホームページ作成	1	0	11	5	**4**
その他行政サービス	世論調査	1	5	4	5	**9**
その他の相談	個人間貸借	8	5	4	16	**22**
総数		396	430	578	606	**667**

市民生活課

(2) 計量検査の状況

（単位　台）

区分	検査対象戸数	検査数
大型はかり	2	3
小型はかり	63	221

1　平成30年定期検査結果
北海道計量検定所（市民生活課）

53　市内食料品等小売価格の推移

（単位　円）

品名	銘柄・規格		平均価格 30年度	平均価格 元年度	対前年度増減率（%）
野菜					
キャベツ		100g	19.1	**16.5**	△13.5
ほうれん草		100g	106.9	**108.5**	1.5
白菜		100g	22.5	**22.1**	△1.9
玉ねぎ		100g	25.9	**25.1**	△3.2
大根		100g	17.2	**15.3**	△11.1
きゅうり		100g	69.5	**69.1**	△0.5
トマト		100g	75.4	**72.7**	△3.6
馬鈴しょ		100g	29.7	**29.6**	△0.3
長ねぎ		100g	74.9	**66.5**	△11.2
鮮魚					
まぐろ	赤身	100g	338.9	**299.3**	△11.7
タラ		100g	182.8	**191.0**	4.5
さば		100g	109.1	**121.0**	10.9
ほっけ	開き	100g	145.4	**132.9**	△8.6
さんま		100g	90.6	**93.3**	2.9
いか		100g	376.1	**414.9**	10.3
さけ	切り身	100g	213.5	**203.4**	△4.7
たらこ		100g	320.7	**321.6**	0.3
畜産物					
豚肉	ローススライス	100g	195.4	**187.9**	△3.8
牛肉	外国産スライス	100g	241.2	**234.5**	△2.8
鶏肉	もも肉	100g	110.4	**109.3**	△1.0
ハム	ロースハム	100g	205.6	**202.7**	△1.4
鶏卵	普通品10個入		177.5	**185.8**	4.7

品名	銘柄・規格	平均価格 30年度	平均価格 元年度	対前年度増減率（%）
日用食品				
牛乳	紙容器入り1ℓ	203.1	**218.9**	7.8
マーガリン	普通品320g	224.0	**220.9**	△1.4
バター	箱入り200g、加塩	441.0	**440.1**	△0.2
食パン	6枚スライス	149.9	**147.2**	△1.8
豆腐	もめん400g程度	115.5	**113.2**	△2.0
納豆	普通品・3～4個パック	98.7	**99.1**	0.4
米(ゆめぴりか)	精米5kg袋入り	2,408.3	**2,314.2**	△3.9
米(ななつぼし)	精米5kg袋入り	2,055.7	**2,045.9**	△0.5
調味料				
上白糖	1kg袋入り	207.3	**212.2**	2.4
グラニュー糖	1kg袋入り	216.6	**216.6**	0.0
サラダ油	ペットボトル1500㎖	279.0	**289.3**	3.7
マヨネーズ	400～500g	226.8	**235.2**	3.7
トマトケチャップ	500g	190.3	**194.2**	2.0
しょうゆ	本醸造、濃口1ℓ	282.8	**279.8**	△1.1
みそ	1kg	251.5	**272.1**	8.2
小麦粉	1kg	248.4	**260.1**	4.7
日用品				
洗濯用洗剤	箱入り1.0kg粉末	298.3	**316.9**	6.2
台所用洗剤	ポリ容器入り260㎖	143.4	**152.3**	6.2
トイレットペーパー	12ロール	382.9	**419.0**	9.4
ティッシュペーパー	200組5箱	264.6	**293.2**	10.8
家庭用燃料				
灯油	現金売り1ℓ	92.53	**92.50**	0.0
プロパンガス	体積売り5㎥	5,506.10	**5,572.17**	1.2
ガソリン	レギュラー現金売り1ℓ	146.95	**145.30**	△1.1
軽油	現金売り1ℓ	129.65	**127.97**	△1.3

1　年度中の平均価格を掲載した
2　消費税込みの価格
消費生活モニター調査（市民生活課）

54　たばこ消費量の推移

区　　分	27　年　度	28　年　度	29　年　度	30　年　度	**元　年　度**
消　費　本　数	173,751,112	170,409,133	160,037,429	152,000,183	**147,119,791**
1 日 当 た り の 消　費　本　数	474,730	466,874	438,459	416,439	**401,967**
市民1人1日当たり 消　費　本　数	6.2	6.1	5.7	5.4	**5.1**

1　市民1人とは各年4月1日現在20歳以上の者をいう
税務課

55　金融機関店舗数の推移

年	総　数	都市銀行	地方銀行	信用金庫	信用組合	労働金庫	郵 便 局	農業協同組合
28	29	—	5	4	3	1	14	2
29	29	—	5	4	3	1	14	2
30	29	—	5	4	3	1	14	2
31	29	—	5	4	3	1	14	2
2	**29**	—	**5**	**4**	**3**	**1**	**14**	**2**

1　各年4月1日現在
2　店舗数には支店のほか、代理店・出張所を含む
千歳金融協会（北洋銀行千歳中央支店内）・郵便局・道央農業協同組合千歳支店

56　銀行などの預金・貸出金の推移

（単位　百万円）

年度	預　　金	貸　出　金
27	287,338	219,833
28	294,465	225,602
29	312,108	239,587
30	335,987	251,179
元	**333,798**	**236,937**

1　各年度末現在
2　市内普通銀行・信用金庫・労働金庫・信用組合の状況
千歳金融協会（北洋銀行千歳中央支店内）

57　手形交換高の推移

（単位　百万円）

年	手形交換高		不渡手形			
	枚数	金額	枚数	金額	うち取引停止処分	
					枚数	金額
16	49,147	52,187	85	68	27	25
17	44,573	49,297	25	20	11	10
18	40,581	45,515	—	—	—	—
19	38,615	44,714	32	55	18	42
20	**32,227**	**39,336**	**119**	**157**	**37**	**46**

1　市内普通銀行・信用金庫・労働金庫・信用組合の状況
2　千歳手形交換所が21年６月末日で廃止につき21年以降の数値は不明
千歳金融協会（北洋銀行千歳中央支店内）

58　農協の貯金・貸付金の推移

（単位　百万円）

年度	貯金残高	貸付金残高
27	27,869	7,177
28	27,496	6,379
29	28,452	6,289
30	28,248	6,523
元	**28,994**	**6,678**

1　各年度末現在
道央農業協同組合千歳支店

市の鳥　コウライキジ

昭和61（1986）年４月１日制定

（キジ科の留鳥）

平地や草原など地上に営巣し、市内でもよく見られます。

本来、北海道には分布していませんでしたが、昭和初期、朝鮮半島から移入し放鳥されてきたものです。

あらまし

平成31年１月～令和元年12月の新千歳空港の旅客数は約2,459万5,000人で、うち国内線は前年と比較して5.9%増の約2,073万3,000人、国際線は3.7％増の約386万2,000人で、６年連続で過去最高を更新しました。

新千歳空港の歴史は、現在の国道 36 号と千歳川が交通手段であった千歳村において、大正 15 年に鉄道が開通したことと一本の着陸場が造成されたことに端を発し 94 年を迎えます。

新千歳空港は、２本の 3,000m 滑走路を有する北海道における基幹空港です。

平成６年に日本初の 24 時間空港として運用を開始し、北米・欧州に至近という地理的優位性を生かし、国際拠点空港化を目指しています。

平成22年３月には国際線旅客ターミナルが供用を開始し利便性が格段に向上しました。航空路は元年実績で国内各地31都市、海外では中国、韓国、台湾などの26都市と結ばれています。国内線乗降客数は東京国際空港（羽田）に次いで２番目に多い利用者数となっています。また、世界最大級の輸送人員を誇る路線として知られる新千歳‐羽田線には１日54往復（２年４月現在）が運航し、年間約1,019万人が利用しています。

また、空港の民間委託により、令和２年６月から、運営権者によって滑走路等の航空系事業とターミナルビル等の非航空系事業の一体的な運営が開始されました。今後、民間の経営能力を活用した戦略的な運営により、就航路線の拡大、利用者利便の向上など、新千歳空港のさらなる発展が期待されます。

千歳市管内には千歳駅、南千歳駅、新千歳空港駅、長都駅の４つの旅客駅が設置されています。平成30年度の新千歳空港駅と千歳駅における乗車人数は、それぞれ道内２位、８位と利用者が多く、まさに交通の拠点であることを示しています。都市間輸送を担うJR千歳線は市街地において高架化されたJR北海道の最大幹線で、道内主要都市か

らの空港連絡鉄道のほか本州連絡鉄道としての性格を帯びています。国道36号は札幌‐千歳‐苫小牧‐室蘭を結ぶ道内の幹線で、ほかに国道５路線と道道14路線が鉄道とともにネットワークを構成し、物流の合理化など北海道の発展に寄与しています。

昭和46年には北海道初の高速幹線自動車道・北海道縦貫自動車道の一部である千歳‐北広島間が開通し、現在は札幌ジャンクションから小樽方面へ、千歳恵庭ジャンクションから道東方面を結ぶ北海道横断自動車道は、阿寒まで直結しています。

また、平成25年８月に新千歳空港インターチェンジが開通し、新千歳空港へ向かう新たなルートが確保されたほか、新千歳空港と石狩湾新港を結ぶ道央圏連絡道路についても、令和２年３月に、新たに千歳-長沼間を結ぶ泉郷道路が開通するなど整備が進んでいます。

鉄道と道路で直結した苫小牧・室蘭には国際拠点港湾があり、千歳は北海道における「空・陸・海」をジョイントする一大交通拠点です。

59　新千歳空港概要

(1) 基本施設

面　　積　728 万㎡
滑 走 路　A滑走路　延長 3,000m　幅 60m（アスファルトコンクリート舗装）
　　B滑走路　延長 3,000m　幅 60m（アスファルトコンクリート舗装）
誘 導 路　延長 14,625 m　幅 23m～58m
エプロン　面積 798,613㎡　大型航空機用50バース　中型航空機用３バース
　　小型航空機用８バース

東京航空局新千歳空港事務所

(2) 旅客ターミナルビル

ア　床面積・用途

（単位　㎡）

区　分	国内線ターミナルビル	用　　途
地下１階	23,807	
1　　階	43,972	バゲージクレーム　到着ロビー等
2　　階	57,582	出発ロビー　搭乗待合室　ショッピングワールド等
3　　階	36,624	グルメワールド　有料待合室　ホテル等
4　　階	16,815	温泉施設　映画館　ホテル等
5　　階	4,722	ホテル等
塔　　屋	610	
計	**184,132**	

区　分	国際線ターミナルビル	用　　途
地下１階	821	
1　　階	27,302	車寄せロビー　ホテル等
2　　階	41,510	到着ロビー　到着コンコース　ホテル等
3　　階	42,807	出発ロビー　出発コンコース　ホテル等
4　　階	16,259	有料待合室　ホテル等
5　　階	4,146	ホテル等
6　　階	3,580	ホテル等
7　　階	3,580	ホテル等
8　　階	3,580	ホテル等
塔　　屋	53	
計	**143,638**	

区　分	連　絡　施　設	用　　途
地下１階	224	
1　　階	1,815	ホール
2　　階	8,072	連絡通路等
3　　階	8,072	エンターテイメント施設
4　　階	2,942	機械室等
5　　階	―	
塔　　屋	3	
計	**21,128**	

イ　機械設備

（ア）国内線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	26基
	旅客用エスカレーター	82基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	20基
	ホテル客用エレベーター	２基
	人荷用エレベーター	13基
	出発・到着ベルトコンベア	28基　（出発18　到着10）
	ダムウェーター	２基
フライトインフォメーション	一式　制御操作装置・表示ボード121台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	43台（情報配信端末31台　タッチパネル端末12台）	
構内電話交換設備	一式　大容量デジタル式交換機	

（イ）国際線旅客ターミナルビル

機械設備	ボーディングブリッジ	15基
	旅客用エスカレーター	13基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	６基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	25基
	ホテル客用エレベーター	４基
	人荷用エレベーター	15基
	出発・到着ベルトコンベア	37基　（出発26　到着11）
フライトインフォメーション	一式　制御操作装置・表示ボード158台・自動放送装置	
デジタルメディア設備	31台（情報配信端末21台　タッチパネル端末10台）	
構内電話交換設備	一式　大容量デジタル式交換機（国内線配下装置）	

（ウ）連絡施設

機械設備	旅客用エスカレーター	10基
	ムービングサイドウォーク（動く歩道）	８基
	旅客用（身障者兼用）エレベーター	３基
	人荷用エレベーター	１基
フライトインフォメーション	表示ボード20台	
デジタルメディア設備	20台（情報配信端末18台　タッチパネル端末２台）	

新千歳空港ターミナルビルディング㈱

(3) 国内線貨物ターミナルビル

ア　航空会社棟

（単位　㎡）

区　　分	日本航空棟	ＡＮＡ棟	用　　途
地下１階	484	236	荷捌場・事務室等
1　　階	7,990	5,618	
2　　階	965	369	
計	**9,439**	**6,223**	

イ　代理店棟（日通棟を含む）

（単位　㎡）

区　　分	代理店上屋	用　　途
地下１階	245	荷捌場・事務室等
1　　階	4,645	
2　　階	1,269	
計	**6,159**	

新千歳空港ターミナルビルディング㈱

(4) ターミナルアネックスビル

（単位　㎡）

区　　分	ターミナルビル付属棟	用　　途
地　下　1　階 ～ 5　　階 （塔屋含む）	7,602	事務室等

新千歳空港ターミナルビルディング㈱

(5) ケータリング（機内食）施設

（単位　㎡）

区　　分	ケータリング施設	用　　途
1　　階 ～ 2　　階	10,160	機内食工場・食品調整工場等

新千歳空港ターミナルビルディング㈱

(6) 車両整備格納庫

（単位　㎡）

区　　分	A　棟	B　棟	用　　途
1　　階 ～ 2　　階	2,653	4,614	航空機支援車両整備車庫

新千歳空港ターミナルビルディング㈱

60　新千歳空港乗降客数の推移

年・月	総　　数	乗　　客	降　　客
27 年	(2,112,737) 20,461,531	(1,047,280) 10,290,170	(1,065,457) 10,171,361
28 年	(2,579,899) 21,311,918	(1,283,552) 10,726,893	(1,296,347) 10,585,025
29 年	(3,290,366) 22,718,612	(1,635,742) 11,416,230	(1,654,624) 11,302,382
30 年	(3,725,840) 23,313,311	(1,853,677) 11,704,296	(1,872,163) 11,609,015
元 年	**(3,862,160)** **24,594,904**	**(1,927,413)** **12,346,960**	**(1,934,747)** **12,247,944**
1 月	(439,661) 2,022,771	(218,006) 1,029,902	(221,655) 992,869
2 月	(411,441) 1,974,607	(209,289) 1,005,426	(202,152) 969,181
3 月	(340,179) 2,082,873	(174,568) 1,058,694	(165,611) 1,024,179
4 月	(272,770) 1,703,153	(140,989) 834,630	(131,781) 868,523
5 月	(317,068) 2,076,963	(150,609) 1,050,026	(166,459) 1,026,937
6 月	(334,253) 2,094,569	(164,027) 1,044,962	(170,226) 1,049,607
7 月	(396,176) 2,253,245	(196,343) 1,123,917	(199,833) 1,129,328
8 月	(312,085) 2,412,620	(165,431) 1,226,239	(146,654) 1,186,381
9 月	(194,517) 2,151,995	(94,709) 1,089,914	(99,808) 1,062,081
10 月	(239,061) 2,006,305	(120,187) 1,019,060	(118,874) 987,245
11 月	(227,381) 1,878,882	(109,142) 934,472	(118,239) 944,410
12 月	(377,568) 1,936,921	(184,113) 929,718	(193,455) 1,007,203

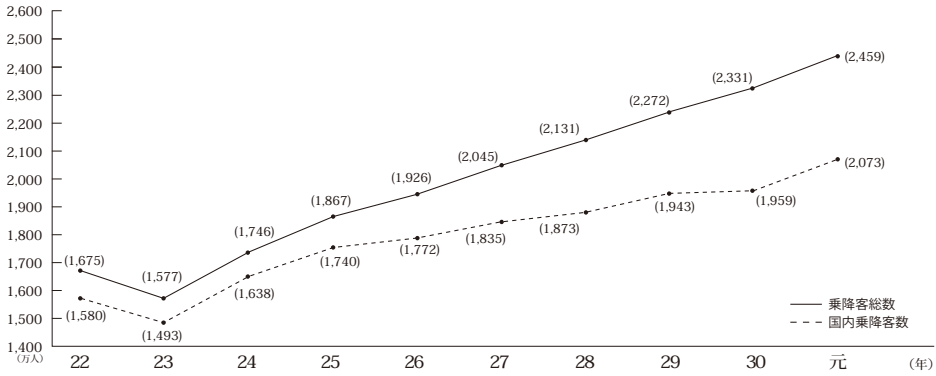
1　(　) 内は国際線乗降客数で再掲である
2　令和元年の数値は速報値
国土交通省「空港管理状況調書」、東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

61　新千歳空港乗降客数（令和元年）

種別		路線	乗降客数
総数			**24,594,904**
国内線総数			**20,732,744**
拠点空港	空港会社管理	成田	1,946,940
		中部	1,716,502
		関西	1,234,853
		大阪	1,273,826
	国管理空港	稚内	60,633
		釧路	106,430
		函館	84,163
		仙台	907,644
		新潟	168,059
		東京	10,187,364
		広島	176,598
		福岡	699,592
		沖縄	110,578
		松山	35,276
	特定地方管理空港	秋田	125,050
		山形	36,184
地方管理空港		利尻	22,151
		中標津	115,770
		女満別	234,905
		青森	167,788
		花巻	97,839
		福島	62,227
		富山	72,758
地方管理空港		松本	46,957
		静岡	81,400
		神戸	578,076
		岡山	87,610
		出雲	5,379
共用空港		茨城	194,016
		小松	91,447
		徳島	3,613
その他			1,116
国際線総数			**3,862,160**
中国（北京、上海、天津、杭州、南京、大連、無錫、青島）			649,541
韓国（ソウル、釜山、大邱、清州、務安）			1,188,172
台湾（台北、高雄）			845,916
香港			465,751
その他定期路線（ホノルル、バンコク、クアラルンプール、シンガポール、マニラ、ユジノサハリンスク、ウラジオストク、ヘルシンキ、シドニー）			706,666
チャーター便等			6,114

東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

乗降客数の推移



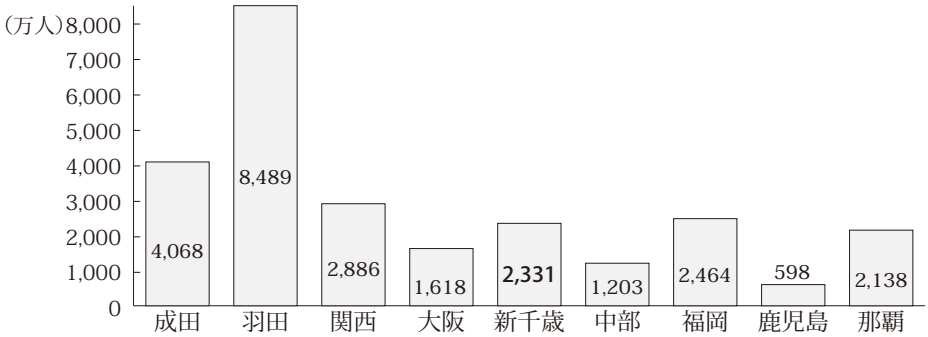
62　新千歳空港貨物取扱量の推移

（単位　kg）

区　分	総数		積荷		降荷	
	30　年	元　年	30　年	元　年	30　年	元　年
総　数	**(25,398,482)** **195,378,798**	(18,041,188) 172,497,951	**(20,546,547)** **100,771,297**	(13,364,812) 84,849,220	**(4,851,935)** **94,607,501**	(4,676,376) 87,648,731
1　月	(1,880,336) 13,591,164	(1,696,319) 11,860,371	(1,557,469) 6,385,119	(1,381,783) 5,393,031	(322,867) 7,206,045	(314,536) 6,467,340
2　月	(2,787,152) 14,749,807	(1,424,792) 11,797,810	(2,513,197) 7,314,040	(1,170,010) 4,996,702	(273,955) 7,435,767	(254,782) 6,801,108
3　月	(2,143,010) 16,149,954	(1,326,532) 13,567,673	(1,772,864) 7,148,759	(981,021) 5,638,793	(370,146) 9,001,195	(345,511) 7,928,880
4　月	(2,071,013) 14,601,429	(1,424,768) 12,763,247	(1,681,684) 6,730,844	(1,057,143) 5,550,897	(389,329) 7,870,585	(367,625) 7,212,350
5　月	(2,045,645) 13,993,034	(1,551,435) 12,232,727	(1,711,760) 6,749,602	(1,141,171) 5,585,923	(333,885) 7,243,432	(410,264) 6,646,804
6　月	(1,819,302) 14,717,901	(1,395,548) 13,413,305	(1,442,689) 7,168,634	(1,042,484) 6,685,696	(376,613) 7,549,267	(353,064) 6,727,609
7　月	(2,032,935) 18,332,501	(1,273,495) 16,538,640	(1,655,138) 10,872,189	(915,494) 9,370,443	(377,797) 7,460,312	(358,001) 7,168,197
8　月	(2,092,042) 18,666,715	(1,180,731) 15,324,091	(1,694,888) 10,864,744	(813,337) 8,348,669	(397,154) 7,801,971	(367,394) 6,975,422
9　月	(2,331,982) 17,899,639	(1,583,166) 16,387,260	(1,945,108) 10,788,555	(1,183,421) 9,337,541	(386,874) 7,111,084	(399,745) 7,049,719
10　月	(2,243,291) 18,521,222	(1,532,934) 16,541,586	(1,722,315) 10,945,187	(1,097,771) 9,120,553	(520,976) 7,576,035	(435,163) 7,421,033
11　月	(1,999,861) 15,880,187	(1,875,795) 14,268,019	(1,386,477) 7,675,079	(1,313,434) 7,022,108	(613,384) 8,205,108	(562,361) 7,245,911
12　月	(1,951,913) 18,275,245	(1,775,673) 17,803,222	(1,462,958) 8,128,545	(1,267,743) 7,798,864	(488,955) 10,146,700	(507,930) 10,004,358

1　（　）内は国際貨物量で再掲である
東京航空局新千歳空港事務所（空港政策課）

主要空港乗降客数（平成30年）



＜資料＞国土交通省「空港管理状況調書」

63　千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の５による共用飛行場です。

面　積　約1,060万㎡

滑走路　東側滑走路　延長3,000m　幅60m（セメントコンクリート舗装）
　　西側滑走路　延長2,700m　幅45m（アスファルトコンクリート舗装）

1　**表233（3）**に再掲
航空自衛隊千歳基地
※基地全体　1,054万㎡
　飛 行 場　　621万㎡

64　空港除雪車両車種別保有台数

車　　種	新千歳空港
プラウ除雪車	21
スイーパ除雪車	20
ロータリ除雪車	8

車　　種	新千歳空港
凍結防止剤散布車	2
計	**51**

1　令和２年４月１日現在
東京航空局新千歳空港事務所

65　鉄道旅客輸送人員の推移（乗車人員）

（単位　千人）

駅　　名	26　年　度	27　年　度	28　年　度	29　年　度	**30　年　度**
総　　数	8,768	9,181	9,572	10,012	**10,356**
千　歳　駅	3,114	3,156	3,193	3,262	**3,317**
南　千　歳　駅	513	511	495	510	**557**
新千歳空港駅	5,141	5,514	5,884	6,240	**6,482**

1　長都駅は無人駅のため不詳　美々駅は平成29年３月４日廃止
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

66　平成30年度道内駅別乗車人員（１日平均）

（単位　人）

順　位	駅　　名	乗　車　人　員
1（1）	札　　幌	99,593
2（2）	**新千歳空港**	**17,759**
3（3）	手　　稲	15,574
4（4）	新　札　幌	14,674
5（5）	琴　　似	11,686
6（6）	桑　　園	10,518
7（7）	小　　樽	9,459
8（8）	**千　　歳**	**9,087**
9（9）	白　　石	8,285
10（10）	北　広　島	7,738

順　位	駅　　名	乗　車　人　員
11（11）	恵　　庭	7,321
12（12）	大　　麻	7,100
13（13）	野　　幌	6,499
14（14）	星　　置	6,011
15（15）	旭　　川	5,196
16（16）	岩　見　沢	4,700
17（17）	稲積公園	4,673
18（18）	発　　寒	4,581
19（20）	苗　　穂	4,534
20（19）	発寒中央	4,388

1　（　）内は前年度順位
北海道旅客鉄道㈱経営企画部

67　高速自動車国道

（1）道央自動車道施設概要

路線名	北海道縦貫自動車道　函館名寄線
区間	茅部郡森町－士別市
延長	443.5㎞（千歳市域9.5㎞）
車線数	４車線（一部暫定２車線）
設計速度	120㎞／時、100㎞／時及び80㎞／時
規制速度	最高速度100㎞／時（一部区間80㎞／時又は70㎞／時） 最低速度50㎞／時
サービスエリア	４か所（有珠山　樽前　岩見沢　砂川）
パーキングエリア	11か所（八雲 静狩 豊浦噴火湾 富浦 萩野 美沢 輪厚 野幌 茶志内 音江 比布大雪）

1　令和２年３月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社

（2）道東自動車道施設概要

路線名	北海道横断自動車道　黒松内釧路線・黒松内北見線
区間	千歳市－釧路市、足寄町（国　直轄区間（本別～阿寒）を含む）
延長	254.1㎞（千歳市域18.4㎞）
車線数	暫定２車線
設計速度	100㎞／時及び80㎞／時
規制速度	最高速度70㎞／時（一部区間80㎞／時）
サービスエリア	１か所（十勝平原）
パーキングエリア	５か所（キウス　由仁　占冠　長流枝　上浦幌）

1　令和２年３月31日現在
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

（3）供用状況（インターチェンジ）

大沼公園－24－森－23－落部－21－八雲－18－国縫－13－長万部－9－虻田洞爺湖－6－伊達－4－室蘭－3－登別室蘭－61－
小樽－46－札幌西－4
登別東－60－白老－58－苫小牧西－55－苫小牧東－53－新千歳空港－53－千歳－46－北広島－54－札幌南－60－札幌－58－
H25.8.3開業
15－足寄
11－夕張－23－占冠－21－トマム－19－十勝清水－7－池田－15－本別－21－浦幌－26－白糠－27－阿寒
（ジャンクションは本別）
－岩見沢－62－美唄－63－滝川－元－深川－2－旭川鷹栖－12－和寒－15－士別剣淵

1　令和２年３月31日現在
2　供用状況欄のインターチェンジ間の数字は供用開始年を示す
3　千歳－阿寒・足寄間は道東自動車道を示す（ジャンクションは千歳恵庭）
4　札幌－小樽間は札樽自動車道を示す（ジャンクションは札幌）
NEXCO 東日本北海道支社
国土交通省北海道開発局

(4) 千歳インターチェンジ出入車両の推移

（単位　台）

年度	総　　数	日　平　均
27	4,156,185	11,356
28	4,274,643	11,711
29	4,371,193	11,976
30	4,497,284	12,321
元	**4,597,756**	**12,562**

NEXCO東日本北海道支社

68　バス輸送人員

(1) バス輸送人員の推移

（単位　千人）

年度	27	28	29	30	**元**
輸 送 人 員	2,994	2,909	2,779	2,900	**2,904**

1　千歳市内に路線を持つ会社４社の合計である
北海道中央バス㈱・道南バス㈱・千歳相互観光バス㈱・あつまバス㈱

(2) 会社別・路線別輸送人員（令和元年度）

（単位　千人）

会　社　名	路　　線	輸送人員
北海道中央バス		**2,036**
	千　　歳	914
	千歳空港支笏湖	56
	苫　小　牧	250
	千　歳　市　内	816
道　南　バ　ス		**265**
	苫小牧千歳空港	176
	室蘭千歳空港	89
千歳相互観光バス		**573**
	青　　葉	73
	泉　　沢	382
	勇　舞　空　港	82
	市民病院プール	36
あ つ ま バ ス	千　　歳	**30**

北海道中央バス㈱・道南バス㈱・千歳相互観光バス㈱・あつまバス㈱

(3) ビーバス輸送人員の推移

（単位　人）

年度・月	総　　数	中央バス Aコース	相互バス Bコース	便　　数
23年度	114,176	60,716	53,460	5,375
24年度	114,074	61,329	52,745	5,360
25年度	114,062	60,856	53,206	5,360
26年度	117,658	62,840	54,818	5,380
27年度	**117,073**	**63,057**	**54,016**	**5,376**
28年度 4月	8,685	4,796	3,889	440
5月	8,831	4,812	4,019	448
6月	9,570	5,258	4,312	448
7月	9,326	5,107	4,219	456
8月	9,287	5,059	4,228	460
9月	10,146	5,551	4,595	448
合計	**55,845**	**30,583**	**25,262**	**2,700**

1　ビーバスは全市的な路線の見直しにより平成28年９月30日で廃止
市民生活課

69　タクシーの輸送状況の推移

年	会 社 数（社）	登録台数（台）	実車走行距離（千km）	乗車人員（千人）
28	6	178	5,666	2,313
29	6	183	5,817	2,325
30	6	193	6,136	2,360
31	6	190	6,302	2,333
2	**6**	**190**	**5,999**	**2,159**

1　各年３月31日現在
千歳地区ハイヤー事業協同組合

70　自動車車種別登録台数の推移

（単位　台）

車　　種	26年度	27年度	28年度	29年度	**30年度**
総　　数	74,052	74,232	75,862	77,957	**80,432**
貨物自動車					
普通車	2,594	2,634	2,636	2,714	**2,741**
小型四輪車 小型三輪車	2,493	2,626	2,660	2,884	**2,872**
被けん引車	244	253	238	258	**273**
乗合自動車					
普通車	199	215	225	256	**264**
小型車	172	177	183	203	**229**
乗用自動車					
普通車	16,204	16,478	17,370	18,665	**20,168**
小型車	24,409	23,639	23,614	23,469	**23,375**
特殊用途車					
普通車 小型車	1,165	1,174	1,170	1,213	**1,260**
大型特殊車	650	654	667	672	**700**
小型二輪車	1,311	1,291	1,326	1,346	**1,368**
軽自動車	24,611	25,091	25,773	26,227	**27,182**

1　各年度末現在
北海道運輸局札幌運輸支局

71　電話加入状況の推移

（単位　台）

年度	加入電話					公衆電話	
	総数	区分		100人当たり普及台数	住宅用電話比率（%）	総数	1,000人当たり普及台数
		事務用	住宅用				
27	14,841	2,301	11,998	15.6	80.8	147	1.6
28	16,172	4,632	11,540	16.9	71.4	137	1.4
29	15,152	4,403	10,749	15.8	70.2	132	1.4
30	14,167	4,173	9,994	14.7	70.5	123	1.3
元	**13,123**	**3,896**	**9,227**	**13.6**	**70.3**	**130**	**1.3**

1　各年度末現在（INSネット回線含む）
2　INSネット1500は10回線換算とした
NTT東日本（株）北海道支店

72　郵便施設数の推移

年	郵便局数		郵便切手類販売所及び印紙売りさばき所	郵便ポスト
	総数	簡易郵便局（再掲）		
28	15	1	119	106
29	15	1	124	107
30	15	1	121	104
31	15	1	129	100
2	**15**	**1**	**133**	**100**

1　各年４月１日現在
日本郵便株式会社 北海道支社
※郵便局総数には、千歳郵便局新千歳空港内分室を含む

73　テレビ受信契約数の推移

（単位　件）

年度	契約数	衛星契約数（再掲）
26	34,512	14,711
27	35,099	15,355
28	35,790	15,990
29	36,558	16,713
30	**37,140**	**17,218**

1　各年３月31日現在
2　ＮＨＫホームページ「受信料・受信契約数に関するデータ」

あらまし

千歳市の住宅の状況は、進出企業、航空会社、自衛隊などに勤務する市民の転出入が多く、平成27年の国勢調査によると持家率は53.6％と北海道の持家率56.0％と比較し2.4ポイント低くなっています。

公営住宅等は、令和元年度末で2,479戸を整備し、3,612人の市民が生活をしています。近年は老朽化した市営住宅の解消や少子高齢化に対応し地域の活性化に寄与することを目的に策定した公営住宅ストック総合活用計画や公営住宅等長寿命化計画に基づき、令和元年度末で37棟1,337戸の建て替え中高層住宅を整備したほか、５棟101戸の借り上げ市営住宅も供用しています。

また、千歳飛行場周辺の航空機騒音を軽減するために防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、国が住宅の防音工事を昭和49年から実施し、令和元年度までに20,409戸の本体工事が行われました。

都市計画は、都市の発展を計画的に誘導し個性的で潤いのあるまちづくりを行うことにより、市民の健康で文化的かつ機能的な活動を確保することを目的に土地利用、都市施設、市街地開発事業などの計画を定めて実施しています。千歳市は昭和46年に市街化区域と市街化調整区域、平成８年には現行12種の用途地域を決定し、現在の市街化区域面積は3,226haとなっています。

千歳市における都市公園の状況をみると、102haに及ぶ総合公園である青葉公園を始め228か所の公園があります。１人当たりの公園面積は44㎡で道内35市中16位（平成29年３月現在）となり、国や北海道の平均及び国土交通省令の基準を大きく上回るなど、環境に恵まれた住み良いまちづくりを進めています。

道路では、市道の実延長744km・舗装率85.9％と北海道内有数の高い水準で、国道、道道の舗装率はほぼ100％と、交通の拠点都市にふさわしい整備状況となっています。市道には10万本以上の街路樹が植栽され、緑あふれる千歳の景観を作っています。

また、市民の日常生活に欠かせない路線バスを維持していくため、「千歳市交通戦略プラン」に基づき、平成28年10月に全市的なバス路線の再編を実施しました。この再編により、バス路線は12路線から14路線に増え、初乗り100円運賃やシルバーお出かけパスなど新たな運賃制度も導入しています。

74　住宅所有形態別世帯数・世帯人員の推移

区分	年	総　数	持ち家	公営借家	民営借家	給与住宅	間借り	寄宿舎その他
世帯数	7	29,937	14,85	2,469	8,202	2,781	589	1,044
	12	33,330	17,021	2,367	9,640	2,979	503	820
	17	35,786	18,729	2,369	10,959	2,825	491	413
	22	38,374	20,148	2,437	12,217	2,548	603	421
	27	**40,465**	**21,687**	**2,261**	**13,229**	**2,139**	**449**	**700**
構成比（%）	7	100.0	49.6	8.2	27.4	9.3	2.0	3.5
	12	100.0	51.1	7.1	28.9	8.9	1.5	2.5
	17	100.0	52.3	6.6	30.6	7.9	1.4	1.2
	22	100.0	52.5	6.4	31.8	6.6	1.6	1.1
	27	**100.0**	**53.6**	**5.6**	**32.7**	**5.3**	**1.1**	**1.7**
世帯人数	7	79,615	46,027	6,392	17,048	7,779	1,298	1,071
	12	83,589	49,925	5,606	18,505	7,645	1,036	872
	17	86,130	52,367	5,210	20,645	6,391	1,030	487
	22	89,113	54,466	5,070	22,229	5,506	1,287	555
	27	**91,267**	**57,038**	**4,429**	**23,595**	**4,407**	**849**	**949**
構成比（%）	7	100.0	57.8	8.0	21.4	9.8	1.6	1.4
	12	100.0	59.7	6.7	22.1	9.2	1.2	1.1
	17	100.0	60.8	6.0	24.0	7.4	1.2	0.6
	22	100.0	61.1	5.7	24.9	6.2	1.4	0.6
	27	**100.0**	**62.5**	**4.9**	**25.9**	**4.8**	**0.9**	**1.0**

1　各年10月１日調査
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

75　公営住宅などの戸数と居住人員

（単位　戸）

区　分	戸　数	居住人数
総　数	**2,479**	**3,612**
公営住宅	**2,396**	**3,528**
市営住宅	2,300	3,475
改良住宅	96	53
給与住宅	**83**	**84**
貸付住宅	1	4
教職員住宅	82	80

1　令和２年３月31日現在
市営住宅課

76　建築確認用途別件数の推移

（単位　件）

年度	総　数	市確認	道振興局確　認	指定確認検査機関	用途別内訳										
					専用住宅	併用住宅	長屋共同住宅	学　校	工　場	倉　庫	病院診療所	旅館ホテル	店　舗	事務所	その他
27	549	160	35	354	366	3	56	1	9	12	1	5	14	12	70
28	557	165	20	372	385	2	62	0	7	10	5	0	9	20	57
29	607	141	34	432	439	5	59	1	7	9	1	4	9	16	57
30	662	95	42	525	446	3	70	1	12	8	4	2	15	18	83
元	**564**	**84**	**27**	**453**	**384**	**5**	**62**	**4**	**19**	**4**	**2**	**6**	**6**	**10**	**62**

1　用途別内訳では新築、増改築の区別はしていない
2　その他には工作物、建築設備を含む
建築課

77　住宅防音施工別実施戸数の推移

（単位　戸）

工事区分		S49～H26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
本体工事		20,037	51	48	51	110	**112**
機能復旧工事	空調機器復旧工事	7,818	226	238	248	309	**311**
	建具復旧工事	4,784	215	187	212	175	**65**

1　工事区分　空調機器復旧工事－防音工事後、10年を経過し故障若しくは使用不能となった空調機器は、1割の自己負担で復旧する工事（平成19年度から新たに住宅防音工事の助成を希望する居室に暖房機が設置されている場合、当該居室への暖房機の補助はありません）
　　建具復旧工事－外部開口部に設置した防音建具（窓などの部品）で、その機能の全部又は一部を保持していないものを復旧する工事
北海道防衛局（基地政策課）

78　都市計画区域面積

（単位　ha）

区　　域	千歳・恵庭圏	千歳市	恵庭市	計画変更年月日
都市計画区域	43,990	27,570	16,420	昭和49. 6. 1
市街化区域	5,080	3,226	1,854	平成30. 3.27
市街化調整区域	38,910	24,344	14,566	平成30. 3.27

まちづくり推進課

79　用途別地域面積

種　　類	面　積	建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合	建築物の建築面積の敷地面積に対する割合	外壁の後退距離の限度	建築物の高さの限度	構成比
	ha			m	m	%
第1種低層住居専用地域	約　772	6／10 以下	4／10 以下	1.0	10	23.9
第2種低層住居専用地域	約　26	8／10 以下	5／10 以下	1.0	10	0.8
第1種中高層住居専用地域	約　151	20／10 以下	6／10 以下	－	－	4.7
第2種中高層住居専用地域	約　224	20／10 以下	6／10 以下	－	－	6.9
第1種住居地域	約　268	20／10 以下	6／10 以下	－	－	8.3
第2種住居地域	約　30	20／10 以下	6／10 以下	－	－	0.9
準住居地域	約　37	20／10 以下	6／10 以下	－	－	1.2
近隣商業地域	**約　72.6**					**2.3**
	約　16	20／10 以下	8／10 以下	－	－	
	約　56	30／10 以下	8／10 以下	－	－	
	約　0.6	40／10 以下	8／10 以下	－	－	
商業地域	約　26	40／10 以下	8／10 以下	－	－	0.8
準工業地域	約　602	20／10 以下	6／10 以下	－	－	18.7
工業地域	約　216	20／10 以下	6／10 以下	－	－	6.7
工業専用地域	**約　801**					**24.8**
	約　388	20／10 以下	4／10 以下	－	－	
	約　413	20／10 以下	6／10 以下	－	－	
総　　数	**約 3,225.6**					**100.0**

1　計画変更年月日　平成29年３月15日
まちづくり推進課

80　高度利用地区と準防火地域

（単位　ha）

区　　分	面　積	建築物の延べ面積の敷地面積に対する割合の最高限度及び最低限度		建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度	建築物の建築面積の最低限度	計画決定年月日
		最高限度	最低限度			
高度利用地区						
幸町Cブロック1第1地区	約 0.45	$\frac{40}{10}$ 以下	$\frac{20}{10}$ 以上	$\frac{8}{10}$ 以下	200㎡以上	S56. 8.10
幸町Cブロック2第2地区	約 0.45	$\frac{30}{10}$ 以下	$\frac{15}{10}$ 以上	$\frac{8}{10}$ 以下	200㎡以上	S56. 8.10
駅前地区Bブロック	約 0.55	$\frac{50}{10}$ 以下	$\frac{20}{10}$ 以上	$\frac{7}{10}$ 以下	200㎡以上	H13. 6.22（変更）
準防火地域	約 166	―	―	―	―	H 4. 4. 3（変更）

1　建築物の建築面積の敷地面積に対する割合の最高限度は、建築基準法第53条第３項第２号に該当する建築物にあっては、10分の１を加えた数値とする

まちづくり推進課

81　都市計画施設

(1) 都市計画道路

（単位　m）

名称		区域延長	幅員	車線数
番号	路線名			
3・1・ 1	北大通	約 530	55	2
3・1・ 2	南大通	約 370	55	2
3・2・ 3	国道36号	約 13,810	30	4
3・2・ 4	住吉通	約 1,100	30	2
3・2・ 8	真町泉沢大通	約 6,550	30	4
3・2・26	美々駒里大通	約 1,580	30	4
3・2・40	泉沢東大通	約 3,370	30	4
3・2・54	空港泉沢大通	約 5,550	30	4
3・2・63	道央新道	約 2,660	31	4
3・3・ 5	祝梅大通	約 1,720	25	4
3・3・ 6	東大通	約 3,750	22	4
3・3・ 7	中央大通	約 5,050	22	4
3・3・ 9	川南通	約 2,980	25	4
3・3・10	駅大通	約 770	22	4
3・3・11	末広大通	約 1,050	25	4
3・3・12	日の出大通	約 3,480	22	4
3・3・14	7線大通	約 2,810	26	4
3・3・15	4線大通	約 3,020	22	2
3・3・43	美々中央通	約 1,400	24	2
3・4・13	33号通	約 3,370	18	2
3・4・16	川北通	約 2,870	20	2
3・4・17	29号通	約 6,390	18	2
3・4・18	支笏湖通	約 3,520	18	2
3・4・19	末広高台通	約 2,620	18	2
3・4・20	北新通	約 2,740	18	2
3・4・21	9線通	約 2,780	18	2
3・4・22	30号通	約 4,200	18	2
3・4・23	8線通	約 1,080	18	2
3・4・24	ひばりヶ丘通	約 1,310	21	2
3・4・25	32号通	約 2,740	18	2
3・4・27	6線通	約 900	18	2
3・4・28	長都駅通	約 830	18	2
3・4・29	市場通	約 1,580	18	2
3・4・30	5線通	約 540	18	2
3・4・31	祝梅北通	約 430	18	2
3・4・32	旭ヶ丘通	約 1,030	18	2
3・4・39	美々西通	約 1,840	20	2
3・4・41	泉沢中央通	約 2,740	20	2
3・4・42	泉沢西通	約 2,430	20	2
3・4・44	泉沢学園通	約 2,200	20	2

（単位　m）

名称 番号	名称 路線名	区域延長	幅員	車線数
3・4・45	美々南通	約 960	20	2
3・4・46	6線中通	約 370	16	2
3・4・47	7線中通	約 600	16	2
3・4・48	8線中通	約 560	16	2
3・4・49	30号中通	約 1,850	16	2
3・4・50	28号通	約 2,190	15.5	2
3・4・55	美々東通	約 770	16	2
3・4・56	美々学園通	約 1,660	16	2
3・4・57	美々中通	約 530	16	2
3・4・60	南千歳駅通	約 1,180	21	2
3・4・61	柏台旭ヶ丘通	約 1,100	21	2
3・4・62	柏台1号通	約 570	18	2
3・4・64	27号通	約 740	21	2
3・4・65	北信濃通	約 2,540	21	2
3・4・69	みどり台通	約 750	18	2
3・5・33	鉄北通	約 6,300	13.5	2
3・5・34	仲の橋通	約 2,850	15	2
3・5・35	公園通	約 1,380	15	2
3・5・36	黄金通	約 910	14	2
7・4・52	29号中通	約 720	18	2
7・4・58	美々公園通	約 880	18	2
7・5・51	11線中通	約 1,070	12	2
7・5・53	28号中通	約 720	12	2
7・5・59	9線中通	約 1,090	14	2
7・5・66	北信濃中通	約 2,650	14	2
7・5・67	6線新中通	約 550	14	2
7・5・68	7線新中通	約 550	14	2
7・5・70	栄通	約 100	15	2
7・5・71	8線新中通	約 530	14	2
7・5・72	北信濃新中通	約 270	14	2
7・7・37	川北側道	約 280	6	―
7・7・38	川南側道	約 510	6	―
8・7・ 1	千歳駅1号連絡歩道	約 70	7	―
8・7・ 2	千歳駅2号連絡歩道	約 50	7	―
9・6・ 1	千歳駅バス専用道	約 150	11	―

まちづくり推進課

（2）都市高速鉄道

（単位　m）

名称	位置	延長	計画決定年月日
日本国有鉄道千歳線	北信濃―美々	約 10,130	昭和51.12.21

まちづくり推進課

（3）都市計画公園

（単位　ha）

種　別	名称		位　置	面　積
	番　号	公園名		
街区公園	2・2・ 1	春日公園	春日町１丁目	約 0.53
	2・2・ 2	末広中公園	末広４丁目	約 0.20
	2・2・ 3	末広西公園	末広８丁目	約 0.20
	2・2・ 4	末広東公園	末広３丁目	約 0.94
	2・2・ 5	花園第２公園	花園６丁目	約 0.29
	2・2・ 6	むつみ公園	高台３丁目	約 0.42
	2・2・ 7	花園公園	花園４丁目	約 0.17
	2・2・ 8	新町東公園	花園２丁目	約 0.17
	2・2・ 9	しなの公園	信濃２丁目	約 0.22
	2・2・ 10	しんとみ公園	新富３丁目	約 0.15
	2・2・ 11	しなの第２公園	信濃４丁目	約 0.28
	2・2・ 12	とみおか公園	富丘４丁目	約 0.46
	2・2・ 13	とみおか２号公園	富丘３丁目	約 0.24
	2・2・ 14	すみよし１号公園	住吉５丁目	約 0.27
	2・2・ 15	桂木５号公園	桂木４丁目	約 0.33
	2・2・ 16	東郊１号公園	東郊１丁目	約 0.46
	2・2・ 17	東郊２号公園	東郊２丁目	約 0.25
	2・2・ 18	すみよし３号公園	住吉１丁目	約 0.14
	2・2・ 19	東１号公園	青葉５丁目	約 0.40
	2・2・ 20	とみおか３号公園	富丘２丁目	約 0.19
	2・2・ 21	北栄１号公園	北栄１丁目	約 0.22
	2・2・ 22	真町公園	真々地１丁目	約 0.05
	2・2・ 23	栄町公園	栄町２丁目	約 0.06
	2・2・ 24	桂木１号公園	桂木５丁目	約 0.29
	2・2・ 25	桂木２号公園	桂木６丁目	約 0.22
	2・2・ 26	桂木３号公園	桂木３丁目	約 0.33
	2・2・ 27	桂木４号公園	桂木２丁目	約 0.20
	2・2・ 28	北斗１号公園	北斗１丁目	約 0.07
	2・2・ 29	北斗２号公園	北斗２丁目	約 0.11
	2・2・ 30	北斗３号公園	北斗３丁目	約 0.10
	2・2・ 31	北斗４号公園	北斗３丁目	約 0.11
	2・2・ 32	ひまわり公園	自由ケ丘２丁目	約 0.07
	2・2・ 33	白樺公園	自由ケ丘１丁目	約 0.25
	2・2・ 34	自由ケ丘公園	自由ケ丘４丁目	約 0.13
	2・2・ 35	からまつ公園	自由ケ丘３丁目	約 0.10
	2・2・ 36	なかよし公園	自由ケ丘６丁目	約 0.25
	2・2・ 37	桜木１号公園	桜木１丁目	約 0.13
	2・2・ 38	桜木２号公園	桜木４丁目	約 0.15
	2・2・ 39	新富おおぞら公園	新富１丁目	約 0.30
	2・2・ 40	富士１号公園	富士４丁目	約 0.23

（単位　ha）

種　別	名称		位　　置	面　　積
	番　　号	公　園　名		
街区公園	2・2・ 41	富士2号公園	富士4丁目	約 0.09
	2・2・ 42	長都1号公園	長都駅前3丁目	約 0.09
	2・2・ 43	長都2号公園	長都駅前4丁目	約 0.14
	2・2・ 44	長都3号公園	長都駅前2丁目	約 0.11
	2・2・ 45	ひばりヶ丘1号公園	北光4丁目	約 0.14
	2・2・ 46	ひばりヶ丘2号公園	北光6丁目	約 0.08
	2・2・ 47	ひばりヶ丘3号公園	北光3丁目	約 0.12
	2・2・ 48	静和公園	北光1丁目	約 0.07
	2・2・ 49	とみおか4号公園	富丘4丁目	約 0.21
	2・2・ 50	とみおか5号公園	富丘2丁目	約 0.10
	2・2・ 51	とみおか6号公園	富丘1丁目	約 0.03
	2・2・ 52	稲穂公園	稲穂2丁目	約 0.16
	2・2・ 53	稲穂第2公園	稲穂4丁目	約 0.25
	2・2・ 54	日の出丘1号公園	青葉6丁目	約 0.19
	2・2・ 55	日の出丘2号公園	日の出5丁目	約 0.11
	2・2・ 56	祝梅1号公園	旭ヶ丘4丁目	約 0.13
	2・2・ 57	祝梅2号公園	旭ヶ丘4丁目	約 0.13
	2・2・ 58	祝梅3号公園	旭ヶ丘3丁目	約 0.32
	2・2・ 59	梅ヶ丘公園	梅ヶ丘1丁目	約 0.23
	2・2・ 60	弥生公園	弥生3丁目	約 0.23
	2・2・ 61	寿1号公園	寿1丁目	約 0.23
	2・2・ 62	寿2号公園	寿2丁目	約 0.28
	2・2・ 63	桜木3号公園	桜木5丁目	約 0.25
	2・2・ 64	若草ゴリラ公園	若草1丁目	約 0.63
	2・2・ 65	若草ゾウ公園	若草3丁目	約 0.26
	2・2・ 66	白樺パンダ公園	白樺5丁目	約 0.26
	2・2・ 67	里美キリン公園	里美2丁目～3丁目	約 0.23
	2・2・ 68	稲穂やすらぎ公園	稲穂3丁目	約 0.20
	2・2・ 69	稲穂フレンド公園	稲穂3丁目	約 0.20
	2・2・ 70	豊里ハスカップ公園	豊里2丁目	約 0.70
	2・2・ 71	豊里くるみ公園	豊里5丁目	約 0.55
	2・2・ 72	りんごちゃん公園	北光5丁目	約 0.08
	2・2・ 73	北斗かおり公園	北斗6丁目	約 0.10
	2・2・ 74	北斗ルンルン公園	北斗5丁目	約 0.20
	2・2・ 75	若草ヒツジ公園	若草4丁目	約 0.27
	2・2・ 76	白樺ライオン公園	白樺1丁目	約 0.13
	2・2・ 77	里美ラッコ公園	里美1丁目	約 0.26
	2・2・ 78	里美コアラ公園	里美4丁目～5丁目	約 0.23
	2・2・ 79	ウサギ公園	柏陽5丁目	約 0.25
	2・2・ 80	タヌキ公園	柏陽3丁目	約 0.24
	2・2・ 81	リス公園	福住3丁目	約 0.21
	2・2・ 82	カバ公園	福住1丁目	約 0.25
	2・2・ 83	シマウマ公園	文京1丁目	約 0.25

（単位　ha）

種　別	名称		位　　置	面　積
	番　号	公　園　名		
街区公園	2・2・ 84	北斗すみれ公園	北斗４丁目	約　0.17
	2・2・ 85	長都４号公園	長都駅前１丁目	約　0.17
	2・2・ 86	長都５号公園	北陽３丁目	約　0.20
	2・2・ 87	クワガタ公園	清流２丁目	約　0.43
	2・2・ 88	コオロギ公園	清流８丁目	約　0.17
	2・2・ 89	カタツムリ公園	清流５丁目	約　0.27
	2・2・ 90	さくらぎ４号公園	桜木２丁目	約　0.14
	2・2・ 91	スズラン公園	長都駅前４丁目	約　0.14
	2・2・ 92	ラクダ公園	文京４丁目	約　0.32
	2・2・ 93	ペンギン公園	文京６丁目	約　0.35
	2・2・ 94	シカ公園	文京３丁目	約　0.32
	2・2・ 95	北陽公園	北陽１丁目	約　0.20
	2・2・ 96	あずさ１号公園	あずさ２丁目	約　0.25
	2・2・ 97	あずさ２号公園	あずさ３丁目	約　0.25
	2・2・ 98	セミ公園	幸福４丁目	約　0.21
	2・2・ 99	ミツバチ公園	幸福３丁目	約　0.21
	2・2・100	ホタル公園	幸福２丁目	約　0.24
	2・2・101	アカトンボ公園	清流６丁目	約　0.14
	2・2・102	あけぼの公園	日の出３丁目	約　0.17
	2・2・103	みどり台１号公園	みどり台南４丁目	約　0.15
	2・2・104	みどり台２号公園	みどり台南２丁目	約　0.15
	2・2・105	みどり台３号公園	みどり台北４丁目	約　0.15
	2・2・106	みどり台４号公園	みどり台北２丁目	約　0.15
	2・2・107	北信濃１号公園	北陽５丁目	約　0.25
	2・2・108	北信濃２号公園	北陽６丁目	約　0.25
	2・2・109	北信濃３号公園	北陽８丁目	約　0.20
	2・2・110	北信濃４号公園	北陽７丁目	約　0.25
	2・2・111	あずさ４号公園	あずさ５丁目	約　0.28
	2・2・112	新星公園	新星２丁目	約　0.17
近隣公園	3・3・ 1	桜ヶ丘公園	高台５丁目	約　1.0
	3・3・ 2	すみよし２号公園	住吉２丁目	約　1.7
	3・3・ 3	しゅくぷ公園	梅ヶ丘２丁目	約　1.6
	3・3・ 4	上長都公園	上長都	約　2.5
	3・3・ 5	若草公園	若草５丁目	約　2.1
	3・3・ 6	もみじ公園	泉沢	約　1.6
	3・3・ 7	つばさ公園	泉沢	約　3.9
	3・4・ 8	ハヤブサ公園	泉沢	約　4.1
	3・3・ 9	太陽公園	柏陽１丁目	約　3.1
	3・3・ 10	上長都明星公園	上長都	約　1.0
	3・4・ 11	せせらぎさわやか公園	桜木２丁目、自由ヶ丘５・６丁目、北信濃	約　4.8
	3・3・ 12	空港公園	柏台南１丁目	約　1.0
	3・3・ 13	勇舞公園	勇舞６丁目	約　2.5
	3・3・ 14	北光公園	北光２丁目	約　1.0

（単位　ha）

種　別	名称 番　号	名称 公　園　名	位　置	面　積
地区公園	3・3・15	指宿公園	大和４丁目	約 3.0
	3・3・16	みどり台公園	みどり台南３丁目	約 2.0
	4・4・1	臨空公園	泉沢	約 5.4
	4・4・2	向陽台公園	文京３丁目	約 4.9
	4・4・3	遺跡公園	清流２丁目	約 6.8
	4・4・4	勇舞すこやか公園	桜木３丁目	約 4.8
	4・3・5	メムシ公園	根志越	約 3.5
総合公園	5・6・1	青葉公園	真町、泉沢	約 102.3
	5・6・2	美々公園	美々	約 75.0
運動公園	6・5・1	青空公園	あずさ1丁目、根志越、北信濃	約 20.5
特殊公園	8・2・1	開拓記念公園	北信濃	約 0.5

まちづくり推進課

(4) 都市計画緑地

（単位　ha）

種　別	名称 番　号	名称 公　園　名	位　置	面　積
都市緑地	1	北栄緑地	北栄２丁目	約 1.3
	2	泉沢つつじヶ丘緑地	泉沢	約 5.2
	3	里美ターザン緑地	里美３丁目	約 0.8
	4	里美ジャングル緑地	里美４丁目	約 0.6
	5	ママチ川緑地	青葉２丁目 朝日町２・６・８丁目 本町４丁目 真々地１・４丁目	約 5.4
	6	長都川緑地	みどり台北１・２丁目 みどり台南３丁目	約 1.6
	7	ゴセン川緑地	長都駅前５丁目 みどり台南１・４丁目	約 3.6
	8	新千歳空港インターチェンジ緑地	平和	約 3.2

まちづくり推進課

(5) 都市計画下水道

名　称	排水区域	下水管渠	処理施設敷地面積
千歳公共下水道	約3,250ha	延長 1,400m	千歳市浄化センター　約54,900㎡ 千歳市スラッジセンター　約19,800㎡

まちづくり推進課

(6) 都市計画河川

（単位　m）

区　分	位置		区域		構　造	備　考
	起　点	終　点	幅　員	延　長		
千歳川	右岸　豊里１丁目地先 左岸　根志越地先	右岸　住吉１丁目地先 左岸　花園１丁目地先	73～175	約1,390	掘込式 複断面	一級河川
ママチ川	青葉１丁目	真々地１丁目	12～35	約1,960	掘込式 単断面	一級河川

まちづくり推進課

(7) その他の都市計画施設

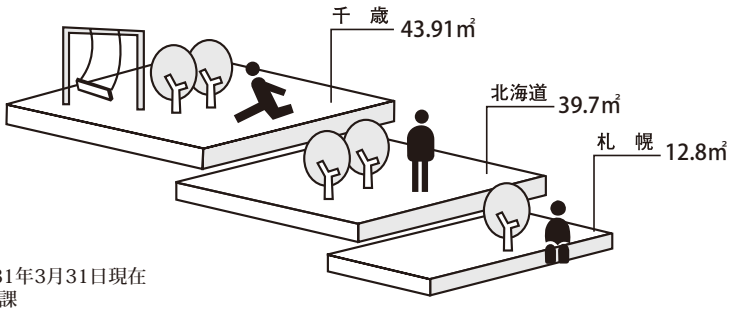
（単位　ha）

区　分	名　称	位　置	面　積	計画決定年月日
墓　園	千歳墓園	都、根志越	約　18.1	平成27. 3.11
ごみ処理場	千歳市廃棄物再資源化施設	美　々	約　2.8	平成20.10.31
ごみ焼却場	千歳市廃棄物焼却処理施設	美　々	約　1.8	昭和60. 1.30
ごみ焼却場	道央廃棄物処理組合焼却施設	根志越	約　4.3	平成31. 3.18
市　場	千歳市公設地方卸売市場	上長都	約　4.9	昭和47. 7. 3
火　葬　場	千歳市火葬場	根志越	約　2.5	昭和48. 5.17

まちづくり推進課

１人当たり都市公園面積

都市計画区域内



1　平成31年3月31日現在
都市整備課

82　市街地開発事業

(1) 土地区画整理事業の経過

（単位　ha）

地　　区	施行者	施行区域面積	区域決定年月日	施行認可年月日	施行年度
千歳第1地区	組合	147.7	昭和16. 5.10	昭和17. 7. 2	昭和17～　24
末広第1地区	市	38.2	28. 3.20	33. 2.20	32～　35
末広第2地区	市	58.8	28. 3.20	39. 4.10	39～　42
東郊地区	組合	107.8	－	43. 3.28	42～　50
上長都地区	個人	94.6	－	47. 5.12	47～　48
北信濃地区	共同	3.6	－	48.11.21	48～　51
蘭越地区	市	34.8	49. 7.13	49. 8.30	49～　52
祝梅地区	市	76.1	49. 7.13	49.11. 5	49～　56
末広第3地区	組合	13.3	－	53. 8. 1	53～　59
根志越地区	市	35.3	54.12.22	55. 4. 4	55～　58
稲穂地区	組合	13.0	－	59.10. 8	59～平成 2
おさつ駅前地区	組合	58.3	63. 3.31	63. 7.11	63～　10
第四工業団地地区	市	38.5	平成 3. 3.11	平成 3. 9.27	平成 3～　5
根志越第2地区	市	63.5	3. 9.27	3.12.27	3～　11
北信濃第2地区	個人	16.6	－	6. 1.26	5～　8
北陽地区	組合	6.5	－	7. 1.23	6～　9
根志越第3地区	組合	22.3	－	8. 9.26	8～　13
桜木3丁目地区	個人	2.8	－	10. 5. 7	10～　11
静和地区	個人	4.7	－	10. 7.22	10～　11
勇舞地区	組合	53.6	10. 5. 6	10. 9.21	10～　18
おさつ駅みどり台地区	組合	72.7	11.11. 5	12. 8.16	12～　31
蘭越エコタウン地区	組合	5.7	－	12. 1.21	11～　19
北信濃第3地区	共同	5.3	－	12. 5. 8	12～　13
勇舞第2地区	組合	9.5	－	13.11. 5	13～　18
北陽高校前地区	組合	31.6	20. 3.28	20. 6.19	20～令和元
あずさ地区	組合	9.2	20.10.31	20.12. 8	20～　25

事業庶務課

(2) 市街地再開発事業

（単位　ha）

地　　区	施 行 者	施行区域 面　　積	計画決定 年 月 日	事業計画認可 年　　月　　日	施 行 年 度
中 心 街 C 地 区	組　合	約0.9	昭和 56. 8.10	昭和 56.10.22	昭和 56～57

まちづくり推進課

(3) 地区計画

（単位　ha）

地　　区	位　　置	面　積	計画決定・変更年月日	建築条例
根 志 越 第 2 地 区	清流1丁目の一部、清流2～5・7・8丁目	64.0	平成30. 4. 1	平成 5.10. 1
サイエンスパーク地区	文京２丁目の一部	11.8	29. 1. 4	5.10. 1
北 信 濃 地 区	北陽1丁目の一部、あずさ2・3丁目	23.1	29. 1. 4	6. 4. 1
美 々 地 区	美々の一部	192.2	30. 4. 1	17. 4. 1
根 志 越 第 3 地 区	幸福２・３・４丁目	22.3	30. 4. 1	8. 4. 1
オフィスアルカディア地区	柏台南１・２丁目	39.9	30. 4. 1	8. 4. 1
根 志 越 第 4 地 区	清流６丁目、稲穂３丁目の一部	4.7	10. 5. 6	10. 7. 1
桜 木 地 区	桜木3丁目、自由ヶ丘7丁目の一部	2.7	10. 5. 6	10. 7. 1
勇 舞 地 区	勇舞１～８丁目	63.1	30. 4. 1	11. 6.16
蘭 越 第 2 地 区	新星１・２丁目 蘭越、泉沢の一部	18.3	12.10. 5	12.12.15
み ど り 台 地 区	みどり台北１～５丁目 みどり台南１～４丁目 長都駅前４丁目の一部 長都駅前５丁目	73.3	30. 4. 1	14. 6.20
臨 空 地 区	泉沢の一部	30.2	29. 1. 4	12. 4. 1
北 信 濃 第 3 地 区	あずさ５丁目の一部 北信濃の一部	5.7	12. 3.31	12. 8. 1
北 陽 高 校 前 地 区	北陽５～８丁目 北陽１～３丁目の各一部 勇舞１・２丁目の各一部	31.6	30. 4. 1	21.10.22
あ ず さ 地 区	あずさ5丁目の一部、北信濃の一部	9.2	21. 9.18	20.12.17
平 和 地 区	平和の一部、泉沢の一部	50.0	30. 4. 1	25.12.13

まちづくり推進課・建築課

83　開発行為（宅地造成）許可の推移

（単位　ha）

区　　分	27 年 度	28 年 度	29 年 度	30 年 度	元 年 度
許　可　件　数	1	0	2	0	**0**
許　可　面　積	1.77	－	1.04	－	**－**
宅　地　面　積	1.38	－	0.85	－	**－**
区　画　数	65	－	41	－	**－**
公共施設面積	0.39	－	0.19	－	**－**
公　園　面　積	－	－	－	－	**－**
道　路　面　積	0.39	－	0.19	－	**－**
遊水池面積	－	－	－	－	**－**
そ　の　他	－	－	－	－	**－**
そ　の　他	－	－	－	－	**－**

1　都市計画法に基づく開発許可制度による開発行為
まちづくり推進課

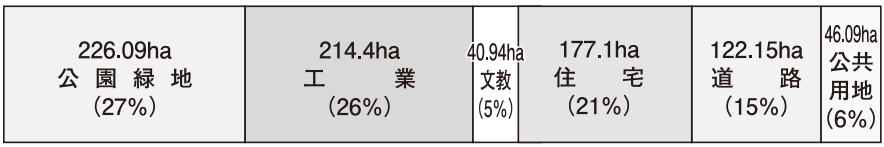
84　泉沢向陽台

（1）事業概要

区　　分	第 1 期 計 画	第 2 期 計 画	計
計画面積（ha）	432.7	394.07	825.28
計画人口（人）	7,700	7,300	15,000
計画戸数（戸）	2,150	1,750	3,900
開　発　年	昭和53～60年度	昭和61～平成８年度	
開発方式	都市計画法第29条による開発行為許可		
事業主体	千歳市土地開発公社		

1　計画面積で第１期と第２期では1.49haが重複している
開発振興課

泉沢の土地利用計画（割合）



開発振興課

(2) 土地利用計画面積表

（単位　ha）

土地利用計画			第1期 面積	第2期 面積	第2期 比率（%）	面積
住宅地区	住宅用地	独立住宅	55.97	31.04	16.94	**87.01**
		集合住宅	12.55	14.80	8.08	**27.35**
		特別分譲	8.14	5.98	3.26	**14.12**
		業務施設	—	8.95	4.88	**8.95**
		商業施設	5.20	2.39	1.30	**7.59**
		住宅用地（市）	—	32.08	17.51	**32.08**
		小計	81.86	95.24	51.97	**177.10**
	教育用地	中学校	2.91	—	—	**2.91**
		小学校	2.56	3.20	1.75	**5.76**
		保育園	0.37	0.40	0.22	**0.77**
		幼稚園	0.55	0.39	0.21	**0.94**
		その他	—	0.37	0.20	**0.37**
		小計	6.39	4.36	2.38	**10.75**
	公共用地	道路	45.65	29.80	16.26	**75.45**
		公園	10.09	9.26	5.05	**19.35**
		緑地	97.71	40.33	22.01	**138.04**
		水道・ガス用地	—	0.65	0.35	**0.65**
		雨水貯留池	—	3.63	1.98	**3.63**
		小計	153.45	83.67	45.65	**237.12**
	合計		**241.70**	**183.27**	**100.00**	**423.48**
工業地区	工業用地		100.52	113.88	63.05	**214.40**
	公共用地	道路	23.26	23.44	12.98	**46.70**
		公園	6.97	8.00	4.43	**14.97**
		緑地	28.41	25.32	14.02	**53.73**
		雨水貯留池	31.84	9.90	5.48	**41.74**
		その他	—	0.07	0.04	**0.07**
		小計	90.48	66.73	36.95	**157.21**
	合計		**191.00**	**180.61**	**100.00**	**371.61**
準工地区	文教施設		—	30.19	100.00	**30.19**
	合計		**—**	**30.19**	**100.00**	**30.19**
総合計			**432.70**	**394.07**	**—**	**825.28**

1　住宅用地（市）は千歳市が主体として分譲
2　住宅地区面積で第1期と第2期では1.49haが重複している
開発振興課

85　道路種別延長

（単位　km）

種　　別	総　　数		舗　　装　　道		砂利道延長
	路　線　数	延　　長	延　　長	舗装率（%）	
総　　数	**1,873**	**938.9**	**823.7**	**87.7**	**115.2**
国　　道	6	88.6	88.6	100.0	－
道　　道	14	107.9	102.5	95.0	5.4
市　　道	1,863	744.1	639.1	85.9	105.0

1　令和２年４月１日現在
2　国道　36号　234号　274号　276号　337号　453号
3　道道　島松千歳線　早来千歳線　舞鶴追分線　支笏湖公園線　丸駒線　千歳インター線　馬追原野北信濃線　泉沢新千歳空港線　支笏湖線　南千歳停車場線　支笏湖公園自転車道線　幌内三川停車場線　新千歳空港線　新千歳空港インター線
北海道開発局札幌開発建設部・北海道空知総合振興局札幌建設管理部・道路管理課

86　橋梁の道路種別架橋状況

（単位　m）

種　　別	総　　橋　　梁		永　　久　　橋		木　　橋	
	数	延　　長	数	延　　長	数	延　　長
総　　数	**265**	**8,817**	**264**	**8,793**	**1**	**24**
国　　道	75	4,528	75	4,528	－	－
道　　道	33	958	33	958	－	－
市　　道	157	3,404	156	3,369	1	24

1　令和２年４月１日現在
2　国道　36号　234号　274号　276号　337号　453号
3　道道　島松千歳線　早来千歳線　舞鶴追分線　支笏湖公園線　丸駒線　千歳インター線　馬追原野北信濃線　泉沢新千歳空港線　支笏湖線　支笏湖公園自転車道線　幌内三川停車場線
北海道開発局札幌開発建設部・北海道空知総合振興局札幌建設管理部・道路管理課

87　都市計画道路種別整備状況

（単位　km）

種　　別	計　画　道　路		整　　備　　状　　況			
	本　　数	延　　長（A）	改良済延長（B）	改　良　率（B/A）（%）	舗装済延長（C）	舗　装　率（C/A）（%）
総　　数	**75**	**150.77**	**136.39**	**90.46**	**128.89**	**85.49**
国　　道	5	20.03	19.76	98.65	19.76	98.65
道　　道	8	27.66	25.71	92.95	23.78	85.95
市　　道	67	105.76	90.92	85.97	85.35	80.70

1　令和２年３月31日現在
2　計画道路「延　長」　構造物（橋梁、立体、トンネルなど）を含めた都市計画決定済延長であり、駅前広場、鉄道高架は除く
　本数及び延長の総数は、道路種別の重複により実延長より少なくなっている
3　整備状況「改良済」　道路用地が計画どおり確保されており、自動車交通に供用開始されている部分（暫定断面を含む）
　「舗装済」　改良済区画のうち車道部分が本舗装されているもの（段階施工を含む）
道路建設課

88　道路工事種別件数・工事費の推移

（単位　千円）

道　　路		
年度	件　　数	工 事 費
27	39	618,579
28	45	574,794
29	54	810,638
30	45	892,928
元	**45**	**805,119**
工　事　区　分		
本　舗　装	15	126,755
改　　良	27	671,658
歩　　道	3	6,706

橋　　梁		
年度	件　　数	工 事 費
27	1	99,803
28	2	97,891
29	1	77,544
30	1	68,029
元	**2**	**132,946**

1　道路管理課・道路建設課分を掲載した
契約管財課

89　公園・緑地

(1) 都市公園・緑地の状況

（単位　ha）

種　　別	公園数	面　積	うち開設済公園		
			公園数	面　積	名　　称
総　　数	**228**	**521.95**	**209**	**421.58**	
住区基幹公園	175	98.00	170	95.76	
街区公園	153	33.17	149	32.36	真町　栄町　春日　末広中　末広西　末広東　花園第２　むつみ　花園　しなの　しんとみ　しなの第２　とみおか　とみおか２号　すみよし１号　桂木５号　東郊１号　すみよし３号　東１号　とみおか３号　北栄１号　白樺　桜木２号　青葉丘　桂木４号　日の出丘１号　梅ヶ丘　北斗２号　桂木１号　自由ヶ丘　河畔　寿１号　北斗ルンルン　なかよし　富士２号　長都１号　北斗４号　ひばりが丘１号　ひばりが丘３号　とみおか４号　とみおか５号　稲穂　稲穂第２　日の出丘２号　祝梅１号　若草ゴリラ　若草ゾウ　白樺パンダ　里美キリン　新富おおぞら　稲穂やすらぎ　稲穂フレンド　豊里くるみ　りんごちゃん　北斗かおり　希望　若草ヒツジ　白樺ライオン　里美コアラ　弥生　東郊２号　しののめ　桜木３号　桂木３号　静和　からまつ　かぜのこ　里美ラッコ　富士１号　祝梅２号　寿２号　ひまわり　長都３号　豊里ハスカップ　タヌキ　春日２号　スズラン　桂木２号　長都２号　北斗すみれ　長都４号　ウサギ　リス　北斗１号　北斗３号　長都５号　祝梅３号　カバ　シマウマ　白樺タコ　ひばりが丘２号　さくらぎ４号　とみおか６号　桜木１号　ちびっこ　自由ヶ丘東　自由ヶ丘西　さくらんぼ　ふなっこ　ちょうちょう　とんぼ　ひばりが丘４号　流通団地　北斗やすらぎ　富丘ワンパク　上長都バンビ　信濃草笛　長都６号　流通団地１号　大和　富士３号　ラクダ　ペンギン　シカ　北陽　クワガタ　カタツムリ　ねしこし　コオロギ　あずさ1号　あずさ2号　ハルニレ　柏台北部　セミ　あけぼの　新町東　アカトンボ　青葉丘南　朝日町東　うぐいす　すずめ　きのっこ　あずさ3号　勇舞1号　ミツバチ　長都7号　勇舞2号　新星　みどり台１号　みどり台２号　ホタル　勇舞３号　みどり台３号　みどり台４号　北信濃２号　あずさ４号　北信濃１号　北信濃３号　北信濃４号
近隣公園	17	39.26	16	37.82	桜ヶ丘　上長都　すみよし２号　しゅくぷ　太陽　もみじ　若草　つばさ　上長都明星　せせらぎさわやか　ハヤブサ　北光　勇舞　指宿　空港　みどり台

（単位　ha）

種　　別	公園数	面　積	うち開設済公園		
			公園数	面　積	名　　称
地区公園	5	25.57	5	25.57	臨空　向陽台　勇舞すこやか　遺跡　メムシ
都市基幹公園	3	197.72	2	108.74	
総合公園	2	177.28	1	102.31	青葉
運動公園	1	20.44	1	6.43	青空
都市緑地公園	49	225.43	36	216.50	南大通　市民庭園　泉沢つつじケ丘　里美ターザン　北栄　里美ジャングル　林東　自然の森　長都駅前　旭ヶ丘　泉沢　美々　ママチ川　ランコウシ　北陽あずさ　千歳川河川　柏陽　福住　文京　富丘３丁目　柏台南　美々南　流通１号・２号・３号　第４工業団地１号・２号・３号・４号　泉沢東　勇舞　みどり台　清流　長都川　北信濃　新千歳空港インターチェンジ
特殊公園	1	0.55	1	0.55	開拓記念

1　平成31年４月１日現在
2　１人当たりの公園緑地面積は、（421.58ha×10,000）÷9.6万人＝43.91㎡
都市整備課

(2) 市道樹種別本数

樹種	本数	樹種	本数
総数	**101,673**	ドウダンツツジ	21,126
アカエゾマツ	959	ナナカマド	2,047
イチョウ	2,298	ニシキギ	16,243
エゾムラサキツツジ	3,608	ハルニレ	1,367
エゾヤマツツジ	2,590	ベニウツギ	1,199
エリカ	2,645	モンタナハイマツ	8,450
カツラ	1,181	ヨドガワツツジ	3,713
ギンフミズキ	1,414	リュウキュウツツジ	2,628
サラサドウダンツツジ	4,586	レンギョ	4,404
タマオンコ	2,726	その他	12,508
タマドウダン	5,981		

1　千本以上の樹種名を掲載した
道路管理課

(3) 都市公園・緑地の樹種別本数

樹種	本数	樹種	本数
総数	**111,995**	ドウダンツツジ	8,391
エゾハイマツ	1,256	ニオイヒバ	1,344
エゾムラサキツツジ	7,331	ニシキギ	8,829
エゾヤマザクラ	4,166	ハマナス	1,273
エゾヤマツツジ	5,013	ベニメギ	1,980
カバレンゲツツジ	4,579	ヨドガワツツジ	2,147
シラカンバ（シラカバ）	1,790	その他	62,726
チロリアンマツ	1,170		

1　千本以上の樹種名を掲載した
都市整備課

90　市発注工事の状況（令和元年度）

（単位　千円）

種　　別	工　事　概　要	件　数	工　事　費
総　　数		**104**	**2,581,698**
道路施設	道路維持補修整備等	13	56,311
	道路舗装整備等	34	881,753
住宅施設	公営住宅整備等	5	263,117
文教施設	公園整備等	20	212,372
	小中学校整備等	19	326,466
	スポーツ施設整備等	1	99,517
そ　の　他	廃棄物処理施設整備等	3	18,439
	河川整備等	2	12,144
	街区案内板整備等	1	2,838
	共同受信施設整備等	2	64,273
	本庁舎整備等	3	625,977
	文化センター整備等	1	18,491

1　廃棄物管理課・道路管理課・市営住宅課・事業庶務課・道路建設課・都市整備課・建築課・営繕課・電気設備課・総務部主幹（第２庁舎等建設担当）分を掲載した

契約管財課

市の鳥　ヤマセミ

昭和61(1986)年４月１日制定

（カワセミ科の留鳥）

翼の色は、白と黒のまだら模様で頭に冠のような羽のある美しい鳥です。雌雄（つがい）で暮らし、切り立った崖に穴を掘って営巣します。

清流に生息する鳥で、千歳川の上流や青葉公園などで見られます。

あらまし

千歳川上流部には王子製紙苫小牧工場に電力を供給する王子製紙千歳川発電所が５か所あり、その一部を支笏湖地区で特定供給を受けています。

千歳市内の都市ガスは全て天然ガスで、北海道ガスが供給し、令和元年度末の一般ガス普及率は全市の41.0％、供給区域内の45.0％となっています。

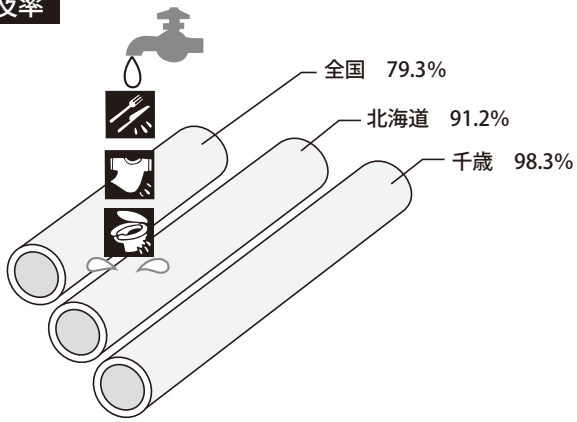
千歳市の水道事業は昭和30年に春日町の浄水場から給水を開始したのが始まりです。その後、人口が増加し浄水施設の能力が限界に近づいたため、39年からは蘭越浄水場から給水を行っています。蘭越浄水場は環境省の「名水百選」に選ばれた、「ナイベツ川湧水」を主水源としています。また、支笏湖温泉地区では、シリセツナイ川の伏流水を主水源として簡易水道による給水を行っているほか、石狩東部広域水道企業団の漁川浄水場と千歳川浄水場から水道水の供給を受けています（受水）。漁川浄水場からの受水については昭和59年４月から開始し、千歳川浄水場からの受水については平成27年４月から開始しています。令和元年度末の上水道普及率は99.9％と高い水準になっています。

下水道事業は昭和35年に都市下水路として計画を策定し、36年に着工したのが始まりで、39年には公共下水道事業認可を受けて本格的な整備に着手しています。その後、急速な市街地の開発に対応するため46年に終末処理場の建設に着手し、51年から運転を開始しています。

現在認可されている公共下水道事業計画では、予定処理面積を約3,452ha、想定区域人口92,880人、終末処理能力64,200㎥／日とし、令和２年度までに認可区域内の整備を完了する予定です。また、下水道処理区域以外については、全市的な生活環境の向上を目的に合併処理浄化槽による個別排水処理施設整備事業により水洗化を進めています。令和元年度末現在の下水道普及率は98.3％と高い水準になっ

ています。また、水洗化率は99.9％、浄化槽による汚水処理を含めた汚水衛生処理率は99.4％で、市民の快適な生活環境と千歳川の清流を守っています。

下水道普及率



1　令和２年３月31日現在（全国及び北海道の下水道普及率は平成30年度末の数値）
水道局下水道整備課

91　電灯状況の推移

年度	契約口数				使用電力量（千kWh）			
	総数	従量	公衆街路	定額	総数	従量	公衆街路	定額
24	57,327	45,295	10,476	1,556	197,932	183,708	13,281	943
25	57,897	45,893	10,487	1,517	196,030	182,013	13,074	943
26	58,394	46,368	10,523	1,503	190,701	177,247	12,503	951
27	59,100	47,000	10,650	1,450	189,000	176,482	11,565	953
28	…	…	…	…	…	…	…	…

1　契約口数は各年度末現在の数値
2　電力小売全面自由化に伴い公表中止
北海道電力㈱千歳支社

92　電力状況の推移

年度	契約口数				使用電力量（千kWh）			
	総数	低圧	民生･産業用	その他	総数	低圧	民生･産業用	その他
24	7,090	1,580	579	4,931	630,251	13,689	584,716	31,846
25	7,172	1,573	577	5,022	632,917	13,455	588,756	30,706
26	7,190	1,566	581	5,043	630,762	13,506	589,527	27,729
27	7,128	1,574	535	5,019	574,783	13,373	534,314	27,096
28	…	…	…	…	…	…	…	…

1　契約口数は各年度末現在の数値
2　電力小売全面自由化に伴い公表中止
北海道電力㈱千歳支社

93　王子製紙千歳川発電所

（1）施設概要

発電所	出力（kw）		採水方式	貯水容量（千㎥）	使用水量（㎥/s）		発電機			
	最大	常時			最大	常時	種類	台数	型式	台数
千歳第1	25,800	11,000	暗渠	215,323.9	18.10	11.1	3相交流同期	5	縦軸回転界磁 横軸回転界磁	1 4
第2	2,700	1,530	隧道	34.0	19.4	6.83	3相交流同期	1	縦軸回転界磁	1
第3	3,300	1,250	ダム	483.4	23.5	6.85	3相交流同期	1	横軸回転界磁	1
第4	3,600	1,600	ダム	337.8	25.5	12.5	3相交流同期	2	横軸回転界磁	2
第5	1,600	1,000	隧道	15.9	19.9	6.83	3相交流同期	1	縦軸回転界磁	1

1　平成31年4月1日現在
王子製紙㈱苫小牧工場

(2) 電力需給状況の推移

（単位　MWH）

年度	計	発電電力量					消費電力量		
		発電所内訳					自家用		販売用
		第1	第2	第3	第4	第5	工場	その他	
27	144,319	98,523	13,155	12,314	12,197	8,130	135,109	3,711	5,499
28	172,067	116,800	15,822	15,444	14,509	9,492	163,459	3,141	5,466
29	142,516	97,751	12,637	11,971	11,933	8,224	135,704	1,456	5,357
30	170,882	115,615	15,568	15,261	14,815	9,623	163,841	1,766	5,275
元	**136,985**	**94,151**	**12,084**	**10,936**	**11,949**	**7,865**	**130,014**	**1,125**	**5,847**

1　自家用「工場」は千歳発電所から苫小牧工場へ送電された電力（苫受電量）
2　自家用「その他」は発電所内消費及び送電損失量
3　「販売用」は支笏湖地区への特定供給
王子製紙㈱苫小牧工場

94　一般ガス

(1) 供給の推移

区分		27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
供給戸数	一般ガス	16,260	16,608	16,790	16,957	**17,298**
計量器取付数	一般ガス	19,377	19,704	19,844	20,070	**20,371**
普及率	区域内(%)	45.6	45.6	45.4	45.0	**45.0**
	市全域(%)	42.0	41.8	41.5	41.2	**41.0**

1　各年度末現在
2　普及率は各年度末現在の住民基本台帳世帯数に対する計量器取付数の割合
3　供給戸数は各年度末現在の調定数
北海道ガス㈱千歳支店

(2) 用途別供給戸数と消費量の推移

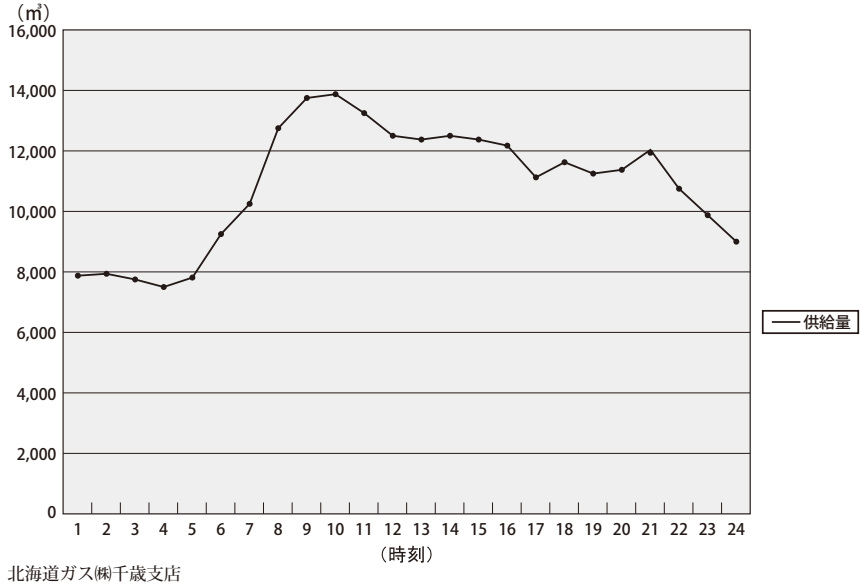
（単位　千kcal）

区　分	総　数	家　庭	商　業	医　療	公　用	工　業
一般ガス						
供給戸数						
27年度	16,260	15,636	427	28	141	28
28年度	16,608	15,980	429	27	144	28
29年度	16,790	16,169	423	26	144	28
30年度	16,957	16,319	433	28	148	29
元年度	**17,298**	**16,635**	**453**	**29**	**151**	**30**
消費量						
27年度	432,137,745	54,594,348	169,369,325	7,453,502	8,397,835	192,322,735
28年度	466,777,470	63,957,953	179,011,333	7,842,974	9,395,167	206,570,044
29年度	470,585,863	71,048,513	176,387,548	7,818,239	10,454,784	204,876,779
30年度	460,234,891	74,386,291	169,974,109	7,160,919	9,911,822	198,801,750
元年度	**491,835,408**	**81,019,106**	**188,421,937**	**7,471,960**	**10,652,197**	**204,270,210**

1　供給戸数は各年度末現在
2　数値は全て天然ガス（一般ガス）
3　標準熱量は45メガジュール／㎥
北海道ガス㈱千歳支店

時間別供給推移

年度中最大供給日（令和２年２月６日）263,104㎥/日



北海道ガス㈱千歳支店

96　上水道

(1) 給水の推移

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
給水区域内戸数（戸）	44,289	44,993	45,496	46,272	**47,077**
給水区域内人口（人）	95,251	95,594	95,970	96,414	**97,050**
給水人口（人）	95,141	95,486	95,863	96,307	**96,943**
普及率（%）	99.9	99.9	99.9	99.9	**99.9**
配水管延長（m）	693,219	694,147	703,978	699,285	**699,844**
総配水量（㎥）	11,989,070	11,846,807	11,702,230	11,691,374	**12,035,104**
1日平均給水量（㎥）	32,757	32,457	32,061	32,031	**32,883**
1日最大給水量（㎥）	37,607	36,142	37,702	36,675	**38,262**
1人1日平均給水量（ℓ）	344	340	334	333	**339**
1人1日最大給水量（ℓ）	395	379	393	381	**395**
料金収入（千円）	1,579,113	1,592,517	1,598,470	1,837,371	**1,916,065**

1　給水区域内戸数、給水区域内人口、給水人口は各年度末現在の住民基本台帳（区域内）により算出した
2　料金収入は消費税加算後の調定額
水道局経営管理課・水道整備課

(2) 用途別給水戸数と有収水量の推移

（単位　㎥）

区　分	総　数	家　庭	公　用	営　業	工　業	浴　場	医　療	部　隊	その他
給水戸数									
27年度	40,481	38,178	264	1,788	155	2	85	3	6
28年度	41,121	38,831	271	1,770	155	2	86	3	3
29年度	41,871	39,547	278	1,791	157	3	88	3	4
30年度	42,713	40,350	282	1,825	161	3	88	3	1
元年度	**43,569**	**41,169**	**282**	**1,853**	**162**	**3**	**95**	**3**	**2**
有収水量									
27年度	11,277,586	6,852,184	359,981	1,513,935	1,503,224	1,932	204,847	835,496	5,987
28年度	11,366,520	6,876,404	354,831	1,543,280	1,615,768	2,004	208,676	761,497	4,060
29年度	11,410,438	6,924,313	341,576	1,512,304	1,624,915	3,464	209,265	787,689	6,912
30年度	11,382,150	6,939,070	329,236	1,543,008	1,538,143	7,513	192,869	825,805	6,506
元年度	**11,618,943**	**7,010,134**	**320,268**	**1,607,881**	**1,644,040**	**8,173**	**191,592**	**825,902**	**10,953**

1　給水戸数は各年度末現在
水道局経営管理課

97　簡易水道

(1) 給水の推移

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
給水区域内戸数（戸）	93	94	87	93	**91**
給水区域内人口（人）	158	162	144	146	**148**
給水人口（人）	158	162	144	146	**148**
普及率（%）	100	100	100	100	**100**
配水管延長（m）	3,467	3,494	3,494	3,520	**3,520**
総配水量（㎥）	78,169	101,036	98,572	71,933	**75,705**
1日平均給水量（㎥）	214	277	270	197	**207**
1日最大給水量（㎥）	329	418	411	325	**358**
1人1日平均給水量（ℓ）	1,352	1,709	1,875	1,350	**1,401**
1人1日最大給水量（ℓ）	2,082	2,580	2,854	2,226	**2,419**
料金収入（千円）	12,992	13,199	13,419	12,180	**13,374**

1　給水区域内戸数、給水区域内人口、給水人口は各年度末現在の住民基本台帳（区域内）により算出した
2　料金収入は消費税加算後の調定額
水道局経営管理課・水道整備課

(2) 用途別給水戸数と有収水量の推移

（単位　㎥）

区　分	総　数	家　庭	公　用	営　業	医　療	その他
給水戸数						
27年度	123	78	19	25	1	―
28年度	122	77	19	25	1	―
29年度	128	83	19	25	1	―
30年度	155	109	19	26	1	―
元年度	**154**	**108**	**18**	**27**	**1**	**―**
有収水量						
27年度	72,360	10,240	8,173	53,881	66	―
28年度	73,356	10,158	9,021	54,118	59	―
29年度	74,131	9,598	8,802	55,669	62	―
30年度	66,700	8,927	7,587	50,121	61	4
元年度	**72,146**	**9,731**	**7,061**	**55,294**	**60**	**―**

1　給水戸数は各年度末現在
水道局経営管理課

98　水道料金表

（単位　円）

種　類	用途区分	口径区分	基本料金（1か月当たり）		1㎥従量料金（1か月当たり）	
			基本水量	料　金		
上水道	一般用	25㎜以下		830	使用水量8㎥まで	10
		40㎜		1,140	使用水量8㎥を超えるもの	159
		50㎜		3,240		
		75㎜		5,710		
		100㎜		10,030		
		150㎜		29,060		
		200㎜		48,550		
	浴場用			6,430	使用水量100㎥まで	5
					使用水量100㎥を超えるもの	90
簡易水道	一般用		使用水量8㎥まで	1,110	使用水量8㎥を超え50㎥まで	161
					使用水量50㎥を超え1,000㎥まで	163
					使用水量1,000㎥を超えるもの	165
	臨時用		使用水量8㎥まで	1,900	使用水量8㎥を超えるもの	165

1　令和2年4月1日現在
2　上表により算定した合計額に消費税等相当額を加えた額を料金とする
水道局経営管理課

99　下水道

事業の推移

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
行政区域内人口（人）	95,413	95,761	96,119	96,565	97,198
処理区域内人口（人）	93,652	94,089	94,440	94,876	95,525
水洗化人口（人）	93,512	93,996	94,353	94,796	95,452
普及率					
下水道普及率（%）	98.2	98.3	98.3	98.3	98.3
水洗化率（%）	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
管渠施設延長（km）	994.39	999.59	1,014.13	1,016.04	1,016.99
市街地汚水管（km）	543.24	553.33	553.82	554.85	555.53
市街地雨水管（km）	452.11	452.76	453.81	454.69	454.96
支笏湖汚水管（km）	4.15	4.15	4.15	4.15	4.15
支笏湖温泉管（km）	2.35	2.35	2.35	2.35	2.35
総処理水量（㎥）	19,489,361	20,221,359	20,460,901	20,003,099	19,676,256
雨水処理水量（㎥）	1,320,068	1,740,900	1,721,461	1,681,840	1,540,433
汚水処理水量（㎥）	18,169,293	18,480,459	18,739,440	18,321,259	18,135,823
晴天時平均処理水量（㎥/日）	49,631	50,611	51,438	50,203	49,582
晴天時最大処理水量（㎥）	59,538	59,448	58,553	58,975	56,497
雨天時最大処理水量（㎥）	84,672	135,009	136,635	139,157	102,779
総汚泥処分量（㎥）	4,355,825	4,344,570	4,467,200	4,519,780	4,653,825
個別排水処理施設（合併処理浄化槽）					
処理人口（人）	891	912	931	953	986
設置済基数（基）	254	261	266	271	282
汚水衛生処理率（%）	99.1	99.3	99.4	99.4	99.4

1　下水道普及率＝処理区域内人口/行政区域内人口
2　水洗化率＝水洗化人口/処理区域内人口
3　管渠施設延長の汚水管は合流管を含む
4　汚水衛生処理率(%)＝単独浄化槽を除く現在水洗便所設置済人口/行政区域内人口
水道局下水道整備課

101　下水道使用料算定表

（単位　円）

区　域	汚水の種　類	終末処理場に接続するもの			終末処理場に接続しないもの		
		基　本使用料	1㎥の従量使用料		基　本使用料	1㎥の従量使用料	
			汚　水　量	金額		汚　水　量	金額
処　理区域内	一般汚水	550	汚水量８㎥まで	9	100	汚水量８㎥まで	1
			汚水量８㎥を超え50㎥まで	95		汚水量８㎥を超えるもの	14
			汚水量50㎥を超え1,000㎥まで	99			
			汚水量1,000㎥を超えるもの	103			
	公衆浴場の汚水	5,100	汚水量300㎥まで	1			
			汚水量300㎥を超えるもの	25			
	温泉水の汚水	13,000	汚水量８㎥まで	3			
			汚水量８㎥を超えるもの	11			
処理区域外	一般汚水	860	汚水量８㎥まで	10	170	汚水量８㎥まで	1
			汚水量８㎥を超え50㎥まで	101		汚水量８㎥を超えるもの	22
			汚水量50㎥を超え1,000㎥まで	105			
			汚水量1,000㎥を超えるもの	109			

1　令和２年４月１日現在
2　上表により算定した合計額に消費税等相当額を加えた額を使用料とする
3　汚水量は水道の使用水量とする
4　温泉水の汚水は、支笏湖温泉地区のみの適用とする
5　一般家庭で地下水を使用し揚水量測定器具が取り付けられていない場合は、４人までを８㎥とし、１人増すごとに２㎥、浴槽は１個につき３㎥、水洗式大便器は１個につき２㎥、水洗式小便器は１個につき１㎥を加えたものを汚水量とする
水道局経営管理課

102　個別排水処理施設（合併処理浄化槽）

個別排水処理施設使用料金表

（単位　円）

区　　分	月　額　料　金
5　人　槽	2,125
6　人　槽	2,295
7　人　槽	2,550
8　人　槽	2,720
10　人　槽	3,315

1　令和２年４月１日現在
2　上記料金表の額に消費税等相当額を加えた額を使用料とする
水道局下水道整備課

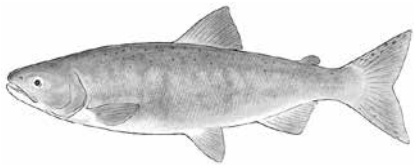
マンホールふたデザイン

下水道30周年記念公募作品

水道局経営管理課

市の魚　ヒメマス

平成８（1996）年11月１日制定



（サケ科の淡水魚。ベニザケの
湖沼残留型：陸封型）

もともと支笏湖には生息しておらず、明治27（1894）年に阿寒湖から支笏湖に移殖されたのが始まりでした。

ヒメマスは「チップ」と呼ばれ、毎年６月から８月までのチップ釣りは初夏の風物詩となっています。

あらまし

千歳市内には小学校17校、中学校９校の26校（併置２校）で、8,074人の児童・生徒が伸び伸びと学んでいます。

高等学校は道立２校に1,540人の生徒が学び、大学等の進学率は69.1％となっています。就職先の産業別では、第３次産業が79.4％と最も多くなっています。

そのほか、平成25年に開校した北海道千歳高等支援学校に67人、航空技術を学ぶ日本航空専門学校に659人が在籍するほか、各種学校が１校あります。

公立千歳科学技術大学には、令和２年５月１日現在、理工学部に1,011人、大学院光科学研究科（博士前期・後期課程）に35人の学生が在籍し、教育環境の充実したキャンパスで学んでいます。

また、理学・作業療法を養成する北海道千歳リハビリテーション大学は平成29年４月から４年制大学に移行し、現在、健康科学部リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻）において435人の学生が在籍し、緑豊かな学習環境の中で学んでいます。

千歳市は約29万冊の蔵書がある市立図書館、大・中ホールに舞台演出の技術革新に対応するデジタル化された音響・照明設備を導入した市民文化センター（北ガス文化ホール）などの社会教育施設の充実に力を入れ、市民が生きがいと潤いのある人生を送ることができるよう様々な学習機会を提供しています。

また、市民の自主的な活動や交流を支援する市民活動交流センター「ミナクール」は、市民活動団体の運営により市民活動の場、市民活動に対する情報提供の場、活動に関する相談の場として、市民活動の積極的な支援を行っています。

社会体育施設では、スポーツ都市宣言にふさわしい施設整備を行い、四季を通して多くの市民が快い汗を流して健康づくりができる生涯スポーツの振興を図っています。

青葉公園には、国内で２番目、道内初の青色の全天候型ウレタン走路を採用した第３種公認の陸上競技場を始め、スポーツセンター（ダ

イナックスアリーナ)、野球場や庭球場があります。

青空公園には、総合武道館のほか、屋内テニスやゲートボールができるふれあいセンターや、スケート場などがあり、市内各所に公設パークゴルフ場が12か所あります。

また、温水プールは連盟公認の競泳コースとウォータースライダーなどがあり、幼児から高齢者まで幅広く市民に利用されています。さらに、学校体育館及び校庭並びに武道場を市民のスポーツ場として開放しています。

千歳市の埋蔵文化財については、国指定史跡２か所、市指定史跡１か所、国指定重要文化財３件、市指定有形文化財３件を有し、旧石器時代から江戸時代にかけての遺跡が305か所見つかっています。とりわけ、国指定史跡の「キウス周堤墓群」は、世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する遺跡のひとつであり、千歳市では登録に向けた取組を進めています。

アイヌ文化については、平成５年に「伝統的芸能と工芸技術」が市指定無形文化財に、６年には国指定重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」の保護団体を構成する団体として千歳アイヌ文化伝承保存会が指定を受け伝承保存が図られています。また、千歳は北海道犬の発祥の地の一つとしても有名です。

近・現代の文化財では、「泉郷獅子舞」、「山線鉄橋」などが市の文化財に指定されています。

103　幼稚園の推移

年	園　数	学級数	園　児　数				前年度修了者数	就園率（%）	教員数
			総　数	3歳児	4歳児	5歳児			
28	9	65	1,611	483	558	570	592	64.8	102
29	8	58	1,493	455	514	524	517	57.4	92
30	8	59	1,447	431	499	517	524	57.9	98
元	8	59	1,422	462	457	503	516	58.9	96
2	**8**	**56**	**1,312**	**405**	**457**	**450**	**500**	**55.2**	**96**

1　各年5月1日調査
2　年齢は各年4月1日現在の満年齢である
3　就園率は前年度修了者数を小学校1年生総数で除した割合である
4　教員数は本務者のみである
「学校基本調査」（総務課）

104　小学校の推移

年	学校数	学級数	児　童　数			教　員　数			1学級当たり児童数	教員1人当たり児童数
			総　数	男	女	総　数	男	女		
28	17	203	5,460	2,791	2,669	323	174	149	26.9	16.9
29	17	212	5,468	2,838	2,630	328	175	153	25.8	16.7
30	17	213	5,504	2,850	2,654	318	165	153	25.8	17.3
元	17	215	5,442	2,773	2,669	334	168	166	25.3	16.3
2	**17**	**213**	**5,403**	**2,830**	**2,573**	**333**	**167**	**166**	**25.4**	**16.2**

1　各年5月1日調査
2　教員数は本務者のみである
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

105　中学校の推移

年	学校数	学級数	生　徒　数			教　員　数			1学級当たり生徒数	教員1人当たり生徒数
			総　数	男	女	総　数	男	女		
28	9	97	2,777	1,478	1,299	189	122	67	28.6	14.7
29	9	95	2,724	1,414	1,310	187	123	64	28.7	14.6
30	9	91	2,660	1,364	1,296	174	119	55	29.2	15.2
元	9	92	2,668	1,359	1,309	181	124	57	29.0	14.7
2	**9**	**98**	**2,671**	**1,346**	**1,325**	**186**	**123**	**63**	**27.3**	**14.4**

1　各年5月1日調査
2　教員数は本務者のみである
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

106　小・中学校学年別就学数の推移

年	小学校							中学校			
	総数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	総数	1年	2年	3年
28	5,460	914	959	894	917	905	871	2,777	906	964	907
29	5,468	900	906	956	894	910	902	2,724	858	907	959
30	5,504	905	913	907	957	904	918	2,660	894	861	905
元	5,442	876	906	907	904	953	896	2,668	907	896	865
2	**5,403**	**906**	**864**	**909**	**885**	**890**	**949**	**2,671**	**872**	**906**	**893**

1　各年５月１日調査
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

107　中学校卒業者の推移

年	卒業者総数	高等学校等進学者		就職者							その他
		総数	進学率（%）	就職者総数	産業別				就職地別		
					第１次	第２次	第３次	左記以外	道内	道外	
28	887	883	99.5	－	－	－	－	－	－	－	4
29	908	901	99.2	3	－	3	－	－	3	－	4
30	958	951	99.3	2	－	1	1	－	2	－	5
元	913	904	99.2	4	－	－	1	3	4	－	5
2	**859**	**852**	**99.2**	**2**	**－**	**1**	**1**	**－**	**2**	**－**	**5**
男	429	425	99.1	2	－	1	1	－	2	－	2
女	430	427	99.3	0	－	－	－	－	－	－	3

1　各年５月１日調査
2　産業別・就職地別就職者数は、就職進学者を含んでいるため就職者総数とは一致しない
「児童・生徒数調べ」（教育委員会学校教育課）

108　学校給食の推移

年	学校数			学級数			給食人員数			
	総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	総数	小学校	中学校	教職員等
28	26	17	9	300	203	97	8,762	5,460	2,777	525
29	26	17	9	307	212	95	8,725	5,468	2,724	533
30	26	17	9	304	213	91	8,689	5,504	2,660	525
元	26	17	9	307	215	92	8,639	5,442	2,668	529
2	**26**	**17**	**9**	**311**	**213**	**98**	**8,616**	**5,403**	**2,671**	**542**

1　各年５月１日現在
教育委員会学校給食センター

109　高等学校・高等支援学校の生徒数

区分	学級数	生徒数			教員数			1学級当たり生徒数	教員1人当たり生徒数	創設年月
		総数	男	女	総数	男	女			
28年度	51	1,773	813	960	130	108	22	34.8	13.6	
29年度	49	1,725	789	936	125	103	22	35.2	13.8	
30年度	49	1,710	784	926	123	102	21	34.9	13.9	
元年度	48	1,652	780	872	122	101	21	34.4	13.5	
2年度	**45**	**1,540**	**715**	**825**	**122**	**96**	**26**	**34.2**	**12.6**	
全日制										
千歳	26	1,001	417	584	66	54	12	38.5	15.2	昭和25.4
千歳北陽	15	487	272	215	47	34	13	32.5	10.4	昭和48.4
定時制										
千歳	4	52	26	26	9	8	1	13.0	5.8	昭和23.10
職業学科										
千歳高等支援	9	67	47	20	34	16	18	7.4	1.97	平成25.4

北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校・千歳高等支援学校
※千歳高等支援学校は２年度の数値

110　高等学校・高等支援学校別入学者状況（令和２年）

区分	定数	当初出願者数			入学者数				最終競争率（倍）
		総数	市内生	市外生	総数	市内生	市外生	市外生の割合（%）	
千歳高等学校									
全日制普通科	**200**	**230**	135	95	**200**	118	82	41.0	**1.2**
全日制国際教養科	**40**	**29**	13	16	**33**	17	16	48.5	**0.7**
全日制国際流通科	**80**	**72**	42	30	**79**	46	33	41.8	**0.9**
定時制普通科	**40**	**15**	14	1	**14**	13	1	7.1	**0.4**
千歳北陽高等学校									
全日制普通科	**200**	**150**	99	51	**142**	100	42	29.6	**0.7**
千歳高等支援学校									
生産技術科	**8**	**16**	5	11	**8**	3	5	62.5	**－**
環境・流通サポート科	**16**	**9**	3	6	**16**	4	12	75.0	**－**

北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校・千歳高等支援学校

111　高等学校全日制卒業者の推移

年	卒業者総数	進学者				就職者							その他
		総数	進学志望者	進学率（%）		総数	就職進学者	産業別			就職先別		
				対志望者	対卒業者			第１次	第２次	第３次	道内	道外	
28	550	375	399	94.0	68.2	136	－	2	27	106	132	3	38
29	570	378	406	93.1	66.3	139	－	4	39	96	139	0	53
30	530	340	358	95.0	64.2	156	－	－	59	97	146	10	34
元	546	370	379	97.6	67.8	160	－	2	53	105	152	8	16
2	**492**	**340**	**354**	**96.0**	**69.1**	**126**	**－**	**0**	**26**	**100**	**120**	**6**	**26**

1　各年５月１日現在
2　**表140**に再掲
北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校

112　専修学校の推移

学校名	28年	29年	30年	元年	2年			
					総数	男	女	教職員数
総数	858	747	690	663	**659**	**439**	**220**	**72**
日本航空専門学校	535	545	594	663	**659**	**439**	**220**	**72**
北海道千歳リハビリテーション学院	323	202	96	－	**－**	**－**	**－**	**－**

1　各年５月１日現在
2　教職員数は本務者のみ
日本航空専門学校、北海道千歳リハビリテーション学院

113　各種学校の推移

学校名	28年	29年	30年	元年	2年			
					総数	男	女	教職員数
千歳速算学校	113	103	76	69	**68**	**12**	**56**	**3**

1　各年５月１日現在
2　教職員数は本務者のみ
千歳速算学校

114　大学の推移

（1）公立千歳科学技術大学

年度	学生数			理工学部（総合光科学部）							大学院光科学研究科		教員数		
	総数	男	女	教養課程	バイオ・マテリアル学科	応用化学生物学科	光システム学科	電子光工学科	グローバルシステムデザイン学科	情報システム工学科	博士前期課程	博士後期課程	総数	本務教員	兼務教員
28	718	643	75	205	95	47	129	40	166		29	7	65	41	24
29	754	670	84	218	55	108	54	90	115	80	25	9	73	42	31
30	879	772	107	291	3	156	5	153	76	169	21	5	68	40	28
元	961	833	128	267	0	186	1	210	9	258	26	4	73	38	35
2	**1,046**	**884**	**162**	**272**	**0**	**205**	**1**	**243**	**7**	**283**	**32**	**3**	**78**	**45**	**33**

1　令和２年５月１日現在
公立千歳科学技術大学

（2）北海道千歳リハビリテーション大学

年度	学生数			健康科学部リハビリテーション学科		教員数		
	総数	男	女	理学療法学専攻	作業療法学専攻	総数	本務教員	兼務教員
29	123	68	55	93	30	28	17	11
30	230	129	101	178	52	30	21	9
元	326	179	147	244	82	53	27	26
2	**435**	**255**	**180**	**330**	**105**	**56**	**26**	**30**

1　令和２年５月１日現在
2　平成29年４月１日大学開設
北海道千歳リハビリテーション大学

115 図　書　館

(1) 施設概要

所 在 地　真町2196番地の１
構　　造　鉄筋及び鉄骨鉄筋コンクリート造の併用構造　地上２階地下１階
面　　積　敷地 13,062㎡　建築 2,234㎡　延床 2,816㎡
開　　館　昭和63年２月１日
主要施設　一般閲覧室（90席）新聞雑誌コーナー（35席）　AVコーナー（25席）
児童閲覧室（30席）AV室（100席）会議室（60席）ラウンジ（60席）

教育委員会文化施設課

(2) 移動図書館車（愛称「ブッくん」）

車　　種　３人乗改造トラック（４WD）
積載図書　約2,600冊（内架）
巡回周期　月２回（隔週）
ｽﾃｰｼｮﾝ　42か所

教育委員会文化施設課

(3) 図書館の推移

区分		27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
人口		94,820	95,413	95,761	96,119	**96,565**
開館日数		337	336	336	333	**310**
貸出人数		127,747	125,845	122,044	117,027	**109,807**
1日平均貸出人員		379	375	363	351	**354**
貸出冊数		701,665	675,296	656,356	633,669	**583,578**
1日平均貸出冊数		2,082	2,010	1,953	1,903	**1,883**
蔵書冊数		294,319	291,909	288,335	287,530	**287,607**
図書・資料購入費		22,850,505	23,104,588	23,015,880	22,737,002	**23,141,160**
蔵書回転率（貸出冊数／蔵書冊数）		2.38	2.31	2.28	2.20	**2.03**
市民1人当たり	蔵書冊数	3.10	3.06	3.01	2.99	**2.98**
	図書購入費	241	242	240	237	**240**
	貸出冊数	7.40	7.08	6.85	6.59	**6.04**

1　館内貸出、団体貸出を含む
教育委員会文化施設課

（4）蔵書冊数の推移

年度	合　計	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	産業	芸術	語学	文学	ＡＶ資料	その他
27	294,319	6,710	7,915	20,135	31,527	18,969	18,142	7,203	19,254	4,214	109,560	11,794	38,896
28	291,909	5,237	7,441	17,921	28,356	17,020	17,422	6,785	18,194	3,554	100,791	11,904	57,284
29	288,335	5,220	7,417	17,497	27,965	16,834	16,846	6,660	17,853	3,380	99,696	11,952	57,015
30	287,530	5,261	7,355	17,402	27,929	16,656	16,696	6,632	17,719	3,347	99,326	12,026	57,181
元	**287,607**	**5,449**	**7,452**	**17,496**	**27,973**	**16,701**	**16,659**	**6,597**	**17,591**	**3,369**	**98,550**	**12,137**	**57,633**

1　各年度末現在
教育委員会文化施設課

（5）分類別貸出冊数の推移

年度	合　計	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工業技術	産業	芸術	語学	文学	ＡＶ資料	その他
27	701,665	6,230	20,919	32,524	37,541	36,192	89,449	14,947	41,735	6,502	222,724	5,735	187,167
28	675,296	6,888	18,994	32,005	35,346	35,708	86,562	14,059	39,907	6,590	214,299	5,811	179,127
29	656,356	6,940	18,647	31,696	35,242	36,709	81,969	12,678	40,475	6,447	208,321	4,373	172,859
30	633,669	7,076	19,123	31,810	33,625	37,705	76,069	12,122	38,364	5,844	198,584	3,821	169,526
元	**583,578**	**7,065**	**17,970**	**30,738**	**32,928**	**36,160**	**67,017**	**11,490**	**35,424**	**5,793**	**175,227**	**3,770**	**159,996**

1　館内貸出団体貸出含む
教育委員会文化施設課

116　公民館等設置状況

（単位　㎡）

施設名	所在地	延面積	開館年月日
千歳市民文化センター	北栄２丁目２－11	13,016	S 59. 4. 1
千歳公民館	真町176－３	1,574	S 46. 4.10
長都分館	長都239－６	358	S 25. 5.10
中央分館	中央539－３	610	H 11. 4. 1
泉郷分館	泉郷289－17	353	S 24. 4.10
協和分館	協和842－６	109	S 24.10. 1
新川分館	新川225－49	215	S 28. 8.18
幌加分館	幌加170－15	124	S 36.11. 1
根志越分館	根志越19－27	224	S 37. 9.24
東丘分館	東丘1363－２	150	S 37.11. 1
釜加分館	釜加362－３	609	H 9. 4. 1
駒里分館	駒里2231－２	269	S 43.10. 1
長都開拓分館	北陽８丁目13－11	169	H 7. 4. 1

教育委員会文化施設課

117　千歳公民館

(1) 施設概要

所 在 地　真町176番地の３
構　　造　鉄筋コンクリート造　地上２階
面　　積　敷地 2,931㎡　建築 750㎡　延床 1,574㎡
開　　館　昭和46年４月10日

教育委員会文化施設課

(2) 利用状況の推移

区　　分	27　年　度		28　年　度		29　年　度		30　年　度		**元　年　度**	
	件　数	人　員	件　数	人　員	件　数	人　員	件　数	人　員	件　数	人　員
総　　数	1,850	29,661	1,827	28,317	1,681	28,203	1,699	28,801	**1,657**	**27,874**
青少年関係	－	－	11	192	9	89	16	249	**32**	**378**
文化関係	1,139	11,681	1,178	11,938	1,058	11,301	984	10,841	**953**	**9,983**
スポーツ関係	343	10,313	364	9,786	394	11,073	479	12,104	**421**	**12,585**
集会・会議	35	1,410	109	3,224	140	3,409	165	4,065	**184**	**3,187**
一　　般	333	6,257	165	3,177	80	2,331	55	1,542	**67**	**1,741**

1　会議室５室のほか、和室、大集会室、ステージをそれぞれ１室備える
教育委員会文化施設課

118　北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）

(1) 施設概要

所 在 地　北栄２丁目２番11号
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造　地上４階地下２階
面　　積　敷地 16,654㎡　建築 6,870㎡　延床 13,016㎡
開　　館　昭和59年４月１日
主要施設　大ホール（1,275席）　中ホール（412席）　大会議室（１室）　中会議室（２室）
小会議室（２室）視聴覚室　調理教室　美術工芸教室　陶芸教室　窯場　リハーサル室
多目的室　和室　プラネタリウム　展示ホール

教育委員会文化施設課

（2）利用状況の推移

年　　度	特別集会施設		コミュニティ供用施設		計	
	件　　数	人　　員	件　　数	人　　員	件　　数	人　　員
27	936	81,932	3,557	117,182	4,493	199,114
28	940	83,942	3,637	129,192	4,577	213,134
29	975	89,375	3,268	116,545	4,243	205,920
30	949	71,523	3,325	111,994	4,274	183,517
元	**924**	**87,842**	**3,135**	**101,018**	**4,059**	**188,860**

1　令和２年３月７日～３月31日　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館
教育委員会文化施設課

119　市民ギャラリー

（1）施設概要

所 在 地　千代田町５丁目７番地の１
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造　地上４階地下１階
面　　積　敷地 746㎡　建築 587㎡　延床 2,418㎡
開　　館　平成７年４月15日
主要施設　展示ホール１（260㎡）　展示ホール２（261㎡）
研修室１（67㎡）　研修室２（85㎡）　研修室３（180㎡）

教育委員会文化施設課

（2）利用状況の推移

年　　度	展示ホール		研修室等		計	
	件　　数	人　　員	件　　数	人　　員	件　　数	人　　員
27	237	17,613	436	5,031	673	22,644
28	222	14,924	431	4,845	653	19,769
29	235	14,581	441	4,777	676	19,358
30	230	12,361	414	4,755	644	17,116
元	**240**	**13,996**	**388**	**4,331**	**628**	**18,327**

教育委員会文化施設課

120　千歳市民活動交流センター「ミナクール」

（1）施設概要

所 在 地　千代田町５丁目７番地の１　市民ギャラリー４階
開　　館　平成18年８月１日
主要施設　打合せコーナー1・2（約35人）、交流スペース（約30人）
談話室兼児童室（約15人）、情報コーナー（パソコン設置）、掲示コーナー、
図書コーナー、作業コーナー（印刷機等設置）、展示コーナー、案内（相談窓口）

教育委員会生涯学習課

（2）利用状況の推移

区　　分	27　年　度	28　年　度	29　年　度	30　年　度	**元　年　度**
利用者数（人）	12,719	13,357	11,612	12,132	**10,534**
利用団体数（団体）	3,003	2,892	3,033	3,043	**2,575**

教育委員会生涯学習課

121　青少年会館

（1）施設概要

所 在 地　東雲町１丁目10番地
構　　造　鉄骨造　地上２階
面　　積　敷地 704.60㎡　建築 367㎡　延床 499㎡
開　　館　昭和44年12月１日

教育委員会文化施設課

（2）利用状況の推移

年　　度	総　　数	入　館　者　数			室　別　利　用　者　数			
		勤労青少年	児童・生徒	一　般	体 育 場	研修室1号(集会室)	和　室	研修室2号(研修室)
27	11,675	143	7,870	3,662	8,773	2,835	355	5,159
28	12,166	307	8,338	3,521	9,210	3,075	601	5,789
29	11,252	298	7,345	3,609	8,219	2,898	713	4,779
30	12,191	413	7,782	3,996	9,693	2,418	718	4,956
元	**11,588**	**262**	**7,241**	**4,085**	**8,820**	**2,107**	**683**	**4,449**

1　室別利用者数は延べ人数とする
教育委員会文化施設課

122　スポーツセンター・ダイナックスアリーナ

（1）施設概要

所 在 地　真町176番地の２
構　　造　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造　地上２階
面　　積　敷地 20,700㎡　建築 3,847㎡　延床 5,992㎡
開　　館　昭和53年７月１日
主要施設　アリーナ（1,680㎡）　第２体育館　トレーニング室　幼児室　会議室
ランニングコース（165m）

スポーツ振興課

（2）利用状況の推移

区　　分	27　年　度	28　年　度	29　年　度	30　年　度	**元　年　度**
総　　数	122,848	113,526	119,047	121,540	**116,727**
小・中・高校生	12,446	12,464	14,819	15,640	**12,663**
一　　般	31,933	33,964	40,973	43,407	**37,416**
団　　体	75,103	64,802	61,274	61,025	**65,305**
そ　の　他	3,366	2,296	1,981	1,468	**1,343**

スポーツ振興課

123　開基記念総合武道館

（1）施設概要

所 在 地　あずさ１丁目３番１号
構　　造　鉄骨鉄筋コンクリート造　一部鉄骨及び鉄筋コンクリート造　地上２階
面　　積　敷地 28,037㎡　建築 6,567㎡　延床 7,299㎡
開　　館　平成５年６月１日
主要施設　アリーナ（1,553㎡）　剣道場（２面）　柔道場（２面）　弓道場（２面）
トレーニング室　幼児室　会議室　相撲場（屋外）

スポーツ振興課

（2）利用状況の推移

区　　分	27　年　度	28　年　度	29　年　度	30　年　度	**元　年　度**
総　　数	136,102	132,981	139,748	134,464	**119,731**
小・中・高校生	25,221	23,788	20,920	21,767	**18,566**
一　　般	38,747	40,436	45,765	44,990	**40,703**
団　　体	67,296	65,340	68,006	67,624	**60,389**
そ　の　他	4,838	3,417	5,057	83	**73**

スポーツ振興課

124　温水プール

（1）施設概要

所 在 地　流通３丁目１番９号
構　　造　鉄筋コンクリート造　一部鉄骨造　地上２階地下１階
面　　積　敷地 7,713㎡　建築 2,809㎡　延床 3,644㎡
開　　館　平成10年７月20日
主要施設　競泳プール〔（公財）日本水泳連盟公認25m・８コース〕
流水プール〔周回距離：44.9m〕、幼児・低学年プール
ウォータースライダー〔滑走路全長：101.04m〕

スポーツ振興課

（2）利用状況の推移

区分		27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
総数		102,185	109,474	106,439	110,158	**95,796**
一般利用	未就学児	2,384	2,906	2,733	2,786	**2,475**
	小・中学生	20,737	21,394	18,513	19,012	**18,224**
	高校生	561	505	419	407	**265**
	一般	18,215	18,566	18,239	18,384	**16,519**
	65歳以上	8,577	7,590	7,450	7,791	**6,959**
	障がい者	6,884	6,029	5,732	5,358	**4,567**
	計	57,358	56,990	53,086	53,738	**49,009**
講習会	未就学児	10,926	14,039	14,637	7,577	**6,019**
	小・中学生	21,238	26,382	27,193	36,024	**30,232**
	一般	6,146	6,345	6,316	6,556	**5,069**
	計	38,310	46,766	48,146	50,157	**41,320**
その他の事業		4,388	4,546	4,011	4,423	**3,483**
専用利用	全館貸切	487	370	391	960	**0**
	会議室等	1,642	802	805	880	**1,984**

スポーツ振興課

温水プール

125　埋蔵文化財センター

施設概要

所 在 地　長都42番地の１
面　　積　1,750㎡
開　　館　平成22年４月１日
主要施設　常設展示室　企画展示室　レクチャールーム　体験学習室

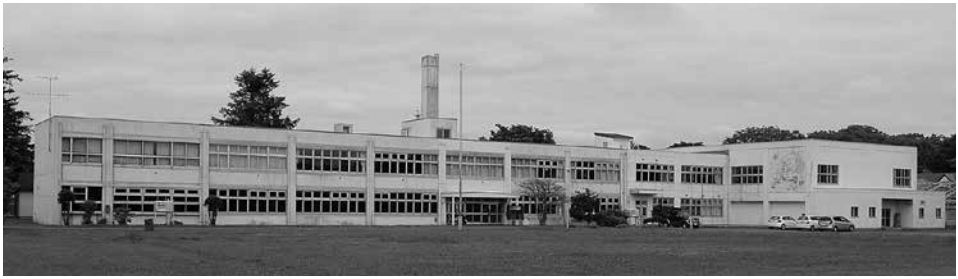
教育委員会埋蔵文化財センター

126　上長都文化財収蔵施設（旧埋蔵文化財センター）

施設概要

所 在 地　上長都958番地の１
面　　積　1,522㎡
開　　館　平成22年４月１日

教育委員会埋蔵文化財センター



埋蔵文化財センター

127　社会体育施設利用状況

施設名	開設年月	面積（㎡）	利用期間	元年度利用者数（人）
ふれあいセンター	H元. 10	1,153	通年	9,568
青葉陸上競技場	S29. 6	31,889	4～10月	25,078
青葉球場	S32. 8	21,000	〃	9,623
千歳市民球場	S62. 4	25,000	〃	9,202
青葉公園庭球場（硬式テニス）	S35. 5	5,610	〃	20,230
〃（軟式テニス）	S37. 4	5,933	〃	11,451
青葉公園ラグビー場	H元. 6	15,000	〃	2,796
〃 サッカー場	H 3. 6	21,000	〃	5,093
〃 ピクニック広場	H 2. 6	33,000	〃	2,717
〃 歩くスキーコース	S50. 12	3.2㎞・7.2㎞	12～3月	1,000
青空公園サッカー場	S61. 10	9,800	4～10月	15,695
〃 スケート場	S61. 12	1周 400m	4~10月・12~2月	20,723
千歳市市民スキー場	S53. 12	52,000	12～3月	1,857
若草公園野球場	H 4. 3	21,475	4～10月	8,514
臨空公園ソフトボール場	H 4. 3	8,250	〃	549
つばさ公園庭球場	H 5. 3	2,730	〃	3,758
向陽台公園庭球場	H 6. 4	2,730	〃	6,165
上長都公園野球場	S55. 6	7,868	〃	10,234
〃 庭球場	S55. 6	1,404	〃	—
上長都明星公園庭球場	H 6. 4	300	〃	615
しゅくぷ公園庭球場	H 2. 1	300	〃	1,009
すみよし2号公園庭球場	S59. 1	1,380	〃	2,502
住吉ソフトボール場	S52. 12	18,000	〃	7,350
あずまソフトボール場	H 6. 5	6,092	〃	0
末広東公園庭球場	S61. 10	800	〃	861
青葉少年野球場	H 6. 5	6,870	〃	15,307
青葉多目的広場	H 6. 5	894	〃	33,479
青葉陸上競技場（サッカー場）	H 8. 4	10,800	〃	—
臨空公園サッカー場	H 8. 4	15,914	4～10月	1,780
青葉水泳プール	S34. 9	1,388	6～9月	5,066
北栄水泳プール	S45. 7	1,073	〃	2,424
日の出水泳プール	S47. 10	1,090	〃	5,445
東水泳プール	S51. 7	370	〃	301
末広水泳プール	S54. 8	1,203	〃	6,359
長都水泳プール	S56. 7	489	〃	—
北斗水泳プール	S59. 7	756	〃	2,864
向陽台水泳プール	S60. 8	756	〃	2,396
信濃水泳プール	H 2. 11	756	〃	3,631
駒里水泳プール	H 7. 4	602	〃	527
北陽水泳プール	H12. 6	848	〃	10,269
祝梅スケートリンク	S52. 12	1周 200m	1～2月	1,277
日の出スケートリンク	S52. 12	〃	〃	3,299
高台スケートリンク	S52. 12	〃	〃	1,060
桜木スケートリンク	S53. 12	〃	〃	526
信濃スケートリンク	S53. 12	〃	〃	1,538
北栄スケートリンク	S54. 12	〃	〃	487
千歳スケートリンク	S55. 12	〃	〃	1,161
緑スケートリンク	S57. 12	〃	〃	1,220
向陽台スケートリンク	S57. 12	〃	〃	1,220
北陽スケートリンク	H 6. 12	〃	〃	3,940
泉沢スケートリンク	H 9. 12	〃	〃	406
千歳第二スケートリンク	H 8. 12	〃	〃	1,882
計				**284,454**

スポーツ振興課

128　学校別学校開放事業の推移

学校名		29年度						30年度						元年度					
		体育館		校庭		武道場		体育館		校庭		武道場		体育館		校庭		武道場	
		回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
小学校	千歳	352	6,916	114	3,050			379	8,137	118	3,320			300	6,486	121	3,630		
	北栄	228	3,806	39	1,560			237	4,289	47	1,830			254	4,686	59	1,416		
	末広	273	4,958	83	2,632			236	3,630	1	35			285	4,916	0	0		
	緑	321	6,503	138	4,110			362	7,894	124	3,720			313	6,557	117	3,480		
	千歳第二	275	4,449	6	240			237	3,919	5	200			240	3,713	2	50		
	支笏湖	81	810	−	−			40	400	−	−			58	346	−	−		
	日の出	288	8,756	75	2,940			248	7,553	66	2,120			297	9,801	40	1,416		
	信濃	192	3,531	133	3,591			172	3,719	129	3,096			342	6,468	137	3,562		
	高台	389	6,170	−	−			366	6,129	−	−			360	6,309	−	−		
	祝梅	323	5,351	138	3,340			217	3,698	137	3,327			393	6,074	133	2,888		
	桜木	559	13,090	173	6,920			552	14,299	163	6,520			523	12,605	396	7,965		
	向陽台	250	4,684	−	−			287	4,920	−	−			229	3,883	−	−		
	北陽	321	7,099	189	8,460			361	7,080	172	7,670			298	6,375	156	6,160		
	泉沢	483	9,728	−	−			325	7,016	−	−			441	9,523	−	−		
小学校併設	北進	184	3,163	−	−			166	2,641	−	−			129	1,741	−	−		
	駒里	−	−	−	−			8	129	−	−			4	35	−	−		
中学校	千歳	225	3,020	54	2,009			246	3,595	55	2,050			229	3,350	68	2,438		
	青葉	174	2,246	−	−			200	3,128	−	−			194	2,975	−	−		
	東千歳	−	−	−	−			10	102	−	−			0	0	−	−		
	富丘	217	2,704	33	1,222			210	2,018	54	2,011			191	2,126	44	1,587		
	北斗	161	2,261	−	−			150	1,856	−	−			125	2,114	−	−		
	向陽台	143	2,261	−	−			132	1,929	−	−			72	1,406	−	−		
	勇舞	293	4,383	−	−	41	473	228	2,715	−	−	50	710	220	2,356	−	−	51	530
計		5,732	105,889	1,175	40,074	41	473	5,369	100,796	1,071	35,899	50	710	5,497	103,845	1,273	34,586	51	530

スポーツ振興課

129　社会教育関係団体・体育協会加盟団体

（1）社会教育関係団体

団　体　名　等	代　表　者
文化・芸術活動	
文芸	
同人誌　ぷと	山　内　七　重
千歳市民文芸の会	綾　部　清　隆
千歳短歌会	渡　辺　敏　子
千歳俳句会	大　場　榮治郎
はすかっぷ	櫻　井　典　子
花林短歌会	五十嵐　隆　子
すみれ文庫	及　川　美津子
千歳写友会	佐々木　保　彦
語学	
NEXT STEP	荒　谷　彦　作
白樺英会話サークル	井　上　美津子
初めての英会話	浦　辻　由美子
放課後イングリッシュ千歳	井　上　美津子
詩吟・吟舞	
日本國風流詩吟吟舞会道央千歳支部	佐　藤　國　靖
聖月流日本吟剣詩舞道会千歳支部	松　田　禮　子
音楽（合唱）	
「歌のつばさ」合唱サークル	桜　田　富　子
コーラスめんどり	吉　田　孝　美
千歳混声合唱団	本　多　昭　治
千歳女声合唱団	長　手　幸　江
千歳童謡わたげの会	児　玉　国　男
コーラス　星の会	早　川　隆　康
コールちとせ	木　村　真紀子
HOPE（ハート・オブ・プレジャー）	舘　山　　愛
はまなす	葭　川　義　一
音楽（カラオケ）	
しらかばカラオケ愛好会	岡　田　正　勝
千歳カラオケ愛好会	鴨　林　三　枝
麦の会	近　藤　　貞
Music Enjoy.a.t	平　井　敏　雄
音楽（合奏）	
MarchingBand“North sun Chitose”	金　森　　桂
アネモネの会	木　下　未　佳
くれしぇんど	鶴　喰　美　鶴
千歳吹奏楽団	諸　田　隆　子
千歳フィルハーモニーオーケストラ	中　川　伸　明
千歳ミュージケット	山　崎　量　子
ベラ・ムジカ	今　井　桂　香
ミュージック パル	伊　藤　美どり
もみじの会	桑　島　昌　子
カプリチオ	山　田　孝　子
ちとせ・スカイシティコンサート実行委員会	坂　井　　治
Music Wave	斉　藤　真佐子
千歳ジュニアオーケストラ	野　村　　聡
千歳市吹奏楽連絡協議会	杉　本　祐　治
音楽（ピアノ）	
バラの会	成　澤　真　希
ぴあちぇーれ	東　　道　子
そらの音会	林　　みよ子
ラ・カントゥータ	道　場　広　美
abcmix	中　屋　留　美
フォルティシモの会	岸　田　千佳子

団　体　名　等	代　表　者
おんぷの会	駒　沢　貴　志
音楽（その他）	
オカリナ・ラルゴ	平　柳　す　み
音楽工房～atelier music～	今　井　洋　子
真龍太鼓	藤　原　雅　之
すずらんの会	山　﨑　栄美子
千歳音楽協会	野　村　　聡
ポプリの会	柏　本　千　鶴
PTNA千歳はすかっぷステーション＆音楽研究会（音研会）	楠　　雅　子
ハワイアンミュージック　クラブ	廣　瀬　元　司
軽音の会・B☆S	渡　部　徹　夫
千歳支笏湖国際太鼓	寺　島　健　三
レヴェールの会	飯　田　菜穂美
クレア・デ・ルネ	松　並　由紀子
ムジークの会	竹　形　貴　之
ひまわりの会	真　浦　暢　子
民謡	
正調江差追分北優会	福　士　厚　子
千歳民謡連合会	山　本　芳　郎
千歳民謡連盟	山　本　芳　郎
民謡千鳥会	米　田　忠　彦
民謡連合会　栄春会	山　本　芳　郎
中野みどり会	中　野　みどり
邦楽・邦舞	
三絃勇舞	小　柳　　隆
大正琴サークル　キーハープくらぶ	大　沼　洋　子
千歳楽風会	南　雲　秀　叡
千歳藤の会	村　林　満　詠
千歳邦楽邦舞協会	西　川　鯉智恵
西川流　鯉智恵会	西　川　鯉智恵
ダンス洋舞（社交ダンス）	
エレガンスダンスサークル	村　田　典　子
サタデーダンス・アイ	澤　田　ひとみ
ダンスサークルウィーブ	中　原　　広
若返り・寿同好会	内　田　俊　夫
ヤマセミ同好会	竹　本　石　夫
マーガレットダンスサークル	富　山　　等
千幸会ダンス愛好会	山　中　茂　司
カップリングダンスサークル	宮　崎　光　男
フレッシュサークル	小　林　孝　弘
ハッピーライフダンスサークル	川　口　敏　夫
フラワーダンスサークル	渡　邉　健　作
ダンス洋舞（フラダンス）	
カフラ・オ・ハワイ同好会	米　倉　明　美
ハワイアンダンスサークル	宮　下　広　子
フラサークル　ケハウケアナニオカラ	竹　本　照　代
フラサークルモアナ会	平　池　久美子
ハラウ　フラ　オ　カフアリイ　レイ　オハナ	廣　瀬　映　子
Hula O Kuri Kuri千歳	小　川　　恵
フラサークル　ウルヴェヒラニ	小　林　ミツエ
ダンス洋舞（ジャズダンス）	
ちとせジャズダンス連盟	中　島　勝　己
ミセスジャズダンス＆ストレッチ	村　田　恵美子
ダンス洋舞（ヨサコイ）	
炎－HOMURA－	渡　部　正　剛
ダンス洋舞（その他）	
スタジオ・ヴィエント千歳支部	吉　田　睦　子

団　体　名　等	代　表　者
千歳フォークダンスハートフル	及　川　美津子
千歳真下クラシックバレエグループ	川　﨑　徳　子
フラメンコ同好会アマポーラ	浦　川　博　子
ペルシェンベ	太　田　恵　子
マインド千歳SHOKOクラス	村　上　聡　美
ビート　コレクション	吉　光　大　輔
テーマパークダンスサークルBlossom	髙　見　江里子
プティバレエ	清　本　寧　子
studio FIT	房　立　成　美
華道	
千歳華道連盟	柳　田　文　子
千歳菊友会	阿　部　一　秀
一般財団法人小原流札幌支部千歳支所	羽　豆　久仁子
着付け	
きもの着付同好会	鈴　木　寿　子
千歳着付サークル	長　手　幸　江
NPO法人尚美流全日本和装協会北海道千歳南学園	籏　山　律　子
書道	
長都会	木　村　智　富
精習会	渡　辺　泰　子
隆光書道会	山　口　紫　蘭
千歳習字教育連盟	國　吉　智　子
千歳書道協会	森　　雪　子
千歳地区書道協会	山　田　静　洸
博心書道同好会	田　中　博　之
自然芸術	
千歳愛石同好会	中　山　源　七
手工芸	
染織技術研究会	鷲　見　孝　子
アトリエM（糸音＆琴音）	三　浦　千津子
千歳手工芸協会	三　浦　千津子
千歳バードカービングクラブ	石　渡　由美子
籐工芸「バスケットウィーヴィング」	井　上　美津子
長谷川籐工芸グループ籐華会教室	中　村　美智子
パンアートサークル	二ツ川　マキ子
和紙ちぎり絵「こうぞの会」	駒　澤　みち子
木彫サークル	阿　部　幸　子
四季彩ステンドグラス	廣　瀬　映　子
ステンドグラス．アトリエOIDEN	中　村　博　子
とみカットワーク　ししゅう会	鈴　木　由紀子
日本手工芸レザークラフト研究所	藤　田　令　子
工房　野の花	成　冨　恵以子
陶芸	
千歳陶芸会	工　藤　順　子
ロクロ会	小　林　ひとみ
陶遊会	橋　爪　あや子
絵画	
MOA美術館千歳児童作品展実行委員会	岡　部　いづみ
カテル'92	竹　内　慶　次
スイス・メグロー派グラスリッツェン千歳支部	熊　本　晶　子
水彩「遥」	川　口　富　子
水彩画グループ“彩（IRO）”の会	川　瀬　重　雄
パレットの会	武　田　忠　雄
昴	坂　本　美智子
映像	
千歳写真集団	五十嵐　壽　秋

団　体　名　等	代　表　者
舞台鑑賞	
ラ・パレッテ	袴　澄　子
千歳市民ミュージカル実行委員会	釣　晴　彦
囲碁・将棋	
（公財）日本棋院千歳支部	小　島　正　善
碁苦楽クラブ	山　田　耕　作
料理	
千歳千年そばの会	佐々木　新　吉
千歳パン・料理教室	吉　田　理　恵
菜食健美	座喜味　孝　美
美・食・農育ネットワーク	圓　山　吉　子
男の料理サークル「男厨会」	中　川　　晃
文化・芸術（その他）	
創造集団　抱土舎	三　上　禮　子
千歳市文化団体連絡協議会	太　田　憲　之
千歳美術協会	竹　津　　昇
日本の伝統と文化を守る会	森　田　　弘
人形劇場「かざぐるま」	石　原　由美子
千歳道新文化センター講師会	國　政　和　篁
青少年のための科学の祭典千歳大会実行委員会	長谷川　　誠
千歳アマチュア無線協会	國　政　　平
千歳和文電信の会	増　田　清　吉
特定非営利活動法人千歳メセナ協会	釣　晴　彦
北海道鉄道模型運転クラブ	澁　谷　広　明
コンピューター	
ちとせITボランティアの会	川　端　洋　一
まちづくり・地域活動	
ボランティア	
千歳サケのふるさと村教授会	福　岡　和　世
千歳市家庭生活カウンセラークラブ	坂　野　睦　実
千歳要約筆記の会「やませみ」	岩　下　雅　子
千歳ボランティア通訳クラブ	井　上　美津子
子育て・家庭教育	
千歳友の会	石　橋　和　恵
新顔さんいらっしゃい	宗　像　香　澄
ベビーヨガ＆ママヨガ Roomy	南　雲　優　美
千歳市子ども会育成連合会	四　方　信　次
Malia	宇　居　育　子
トリーニの会	藤　森　憲　雄
青少年活動	
公益財団法人　千歳青少年教育財団	三ツ野　　仁
しこつ湖自然体験クラブ＊トゥレップ	中　川　　晃
千歳市青少年育成市民会議	疋　田　恒　男
ボーイスカウト千歳第１団	喜　多　英　司
千歳航空少年団	岸　田　真知子
女性活動	
新日本婦人の会千歳支部	坂　下　美登里
千歳更生保護女性会	寺　内　多寿子
千歳市女性団体協議会	木　村　紀久子
千歳市生活学校	松　隈　早　織
千歳市女性会議	菊　地　利恵子
サラダ会	芹　澤　裕美恵
高齢者活動	
千歳市老人クラブ連合会	村　上　松　夫
いちいの会（高星大学第11期生）	福　田　義　明
千歳高星大学第13期生同窓会	平　野　　清

団　体　名　等	代　表　者
コスモス会	飯　塚　康　彦
県人会	
千歳秋田県人会	北　島　博　美
千歳岩手県人会	内　村　喜　郎
千歳市「肥後モッコス会」	霍　田　隆　良
千歳宮城県人会	佐々木　雅　宏
地域活動（その他）	
千歳アイヌ協会	中　村　吉　雄
「美しい街づくり」千歳ネットワーク	後藤田　格　布
23連隊会	廣　永　　實
NPO法人千歳ひと・魅力まちづくりネットワーク	三　上　禮　子
千歳市PTA連合会	喜　多　康　裕
千歳市民の飲み水を守る会	大　山　益　巳
千歳文化財保護協会	榊　原　武　雄
千歳市防災マスターリーダー会	山　口　　満
千歳ユネスコ協会	伊　藤　博
千歳ライオンズクラブ	山　口　涼　介
千歳ロータリークラブ	藤　川　俊　一
普通科友の会	斗賀山　信　美
一般社団法人　千歳青年会議所	曙　　嘉　輝
千修会	新　保　宗　里
千歳どんぐりを育てる会	岩　満　順　郎
なごみの会	大　橋　さとみ
千歳を考える会	竹　山　博　俊
パチパチクラブ	吉　光　大　輔
みんなの椅子	岩　本　典　子
ちとせ・まち魅力検定実行委員会	山　本　　豊
高友会	山　崎　昌　則
ＦＰスペース千歳	北　原　三津代
空港のある地域　新千歳ネットワーク	沼　山　誠　二
みんなをつなげる会～すべての人が心のかよう社会を！～	坂　井　　治
障がい者自立支援ワクワクプロジェクト実行委員会	塩　谷　隆　治
千鷲会	佐　藤　敏　博
NExUS	長谷川　桃　花
桜木小学校父母と先生の会	遠　山　雄　人
千歳市民討議会実行委員会	木　村　利　貴
はぴねすの会	根　本　幸　枝
スポーツ活動	
野球・ソフトボール	
千歳朝野球リーグ	沼　田　常　好
千歳軟式野球連盟	梅　尾　要　一
千歳ソフトボール協会	山　崎　昌　則
サッカー・フットサル	
F.C.PLUS	野　田　佳　男
FOS千歳	見　上　史　隆
Stolz千歳FC	江刺家　　馨
WHITE☆STELLA	佐　用　　香
ミラグロ	安　田　貴代美
サッカーテクニックスクール千歳	白　木　龍　一
大佐FC	武　藤　恭　平
千歳サッカー協会	米内山　淳　二
千歳市サッカースポーツ少年団本部	中　村　　登
千歳稲穂サッカー少年団	土　門　勝由紀
千歳市役所サッカー部	石　村　優　幸
BIG1サッカークラブ	新　保　英　樹
menina	飛　山　真由美
ニコニコF.C	田　代　兼　一
RIZE FOOT	山　下　将　人
AC.craque	池　田　幹　春
ブレイズ	橘　　直　樹
Aleglazo（アレグラッソ）	中　谷　　要

団　体　名　等	代　表　者
Soin（ソワン）	福　田　敦　史
espoir（エスポワール）	河内山　佳　世
田中製餡フットボールクラブ	黒　田　　薫
リベルタFC	山　元　孝　宏
Girls	佐々木　真　希
テニス	
千歳ジュニアテニス少年団	日　原　克　久
千歳テニス協会	梅　尾　要　一
日本女子テニス連盟千歳地区	中　垣　明　子
カント・レラJrクラブ	渡　部　文　昌
千歳ソフトテニス連盟	岩　淵　　誠
千歳ソフトテニス少年団	倉　重　祐　泰
バレーボール・ミニバレー	
あけぼのバレー部	酒　井　三規子
NOAH	住　吉　広　康
新富ミニバレーボールクラブ	水　上　和　男
ちとせハッピー	甲　斐　ひとみ
千歳（ソフト）バレーボールクラブ	高　田　政　治
千歳ソフトバレーボール連盟	高　田　政　治
千歳バレーボール協会	梅　尾　要　一
千歳ミニ・バレーボール協会	太　田　憲　之
日の出はまなす	今　野　智恵子
ふじクラブ	須　藤　恵　子
NEXT	五十嵐　かおり
BLUE STAGE	飯　塚　貴　久
グリーンサークル	黄　田　幸　子
千歳地区ママさんバレーボール連盟	山　本　正　子
千歳ウィングス	八　幡　輝　子
千歳市役所バレーボール部	品　田　雅　俊
チームG	長谷川　　葵
北陽小PTA有志ミニバレー	田　中　初　恵
球遊会	柳　　一　公
北海道千歳リハビリテーション大学バレーボール部	塚　原　　蓮
本町南婦人バレーボール部	久　我　由　美
SKTY（本町南ミニバレー）	安　田　友　恵
バスケットボール	
アース	藤　根　　登
千歳クラブ	新　井　良　明
千歳ノイズ	中　家　弘　貴
オリーブ	塩　澤　織　枝
IHIアグリテック　バスケットボール部	上　原　友　哉
KYD	伊　藤　光　輝
エーベース	本　間　嵩　弘
AVOP（アボップ）	平　出　晋一朗
Bad boys	亀　谷　博　貴
Salmons Bloild	新　川　良　太
ジャガイモ	本　田　大　剛
千歳市役所バスケットボール部	鈴　木　浩　之
cheep	小　川　亜希子
恵庭・千歳クラブ	桜　庭　　梢
バドミントン	
MBC	沼　山　　将
千歳ママさんバドミントン連絡協議会	西　澤　りち子
友誘遊	藤　原　義　則
ステップ・ステップ	若　原　速　人
EPTON	石　村　大　樹
千歳バドミントン協会	小　林　俊　晴
来夢来人	伊　藤　伸　一
武道	
国際護身武道協会	藤　丸　偉　子

団　体　名　等	代　表　者
極真会館千歳支部	林　昌　広
千歳少林寺拳法協会	本　宮　輝　久
千歳柔道連盟	村　井　政　孝
護身術空手SDトルネード千歳	松　井　大　輔
スポーツ（その他）	
MMソフト・エアロ	酒　井　勝　子
公益財団法人　千歳市体育協会	駒　澤　文　雄
千歳気功の会	尾　本　理　恵
千歳ゲートボール協会	小　池　誠　次
千歳市レクリエーション協会	佐久間　良　和
千歳スキースポーツ少年団	山　田　　誠
千歳スケート連盟	梅　尾　要　一
千歳太極拳愛幸会	大　嶋　末　幸
千歳綱引連盟	坂　野　　智
千歳パークゴルフ協会	香　月　　正
千歳ヨガサークル	佐　藤　登美子
ヘルシーファイン会	中　林　賀代子
千歳ウッドペッカーズ	松　島　珠　紀
千歳スキー連盟	太　田　憲　之
のりのりZUMBA	石　津　のりこ
日本スポーツウエルネス吹矢千歳やませみ協会	金　浜　哲　朗
健康を作る集い	浅　見　七　江
卓悠会	古　川　捷　喜
千歳健美操サークル	川　上　由美子
ヨガ＆ピラティス	酒　井　勝　子
千歳一輪車クラブ	吉　田　真　理
笑いヨガクラブ ハーモニー	木　村　祥　子
千とせヨガ	儀　間　逸　美
WLB	斎　藤　文　太
こまさとスポーツクラブ	國　母　智　恵
健康美体操	堀　川　美代子
祝梅ゴッドファイターズ	生　杉　卓　也
フィットネスサークルジョイフル	東　　友　子
千歳トランポリン少年団	川　口　真奈美
桜クラブ卓球	竹　林　日出雄
エアロビサークル・シェイプアップ	竹　内　世津子
千歳健康太極拳教室	佐　藤　登代子
大人も子供もスポーツを楽しむ会	川　村　明　恵
カズマスポーツの会	長　島　数　馬
小町会	嶋　津　あ　き
NPO法人全世界空手道連盟　新極真会　北海道千歳道場	千　葉　慎　也
JJMIXスポーツスクール	出　倉　みゆき
ベースボールスクールポルテ	宮　澤　玲　香
リベルタサッカースクール	山　下　隆　裕
フィットネスサークル　マトリクス	金　﨑　哲　也
フィットネスサークル　ランボ	田　中　俊　行
ルーシーダットン・スアイ	山　内　雅　代
amuse	佐　藤　伸　弥
M&M's CLUB Sky FAIRIES	大　畠　佳奈子
心身美ボディととのえ体	松　田　小百合
レイト・カーディオ	元　丸　梨　瑛
千歳ラグビースクール	佐　藤　雅　敏
千歳スナッグゴルフ協会	太　田　憲　之
千歳卓球スポーツ少年団	唐　澤　　亨
SHINANO DBC	谷　山　早映子

※掲載団体との連絡を希望される場合は、千歳市教育委員会生涯学習課までお問い合わせください
（直通 24-3153）

1　令和２年４月15日現在
教育委員会生涯学習課

(2) 千歳市文化団体連絡協議会加盟団体

◎印は加盟文化団体　　無印は加盟文化団体に所属する単位団体

団体名等	代表者
文化・芸術活動総括	
◎千歳市文化団体連絡協議会	太田憲之
民謡・民舞	
◎千歳民謡連合会	山本芳郎
鳳友会	大谷文男
栄春会	山本芳郎
照扇会	高秀政博
江差追分北優会	福士厚子
照謡会	平間勝利
春駒会	佐々木園絵
詩吟・剣詩舞	
◎吟道連盟連絡会	井上一捷
日本詩吟学院北海道樽前岳風会千歳支部	山下憲弘
日本国風流詩吟・吟舞会道南千歳支部	今城國弘
日本国風流詩吟・吟舞会道央千歳支部	佐藤國靖
東峰流・千歳灯吟舎	佐々木朱峰
踊翠流剣詩舞鶴双会千歳支部	本間鶴征
八千穂流剣詩舞道会	成田けい子
邦楽・邦舞	
◎千歳邦楽邦舞協会	西川鯉智恵
西川流　鯉智恵会	西川鯉智恵
洳風会	小泉夕山
千歳楽風会	南雲秀叡
千歳若菜会	米田雅楽範
千歳藤の会　村林社中	村林満詠
千歳藤の会　折笠社中	折笠由美江
千歳萠の会	永井幸子
尺八音楽集団聖琳社	中島聖山
◎西崎流緑森会	西崎鼓美
◎西崎流緑森会鼓会	西崎鼓美
◎江戸芸かっぽれ	吉田修二
音楽（合唱・カラオケ）	
◎千歳童謡わたげの会	児玉国男
◎千歳歌謡文化連盟	鴨林三枝
北声会	金子光弘
千歳カラオケ愛好会	鴨林三枝

団　体　名　等	代　表　者
名悠会	橋　本　国　雄
三ツ和会	亀　田　隆　夫
千歳ゆきなよ会	畑　山　庸　一
フレンド歌謡会	山　崎　秀　雄
◎スコップ三味線縁歌	辻　山　春　樹
◎千歳三味線愛好会	小　柳　　隆
音楽（合奏）	
◎オカリナ・ラルゴ	平　柳　す　み
◎ハワイアンミュージッククラブ	廣　瀬　元　司
ダンス洋舞（フラ・バレエ・３Ｂ体操など）	
◎フラサークル　ケハウ　ケアナニ　オカラ	竹　本　照　代
◎マイレ本間フラスクール千歳支部	清　水　征　子
◎ハラウ・フラ・オ・カフアリイ・レイ オハナ	廣　瀬　映　子
◎千歳真下クラシックバレエグループ	鈴　木　由美子
◎テル　ダンススクール	塚　本　照　子
◎スタジオ　ヴィエント千歳支部	吉　田　睦　子
◎千歳市レクリエーション協会（レッツⅡ）	畑　山　久美子
ダンス洋舞（ジャズダンス）	
◎ちとせジャズダンス連盟	中　島　勝　己
ビーバー Jr.ダンス	中　島　勝　己
studio　FIT	房　立　成　美
ダンス　スタジオマインド　道新文化教室	岡　本　晶　子
Studio AWAKE ！道新文化教室	宮　下　ル　ミ
Fe.310（フィ.スリート）	西　野　哲　也
一輪車クラブ	佐々木　夕起子
M & M'S club	星　　真　衣
文芸	
◎千歳市民文芸の会	落　合　幸四郎
華道	
◎千歳華道連盟	平　沢　良　子
小原流	鈴　木　愛　子
池坊会	平　沢　良　子
草月流	師　岡　一　枝
工芸・手工芸	
◎千歳工芸協会	鷲　見　孝　子
四季彩ステンドグラス	廣　瀬　映　子
ステンドグラスアトリエ　OIDEN	中　村　博　子

団　体　名　等	代　表　者
染織技術研究会	鷲　見　孝　子
工房　野の花	成　冨　恵以子
アイヌ刺繍らぷらん工房	砂　澤　代恵子
パンアートサークル	二ツ川　マキ子
パーチメントクラフト	市　東　保　子
スイス・メグロー派グラスリッツェン	熊　本　晶　子
羊毛ファッションリメイク＆ペインティング	中　村　博　子
◎日本手工芸レザークラフト研究所	藤　田　令　子
◎ちりめん手芸の会	小　松　静　子
絵画・書道・写真	
◎千歳美術協会	竹　津　　昇
◎千歳書道協会	森　　峻　草
惠峰書道会	鶯　出　恵　峰
青暉書道会	主　計　慧　葉
研石書道会	松　下　研　石
桂の会	村　上　彩　香
黒百合書友会	森　　峻　草
静山会	山　田　静　洸
◎隆光書道会	山　口　紫　蘭
◎千歳写友会	佐々木　保　彦
自然芸術・その他	
◎千歳愛石同好会	中　山　源　七
◎千歳菊友会	阿　部　一　秀
◎日本盆栽協会千歳支部	寺　原　和　俊
◎千歳アマチュア無線協会	國　政　　平

※掲載団体との連絡を希望される場合は千歳市文化団体連絡協議会までお問い合わせください
（電話：22-7170、火・水・木のみ）

1　令和２年５月10日現在
千歳市文化団体連絡協議会

（3）体育協会加盟団体

団体名等	代表者	連絡先	
・㈶ 千歳市体育協会	駒澤文雄	24－2100	内山　匠
千歳剣道連盟	千葉英一	090-2059-7674	畠山裕也
・千歳軟式野球連盟	梅尾要一	090-5073-1137	菊地智彦
千歳柔道連盟	村井政孝	080-4503-2672	木原誠治
千歳陸上競技協会	古川昌俊	090-9437-5664	保井　享
千歳スケート連盟	梅尾要一	090-4875-7041	松本敏男
・千歳ソフトテニス連盟	城畑恭子	090-1300-0193	山下敦子
千歳スキー連盟	太田憲之	090-2819-7150	加藤　修
・千歳山岳会	村中順一	090-2072-0384	本宮敬士
・千歳銃剣道連盟	梅尾要一	090-7516-1805	古田和孝
千歳卓球協会	斉藤裕巳	080-5584-4239	沼達希望
千歳水泳協会	梅尾要一	24－1336	虻川敦彦
・千歳バレーボール協会	梅尾要一	090-9529-9247	髙橋信利
・千歳バスケットボール協会	大山益巳	090-2817-2872	山田浩之
千歳市ラグビーフットボール協会	中島勝己	090-3119-2779	川上雅行
・千歳テニス協会	梅尾要一	080-6092-4303	主計敏夫
・千歳サッカー協会	米内山淳二	090-5078-5789	石黒武裕
千歳弓道協会	宮城秀人	090-2871-5050	武田芳於
千歳空手道連盟	北國谷　勉	080-1891-0728	磯貝　孝
千歳バドミントン協会	小林俊晴	090-1520-9796	三宅健司
・千歳少林寺拳法協会	本宮輝久	090-5984-9506	後藤正人
千歳アーチェリー協会	岡部いづみ	090-3893-2091	茂木健二
千歳サイクリング協会	坂野　智	090-8631-7153	小田　裕
千歳居合道連盟	江口和夫	090-9435-6559	奥山憲輔
・千歳ソフトボール協会	山崎昌則	090-9759-6226	高橋勝之
・千歳ゲートボール協会	小池誠次	080-4045-4662	小池誠次
・千歳ミニバレーボール協会	太田憲之	090-2072-5482	久米田博之
千歳合気会	象谷敏孝	090-5950-5241	桜庭尚吾
千歳ボウリング協会	村上倫行	090-6872-0803	土生　毅
・千歳パークゴルフ協会	香月　正	080-1883-0278	小林敏昭
千歳スポーツチャンバラ協会	池田治幸	090-9431-7971	池田治幸
千歳ゴルフ協会	五十嵐桂一	23－4411	大山益巳
・千歳綱引連盟	坂野　智	090-4874-7950	藤井和彌
日本スポーツウエルネス吹矢千歳やませみ協会	金浜哲朗	090-6266-2624	金浜哲朗
・千歳スナッグゴルフ協会	太田憲之	27－1375	藤田美穂

1　令和２年５月25日現在
2　「・」は社会教育登録団体
㈶ 千歳市体育協会

130　少年団体

団体名等	代表者	連絡先	
千歳市子ども会育成連合会	四方信次	42－3030	（公財）千歳青少年教育財団、荒金利佳
千歳市シニア・リーダー「つばさ」	西村瑞穂	42－3030	（公財）千歳青少年教育財団、荒金利佳
千歳修心館剣道スポーツ少年団	小幡幸光	090-3468-2130	田爪幸夫
千歳剣道スポーツ少年団	大塩満	090-5374-8202	合田千恵
千歳ガッツ野球スポーツ少年団	長谷川勤	22－5043	
桜木メッツ野球スポーツ少年団	藤野克二	23－4796	
千歳タイガース野球スポーツ少年団	竹村忠之	22－4860	
向陽台ヒーローズスポーツ少年団	及川誠	28－5118	橋本純子
千歳ブラックバード野球スポーツ少年団	伊達孝二	26－6415	
春日ライオンズ野球スポーツ少年団	村井優樹	090-8634-8589	相吉賢和
C.Sライズスポーツ少年団	花見仁	42－6077	山本直輝
北陽レッドイーグルススポーツ少年団	宮越正希	23－6404	
千歳リトルシニア球団スポーツ少年団	石黒武美	28－2102	
千歳ライトニングススポーツ少年団	坂口文将	090-1528-2563	
千歳柔道スポーツ少年団	村井政孝	080-4503-2672	木原誠治
千歳スピードスケートスポーツ少年団	松本敏男	22－5707	
千歳スキースポーツ少年団	山田誠	22－1268	
千歳卓球スポーツ少年団	唐澤亨	090-1380-9216	
千歳ミニバススポーツ少年団	佐々木健介	090-6264-4742	
桜木ミニバスケットボールスポーツ少年団	阿部聖見	22－3301	
日の出ミニバススポーツ少年団	小野寺尊久	090-5954-3463	日の出小学校
千歳向陽台ミニバスケットボールスポーツ少年団	細越俊明	28－4777	
向陽台サッカースポーツ少年団	井田正裕	090-7059-3705	梅本功
自由ケ丘サッカースポーツ少年団	山本栄	27－1035	
北陽サッカースポーツ少年団	川野博	22－5529	
稲穂サッカースポーツ少年団	土門勝由紀	26－8805	
千歳市少年消防クラブ育成連絡協議会	力示武文	23－0420	消防本部予防課
千歳高台サッカースポーツ少年団	中村登	22－3911	
祝梅サッカースポーツ少年団	福田博志	22－1642	
AOBA空手道スポーツ少年団	磯貝孝	22－1396	
日本空手協会千歳支部スポーツ少年団	小幡国宏	42－8959	
和道流空手道スポーツ少年団	後藤武士	26－4990	多加学
北信濃バドミントンスポーツ少年団	阿保広	23－2559	

団　体　名　等	代　表　者	連　絡　先
千歳北陽バドミントンスポーツ少年団	松　浦　富士夫	23－6663
千歳陸上競技スポーツ少年団	保　井　　享	22－3788　木　田　真紀子
少林寺拳法千歳スポーツ少年団	後　藤　正　人	26－0276
少林寺拳法千歳向陽台スポーツ少年団	佐　藤　正　次	28－2557
少林寺拳法千歳東スポーツ少年団	志子田　文　一	22－1035
少林寺拳法千歳北新スポーツ少年団	倉　本　浩　司	26－3612
少林寺拳法千歳北桜分団スポーツ少年団	川久保　篤　輔	23－0455
少林寺拳法千歳北スポーツ少年団	甲　斐　貴　之	22－2806
千歳合気道スポーツ少年団	象　谷　敏　孝	24－5051
千歳ジュニアテニススポーツ少年団	日　原　克　久	090-8895-6343　津　田　百　恵
千歳ソフトテニススポーツ少年団	倉　重　祐　泰	42－2287
文京テニススポーツ少年団	池　田　堅　壱	28－3970
向陽台テニススポーツ少年団	坂　田　美　彦	090-8372-7569　伊牟田　澄　枝
千歳スポーツチャンバラスポーツ少年団	池　田　治　幸	24－8995
千歳バレーボールスポーツ少年団	東　谷　美　香	chitosejvc12345@yahoo.co.jp
千歳富丘中学校陸上スポーツ少年団	漆　原　光　晴	24－1188
向陽台みらくるJrバドミントンスポーツ少年団	橋　本　繁　年	21－8084　石　崎　和　恵
千歳少年銃剣道スポーツ少年団	小　林　順　一	090-2875-6408
青葉陸上スポーツ少年団	藤　波　好　英	090-4875-8052
千歳一輪車クラブスポーツ少年団	吉　田　真　理	050-3551-6227
カント・レラJrクラブスポーツ少年団	渡　部　文　昌	080-4509-0837
千歳空手道スポーツ少年団	伊　阪　正　行	090-9085-7535
Stolz千歳FCサッカースポーツ少年団	江刺家　　馨	22－8019
勇舞中学陸上スポーツ少年団	工　藤　修　央	40－0051
ボウリングスポーツ少年団	青　山　洋　輔	23－4542
千歳青葉ソフトテニススポーツ少年団	植　村　真　湖	23－4147
千歳トランポリンスポーツ少年団	小笠原　保　志	080-6098-8800　川　口　真奈美
みどり台シャークススポーツ少年団	菊　池　邦　仁	090-8962-8148
祝梅ゴッドファイターズスポーツ少年団	生　杉　卓　也	090-5227-9730　多田羅　純　子
SHINANO DBCスポーツ少年団	梅　川　善　昭	090-7656-2270
千心会柔道クラブ	田　中　裕　也	27－3100

1　令和２年４月１日現在
千歳市スポーツ少年団本部（千歳市体育協会振興課）・消防本部・（公財）千歳青少年教育財団

131　文　化　財

(1) 概況

先人が時代とともに築いてきた文化は、現在の私たちの生活の基礎となっています。千歳には豊かな自然とともに数多くの文化財が残され、時を超えたメッセージを伝えてくれます。

特に埋蔵文化財は豊富で、令和２年３月までに確認した遺跡数は305か所に上り、国指定史跡２か所、国指定重要文化財３件、市指定史跡１か所、市指定有形文化財３件があります。

埋蔵文化財以外では、近代・現代の歴史と文化を伝える有形文化財３件、無形文化財１件と、アイヌの人々が伝承してきた無形文化財１件がそれぞれ市の文化財に指定されています。

また、アイヌの古式舞踊は国指定の重要無形民俗文化財にも指定されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(2) 国指定史跡

ウサクマイ遺跡群　　千歳市蘭越（昭和54年５月23日指定）

市街地から約５㎞、支笏湖に向かう途中に、全国の「名水百選」に選ばれた内別川があります。全長2.5㎞の小河川ですが、ここを中心に人々が暮し始めたのは約7,000年前の縄文時代早期からです。以後、続縄文、擦文、アイヌ文化期から近代に至るまで、川辺には先人たちの足跡が数多く残されてきました。21か所の遺跡を中心に146haの範囲が史跡として保護されています。

キウス周堤墓群　　千歳市中央（昭和54年10月23日指定）

周堤墓とは、今から約3,200年前の縄文時代後期に造られた、北海道に固有の集団墓です。地面を円形に掘り下げ、周囲に環状に土を盛った区画の中に墓穴を掘り、遺体を埋葬しました。キウス周堤墓群には全部で９基の周堤墓があります。大きなものは直径が75mもあり、他に例のない規模を誇る縄文時代最大級の集団墓です。現在でも地表からその形を見ることができるまとまった周堤墓はここにしかない貴重なものとして、1979年に4.9haが国の史跡に指定され、2019年には追加指定により10.9haになりました。

教育委員会埋蔵文化財センター

(3) 国指定重要文化財

土面

動物形土製品

動物形土製品　　昭和51年美々４遺跡出土　市所有（昭和54年６月６日指定）

頭・首・胴そして指の刻まれた手足を持ち、カメ・水鳥・ムササビ・アザラシなどの海獣にも見える不思議な姿をしています。全長31.5㎝、最大幅16.2㎝、最大厚9.8㎝、中は空洞で全身に美しい模様が描かれています。約3,000年前の縄文時代晩期に作られたものです。複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。

土面　　昭和61年ママチ遺跡出土　国所有（昭和63年６月６日指定）

ママチ川のほとりで、約2,400年前の縄文時代晩期のお墓から見つかりました。縦横18㎝で、お祭りの露店で売っているお面とほぼ同じ大きさです。口と目の部分がくりぬかれ、静かな死の表情を表しています。当時この土面は墓標に付けられていたようです。複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。実物は江別市の北海道立埋蔵文化財センターに展示されています。

要覧ちとせ平成24年版まで「土製仮面」と呼んできましたが、国の重要文化財としての指定名称が「土面（どめん）」であることから、25年版から名称を変更しています。

北海道立埋蔵文化財センターにおいても、現在「土面」と呼称されています。

北海道美々８遺跡出土品　　千歳市美々　道所有（平成17年６月９日指定）

新千歳空港の滑走路建設工事の際に、美沢川左岸の美々８遺跡（低湿部）の発掘調査によって見つかったアイヌ文化の木製品を中心とする1,164点の出土品です。

噴出年代が判明している樽前ａ火山灰（1739年噴出）と樽前ｂ火山灰（1667年噴出）に挟まれた泥炭層から主に見つかりました。年代が明確であること、土中では残らない木製品が水に浸かっていたことから腐らずに出土したことは、当時の文化内容を考える上で貴重です。

出土品は、北海道立埋蔵文化財センターに保管され一部が展示されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(4) 国指定重要無形民俗文化財

アイヌ古式舞踊　（昭和59年１月21日指定）　千歳アイヌ文化伝承保存会（平成６年12月21日構成団体に指定）

「アイヌ」とは、アイヌ語で「人間」という意味を持つ言葉です。アイヌの人々は、豊かで厳しい大自然の中で独自の生活を営んでいました。自然から学び取った知恵や工夫、習慣や信仰は、親から子へと大切に伝えられてきました。その一つに「舞踊」があります。千歳地方で伝承されている「ホリッパ」「ハラルキ」「ヤィサマ」などの歌と踊りの中には、素朴な形のものや他の地方には見られない千歳独自のものも残されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(5) 国指定天然記念物

北海道犬　（昭和12年12月21日指定）

北海道犬は、北海道においてアイヌの人々が古来から狩猟の良きパートナーとして大切に飼ってきた犬です。千歳では、千歳川流域を中心に広がる良好な狩猟場に恵まれ、鹿や熊を捕る猟師たちが優秀な狩猟犬を数多く育ててきました。

この犬たちを先祖に持つ北海道犬は、現在千歳系と称され天然記念物『北海道犬』の主流を占めています。特に昭和２年に生まれた「阿久」（オス）は、千歳系の祖犬とされています。

現在は、道内外の一般家庭でも飼われている中型犬で天然記念物として特定の地域を定めずに指定されています。

教育委員会埋蔵文化財センター

(6) 市指定文化財

千歳神社境内釜加神社弁財天御厨子　　有形文化財　民間所有（昭和52年４月23日指定）

かつて千歳一帯は、アイヌ語で「大きなくぼ地、谷」という意味の「シコツ」と呼ばれていました。

文化２（1805）年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行の羽太正𣏟（はぶと　まさやす）に新しい地名を付けたいと願い出ました。そこで当時シコツにたくさんいた鶴にちなみ、「鶴は千年」の「千年」をとって「千歳」と改名されました。その由来が弁財天を収めていた厨子の後ろに次のように記されています。複製品を埋蔵文化財センターに展示しています。

あきらけき御代の御ひかりは、至らぬくまもなく、こさ吹（く）蝦夷が島までも御恵（み）をかしこみ、たびまつる事になん。その島のうちに、ゆうふつてふ所に、しこつ河となんいへる川有（り）、この河何とやらん、とのふるひびきのよからねば、山田嘉充が云うよりて、それは鶴のあまたをり居る所なれば、千と世河ともいうべきやなと、たはぶれしに、夫（れ）なんよかめりとて、嘉充其（の）河のほとりに弁財天を勧請し、なお其（の）ことのあらましをしるさまほし、というにまかせて、遂に禿筆とりてつたなき言の葉かきつけ待るものなるかし。

末ひろきめぐみもしるし河の名の千とせをかけてしむる宮居は

干時文化二年乙丑春三月　　従五位下藤原朝臣正𣏟謹誌

美々貝塚　　史跡　千歳市美々758番地（昭和52年４月23日指定）

本州ではおよそ１万６千年前から「縄文土器」が作られるようになりますが、当時はまだ寒冷な気候でした。その後、徐々に温暖化し氷河の溶けた水が海に流れ込むことで海水面が高くなります。その結果、海岸線は平野の奥まで入り千歳では太平洋が美々駅の辺りまできていました。暖かな気候は山々を豊かな狩りの場に変え、海辺には多くの入り江ができ、良い漁場を形成しました。海岸だった美々には、約6,000年前の縄文時代前期の人々がシジミを採集・調理し貝殻を直径４ｍ、高さ1.2ｍも積み上げた貝塚を残しました。昭和51年より公開展示しています。

磨製石棒　　有形文化財　市教委所蔵　市所有（昭和52年４月23日指定）

キウス周堤墓群のお墓から見つかった石の棒です。長さ57㎝、重さ710ｇで、全体が丁寧に磨かれ、両端には繊細な線によって模様が彫られています。約3,200年前の縄文時代後期に作られたものです。埋蔵文化財センターに展示しています。

石棒

男性土偶　　有形文化財　市教委所蔵　市所有（昭和52年4月23日指定）

蘭越の内別川付近で見つかった板状の人形（＝土偶）です。眉や鼻などの顔の表現がママチの土面とよく似ています。縄文時代の土偶は、ほとんどが女性をモデルにしているので男性とはっきり分かる例として全国的にも大変珍しいものです。 全長14.5㎝、厚さ0.9㎝、縄文時代晩期に作られたと考えられています。埋蔵文化財センターに展示しています。

男性土偶

蕨手刀

蕨手刀　有形文化財　市所有（昭和55年7月21日指定）

昭和38年、蘭越の内別川右岸のウサクマイＡ遺跡付近から見つかった二振りの鉄製の刀です。柄部の形が山菜のワラビに似ていることから「蕨手刀」と呼ばれています。この種の刀は、約1,300年前の東北地方の遺跡から多く発見されており、古代の北海道と東北の交流を示す大切な資料です。一振りは鞘（さや）が残っており、埋蔵文化財センターに展示しています。

駅逓看板　有形文化財　個人所有（昭和52年４月23日指定）

明治５（1872）年、北海道開拓使は函館と札幌の間に郵便事業を始め、毎月６回ずつ郵便物を運びました。その時に千歳で郵便局（郵便取扱所）となったのが新保旅館でした。当時の様子を伝える縦120㎝、横94㎝の看板２枚が保存されています。明治末から昭和初期の間に作製されたと考えられます。

泉郷獅子舞　無形文化財　泉郷獅子舞保存会（昭和54年10月25日指定）

市街地から北東へ車で15分ほど行くと、泉郷の農村地帯があります。原野だった泉郷は明治20（1887）年に開拓が始まりますが、獅子舞は富山県から入植した人により29年頃に伝えられたとされています。富山の古い舞と千歳で生まれた新しい舞は、毎年９月に泉郷神社に奉納されます。

アイヌの伝統的芸能と工芸技術　無形文化財　千歳アイヌ文化伝承保存会（平成５年５月20日指定）

千歳地方のアイヌの人々によって古くから伝承されてきた古式舞踊、ユカラやウェペケレの語りなどの伝統的芸能、イナウ作り・イカルカル（刺しゅう）・チタルペ（ゴザ編み）などの工芸技術の伝承保存活動が行われています。

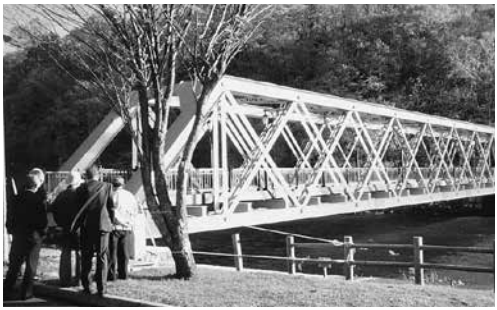
山線鉄橋　有形文化財　市所有（平成11年８月24日指定）

北海道で現在使われている最古の鋼橋（イギリス型ピン結合トラス橋）で、日本の橋梁史においても希少かつ重要な資料と評価されています。

明治32（1899）年にイギリスから輸入され、北海道官設鉄道上川線（空知太－旭川）の砂川－妹背牛間に「第一空知橋」として架けられていました。大正12（1923）年、架け替えにより支笏湖の王子製紙苫小牧工場専用鉄道（山線・王子軽便鉄道）の鉄橋として移設されましたが、昭和26（1951）年の山線廃止後は、道路橋として利用されていました。平成７年から９年までの間、本来の技術や姿を保つための大規模な解体修復工事を行い、近代土木遺産として恒久的な保存が図られました。

現在は、「山線鉄橋」の名で歩道橋として支笏湖の新たなシンボルになっています。

教育委員会埋蔵文化財センター



山線鉄橋

(7) 主要文化財・遺跡

千歳で最も古い遺跡

今からおよそ３万年前、市内流通に残された祝梅下層遺跡が、現在千歳で最も古い遺跡です。この遺跡から出土した石器は、多方向から打ち割った小形で不定形のカケラの縁辺に細かな加工が施されています。本州で出土するモノと類似する特徴を持っていることから、南からやって来た人々かあるいは影響を受けた人々が残したモノと考えられています。その頃千歳は噴火を続けていた支笏火山（今の支笏湖）が静かになり、初めて人間生活ができる舞台になりました。その後、氷河期の中でも最も寒い２万５千年前になると、海岸線が低くなり、間宮海峡や宗谷海峡を通って大陸からマンモスやオオツノジカなどが北海道にわたり、やがて動物を追って人間も細石刃を埋め込んだ植刃器という特殊な槍を携えてやって来ました。市内柏台にある柏台１遺跡からは約２万２千年前の現在日本で最も古い細石刃が出土しています。

美沢川流域の遺跡群

新千歳空港は、平成４（1992）年７月の新旅客ターミナルビルの完成で本格的な運用が始まりましたが、新空港の建設に伴って昭和51年から平成７年までの20年間にわたって発掘調査が行われました。美沢川流域の調査面積は、約23.3万㎡に達し古代の人たちの暮らした集落跡・周堤墓群・貝塚、国重要文化財の指定を受けた動物形土製品を始め、１歳前後の男児の右足跡の付いた土版などの珍しい遺物を含む多くの資料が発見されました。

この中で、美々８遺跡の低湿地から発見された近世初頭の木製品を中心とする出土品は、当時の生活を考える上で大変貴重な発見であり、1,164点について平成17年６月９日付けで国の重要文化財の指定を受けました。

教育委員会埋蔵文化財センター

132　宗教法人の概況

系統区分	包括団体名	法人名
神道	神社本庁	千歳神社
仏教	本門仏立宗	千歳寺
仏教	日蓮宗	日宣寺
仏教	日蓮宗	日蓮宗　妙法教会
仏教	日蓮宗	日詳寺
仏教	日蓮宗	妙蓮寺
仏教	真宗大谷派	真光寺
仏教	真宗大谷派	極楽寺
仏教	真宗大谷派	龍音寺
仏教	曹洞宗	大禅寺
仏教	曹洞宗	妙心寺
仏教	高野山真言宗	光明寺
仏教	浄土真宗本願寺派	千正寺
仏教	浄土真宗本願寺派	秀法寺
仏教	日蓮正宗	法涌寺
基督教	日本基督教団	千歳栄光教会
諸教	天理教	天理教　祝梅分教会
諸教	天理教	天理教　東千歳分教会
諸教	天理教	天理教　八十梅分教会
諸教	天理教	天理教　北千道分教会
諸教	天理教	天理教　北樺分教会
諸教	天理教	天理教　都千歳分教会
諸教	天理教	天理教　漁分教会
諸教	八大龍王大自然愛信教団	千歳教会
基督教	単立	千歳福音キリスト教会
基督教	単立	エホバの証人千歳会衆
諸教	単立	栗嶋教会

1　令和元年12月31日現在
2　北海道に宗教法人として申請があり認証したもの
北海道石狩振興局総務課

あらまし

平成27年国勢調査による千歳市の産業別人口は公務員が最も多く、次に製造業、卸売・小売業、医療・福祉の順となっています。

雇用情勢については、ハローワーク千歳における令和２年３月の千歳・恵庭地域の有効求人倍率が、1.01倍となったほか、新規学校卒業者の就職内定率が99.5％となるなど、いずれも高い数値となっており、企業の採用意欲の向上などから回復基調が続いています。しかし、その一方で少子高齢化による労働人口の減少などにより、様々な業種で人手不足が見られるほか、職種や年齢、勤務地などの条件面で求人側と求職側の希望が一致しない、雇用のミスマッチが課題となっています。

このような中、さらなる雇用の創出や安定を図るため、ハローワーク千歳と連携し、正規雇用や新規学校卒業者の求人要請活動を行うなど、市民の就業活動を支援しています。

また、学生や若年求職者の職業観の醸成や就業意識の形成・向上を支援し、円滑な就職及び職場定着を促進するため、産学官連携による就職支援セミナーを開催しています。

さらに、市の産業を支える人材の確保と移住・定住人口を拡大するため、地元の求人企業の魅力を市内外に発信するポータルサイト「ちとせの仕事」を運営し、情報提供の機会創出を図り、市内求職者やＵＩＪターン希望者などの就職活動を支援するほか、就職相談やセミナー、合同企業説明会など、求職者と企業の総合的な支援を行う地元就職・人材確保支援事業を実施しています。

このほか、千歳市季節労働者通年雇用促進協議会では、国の委託事業として技能資格取得支援事業を実施するなど、季節労働者の通年雇用化を支援しています。

令和２年の高等学校全日制卒業者492人の25.6％に当たる126人が就職し、そのほとんどが市内及び道内に就職しています。

また、千歳市内の自衛隊陸空各部隊における令和元年度の自衛隊除隊者数は292人となっています。自衛隊除隊者は千歳市に立地、進出する企業等の貴重な労働力となっています。

133　労働力人口の推移

年	人口総数	15歳以上人口	労働力人口
7	84,866	68,986	45,848
12	88,897	73,870	47,208
17	91,437	77,015	47,491
22	93,604	79,554	47,639
27	**95,648**	**81,887**	**47,948**

1　各年10月１日調査
2　表12に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

134　労働力状態別・男女別人口

区　　分	人　　口			構　成　比（%）			男女別割合（%）	
	総　数	男	女	総　数	男	女	男	女
15歳以上人口	**81,887**	41,485	40,402	**100.0**	100.0	100.0	50.7	49.3
労働力人口	**47,948**	29,116	18,832	**58.6**	70.2	46.6	60.7	39.3
就　業　者	**46,015**	27,907	18,108	**56.2**	67.3	44.8	60.6	39.4
完全失業者	**1,933**	1,209	724	**2.4**	2.9	1.8	62.5	37.5
非労働力人口	**29,641**	9,992	19,649	**36.2**	24.1	48.6	33.7	66.3

1　27年10月１日調査
2「労働力不詳」は総数に含む
3　表13に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

135　人口と労働力人口増減の推移

年	増　加　数					増　加　率（%）				
	人口総数	15歳以上人口	労働力人口			人口総数	15歳以上人口	労働力人口		
			総　数	男	女			総　数	男	女
7	5,920	6,611	4,670	2,306	2,364	7.5	10.6	11.3	8.2	18.1
12	4,031	4,884	1,360	426	934	4.7	7.1	3.0	1.4	6.0
17	2,540	1,122	283	△ 644	927	2.9	4.3	0.6	△ 2.1	5.7
22	2,167	2,539	148	△ 477	625	2.4	3.3	0.3	△ 1.6	3.6
27	**2,044**	**2,333**	**309**	**△ 612**	**921**	**2.2**	**2.9**	**0.6**	**△ 2.1**	**5.1**

1　各年10月１日調査
2　表14に再掲
総務省統計局「国勢調査」（総務課）

136　職業紹介状況

（1）新規求職数等の推移

年	新規求職数	新規求人数	紹介件数	就職件数
27	7,172	9,111	6,980	2,154
28	6,914	9,573	6,384	1,938
29	6,724	10,103	6,029	1,963
30	6,678	10,438	5,582	1,847
元	**6,450**	**10,774**	**4,630**	**1,601**

1　パートタイマーを含む
千歳公共職業安定所

（2）季節労働者の推移

年	季節労働者数			事業所別		
	総数	千歳市	恵庭市	管内の事業所	道内の事業所	道外の事業所
27	1,794	888	906	1,214	562	18
28	1,672	857	815	1,117	533	22
29	1,462	717	745	1,000	448	14
30	1,389	687	702	932	450	7
元	**1,253**	**627**	**626**	**838**	**410**	**5**

1　管内は千歳公共職業安定所管内（千歳・恵庭）である
千歳公共職業安定所

137　雇用保険給付額の推移

（単位　千円）

区分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
一般労働者	917,754	876,996	823,122	852,255	**903,963**
季節労働者	346,685	319,139	300,766	282,138	**258,945**

1　一般労働者には高齢求職者給付を含む
千歳公共職業安定所

138　労働組合数及び組合員数の推移

年	総数		一般		国家公務員		地方公務員		公共企業体		特定独立行政法人	
	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
23	46	5,631	41	4,857	2	164	2	571	1	39	—	—
24	45	5,580	40	4,832	2	165	2	547	1	36	—	—
25	41	4,749	36	4,023	2	146	2	540	1	40	—	—
26	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
27	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**	**…**

1　28年５月30日現在
北海道石狩振興局産業振興部商工労働観光課

139　労働会館利用者の推移

区　　分	27　年　度	28　年　度	29　年　度	30　年　度	**元　年　度**
官　公　庁	150	2	295	20	**70**
労　働　団　体	460	1,016	355	370	**236**
研修講習関係	4,247	3,791	3,023	3,858	**3,338**
そ　の　他	891	740	1,119	547	**2,226**
計	5,748	5,549	4,792	4,795	**5,870**

市民生活課

140　高等学校全日制卒業者の推移

年	卒業者総数	進学者				就職者							その他
		総数	進学志望者	進学率（%）		総数	就職進学者	産業別			就職先別		
				対志望者	対卒業者			第１次	第２次	第３次	道内	道外	
28	550	375	399	94.0	68.2	136	－	2	27	106	132	3	38
29	570	378	406	93.1	66.3	139	－	4	39	96	139	0	53
30	530	340	358	95.0	64.2	156	－	－	59	97	146	10	34
元	546	370	379	97.6	67.8	160	－	2	53	105	152	8	16
2	**492**	**340**	**354**	**96.0**	**69.1**	**126**	**－**	**－**	**26**	**100**	**120**	**6**	**26**

1　各年５月１日現在
2　**表111**に再掲
北海道千歳高等学校・千歳北陽高等学校

141　自衛隊除隊者数の推移

年度	総　　数	陸上自衛隊		航空自衛隊千歳基地
		東千歳駐屯地	北千歳駐屯地	
27	387	216	62	109
28	342	199	52	91
29	342	172	52	118
30	316	166	63	87
元	**292**	**122**	**75**	**95**

1　各年度末現在
千歳・恵庭地域就職援護センター（東千歳駐屯地常駐組・北千歳駐屯地常駐組）、航空自衛隊千歳基地援護室（商業労働課）

あらまし

令和元年度に千歳市が受理した公害等に係る苦情件数は62件で、そのうち騒音が39件と約６割を占め、次いで悪臭が９件、ばい煙・粉塵と振動がそれぞれ５件となっています。

千歳市では、良好な生活環境と豊かな自然を保全するため、日頃から様々な調査や対策を実施しています。公害などの防止については、市内８か所に航空機騒音測定局の設置のほか、自動車騒音については測定計画に基づき、状況の変化を把握しています。大気の状況については、市内３か所の観測局において常時監視を行っています。

千歳川に代表される市内の河川は、サケが遡上し、渡り鳥なども生息するとともに、流域の貴重な水道水源にもなっていることから、定期的な採水と分析により調査を行っています。豊かな自然環境を将来へ引き継いでいくため、自然環境保全条例に基づき、特に保全が必要な地区を自然環境保全地区に指定し、自然環境監視員により監視を行っています。

また、自然に親しみ、理解を深め、豊かな自然環境を保全しようという意識を育むことを目的に各種市民参加型行事を実施しています。

千歳市は独自の環境マネジメントシステムである「エコアクション」を推進し、自ら率先して省エネルギーや環境負荷の低減に努めるほか、千歳市環境基本計画に基づき、市民・事業者に対して環境配慮行動の必要性と実践を広く呼びかけています。

市民の健康を守る病院・診療所は65院で、病床数は1,128床、歯科診療所は46院となっています。

市立千歳市民病院は、救急特例病床19床を含む190床を有し、最新鋭の高度医療機器を導入するなど、地域の基幹病院としての機能及び施設の充実を図っています。平成29年２月には、医療への信頼性と質の向上を目的として病院を中立的な立場で評価する公益財団法人日本医療機能評価機構による３度目となる「病院機能評価」の認定を更新するなど、市民が安全で安心な医療が受けられるよう、より質の高い医療の実現に向けた取組を行っています。また、平成29年7月か

らは、地域の医療機関等と診療情報を共有する地域連携ネットワークシステム「ちえネット」の運用を開始し、地域包括ケアシステムの構築や地域完結型医療の実現に向けた取組を行っているほか、令和元年６月には入院手続きや説明を一括して行う入院支援センターを開設し、同年10月には緩和ケア病床を開設するなど、患者サービスの向上も図っています。

千歳市の令和元年度の廃棄物処理量（一般廃棄物と産業廃棄物の総量）は、38,765tで前年度より376t減少し、１日当たり106tとなっています。

市では、４種資源物・プラスチック製容器包装の分別収集や、使用済み小型家電の回収のほか、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が実施する集団資源回収事業への支援など、ごみ減量・リサイクルの推進に取り組んでいます。

千歳市環境センターの焼却処理場・破砕処理場・リサイクルセンター・最終処分場では、廃棄物の資源化及び適正処理を行っています。また、令和元年11月には、千歳市、北広島市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町の２市４町による道央廃棄物処理組合が新たな焼却施設の建設工事に着手するなど、広域的な連携による効率的かつ安定的なごみ処理体制の構築に取り組んでいます。

千歳市環境センター（手前は破砕処理場）

142　自然環境保全地区

名　　称	区　分	面　積	指　定 年月日	所　　在　　地	所有者
千歳川河川区域	第　1　種 自然環境 保全地区	18.4ha	H12.11.1	千歳市蘭越９番地先 （ふ化場橋から烏柵舞橋までの河川区域）	国
青葉公園	第　2　種 自然環境 保全地区	102.3ha	H12.11.1	千歳市真町５番地１外	市
千歳川河川区域	第　1　種 自然環境 保全地区	13.6ha	H15.7.22	千歳市蘭越85番８地先 （烏柵舞橋から内別川合流地点までの河川区域）	国
ウサクマイ遺跡群及び内別川流域	第　1　種 自然環境 保全地区	143.3ha	H15.7.22	千歳市蘭越・ウサクマイ遺跡群及び内別川流域 （取水堰堤の下流30mまで）	国・市
千歳川河川区域ほか	第　1　種 自然環境 保全地区	4.3ha	H24.1.27	千歳市蘭越９番１地先 （王子製紙千歳川第四発電所の下流400mからふ化場橋までの河川区域ほか）	国・(独) 水産総合研究センター
ウサクマイ遺跡群及び内別川流域 （南北隣接地）	第　1　種 自然環境 保全地区	62.0ha	H27.1.19	千歳市蘭越28番１外	市

1　第１種自然環境保全区：厳格に保護・保存する地区
　　第２種自然環境保全区：市民が利用・活用しながら保全する地区
2　平成29年４月１日現在
環境課

143　公害苦情の推移

年度	総　　数	ばい煙・粉塵	水質汚濁	騒　　音	振　　動	悪　　臭	その他
27	41	1	1	31	3	4	1
28	15	—	—	10	1	4	—
29	65	11	0	35	2	12	5
30	52	15	2	17	6	10	2
元	**62**	**5**	**3**	**39**	**5**	**9**	**1**

1　苦情内容が複数の種類に該当した場合は、各１件として集計した
環境課

144　大気汚染測定結果（令和元年度）

区　　分	一　般　環　境　大　気　測　定　局		自動車排出ガス測定局
	富丘観測局	若草観測局	川南観測局
二酸化硫黄（ppm）	0.003	0.003	—
一酸化窒素（ppm）	0.003	0.001	0.011
二酸化窒素（ppm）	0.009	0.005	0.013
浮遊粒子状物質（mg/㎥）	0.009	0.009	0.010
微小粒子状物質（μg/㎥）	—	—	11.1

1　自動測定機による年度中平均測定結果
環境課

145　河川水質調査結果（令和元年度）

区分	測定地点		類型	pH 水素イオン濃度	SS 浮遊物質量 (mg/L)	DO 溶存酸素量 (mg/L)	BOD 生物化学的酸素要求量 (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100mL)
千歳川	水明橋		AA	7.5 (0/5)	1 (0/5)	11 (0/5)	0.5 (0/5)	6.6 (0/5)
	第一烏柵舞橋		AA	7.5 (0/5)	＜1 (0/5)	11 (0/5)	0.6 (0/5)	140 (3/5)
	日の出橋		A	7.6 (0/5)	3 (0/5)	11 (0/5)	0.6 (0/5)	310 (0/5)
	根志越橋		A	7.4 (0/5)	4 (0/5)	11 (0/5)	0.7 (0/5)	230 (0/5)
	長都大橋		A	7.7 (1/5)	2 (0/5)	12 (0/5)	0.6 (0/5)	120 (0/5)
長都川		上流	－	7.3 (－/5)	1 (－/5)	11 (－/5)	0.6 (－/5)	400 (－/5)
		下流	－	7.3 (－/5)	3 (－/5)	11 (－/5)	0.6 (－/5)	310 (－/5)
ママチ川		上流	－	7.3 (－/5)	2 (－/5)	11 (－/5)	＜0.5 (－/5)	210 (－/5)
		下流	－	7.3 (－/5)	1 (－/5)	11 (－/5)	0.6 (－/5)	590 (－/5)
嶮淵川		下流	－	7.2 (－/4)	11 (－/4)	9.8 (－/5)	1.0 (－/4)	4,800 (－/4)
祝梅川		下流	－	7.0 (－/5)	1 (－/5)	10 (－/5)	0.6 (－/5)	240 (－/5)
美々川	千歳湖出口		A	7.1 (0/3)	1 (0/3)	10 (0/3)	0.6 (0/3)	1,800 (2/3)
	美々木橋		A	6.9 (0/5)	1 (0/5)	9.1 (1/5)	0.5 (0/5)	860 (3/5)
	御前水橋		A	7.0 (0/5)	2 (0/5)	9.3 (2/5)	0.8 (0/5)	2,200 (2/5)

1　有効数字２桁とし、３桁目以下を切捨てる・pH は少数第２位を四捨五入し、小数点以下１桁までとする
　報告下限値未満の数値は、「報告下限値未満」（記載例「＜ 0.1」）とする
2　結果は年度中平均値であり（　）内は（環境基準を超えた回数／測定回数）を表す
3　ｐＨ：水中の水素イオンの濃度（酸性・アルカリ性を表す指標）
　ＳＳ：水中に懸濁している水に溶けない物質の量（濁りの指標）
　ＤＯ：水中に溶け込んでいる酸素の量
　ＢＯＤ：水中の有機物が、微生物によって分解されるときに消費される酸素の量（有機物による汚濁の指標）
　大腸菌群数：ふん便による病原菌汚濁の指標

環境課

146　自動車騒音面的評価結果（平成30年度）

路線名	評価区間	評価区間延長(km)	評価対象数(戸)	評価結果（戸）				環境基準達成率(%)
				基準値以下			基準値超過	
				昼夜とも	昼のみ	夜のみ	昼夜とも	
道道 早来千歳線	平和から 富士３丁目まで	3.6	419	294	26	0	99	70.2
市道 川南通	東雲町から 東郊２丁目まで	1.5	395	394	0	0	1	99.7

1　平成30年７月末現在
2　自動車騒音面的評価とは、幹線道路に面した地域で道路端から50mの範囲にあるすべての住居等の騒音レベルについて、実測や推計によって環境基準に適合している戸数及び割合を算出し評価する手法

環境課

147　航空機騒音測定結果（令和元年度）

局　舎　名	所　在　地	測定結果（Lden）	環境基準（Lden）	最大値 dB(A)	日平均測定回数		
					90dB以上	80dB以上90dB未満	70dB以上80dB未満
青葉丘局	青葉丘2015	65	62	109	6	2	25
住吉局	住吉１丁目	64	62	113	6	9	6
東雲局	東雲町３丁目	61	62	110	3	2	10
寿局	寿１丁目	61	62	101	0	16	144
北斗局	北斗１丁目	52	57	111	0	3	5
里美局	里美３丁目	44	57	105	0	0	2
駒里東局	駒里849	47	62	93	0	0	17
根志越南局	根志越19	58	62	103	1	2	29

1　結果は年度中平均値
2　Lden：時間帯補正等価騒音レベル
　容易に測定ができ、かつ、エネルギー積分により騒音の総暴露量を評価できる等価騒音レベルのひとつで、夕方や夜間の騒音に重み付けをして評価するもの
環境課

148　医療施設設置状況の推移

年	総数		公立						私立					
			保健所		病院		診療所		病院		一般診療所		歯科診療所	
	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数	施設数	病床数
28	109	1,106	1	－	1	190	9	30	7	819	45	67	46	－
29	110	1,120	1	－	1	190	9	30	7	833	45	67	47	－
30	111	1,119	1	－	1	190	9	30	6	813	47	86	47	－
31	112	1,119	1	－	1	190	10	30	6	813	47	86	47	－
2	**111**	**1,128**	**1**	**－**	**1**	**190**	**10**	**30**	**6**	**841**	**47**	**67**	**46**	**－**

1　令和２年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

149　医療従事者の推移

年	総数	医師	歯科医師	薬剤師	助産師	看護師	保健師	准看護師	歯科技工士	歯科衛生士
22	1,317	122	58	137	28	512	42	301	50	67
24	1,312	129	60	125	30	538	40	275	54	61
26	1,371	124	61	127	27	580	45	276	57	74
28	1,319	123	63	140	26	575	43	218	…	…
30	…	…	…	…	**32**	**674**	**52**	**258**	…	…

1　隔年12月31日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

150　病院・診療所一覧

(1) 病院

名　　称	病床数
市立千歳市民病院	190
千歳桂病院	248
医療法人同仁会千歳第一病院	82
医療法人社団豊友会千歳豊友会病院	134
医療法人資生会千歳病院	177
医療法人社団いずみ会北星病院	140
医療法人同仁会向陽台病院	60

1　令和２年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

(2) 一般診療所

名　　称	病床数
陸上自衛隊北千歳駐屯地医務室	5
航空自衛隊千歳基地医務室	6
陸上自衛隊東千歳駐屯地医務室	19
矢尾外科胃腸科	19
医療法人社団幸樹会千歳脳神経外科	19
マミーズクリニックちとせ	10
医療法人社団尾谷内科	19

名　　称
医療法人社団千誠会千歳佐藤整形外科医院
医療法人社団誠仁会梅ヶ丘クリニック
医療法人社団新千歳眼科
医療法人社団さくら女性クリニック
医療法人社団髙橋整形外科クリニック
医療法人社団加藤内科クリニック
北海道千歳保健所
千歳市総合保健センター
市立千歳市民病院支笏湖診療所
市立千歳市民病院泉郷診療所
特別養護老人ホーム暢寿園医務室
医療法人社団北斗会北斗内科小児科医院
医療法人社団廣仁会浅沼皮膚科医院
医療法人社団平仁会こにし小児科医院
医療法人社団尾谷内科新千歳空港クリニック
医療法人社団開耳会松浦耳鼻咽喉科
社会医療法人こぶし千歳こぶしクリニック
医療法人社団住吉こどもクリニック
医療法人社団開耳会千歳耳鼻咽喉科
小樽検疫所千歳空港検疫所予防接種室
千歳循環器クリニック
医療法人社団あさの整形外科クリニック
社会医療法人北腎会坂泌尿器科千歳クリニック
北陽ファミリークリニック
緑町診療所
医療法人社団颯樹会ちとせおひさまこどもクリニック
麒麟麦酒㈱北海道千歳工場診療室
神谷医院
さとう眼科
千歳駅北クリニック
医療法人社団恵聖会クリニック
千歳アイクリニック
医療法人社団廣仁会千歳皮膚科形成外科クリニック
医療法人社団三上内科呼吸器科クリニック
長都内科クリニック
医療法人社団くみたこどもクリニック
特別養護老人ホームやまとの里医務室
医療法人社団鎌田眼科
医療法人社団たけやま腎・泌尿器科クリニック
千歳インター消化器・内科
はせがわ内科クリニック
地域密着型特別養護老人ホーム千歳ふくろうの園診療所
医療法人社団古泉循環器内科クリニック
ペウレ耳鼻咽喉科
千歳しなの内科
千歳まつもと眼科
向陽台ファミリークリニック
しののめクリニック
千歳市休日夜間急病センター

1　令和２年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

(3) 歯科診療所

名称	名称
医療法人社団北楡会ファミリー歯科クリニック	なんぶ歯科医院
医療法人社団ささき歯科医院	おおはし歯科医院
医療法人社団尾島歯科医院	ユー歯科
渡辺歯科クリニック	いなば歯科医院
医療法人社団向陽台歯科	すもり歯科・矯正歯科クリニック
医療法人社団わかつき歯科医院	あおき歯科クリニック
医療法人社団北楡会青葉公園歯科	だんじょう歯科医院
医療法人社団マナベ矯正歯科	たかぎ歯科
医療法人社団弘仁会住吉歯科医院	自由ヶ丘歯科医院
村上歯科医院	川端デンタルオフィス
第1歯科	医療法人社団白歯会スマイルデンタルクリニック
赤堀歯科医院	ポプラ歯科クリニック
うえたけ歯科医院	医療法人社団健志会リーフ歯科
医療法人社団小出歯科医院	医療法人社団律英会ペウレ歯科クリニック
諸岡歯科医院	あずさ歯科クリニック
おがわ歯科医院	おさつ歯科クリニック
富丘歯科医院	みどり台歯科医院
池田歯科クリニック	たむら歯科クリニック
宮川歯科医院	ちとせモール歯科クリニック
佑愛歯科医院	医療法人社団口福会清流デンタルクリニック
菅野歯科医院	やよい歯科クリニック
みぞぐち歯科クリニック	あすなろ歯科クリニック
栗山歯科クリニック	ほくよう歯科クリニック

1　令和２年４月１日現在
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

市立千歳市民病院

151　市立千歳市民病院

(1)　施設概要

所　在　地　北光２丁目１番１号
構　　造　SRC造　地上４階（免震構造）
面　　積　敷地 35,165㎡
建築 8,994㎡
延床 18,755㎡
開　　設　平成14年９月
附属診療所　泉郷・支笏湖

市立千歳市民病院事務局総務課

(2)　医療従事者の推移

年	総数	医師	助産師	看護師	准看護師	薬剤師	放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	臨床工学技士	視能訓練士	管理栄養士	事務局職員等
28	258	33	12	151	2	5	7	6	4	1	5	1	3	28
29	261	32	14	150	2	6	7	7	4	2	5	1	3	28
30	275	36	15	151	2	6	7	7	5	3	6	2	3	32
31	283	35	16	157	2	7	7	7	5	3	7	2	3	32
2	**287**	**35**	**17**	**158**	**2**	**8**	**8**	**7**	**5**	**2**	**6**	**2**	**3**	**34**

1　各年４月１日現在
市立千歳市民病院事務局総務課

(3)　入院・外来別患者数の推移

診療区分	29年度		30年度		元年度	
	入院	外来	入院	外来	入院	外来
総数	53,560	165,146	54,013	162,009	**49,782**	**152,415**
内科	7,910	24,454	8,121	23,488	**7,408**	**22,865**
循環器科	5,364	16,504	5,100	16,876	**5,820**	**16,400**
消化器科	7,266	12,895	6,209	12,196	**4,890**	**11,626**
小児科	5,399	22,050	5,078	20,347	**4,837**	**13,844**
外科	3,780	4,792	4,856	5,390	**5,176**	**5,703**
脳神経外科	2,671	4,612	2,383	4,464	**2,528**	**4,316**
整形外科	10,837	19,126	12,465	20,150	**9,406**	**17,321**
産婦人科	5,188	13,241	4,795	12,794	**4,976**	**13,205**
眼科	605	10,459	734	10,332	**811**	**10,879**
耳鼻咽喉科	2,314	10,205	2,126	10,600	**2,134**	**9,806**
皮膚科	259	12,382	210	10,343	**208**	**11,348**
泌尿器科	1,967	11,726	1,936	12,891	**1,588**	**12,819**
麻酔科	－	2,700	0	2,138	**0**	**2,283**

市立千歳市民病院事務局経営戦略室医事課

152　休日夜間急病センター

(1)　施設概要

所　在　地　東雲町１丁目８番地の１
構　　造　木造平屋建
面　　積　敷地 1,702.53㎡
　　建築 571.23㎡
　　延床 493.70㎡
開　　設　平成29年９月

救急医療課

(2)　従事者数

総　　数	医　　師	看　護　師
14	2	12

1　令和２年４月１日現在
救急医療課

(3)　外来別患者数の推移

診　療　区　分	29　年　度	30　年　度	元　年　度
総　　数	7,067	10,863	7,536
内　　科	5,085	7,944	5,522
そ　の　他	1,982	2,919	2,014

1　平成29年度は、９月５日からの実績値
救急医療課

153　主要死因別死亡数の推移

死因	23年	24年	25年	26年	27年
総数	648	674	665	660	**667**
結核	1	1	—	2	**—**
悪性新生物（癌）	234	237	202	214	**218**
糖尿病	11	12	5	4	**9**
脳血管疾患	59	45	52	52	**44**
心疾患	106	97	116	102	**97**
高血圧性疾患	4	1	1	3	**1**
肺炎	47	59	54	71	**64**
腎不全	18	21	18	18	**10**
肝疾患	11	12	10	16	**17**
老衰	6	10	12	18	**9**
不慮の事故	22	11	26	20	**19**
（交通事故）	(1)	(2)	(—)	(3)	**(3)**
自殺	14	28	19	13	**22**
上記以外の全ての疾患	116	140	150	127	**157**

1　交通事故は不慮の事故の再掲
北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

154　年齢階級別主要死因数（平成27年）

死因	総数	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
総数	**667**	6	—	5	17	17	21	98	170	333
悪性新生物（癌）	**218**	—	—	—	3	6	11	57	69	72
脳血管疾患	**44**	—	—	—	1	1	1	6	9	26
心疾患	**97**	—	—	—	1	2	2	16	28	48
肺炎	**64**	—	—	—	—	—	—	4	11	49
不慮の事故	**19**	—	—	1	2	1	1	2	4	8
自殺	**22**	—	—	4	4	2	2	2	4	4
上記以外の全ての疾患	**203**	6	—	—	6	5	4	11	45	126

北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

155　予防接種の推移

区　　分	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
総　　数	28,515	37,978	37,508	36,523	**34,707**
百日ぜき・ジフテリア・破傷風・急性灰白髄炎混合	3,623	3,594	3,318	3,230	**3,245**
急性灰白髄炎	179	109	45	19	**1**
インフルエンザ	10,298	10,511	10,419	10,930	**11,802**
ジフテリア・破傷風	906	793	844	791	**837**
麻しん・風しん混合ワクチン	1,754	1,793	1,752	1,691	**1,587**
Hib感染症	3,618	3,568	3,269	3,161	**3,136**
小児の肺炎球菌感染症	3,627	3,557	3,276	3,170	**3,173**
ヒトパピローマウィルス感染症	―	―	―	―	**8**
高齢者の肺炎球菌感染症	2,524	2,534	2,658	2,550	**875**
日本脳炎	―	8,281	7,745	7,015	**5,939**
B型肝炎	―	1,509	2,465	2,344	**2,388**
水痘	1,986	1,729	1,717	1,622	**1,502**
風しん5期	―	―	―	―	**214**

1　麻しんと風しんは平成25年度に制度改正あり
2　急性灰白髄炎、百日ぜき・ジフテリア・破傷風・急性灰白髄炎混合は平成24年度に制度改正あり
3　Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウィルス感染症は、平成25年度に制度改正あり
4　水痘、高齢者の肺炎球菌感染症は、平成26年度に制度改正あり
5　日本脳炎、B型肝炎は平成28年度に制度改正あり
6　風しん5期は令和元年度から実施
母子保健課

156　結核予防の推移

区　　分	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	元年度
BCG接種者数	936	903	801	797	**762**
精密検査実施者数	4	4	3	0	**1**
直接撮影実施者数	―	―	―	―	―
エックス線撮影実施者数	―	―	―	―	―

母子保健課・学校教育課

157　結核発生と死亡数の推移

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
発　　生	10	15	14	9	**7**
死　　亡	2	－	2	0	**0**

北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室

158　廃棄物処理実績の推移

区　　分		27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
人　　口	全市域（人）	95,413	95,761	96,119	96,565	**97,198**
	収集区域（人）	95,230	95,584	95,931	96,306	**96,936**
	対全市域比（%）	99.8	99.8	99.8	99.7	**99.7**
世帯数	全市域（戸）	47,176	47,780	48,407	49,202	**50,101**
	収集区域（戸）	46,993	47,603	48,219	48,943	**49,839**
	対全市域比（%）	99.6	99.6	99.6	99.5	**99.5**
処理料	家庭（t）	23,141	22,788	22,649	23,010	**23,166**
	事業系（t）	14,558	14,307	14,490	15,333	**15,053**
	産廃（t）	603	464	620	798	**546**
	総量（t）	38,302	37,559	37,759	39,141	**38,765**
	1日当たり（t）	104.7	102.9	103.4	107.2	**105.9**
	1日1人当たり（kg）	1.1	1	1	1.1	**1.1**
収集車両数	直営（台）	－	－	－	－	**－**
	委託（台）	24	24	24	24	**24**
	計（台）	24	24	24	24	**24**
収集員	直営（人）	－	－	－	－	**－**
	委託（人）	60	60	60	60	**60**
	計（人）	60	60	60	60	**60**

1　各年度末現在
2　端数処理により、内訳と総量が一致しない場合がある
3　平成27年度から家庭ごみの処理量に民間事業者による資源回収物を追加している
廃棄物管理課・廃棄物対策課

159　収集回数別世帯数の状況

（単位　戸、%）

区　　分	週4回	週3回	週2回	月6回	未収集区域	計
世帯数	47,762	93	※5か所	1,087	260	**49,202**
構成比	97.07	0.19		2.21	0.53	**100.00**

1　令和2年4月1日現在
2　※は東部支所前・旧中央保育所前・泉郷公民館前・駒里小中学校前・釜加公民館（北コミセン）
廃棄物管理課・廃棄物対策課

160　し尿処理実績の推移

区分			27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
家庭	全世帯	(戸)	47,176	47,783	48,407	49,202	**50,101**
	収集世帯	(戸)	874	877	878	878	**878**
	対全市域比	(%)	2	2	2	2	**2**
事業所	収集事業所数	(件)	353	353	354	354	**354**
仮設トイレ	収集件数	(件)	1,329	1,349	1,507	1,606	**1,611**
処理量	総量	(kℓ)	2,054	2,073	2,084	2,186	**2,012**
	家庭・事業所	(kℓ)	1,574	1,572	1,548	1,546	**1,457**
	仮設トイレ	(kℓ)	480	501	536	640	**555**
	稼働日数	(日)	246	245	245	245	**246**
収集車両数	委託車	(台)	2	2	2	2	**2**
職員数	管理職員	(人)	1	1	1	1	**1**
	委託	(人)	3.5	3.5	3.5	3.5	**3.5**
	計	(人)	4.5	4.5	4.5	4.5	**4.5**

1　各年度末現在
廃棄物管理課・廃棄物対策課

161　畜犬登録・野犬掃討などの推移

年度	畜犬登録数	野犬掃討数	モラル推進員の業務報告件数	狂犬病予防注射実施数
27	358	9	200	3,140
28	382	18	330	3,083
29	379	9	342	3,069
30	359	6	524	2,997
元	**384**	**9**	**281**	**2,947**

1　畜犬登録数は新規登録数である
市民生活課

162　千歳市葬斎場

(1)　施設概要

葬斎場

所 在 地　根志越1365番地の甲
構　　造　鉄筋コンクリート造　地上２階
面　　積　敷地 24,728㎡
　　建築 2,593㎡（火葬棟1,676㎡ 待合棟917㎡）
炉　　数　人体炉５基・汚物炉１基・動物炉１基
使用開始　平成10年４月

市民生活課

(2)　利用状況の推移

年度	死　　体	肢　　胎	胞　　胎
27	703	32	707
28	766	27	716
29	762	17	745
30	807	30	698
元	**838**	**22**	**821**

市民生活課

(3)　小焼却炉利用状況の推移

年度	総　数	イ　ヌ	ネ　コ	ウサギ	ハムスター	フェレット	チンチラ	モルモット	インコ	カ　メ	その他
27	387	241	123	14	2	—	1	4	1	1	—
28	408	248	145	5	4	1	—	2	2	—	1
29	437	257	145	17	4	3	1	3	3	—	4
30	405	242	138	10	5	1	—	2	2	—	5
元	**402**	**238**	**146**	**8**	**3**	**1**	**0**	**1**	**0**	**0**	**5**

市民生活課

163　霊園区画数

総数	末広霊園								
	末広第一霊園			末広第二霊園			計		
	A 地区	B 地区	計	A 地区	B 地区	計			
6,643	297	1,249	1,546	472	1,005	1,477	**3,023**		
	千歳霊園								
	A 地区	B 地区	C 地区	D 地区	E 地区	F 地区	G 地区	H 地区	計
	412	402	423	237	461	415	708	562	**3,620**

1　令和２年３月31日現在（未分譲含）
2　末広霊園の区画は全て４㎡
3　千歳霊園の区画は４㎡、６㎡、８㎡の３区分
4　末広第一霊園内　合葬墓（千縁塚）１基（区画数に含まず）
市民生活課

あらまし

平成31年１月～令和元年12月の火災件数は28件で、建物火災16件（うち住宅火災８件）、林野火災２件、車両火災７件、その他の火災３件が発生し損害額は59,333千円でした。原因別では、たばこ、放火・放火の疑いが各４件、電灯・電話等の配線、マッチ・ライター、電気機器、排気管、取灰が各１件、その他11件、不明４件で、負傷者が３名でした。現在住宅火災の発生防止や被害軽減を目的に、住宅用火災警報器の全戸設置を目標としており、防火指導や広報活動を強く推進しています。

平成31年１月～令和元年12月の救急出動は3,760件、１日当たりの平均出動は約10.3件で、急病が63.1％を占め、次いで一般負傷、転院搬送の順となり、3,060人の患者を搬送しました。

千歳市では、中高層化する建築物の火災をはじめ、航空機災害、鉄道事故、高速道路等における多重衝突事故など様々な災害の発生が危惧されています。このため、指揮車及び支援車の導入や公設消火栓等の更新を行うなど消防施設や装備の計画的な整備・更新を継続し、現在、１署５出張所と１消防団８分団により24時間体制で災害に備えています。

また、緊急消防援助隊に登録し、平成23年３月に発生した東日本大震災では13隊29人の消防隊員を宮城県へ派遣しました。今後も各種災害を想定した消防隊員の技術及び活動能力向上に努めながら、関係機関との連携を図っていきます。

救急業務については、12誘導心電図伝送システムを搭載した２台を含む高規格救急自動車４台を配備するとともに、救命処置範囲の拡大に伴い、気管挿管、薬剤投与、処置拡大２行為などができる救急救命士を配置し、高度救命処置を行っています。平成25年４月から一刻を争う救命や幹線道路における事故現場の安全確保が必要な場合などでは、消防車と救急車が同時に出動する救急活動を展開し、平成31年１月～令和元年12月の出動件数は306件となっています。また、ＡＥＤを使用した心肺停止者に対する救命処置等を指導する救命

講習を通年開催し、救命率向上と応急手当の普及啓発活動に力を注いでいます。

千歳市には常時観測火山である樽前山や、直下型地震の原因となる石狩低地東縁断層帯が存在します。また、近年は、地震を始め、台風、集中豪雨など自然災害は頻発・激甚化しています。市は災害等に強いまちづくり・ひとづくりのため、毎年関係機関と連携した防災訓練等を実施するとともに、令和元年度は、洪水・土砂災害ハザードマップの更新、防災ハンドブックの改訂も行うなど、地域防災・減災対策のさらなる充実に努めています。

また、防災の拠点施設となる防災学習交流施設では、「学ぶ・体験する・備える」をキーワードに防災・減災に対する意識向上に取り組んでおり令和元年度は38,345人の利用がありました。

千歳警察署は、市内にある本署、５つの交番、２つの駐在所と空港警備派出所のほか、恵庭市内に３交番・１駐在所を置き、地域の安全を維持するため、警備体制の充実・強化を図っています。

交通安全は、市民一人ひとりの切実な願いですが、依然として交通事故が後を絶ちません。市内では平成31年１月～令和元年12月に230件の交通事故が発生し、１人の死亡者と262人の負傷者が出ました。千歳市は、交通安全教育を実施するとともに、交通マナー等の普及啓発活動を行い、交通安全に対する意識の向上に努めています。

市内に所在する陸上及び航空自衛隊の各部隊は災害発生時における様々な災害派遣活動を担っています。また、第１管区海上保安本部の千歳航空基地は海上における警備救難及び200海里海洋秩序維持のほか、流氷観測などを行い、海上の安全と治安の確保を図っています。

164　消防職員数と消防車等設備の推移

年	消防署（本部を含む）														消防団					
	職員数	自動車台数												無線（基）	分団数	団員数	自動車台数			可搬式小型ポンプ
		タンク車	ポンプ車	化学車	屈折はしご車	はしご車	指揮車	広報車	救助工作車	資機材搬送車	救急車	大型水槽車	人員輸送車				タンク車	ポンプ車	積載車	
28	131	6	1	1	－	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	176	2	2	4	5
29	131	6	1	1	－	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	176	2	2	4	5
30	130	6	1	1	－	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	179	2	2	4	5
元	131	6	1	1	－	1	1	8	1	1	4	1	1	148	8	172	2	2	4	5
2	**131**	**6**	**1**	**1**	**－**	**1**	**1**	**7**	**1**	**1**	**4**	**1**	**1**	**148**	**8**	**175**	**2**	**2**	**4**	**6**

1　各年４月１日現在
消防本部総務課・警防課

165　消防水利

（1）施設数

総数	消火栓				貯水槽（40ｔ以上）			用水路（マンホール）	池・その他
	計	公設		私設	計	公設	私設		
		双口	単口						
1,689	1,402	169	978	255	145	50	95	142	－

1　令和元年12月31日現在
消防本部警防課

（2）充足状況

水利	現有数	A	685基
	基準数	B	823基
	充足率	A／B×100	83.2％

	区分	総数	内訳	
			常備	非常備
ポンプ	現有台数C（台）	11	7	4
	基準台数D（台）	12	7	5
	充足率 C/D×100（％）	91.7	100	80

1　平成31年４月１日現在
2　水利の現有数は、消防水利の基準に適合した消火栓数である
3　ポンプ現有台数、基準台数、充足率は消防力の整備指針に基づき算出
消防本部総務課・警防課

166　火災発生件数の推移

年・月	件数	焼損面積		焼損棟数	り災数		死傷者数		損害見積額（千円）
		建物（㎡）	林野（a）		世帯数	人員	死者	傷者	
27年	19	219	—	10	2	3	—	2	25,313
28年	22	1,190	—	16	12	23	1	3	135,521
29年	23	431	—	18	11	21	2	—	19,744
30年	23	595	46	18	4	5	1	2	21,097
元年	**28**	**583**	**56**	**30**	**13**	**32**	**0**	**3**	**59,333**
1月	4	—	—	2	2	2	—	1	3,031
2月	3	61	—	6	3	6	—	1	3,174
3月	3	—	—	1	—	—	—	—	877
4月	5	35	10	3	1	1	—	1	767
5月	1	—	46	—	—	—	—	—	—
6月	2	53	—	2	1	2	—	—	6,597
7月	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8月	4	28	—	2	1	4	—	—	3,424
9月	1	—	—	—	—	—	—	—	—
10月	2	406	—	12	5	17	—	—	36,706
11月	1	—	—	1	—	—	—	—	4,577
12月	2	—	—	1	—	—	—	—	180

消防本部予防課

167　原因別火災発生件数（令和元年）

順位	原因	件数	順位	原因	件数
1	たばこ	4	3	排気管	1
1	放火・放火の疑い	4	3	取灰	1
3	電灯・電話等の配線	1		その他	11
3	マッチ・ライター	1		不明	4
3	電気機器	1			

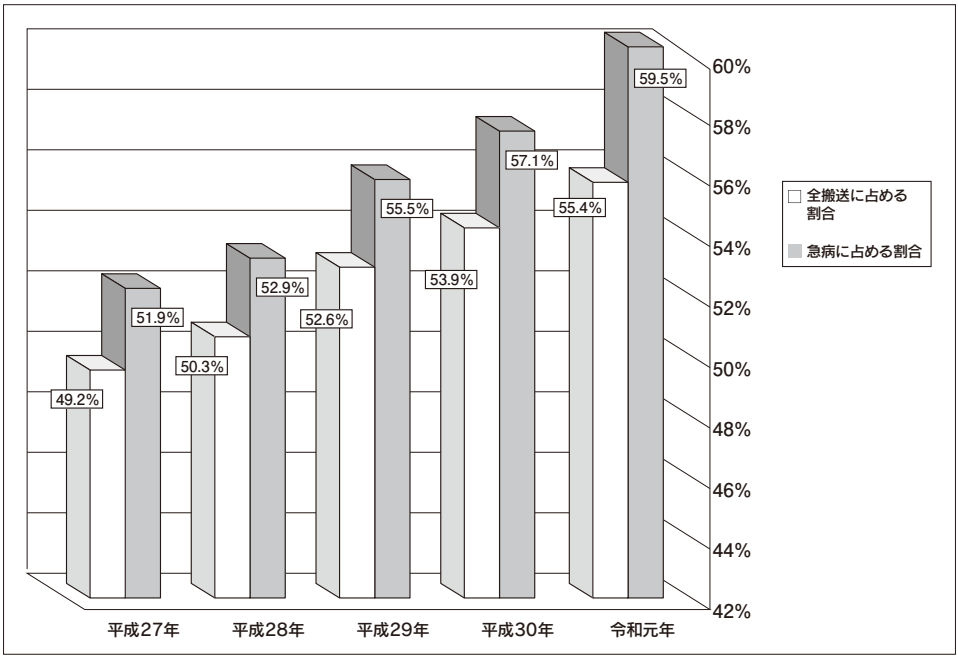
消防本部予防課

168　救急出動件数等の推移

年	総件数	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	搬送人員
27	3,208	14	—	3	242	22	18	460	18	42	2,052	337	2,716
28	3,349	25	—	—	217	26	10	516	25	33	2,159	338	2,676
29	3,610	19	1	4	237	47	15	538	21	50	2,237	441	2,858
30	3,737	15	5	13	228	46	24	500	19	47	2,331	509	2,997
元	**3,760**	**18**	**0**	**1**	**232**	**31**	**15**	**547**	**10**	**44**	**2,372**	**490**	**3,060**

消防署救急課

高齢者（65歳以上）の搬送割合の推移



消防署救急課

169　刑法犯罪発生の推移

区　　分	27　年	28　年	29　年	30　年	元　年
総　　数	1,353	1,158	1,118	907	939
凶 悪 犯	5	2	2	8	7
殺　　人	—	—	—	—	—
強　　盗	—	—	—	—	—
放　　火	—	—	—	—	—
強　　姦	—	—	—	—	—
粗 暴 犯	69	63	92	101	115
暴　　行	—	—	—	—	—
傷　　害	—	—	—	—	—
脅　　迫	—	—	—	—	—
恐　　喝	—	—	—	—	—
窃 盗 犯	898	816	762	593	664
知 能 犯	49	43	42	67	26
詐　　欺	—	—	—	—	—
横　　領	—	—	—	—	—
汚　　職	—	—	—	—	—
偽　　造	—	—	—	—	—
背　　任	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—
風 俗 犯	63	44	35	20	15
そ の 他	269	190	185	118	112

1　千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

170　交通安全

(1) 年・月別発生状況の推移

年・月	発生件数	死亡者	負傷者
27年	160	1	181
28年	169	2	189
29年	173	2	186
30年	170	1	185
元年	**230**	**1**	**262**
1月	6	－	8
2月	18	－	21
3月	16	－	19
4月	16	－	18
5月	16	－	22
6月	13	－	15
7月	23	－	28
8月	19	－	19
9月	23	－	26
10月	31	1	34
11月	20	－	21
12月	29	－	31

1　千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(2) 路線別発生状況（令和元年）

路線	発生件数	死亡者	負傷者
総数	230	1	262
国道36号	29	－	38
その他の国道	20	－	22
道道支笏湖公園線	4	－	4
その他の道道	48	－	56
市道・その他道路	129	1	142

1　千歳市内における件数（高速道を除く）
北海道札幌方面千歳警察署

(3) 交通安全教育施設（交通公園）

所在地　花園１丁目６番１号
面　積　20,626.78㎡
主要施設　管理棟　定周式信号機（１交差点）　押しボタン式信号機（１か所）
開　園　昭和53年10月20日
開館期間　毎年５月１日から10月31日まで
ただし、毎週月曜日は休園日（月曜日が国民の祝日又は振替休日に当たるときはその翌日）

利用状況の推移

年度	総数	幼児	小学生	一般	団体
27	19,640	5,164	5,423	6,837	2,216
28	19,878	5,401	5,262	7,434	1,781
29	20,071	5,381	5,277	7,745	1,668
30	16,830	5,388	3,583	6,810	1,049
元	**18,792**	**5,378**	**4,598**	**6,830**	**1,986**

1　一般に中学生を含む
市民生活課

171　非行少年等の推移

区　　分			27　年	28　年	29　年	30　年	元　年
総　　数			443	462	493	455	396
非行少年	刑法犯少年	犯罪少年	40	45	36	14	21
		触法少年	8	7	9	7	14
		小　　計	48	52	45	21	35
	特別法少年		6	6	4	3	4
	ぐ犯少年		—	—	—	—	1
	合　　計		54	58	49	24	40
不良行為少年			389	404	444	431	356

1　千歳警察署管内（千歳市・恵庭市）の件数
北海道札幌方面千歳警察署

172　防災学習交流施設

(1)　施設概要

所　在　地　北信濃631番地の11　外
敷地総面積　8.4ha
主 要 施 設　防災学習交流センター「そなえーる」（展示・体験コーナー等）　防災訓練広場　学びの広場（消火体験・救出体験）　防災の森（野営生活訓練広場・サバイバル広場・河川災害訓練広場）

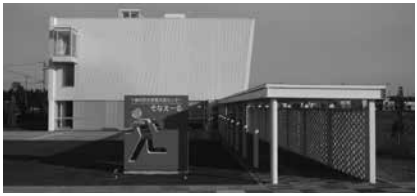
〔防災学習交流センター「そなえーる」〕
構　造　Ｓ造及びＲＣ造の併用構造　地上３階塔屋１階
面　積　建築1,443.81㎡　延床2,037.19㎡
開　館　平成22年４月24日

防災学習交流施設

(2)　利用状況の推移

年　度	総　数	そなえーる・学びの広場利用者数				防災の森利用者数	
		見学・体験	有料施設	訓練	自主事業	宿泊	日帰り
27	42,027	16,173	4,498	3,805	2,870	1,652	13,029
28	39,526	14,289	4,460	5,036	1,031	1,916	12,794
29	41,891	14,592	4,561	5,378	1,416	2,822	13,122
30	36,063	13,142	4,154	3,639	1,607	2,669	10,852
元	**38,345**	**12,350**	**3,752**	**5,668**	**1,153**	**3,396**	**12,026**

防災学習交流施設



防災学習交流施設（そなえーる）

あらまし

千歳市の平成30年度末の国民年金被保険者数は17,927人、年金受給者数は22,803人であり、国民健康保険被保険者数は15,920人、加入割合は16.49％となっています。また、高齢化率は令和２年４月で23.1％となっています。

千歳市では、令和２年３月に「第４期千歳市地域福祉計画」を策定し、福祉サービスの充実に努めています。

子ども・子育て支援では、「子育てするなら、千歳市」をキャッチフレーズに多様な事業を推進しています。

保育環境の整備については、就学前の子どもの施設として幼保連携型認定こども園などの普及と併せて、保育定員を拡大し、令和２年４月現在の保育定員を計1,548人としています。

子育て支援については、アリスセンター、ちとせっこセンター及びげんきっこセンターを中心に各種事業を実施しているほか、子育てコンシェルジュを配置しサービス利用の支援や、子育ての孤立化や不安・悩みの解消を目指す「傾聴」と「協働」による寄り添い型の支援を行っています。

また、放課後の子どもの居場所づくりについては、学童クラブを17か所整備し、この５年間で定員を400人拡大したほか、平成31年４月、緑小学校区に民間委託の児童館を開設し、児童館ではランドセル来館や中高生タイムの実施などの市独自の事業を展開しています。

さらに、平成28年４月からは専任の助産師を配置し、妊産婦を対象とする産前・産後ケアの充実を図るなど、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を提供し、子育て世代がしあわせを実感できる「子育てのまち」を目指しています。

障がい者福祉では、障がいのある人に対する理解促進に向けた取組や生活支援ニーズの変化に応じた障害福祉サービスの充実、就労支援など各種施策の推進に努めています。

高齢者福祉については、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）及び小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスの整備を

進めています。

平成30年４月からは、千歳市在宅医療・介護連携支援センターを開設し、医療と介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくことができるよう、医療と介護の関係者が、多職種連携により支援体制の構築を進めています。

生活困窮者の支援では、平成27年４月に生活困窮者自立支援法が施行され、さまざまな困難の中で生活に困窮している方に対して、包括的な支援を行うため、自立相談支援事業、住居確保給付金、学習支援事業及び就労準備支援事業を実施しています。

千歳市しあわせサポートセンターでは、千歳市介護予防センター、千歳市障がい者総合支援センターChip（チップ）、千歳市更生保護サポートセンター、千歳市老人クラブ連合会事務局、千歳市在宅医療・介護連携支援センターの５つの事務所を設置し、支援を必要とする市民に対して相互に連携しながら相談に応じるなど、地域の支援体制づくりを進めています。

千歳市社会福祉協議会では、令和２年３月に「第７次地域福祉実践計画」を策定し、第４期千歳市地域福祉計画と連携して地域福祉の推進に努めています。また、地域福祉を実践する中心的な組織として、ボランティアや各種福祉団体の地域福祉活動への支援など権利擁護の取組、高齢者の介護サービスや地域包括支援センター運営など在宅福祉サービスの充実に努めています。

千歳市では、地域的な連携意識を高めることを目的として、昭和47年に道内初の旧自治省のモデルコミュニティ地区に指定されて以来、地域の特性を生かした活力あるコミュニティ組織づくりに努め、市内12か所にコミュニティセンターを設置しています。

ちとせっこセンター

げんきっこセンター

千歳市しあわせサポートセンター

173　国民健康保険

(1) 給付内容の推移

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費 自己負担限度額	入院時食事療養費 標準負担額減額	薬剤に係る 一部負担額	出産育児 一時金	葬祭費 支給額
S35年４月	5割				500	1,000
44年９月	3割				10,000	2,500
49年４月	〃				20,000	5,000
10月	〃	30,000			〃	〃
50年７月	〃				40,000	〃
51年８月	〃	39,000			〃	〃
52年４月	〃				〃	10,000
53年４月	〃				60,000	〃
54年12月	〃				80,000	20,000
57年３月	〃	※非課税：市民税非課税			100,000	25,000
９月	〃	・一　般　45,000 （非課税　39,000）			〃	〃
58年１月	〃	・一　般　51,000 （非課税　39,000）			〃	〃
59年10月	一　般　3割 退職本人　2割 退職扶養者 入　院　2割 入院外　3割	・一　般　51,000 （非課税　30,000） ・多回数　30,000 （非課税　21,000） ・難病長期　10,000			〃 〃	〃 〃
61年５月	〃	・一　般　54,000 （非課税　30,000）				
63年４月	〃				130,000	30,000
H元年６月	〃	・一　般　57,000 （非課税　31,800） ・多回数　33,000 （非課税　22,200）			〃	〃
３年５月	〃	・一　般　60,000 （非課税　33,600） ・多回数　34,800 （非課税　23,400）			〃	〃
４年４月	〃				240,000	〃
５年４月	〃	・一　般　63,000 （非課税　35,400） ・多回数　37,200 （非課税　24,600）			〃	〃
６年10月	〃		非課税　450 （長期入院　300）		300,000	
８年６月	〃	・一　般　63,600 （非課税　35,400）			〃	〃
８年10月	〃		非課税　650 （長期入院　500）		〃	〃

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費 自己負担限度額	入院時食事療養費 標準負担額減額	薬剤に係る 一部負担額	出産育児 一時金	葬祭費 支給額
H９年９月	退職 扶養者 入院 2割 入院外 3割			(ア)頓服薬及び外用薬以外の薬剤(1日分につき) 2・3種類　30　4・5種類　60 6種類以上　100 (イ)頓服薬　1種類につき　10 (ウ)外用薬　1種類　50　2種類　100 3種類以上　150 「薬剤に係る一部負担」9年9月から適用	300,000	30,000
13年１月	〃	一　般　63,600 4回目以降(37,200) 非課税 35,400(24,600) 上位所得者121,800(70,800) ※一般・上位所得者：別途加算あり ※上位所得者：総所得670万円以上(基礎控除後)			〃	〃
14年10月	一　般　3割 退職本人　2割 退職扶養 入　院　2割 入院外　3割 3歳未満乳幼児　2割 70 歳 以 上　1割 (一定以上所得者 2割)	70歳未満 一　般 72,300(40,200) 非課税 35,400(24,600) 上位所得者139,800(77,700) ※一般・上位所得者：別途加算あり 70歳以上　入院　外来 一　般　40,200 12,000 非課税Ⅰ　15,000　8,000 非課税Ⅱ　24,600　8,000 一定以上所得者 72,300 (40,200) 42,000 ※一定以上所得者（入院）：別途加算あり (　　) は4回目以降	1日 非課税 非課税Ⅱ (70歳以上) 650 (長期入院 500) 非課税Ⅰ (70歳以上) 300		300,000	30,000
15年４月	一般・退職　3割 3歳未満乳幼児　2割 70 歳 以 上　1割 (一定以上所得者 2割)	〃	〃	廃　止	〃	〃
18年４月	〃	〃	１食 非課税 非課税Ⅱ (70歳以上) 210 (長期入院 160) 非課税Ⅰ (70歳以上) 100		〃	〃
18年10月	一般・退職　3割 3歳未満乳幼児　2割 70 歳 以 上　1割 (現役並み所得者 3割)	70歳未満 一　般 80,100(44,400) 非課税 35,400(24,600) 上位所得者 150,000(83,400) ※一般・上位所得者:別途加算あり	１食 非課税 非課税Ⅱ (70歳以上) 210 (長期入院 160) 非課税Ⅰ		350,000	30,000

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費 自己負担限度額	高額介護合算療養費自己負担限度額	入院時食事療養費 標準負担額減額	出産育児 一時金	葬祭費 支給額
			（70歳以上）100			
H18年10月	一般・退職　3割 3歳未満乳幼児　2割 70歳以上　1割 （現役並み所得者　3割）	70歳以上 入院　外来 一　般 44,400 12,000 非課税Ⅰ 15,000 8,000 非課税Ⅱ 24,600 8,000 現役並み所得者 80,100（44,400）44,400 ※現役並み所得者（入院）： 別途加算あり （　）は4回目以降		1食　350,000 非課税Ⅰ 非課税Ⅱ　210 （70歳以上） （長期入院　160） 非課税Ⅰ （70歳以上）100		
20年4月	一般・退職　3割 義務教育就学前　2割 70歳以上75歳未満　1割 （現役並み所得者　3割）		年額〈8月～翌年7月〉 所得区分　70歳未満 一般　67万（89万） 上位所得者　126万（168万） 非課税世帯　34万（45万） 所得区分　70歳以上75歳未満 一般　56万※（75万） 現役並み所得者　67万（89万） 非課税Ⅱ　31万（41万） 非課税Ⅰ　19万（25万） ※22年8月からは62万に変更 ○20年4月から7月までの分は、20年8月から21年7月までの分と合算して（　）内の限度額を適用		〃	〃
21年1月	〃				380,000	〃
10月					420,000	〃
26年4月	一般・退職　3割 義務教育就学前　2割 70歳以上75歳未満 （誕生日が 昭和19年4月1日までの方 1割 昭和19年4月2日以降の方 2割 ただし、現役並み所得者　3割）					
27年1月		70歳未満 上位所得者ア 252,600（140,100） 上位所得者イ 167,400（93,000） 一　般　ウ 80,100（44,400） 一　般　エ 57,600（44,400） 非課税オ 35,400（24,600） ※上位所得者ア、イ・一般ウ：別途加算あり （　）は4回目以降	年額〈8月～翌年7月〉 所得区分　70歳未満 旧ただし書所得　901万越　212万（176万） 〃　600万越 901万以下　141万（135万） 〃　210万越 600万以下　67万（67万） 〃　210万以下　60万（63万）			

（単位　円）

年月	負担割合	高額療養費自己負担限度額	高額介護合算療養費自己負担限度額	入院時食事療養費標準負担額減額	出産育児一時金	葬祭費支給額
27年1月			非課税 ○26年8月から翌年7月までの分は、経過措置により()内の限度額を適用 所得区分 一般 現役並み所得者 非課税Ⅱ 非課税Ⅰ	34万(34万) 70歳以上75歳未満 56万 67万 31万 19万		
28年4月				1食 一般 360		
29年8月		70歳以上 入院 外来 現役並み所得者 80,100（44,400）57,600 一　般 57,600（44,400）14,000 非課税Ⅱ　24,600　8,000 非課税Ⅰ　15,000　8,000 一般所得者　年間限度額 外来144,000円				
30年4月				1食 一般 460		
8月		70歳以上（入院＋外来） 現役並み所得者(Ⅲ) 252,600 現役並み所得者(Ⅱ) 167,400 現役並み所得者(Ⅰ)　80,100 （入院）　（外来） 一般 57,600（44,400）18,000 非課税（区分Ⅱ） 24,600　8,000 非課税（区分Ⅰ） 15,000　8,000 一般所得者　年間限度額 外来144,000円				

1　昭和59年10月より「高額療養費支給制度」において世帯合算を実施している
2　薬剤に係る一部負担額は平成15年4月に廃止
3　高額介護合算療養費自己負担限度額は平成20年4月に新設
4　上位所得者ア：総所得金額等901万円超、上位所得者イ：総所得金額等600万円超901万円以下
　一般ウ：総所得金額等210万円超600万円以下、一般エ：総所得金額210万円以下（住民税非課税世帯除く）
国保医療課

(2) 保険料率（令和元年度）

（単位　円）

区分	賦課割合			料率			賦課限度額
	応能50%	応益50%					
	所得割	均等割	平等割	所得割	均等割	平等割	
基礎賦課額	50.00%	30.00%	20.00%	8.02%	21,200	22,800	610,000
後期高齢者支援金等賦課額	50.00%	30.00%	20.00%	2.69%	7,000	7,600	190,000
介護納付金賦課額	50.00%	30.00%	20.00%	2.87%	8,600	6,700	160,000

1　賦課期日は4月1日
2　納期は普通徴収が9期（6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 1. 2月）、特別徴収が6回（4. 6. 8. 10. 12. 2月）
国保医療課

(3) 加入状況の推移

（単位　千円）

年度	被保険者		加入割合		保険料（現年度）		
	世帯	人員	世帯	人員	調定額	収納額	収納率（%）
26	11,839	18,741	25.55	19.76	1,505,842	1,397,650	92.8
27	11,673	18,241	24.74	19.12	1,446,095	1,355,680	93.7
28	11,258	17,334	23.56	18.10	1,527,749	1,433,161	93.8
29	10,877	16,473	22.47	17.14	1,411,987	1,336,459	94.6
30	**10,631**	**15,920**	**21.61**	**16.49**	**1,383,540**	**1,312,540**	**94.8**

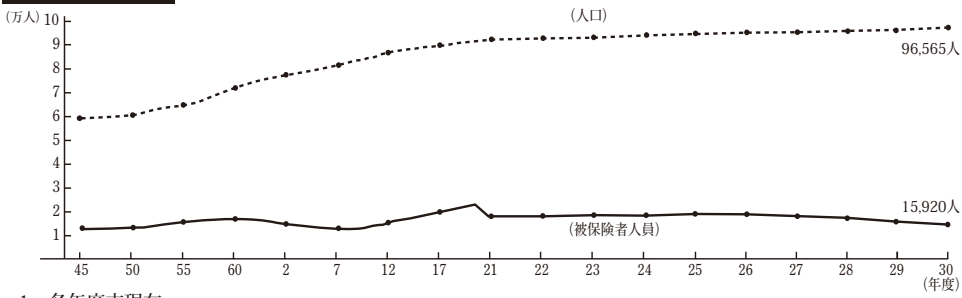
1　各年度末現在
2　加入割合は各年度末現在の住民基本台帳世帯と人口に対する割合
国保医療課

(4) 給付状況の推移

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	**30年度**
被保険者世帯（平均）	11,941	11,736	11,499	10,997	**10,719**
人員（平均）	19,023	18,418	17,818	16,824	**16,143**
療養諸費件数	296,725	295,338	288,195	277,096	**269,049**
費用額	6,845,738	6,967,698	6,661,214	6,617,285	**6,385,372**
療養の給付（医療の給付）件数	292,369	290,902	283,920	273,270	**265,322**
費用額	6,803,233	6,926,233	6,621,631	6,579,794	**6,343,180**
療養費（医療費）件数	4,356	4,436	4,275	3,826	**3,727**
費用額	42,505	41,466	39,584	37,491	**42,193**
高額療養費件数	9,720	11,032	9,450	12,778	**9,462**
費用額	673,302	709,071	696,652	707,680	**678,988**
出産育児一時金件数	73	81	54	52	**43**
費用額	31,288	30,566	22,664	21,744	**17,948**
葬祭費件数	104	108	100	92	**96**
費用額	3,120	3,240	3,000	2,760	**2,880**
被保険者1人当たり医療費	360	378	374	393	**396**

1　「被保険者1人当たり医療費」は「被保険者人員（平均）」で「療養諸費費用額」を除したもの（19年度までは老人保健対象者を含む）
2　費用額は千円未満は切り上げてある
国保医療課

被保険者の推移



1　各年度末現在
国保医療課

（5）年齢階層別被保険者の状況

区　分	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
人　数	241	294	362	424	919	1,267	1,613	1,675	1,512	3,630	3,983	**15,920**
割合（%）	1.5	1.8	2.3	2.7	5.8	8.0	10.1	10.5	9.5	22.8	25.0	**100.0**

1　平成31年3月31日現在
国保医療課

174　国民年金概要の推移

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度	**30年度**
国民年金被保険者数	20,648	20,008	19,223	18,541	**17,927**
第1号	10,376	9,860	9,294	8,749	**8,418**
第3号	10,146	10,040	9,824	9,692	**9,429**
任意	126	108	105	100	**80**
国民年金受給者数（旧法）	―	―	―	―	**―**
老齢年金	―	―	―	―	**―**
障害年金	―	―	―	―	**―**
母子年金	―	―	―	―	**―**
寡婦年金	―	―	―	―	**―**
基礎年金受給者数（新法）	19,856	20,673	21,305	22,182	**22,803**
老齢基礎年金	18,222	19,027	19,638	20,499	**21,088**
障害基礎年金	1,435	1,445	1,475	1,493	**1,527**
遺族基礎年金	199	201	192	190	**188**
寡婦年金	―	―	―	―	**―**
老齢福祉年金受給者数	1	―	―	―	**―**

1　各年度末現在
2　被保険者
　第1号被保険者　国内に住んでいる20歳以上60歳未満の農林漁業・商業など自営業者やその配偶者、大学生・専修学校生など
　第2号被保険者　厚生年金保険・共済組合に加入している人
　第3号被保険者　第2号被保険者に扶養されている配偶者
　任意加入者　原則として、上記第1号から第3号被保険者を除いた人で、一定の年齢要件を満たし加入を希望する人
3　「国民年金受給者数（旧法）」は昭和61年4月前の旧国民年金法に基づく受給者数であり、老齢年金には通算老齢年金受給者数を含む
4　老齢基礎年金欄は老齢給付で、新法の老齢基礎年金並びに旧法拠出制年金の老齢年金及び通算老齢年金の合計、障害基礎年金欄は障害給付で、新法の障害基礎年金及び旧法の障害年金の合計、遺族基礎年金欄は遺族給付で、新法の遺族基礎年金及び寡婦年金等の合計である
日本年金機構北海道ブロック本部・新さっぽろ年金事務所、厚生労働省「事業統計」（市民課）

175　社会福祉施設一覧

区　分	施　設　名	設置	所　在　地	職員数	収容定員	設置年月日
総合相談施設	千歳市しあわせサポートセンター	市	東雲町１丁目11－１	－	－	H26年４月10日
	千歳市介護予防センター	〃	〃	4	－	H26年４月10日
	千歳市障がい者総合支援センター	〃	〃	4	－	H15年９月１日
	千歳市更生保護サポートセンター	〃	〃	9	－	H26年４月10日
	千歳市老人クラブ連合会事務局	〃	〃	2	－	S44年２月24日
	千歳市在宅医療・介護連携支援センター	〃	〃	2	－	H30年４月１日
	千歳市指定障がい児相談支援事業所	〃	東雲町２丁目34　福祉センター３階	3	－	H25年４月１日
	千歳市西区地域包括支援センター	〃	新富１丁目３－５	4	－	H18年４月１日
	千歳市東区地域包括支援センター	〃	流通３丁目３－16	4	－	H24年４月１日
	千歳市北区地域包括支援センター	〃	北光２丁目１－１	4	－	H25年４月１日
	千歳市南区地域包括支援センター	〃	大和４丁目２－１	5	－	H26年４月１日
	千歳市向陽台区地域包括支援センター	〃	若草４丁目13－１	2	－	H26年４月１日
介護保険関連施設	特別養護老人ホームやまとの里	法人	大和４丁目２－１	36	50	H16年５月１日
	養護老人ホーム千歳千寿園	〃	大和４丁目２－４	17	50	S47年７月１日
	特別養護老人ホーム暢寿園	〃	富丘２丁目７－５	54	100	S54年４月１日
	地域密着型特別養護老人ホーム千歳ふくろうの園	〃	大和４丁目２－４	25	29	H26年８月１日
	地域密着型特別養護老人ホーム千歳ふくろうの園Ⅱ	〃	大和４丁目２－４	17	29	H27年５月１日
	グループホーム里の家千歳	〃	若草１丁目18－２	24	27	H15年４月12日
	満快のふる郷さくら千歳	〃	勇舞１丁目７－15	16	18	H16年１月５日
	グループホームせせらぎの家	〃	新星２丁目２－３	8	9	H16年３月15日
	グループホームほくとの家	〃	北斗１丁目19－14	9	9	H17年６月１日
	グループホームぬくもりの里	〃	住吉４丁目８－14	16	18	H16年６月１日
	グループホームひまわりの家	〃	北斗４丁目14－４	15	18	H16年11月１日
	グループホーム向陽台	〃	白樺２丁目１－１	17	18	H16年11月15日
	グループホーム笑顔の郷	〃	北斗４丁目５－６	19	18	H18年３月１日
	グループホームかつらぎ	〃	桂木３丁目１－２	24	18	H18年３月21日
	ニチイケアセンター千歳北陽	〃	北陽１丁目11－８	14	18	H19年11月１日
	グループホームゆうび	〃	日の出１丁目１－１－41	17	18	H25年４月１日
	グループホーム末広	〃	末広３丁目８－７	17	18	H28年５月１日
	グループホームあさひの家千歳	〃	北陽５丁目４－８	15	18	R元年１月12日
	ケアハウス千歳ふくろうの園	〃	大和４丁目３－11	18	50	H18年５月１日
障がい者福祉施設	千歳地域生活支援センター	〃	清水町４丁目15－１	4	－	H15年10月１日
	地域活動支援センターめいぷる共同作業所	NPO	自由ヶ丘３丁目10－11	2	15	H11年４月１日
	めいぷるほっとい～よ	〃	自由ヶ丘３丁目10－11	9	20	H21年４月１日
	めいぷるハウス	〃	自由ヶ丘６丁目５－７	7	6	H27年４月１日
	千歳障がい者就労支援センターハートフルネットワークほほえみ	〃	幸町５丁目２－１	3	20	H12年４月３日
	障がい者支援施設いずみ	法人	泉郷403－９	49	40 20	S43年11月11日 H21年４月１日
	障がい者支援センターサポートいずみ					
	障がい者支援センターキラリ	〃	春日町３丁目５－１	14	40	H24年12月１日
	障がい者支援施設いずみワークセンター	〃	清流２丁目４－４	17	40	H18年10月１日
	いずみ寮	〃	末広４丁目９－12	1	6	H18年10月１日
	第２いずみ寮	〃	青葉８丁目12－６	2	6	H18年10月１日
	さくら荘	〃	本町２丁目28－４	1	6	H18年10月１日
	なでしこ	〃	北斗１丁目19－13	2	8	H18年10月１日
	りら	〃	清流１丁目２－６－４	1	6	H18年10月１日
	うえだハウス	〃	旭ヶ丘４丁目３－４	1	6	H18年10月１日
	清流ハウス	〃	清流２丁目６－５	1	5	H18年10月１日
	住吉ハウス	〃	住吉３丁目10－６	1	6	H29年４月１日
	青葉の杜	〃	桂木１丁目３－22	4	20	H18年10月１日
	青葉の郷	〃	蘭越10－37	8	20	H24年４月１日
	自立訓練施設蓮げ荘	〃	都756－21	8	20	H15年６月１日
	就労移行支援事業所ゆうび	〃	日の出１丁目１－41 カルナビル２F	6	20	H20年５月１日
	メビウス	〃	泉沢1007－172	5	30	H21年１月１日
	就労継続支援事業所エコ・ファクトリー	〃	信濃１丁目13－１	10	46	H19年５月14日
	千歳物流センター	〃	上長都1034－８	5	20	H20年３月１日

区　分	施　設　名	設置	所　在　地	職員数	収容定員	設置年月日
障がい者福祉施設	支援センターゆみな	NPO	清流４丁目10－10	13	20	H21年４月１日
	就労支援センターOm-net	法人	末広４丁目１－13	7	20	H22年３月１日
	サークルエイト	〃	上長都1039－25	6	30	H24年４月１日
	グループホーム新星	〃	新星２丁目６－２	6	8	H28年４月20日
	グループホームメルシー	NPO	稲穂１丁目８－６	2	6	H28年10月１日
	グループホームあおば	法人	青葉１丁目９－１	9	10	H25年４月１日
	株式会社ひまわりの会	〃	梅ヶ丘２丁目3－24	9	20	H26年３月１日
	株式会社帆の風	〃	朝日町２丁目１－２PPビル2F	6	20	H26年９月１日
	株式会社ワークセンターピアハーブ	〃	本町１丁目12－２	6	10	H27年４月１日
	ウィンドバレー	〃	稲穂1丁目8－8千歳市森林組合ビル	3	15	H27年８月１日
	ミナモト就労継続支援事業所	〃	みどり台北２丁目５－14	12	10	H30年４月16日
	サポートセンターユリーカ	〃	幸町４丁目15－１	4	20	H28年９月９日
	オルポノ	〃	北斗３丁目３－10	8	20	H29年11月１日
	晴れルモキッチン	〃	信濃１丁目７－18	9	20	H30年２月１日
	ワンステップ	〃	青葉６丁目16－11	4	20	H28年４月１日
	就労継続支援Ｂ型事業所スリーピース	〃	日の出５丁目８－12	6	20	H28年７月１日
	千歳わくわくわくファーム	〃	信濃１丁目14－19	2	20	H31年４月１日
	優友ハウス	〃	長都駅前１丁目17-24	2	4	R元年11月１日
	ラポールハウスチトセ	NPO	幸町１丁目７－１	4	20	R２年２月１日
	千歳わくわくＨＯＭＥ	法人	白樺４丁目３－６	1	4	R元年11月１日
障がい児福祉施設	千歳市児童発達支援センター	市	東雲町２丁目34　福祉センター2F	13	40	H24年４月１日
	ブン・ブン・ブン・ハウス	法人	清水町４丁目８－１ シェルビル	14	20	H24年４月１日
	ぱすてる	〃	春日町３丁目５－１	10	10	H27年11月９日
	ちとせ発達支援センター	〃	富丘１丁目31－16	18	10	H28年７月１日
	ラブアリス千歳桜木	〃	桜木３丁目１－１	9	10	H28年11月１日
	児童デイサービス十彩（といろ）	〃	大和１丁目７－５ 1F	8	10	H29年３月１日
	すてっぷちとせ	〃	千代田町４丁目24-3 サイトービルIF	8	10	H29年４月28日
	児童デイサービスみどり台	NPO	みどり台北１丁目３－５	12	10	H29年６月15日
	第二ちとせくらぶ	法人	みどり台北１丁目７－１	11	10	H30年７月23日
	ラブアリス千歳別館	〃	桜木２丁目10－11	3	10	H31年１月10日
	デイジーハウス	〃	桂木３丁目９－28	5	10	R元年12月16日
児童福祉施設	認定こども園つばさ	市	花園４丁目３－１	37	110	S40年１月１日
	認定こども園ひまわり	〃	新富２丁目４－60	34	110	S44年４月１日
	北斗認定こども園	法人	北斗５丁目６－３	22	110	S56年４月１日
	アリス認定こども園	〃	勇舞１丁目１－１	26	135	H11年４月１日
	認定こども園千歳春日保育園	〃	春日町２丁目１－９	15	110	H20年４月１日
	あずさつくし認定こども園	〃	あずさ５丁目21－１	21	110	H24年４月１日
	認定こども園北陽幼稚園・第2北陽保育園	〃	北陽８丁目２－８	20	115	H25年４月１日
	認定こども園千歳第２幼稚園	〃	新富１丁目６－21	39	170	S39年７月１日
	住吉認定こども園	〃	豊里３丁目９－５	16	100	S49年12月25日
	認定こども園つくし保育園	〃	富丘１丁目５－13	21	120	H17年４月１日
	認定こども園向陽台つくし幼稚園	〃	若草５丁目３－１	14	165	H３年４月１日
	認定こども園おひさま	〃	みどり台南２丁目12－６	23	99	H30年４月１日
	あんじゅ認定こども園	〃	春日町５丁目１－10	16	90	H31年４月１日
	あさ陽認定こども園	〃	流通３丁目１－12	16	85	R２年４月１日
	認定こども園向陽台	〃	若草５丁目２－２	24	90	R２年４月１日
	第２住吉保育園	〃	豊里２丁目７－７	14	45	H29年４月１日
	北陽保育園	NPO	北陽１丁目12－２	7	20	H16年２月５日
	ちとせスマイル保育園	NPO	住吉５丁目１－24	8	36	H30年４月１日
	ありんこ保育室	法人	北栄１丁目25－９	10	12	S57年４月１日
	こだま保育園	〃	花園５丁目５－12	10	10	S56年４月１日
	さくら保育園	〃	稲穂１丁目２－５	10	19	S59年５月１日
	ステップ赤ちゃんる～む	〃	清流７丁目８－８	10	9	H９年４月１日
	育未保育園	〃	日の出４丁目３－10	5	19	H27年４月１日
	ニチイキッズおさつ駅前保育園	〃	長都駅前１丁目６－１	10	19	H28年４月１日
	千歳春日保育園ポケット	〃	春日町２丁目1－9	6	19	H28年４月１日
	ひよこ保育園	〃	新富２丁目４－11	6	19	H31年４月１日

区　分	施　設　名	設置	所　在　地	職員数	収容定員	設置年月日
児童福祉施設	ダイナックスこどもくらぶ	法人	上長都1053－２	7	19	H14年４月１日
	千歳みどりの保育園	〃	大和４丁目３－11	13	25	H23年４月１日
	アリス子育て支援センター（アリスセンター）	〃	勇舞１丁目１－１	2	－	H11年４月１日
	子育て総合支援センター（ちとせっこセンター）	市	花園４丁目３－１	11	－	H20年４月１日
	北新子育て支援センター（げんきっこセンター）	〃	新富１丁目２－14	8	－	H26年３月27日
	ひので児童館	〃	青葉５丁目８－８	3	－	H８年４月１日
	しなの児童館	〃	富士２丁目３－４	3	－	H10年４月１日
	ほくおう児童館	〃	北斗５丁目６－10	3	－	H12年４月１日
	しゅくばい児童館	〃	弥生２丁目７－４	3	－	H13年10月１日
	せいりゅう児童館	〃	清流２丁目４－２	3	－	H14年４月１日
	いずみさわ児童館	〃	柏陽２丁目２－１	3	－	H16年４月１日
	ちとせっこ児童館	〃	花園４丁目３－１	3	－	H20年４月１日
	ほくよう児童館	〃	勇舞３丁目４－１	4	－	H22年４月１日
	希望が丘児童館	〃	新富１丁目２－14	4	－	H26年３月27日
	あんじゅ児童館	法人	春日町５丁目１－10	6	－	H31年４月１日
	青空学童クラブ	市	本町３丁目４－１	4	50	S40年４月１日
	信濃学童クラブ	〃	富士２丁目３－４	5	40	S52年11月16日
	ひまわり学童クラブ	〃	柏陽２丁目２－１	4	40	S60年４月１日
	ふれあい学童クラブ	〃	青葉５丁目８－８	5	45	H８年４月１日
	すこやか学童クラブ	〃	北斗５丁目６－10	4	40	H12年４月１日
	祝梅学童クラブ	〃	弥生２丁目７－４	4	50	H13年10月１日
	清流学童クラブ	〃	清流２丁目４－２	4	55	H14年４月１日
	向陽台小学童クラブ	〃	若草５丁目１	4	45	H14年８月１日
	ちとせっこ学童クラブ	〃	花園４丁目３－１	5	55	H20年４月１日
	なかよし学童クラブ	〃	勇舞３丁目４－１	5	65	H22年４月１日
	にじいろ学童クラブ	〃	勇舞３丁目４－１	5	65	H22年４月１日
	希望が丘学童クラブ	〃	新富１丁目２－14	5	50	H26年４月１日
	あすなろ学童クラブ	〃	末広８丁目６－５	4	40	H29年２月６日
	たいよう学童クラブ	〃	北陽３丁目５－15	5	55	H29年４月１日
	にこにこ学童クラブ	〃	北陽３丁目５－15	5	55	H29年４月１日
	みどりっこ学童クラブ	〃	大和４丁目１－14	4	55	H30年４月１日
	よつば学童クラブ	〃	大和４丁目１－14	4	55	H30年４月１日
児童福祉施設（認可外施設）	たんぽぽ夜間保育園	法人	東雲町４丁目７－４	2	20	H元年５月１日
	市立千歳市民病院院内保育室	市	北光２丁目１－１	6	40	H14年９月１日
	いずみ保育園	法人	清流５丁目１－１	5	42	H９年５月１日
	ノース・つくし保育園	〃	新星１丁目3－６	6	19	H30年３月22日
	資生会　ここのみ保育園	〃	桂木１丁目３－20	2	19	H30年２月１日
	ぷらす保育園ちとせＲｅｒａ園	〃	柏台南１丁目２－１	12	19	H31年２月１日
	えーるぴーす保育園	〃	勇舞４丁目４－16	3	19	R元年７月１日
	千歳恵比寿保育園	〃	清流２丁目６－10	8	19	R元年９月１日
	キッズハウスオハナ	〃	清水町４丁目８－１	3	20	H20年９月１日
	支笏湖保育所	市	支笏湖温泉	3	30	S33年９月20日
	東千歳保育所	〃	幌加731	3	50	S49年５月１日
	駒里保育所	〃	駒里945－10	3	30	S42年４月１日
	中央保育所	〃	中央539	H31~休所	30	S43年４月１日
	長都保育所	〃	長都42－５	H17~休所	50	H元年４月１日
その他	千歳市助産施設	〃	北光２丁目１－１	－	8	S45年１月１日
	蘭越生活館	〃	新星１丁目３－７	1	－	S37年12月１日
	千歳こどもデイケアルーム	〃	北光２丁目１－９	2	3	H14年12月10日

1　令和２年４月１日現在
2　助産施設は市民病院内設置
福祉課・高齢者支援課・障がい者支援課・こども政策課・こども家庭課・子育て総合支援センター・こども療育課

176　民生委員児童委員数

定数	委員			うち主任児童委員			
	総数	男	女	定数	総数	男	女
220	213	83	130	22	21	－	21

1　令和２年４月１日現在
2　民生委員は児童福祉法に基づく児童委員を兼ねる
福祉課

177　生活保護

（1）扶助別受給者の推移

年度	被保護		扶助別延人員					保護率（‰：千分率）
	延世帯	延人員	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	その他の扶助	
27	12,754	17,568	15,903	15,447	1,570	14,404	28	15.3
28	13,566	18,499	16,453	16,155	1,745	15,149	32	16.0
29	13,617	18,331	16,133	15,956	1,530	15,173	22	15.8
30	13,477	17,846	15,991	15,751	1,341	15,126	30	15.3
元	**13,477**	**17,585**	**16,053**	**15,524**	**1,261**	**16,237**	**24**	**15.0**

1　被保護「世帯」「人員」は各月の実世帯、実人員の合計
2　保護率は年度平均被保護人員の９月末住民基本台帳人口に対する割合
福祉課

（2）扶助別保護費支出の推移

年度	総　　額	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	医療扶助	その他の扶助
27	2,410,766	793,520	268,561	17,746	31,147	1,276,218	23,574
28	2,646,059	842,527	288,658	20,263	40,135	1,431,964	22,512
29	2,591,253	823,887	289,453	18,473	51,619	1,380,422	27,399
30	2,567,779	793,656	291,241	14,468	53,758	1,388,440	26,216
元	**2,575,675**	**754,707**	**286,354**	**12,071**	**51,336**	**1,446,701**	**24,505**

福祉課

178　介護保険

（1）第１号被保険者（65 歳以上）の状況

ア　年齢別被保険者数の推移

年度	65歳以上75歳未満	構成比（%）	75歳以上	構成比（%）	総　　数
26	10,622	54.5	8,879	45.5	19,501
27	11,011	54.1	9,345	45.9	20,356
28	11,154	53.2	9,826	46.8	20,980
29	11,478	53.2	10,085	46.8	21,563
30	**11,638**	**52.5**	**10,520**	**47.5**	**22,158**

1　各年度末現在
2　外国人被保険者、住所地特例被保険者を含む

イ　所得段階別被保険者数の推移

年度	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	総数
	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)
26	590	3,504	2,631	5,118	5,184	2,474				19,501
	3.0	18.0	13.5	26.2	26.6	12.7				100.0
27	4,325	1,429	1,454	3,395	1,898	2,132	3,439	1,440	844	20,356
	21.3	7.0	7.1	16.7	9.3	10.5	16.9	7.1	4.1	100.0
28	4,322	1,522	1,467	3,451	2,009	2,284	3,509	1,519	897	20,980
	20.6	7.3	7.0	16.4	9.6	10.9	16.7	7.2	4.3	100.0
29	4,332	1,615	1,497	3,324	2,195	2,485	3,538	1,621	956	21,563
	20.1	7.5	7.0	15.4	10.2	11.5	16.4	7.5	4.4	100.0
30	**4,365**	**1,716**	**1,519**	**3,263**	**2,450**	**2,595**	**3,898**	**1,437**	**915**	**22,158**
	19.7	**7.7**	**6.9**	**14.7**	**11.1**	**11.7**	**17.6**	**6.5**	**4.1**	**100.0**

1　各年度末現在
2　外国人被保険者、住所地特例被保険者を含む

ウ　保険料

（総数　円）

段　階	対　　象　　者	保険料(年額)
第１段階	生活保護を受給されている人 世帯全員が市民税非課税で、老齢福祉年金を受給されている人 世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金額＋課税年金収入額が80万円以下の人	17,640
第２段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金額＋課税年金収入額が80万円を超え120万円以下の人	29,400
第３段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金額＋課税年金収入額が120万円を超える人	41,160
第４段階	本人が市民税非課税で、世帯の中に市民税課税者がいて、公的年金等収入＋合計所得金額が80万円以下の人	52,920
第５段階	本人が市民税非課税で、世帯の中に市民税課税者がいて、公的年金等収入＋合計所得金額が80万円を超える人	58,800
第６段階	本人が市民税課税で、合計所得額が120万円未満の人	70,560
第７段階	本人が市民税課税で、合計所得額が120万円以上200万円未満の人	76,440
第８段階	本人が市民税課税で、合計所得額が200万円以上300万円未満の人	88,200
第９段階	本人が市民税課税で、合計所得額が300万円以上の人	99,960

1　令和２年４月１日現在
高齢者支援課

(2) 要支援・要介護認定者数の推移

年度	第１号被保険者（65歳以上）	65歳以上75歳未満	75歳以上	第２号被保険者（40歳～64歳）	総数
26	3,203	460	2,743	76	3,279
27	3,382	479	2,903	78	3,460
28	3,511	483	3,028	81	3,592
29	3,682	534	3,148	81	3,763
30	**3,921**	**518**	**3,320**	**83**	**3,921**

1　各年度末現在
高齢者支援課

(3) 介護保険給付状況の推移

（単位　千円）

年度	区分	訪問通所サービス	短期入所サービス	その他の単品サービス	福祉用具購入費	住宅改修費	地域密着型（介護予防）サービス	施設介護サービス	総数
26	給付件数	28,150	1,759	28,945	225	271	3,793	4,765	67,908
	給付額	1,038,489	122,171	371,489	6,320	22,411	778,933	1,240,372	3,580,185
27	給付件数	31,302	1,587	32,132	247	320	4,475	4,740	74,803
	給付額	1,122,720	102,777	392,248	7,180	24,343	882,915	1,198,904	3,731,087
28	給付件数	31,256	1,385	35,214	264	309	8,606	4,764	80,798
	給付額	1,014,972	78,250	427,644	6,851	22,484	1,188,127	1,193,997	3,932,325
29	給付件数	27,938	1,523	35,434	247	362	9,765	4,827	80,096
	給付額	996,034	89,022	440,586	6,861	25,711	1,365,325	1,211,662	4,135,201
30	給付件数	**26,285**	**1,651**	**34,958**	**280**	**336**	**9,992**	**4,774**	**78,276**
	給付額	**935,139**	**111,218**	**459,216**	**8,152**	**23,131**	**1,425,151**	**1,253,639**	**4,215,646**

1　各年度末現在
高齢者支援課

(4) 保険料収納状況の推移

（単位　円）

年度	区分	調定額	収入額	還付未済額	不納欠損額	未収入額	収納率（%）
26	現年度分	827,984,720	819,062,960	1,166,530	－	10,088,290	98.8
	滞納繰越分(累計)	35,953,720	3,560,180	53,100	2,372,630	30,074,010	－
27	現年度分	1,079,713,010	1,068,107,470	800,830	－	12,406,370	98.9
	滞納繰越分(累計)	40,121,200	3,644,220	86,230	2,754,300	33,808,910	－
28	現年度分	1,123,404,050	1,112,283,010	815,140	－	11,936,180	98.9
	滞納繰越分(累計)	46,184,460	5,434,150	4,230	2,616,060	37,838,480	－
29	現年度分	1,166,372,970	1,155,674,680	702,440	－	11,400,730	99
	滞納繰越分(累計)	49,749,280	8,581,800	800	6,580,080	34,588,200	－
30	現年度分	**1,248,395,790**	**1,240,660,520**	**1,041,650**	**－**	**8,776,920**	**99.3**
	滞納繰越分(累計)	**45,988,930**	**8,157,420**	**－**	**6,542,180**	**31,289,330**	**－**

1　各年度末現在
高齢者支援課

179　障がい者手帳等所持者数

(1) 身体障がい部位別の推移

年　　度	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	肢体不自由	内部障害	総　　数
27	163	251	27	2,031	959	3,431
28	162	247	27	2,010	963	3,409
29	158	254	23	1,983	976	3,394
30	156	263	22	1,982	1,019	3,442
元	**155**	**267**	**21**	**1,965**	**1,018**	**3,426**

1　令和元年度末現在
障がい者支援課

(2) 身体障がい者級別所持者数の推移

年度	1　級	2　級	3　級	4　級	5　級	6　級	総　数
27	1,055	524	524	847	302	179	3,431
28	1,060	519	510	842	310	168	3,409
29	1,057	493	501	852	311	180	3,394
30	1,068	473	492	880	349	180	3,442
元	**1,065**	**474**	**484**	**870**	**341**	**192**	**3,426**

1　令和元年度末現在
障がい者支援課

(3) 療育手帳所持者数の推移

年度	A　判　定	B　判　定	総　数
27	235	507	742
28	247	537	784
29	256	545	801
30	256	570	826
元	**247**	**570**	**817**

1　令和元年度末現在
障がい者支援課

(4) 精神障害者保健福祉手帳所持者数の推移

年度	1　級	2　級	3　級	総　数
27	58	270	136	464
28	54	302	151	507
29	47	316	152	515
30	47	327	167	541
元	**55**	**358**	**194**	**607**

1　令和元年度末現在
障がい者支援課

180　後期高齢者医療制度

（1）後期高齢者医療被保険者数の推移

（単位　人）

年　　度	被保険者数	内訳			
		加入者年齢構成		自己負担割合	
		65～75歳未満	75歳以上	1　割	3　割
27	9,423	408	9,015	9,105	318
28	9,856	409	9,447	9,520	336
29	10,154	387	9,767	9,784	370
30	10,551	421	10,130	10,167	384
元	**10,809**	**390**	**10,419**	**10,393**	**416**

1　各年度末現在
国保医療課

（2）保険料収納状況の推移

（単位　円）

年度	区　　分	調　定　額	収　納　額	不納欠損額	未収入額	収納率（%）
27	現年度分	700,869,000	699,519,100	1,200	2,068,300	99.70
28	現年度分	729,229,600	728,736,200	57,100	1,452,800	99.80
29	現年度分	770,308,900	768,533,400	25,800	2,422,700	99.69
30	**現年度分**	**809,630,600**	**807,748,000**	**1,500**	**2,270,900**	**99.72**

1　収納額には還付未済額を含む
国保医療課

181　共同募金会

（1）共同募金実績

（単位　千円）

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
目　標　額	8,200	8,200	8,200	8,200	**8,200**
募　金　額	7,685	7,833	7,702	7,543	**9,142**
募金実績／目標額（%）	93.7	96.0	93.9	92.0	**111.5**

千歳市共同募金委員会（千歳市社会福祉協議会内）

（2）歳末たすけあい運動実績の推移

（単位　千円）

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
目　標　額	7,500	7,500	7,500	7,500	**7,500**
募　金　額	6,703	6,601	6,601	6,367	**6,069**
募金実績／目標額（%）	89.3	88.00	88.00	84.9	**80.9**

千歳市共同募金委員会（千歳市社会福祉協議会内）

182　日本赤十字社費募金の推移

（単位　千円）

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	**元年度**
目　標　額	8,442	8,442	8,442	7,587	**7,587**
募　金　額	8,153	7,681	7,911	7,524	**7,303**
募金実績／目標額（%）	96.58	90.98	93.70	99.17	**96.25**

千歳市共同募金委員会（千歳市社会福祉協議会内）

183　コミュニティセンター・町内会館等集会施設一覧

（単位　㎡）

種　別	施　設　名	所　在　地	面　積	設置年度
コミュニティセンター	北新コミュニティセンター	新富２丁目１－21	1,212.00	S48
	北信濃コミュニティセンター	北信濃864－５	824.50	S51
	富丘コミュニティセンター	富丘４丁目12－16	1,109.21	S53
	鉄東コミュニティセンター	青葉５丁目８－２	1,256.29	S55
	中心街コミュニティセンター	幸町４丁目30	1,345.65	S57
	千歳コミュニティセンター	東雲町２丁目34	2,313.34	S58
	泉沢向陽台コミュニティセンター	里美２丁目９－２	1,318.10	S62
	祝梅コミュニティセンター	弥生２丁目７－10	1,294.91	S62
	北桜コミュニティセンター	北斗５丁目６－12	1,325.36	H３
	北コミュニティセンター	釜加362－３	608.68	H９
	中央コミュニティセンター	中央539－３	609.82	H11
	花園コミュニティセンター	花園４丁目２－５	1,438.25	H24
共同利用施設	東雲会館	東雲町１丁目10	582.49	S42
	末広会館	末広８丁目６－５	329.55	S46
	支笏湖市民センター	支笏湖温泉３	612.37	S61
労働会館	労働会館	東雲町３丁目１	520.40	S53
町内会館	春日会館	春日町５丁目６－１	155.25	S45
	青葉丘南町内会館	青葉丘2015－127	97.20	S48
	青葉２丁目町内会館	青葉２丁目８－13	135.40	S50
	青葉６丁目町内会館	青葉６丁目11－３	106.92	S52
	青葉３丁目町内会館	青葉３丁目13－８	126.36	S53
	釜加第２会館	釜加96－２	33.00	S53
	長都駅前町内会館	長都駅前３丁目１－４	208.98	S54
	東雲町連合会館	朝日町７丁目22	149.04	S56
	本町自治会館	本町３丁目21	131.85	S57
	白樺町内会館	白樺３丁目７－15	279.34	S58
	春日町東会館	春日町２丁目９－３	149.88	S58
	ひばりヶ丘町内会館	北光４丁目１－２	263.95	S58
	弥生町内会館	弥生２丁目７－２	195.03	S59
	大和町内会館	大和１丁目７	131.22	S60
	若葉会館	梅ヶ丘２丁目９	168.51	S60
	北斗北町内会館	北斗６丁目４	130.00	S61
	豊里町内会館	豊里４丁目４	127.98	S61
	北斗３丁目町内会館	北斗３丁目５	130.00	S61
	若草町内会館	若草３丁目２－７	230.04	S62
	北斗２丁目自治会館	北斗２丁目14	130.00	S62
	栄町東町内会館	栄町５丁目５－４	149.04	S63
	北斗南町内会館	北斗１丁目８－１	137.70	H２
	おさつ団地町内会館	北陽３丁目４－４	395.07	H３
	静和町内会館	北光１丁目２	132.50	H３
	駒里町内会館	駒里849－９	66.60	H４
	北栄南町内会館	北栄１丁目24－４	145.80	H４
	日の出東町内会館	日の出５丁目６－８	118.26	H６
	新富北町内会館	新富３丁目14	248.91	H７
	富士町内会館	富士４丁目７－８	249.25	H８
	朝日町西自治会館	朝日町３丁目13	216.96	H９
	柏陽町内会館	柏陽２丁目２－５	262.92	H９

（単位　㎡）

種　別	施　設　名	所　在　地	面　積	設置年度
町内会館	清流町内会館	清流２丁目４－１	245.94	H10
	里美町内会館	里美４丁目３－10	189.54	H10
	北斗西町内会館	北斗４丁目10－13	127.52	H10
	花園町内会館	花園４丁目１－10	193.77	H11
	寿町内会館	寿１丁目７－12	281.52	H11
	自由ヶ丘町内会館	自由ヶ丘３丁目13－11	339.51	H12
	日の出南町内会館	日の出４丁目５	134.15	H13
	あずさ町内会館	あずさ３丁目９－15	277.81	H14
	中央長都町内会館	根志越2758	136.63	H14
	あけぼの団地町内会館	日の出３丁目８	246.49	H14
	富丘３丁目北町内会館	富丘３丁目14	197.91	H15
	新川連合会館	新川225－49	208.68	H15
	祝梅町内会館	祝梅436－４	125.87	H16
	ゆうまいホール	勇舞４丁目11－６	285.62	H16
	青葉丘町内会館	青葉７丁目４－27	177.21	H17
	文京町内会館	文京５丁目４－１	181.35	H18
	住吉北町内会館	住吉３丁目６－３	215.76	H19
	信濃連合町内会館	信濃２丁目18	313.02	H20
	稲穂町内会館	稲穂１丁目７－20	280.26	H21
	末広中区町内会館	末広４丁目５－10	210.95	H21
	東郊町内会館	東郊１丁目５－９	189.22	H21
	朝日町東自治会館	朝日町８丁目1206－295	99.45	H22
	新富西町内会館	新富１丁目23	183.06	H22
	北栄東町内会館	北栄２丁目617－２	218.61	H22
	栄町西区町内会館	栄町1丁目20－10	199.66	H23
	旭ヶ丘町内会館	旭ヶ丘３丁目８－１	251.42	H24
	真々地会館	真々地１丁目７－７	147.42	H25
	桂木町内会館	桂木４丁目６－２	213.73	H27
	桜木町内会館	桜木１丁目７－４	336.96	H27
	福住町内会館	福住３丁目６－１	183.01	H27
	幸福町内会館	幸福４丁目８－１	169.95	H28
	みどり台南町内会館	みどり台南３丁目14－９	323.72	H29
	みどり台北町内会館	みどり台北４丁目２－１	289.83	H29
寿の家	寿の家青葉会館	青葉１丁目４－２	116.64	S 49
	寿の家住吉会館	住吉５丁目７－８	110.16	S 52
	寿の家錦町会館	錦町３丁目７－１	115.42	S 53
	寿の家末広東区会館	末広２丁目10	140.77	S 54
	寿の家幌加会館	幌加170－５	124.21	S 56
	寿の家東丘会館	東丘1363－２	149.85	S 57
地域会館	富丘集会所	富丘４丁目12	119.43	S 45
	大和団地集会所	大和３丁目６	52.65	S 47
	泉郷会館	泉郷289－17	353.16	S 54
	駒里会館	駒里2231－２	268.92	S 56

1　令和２年３月31日現在
市民生活課・支笏湖支所

184　コミュニティセンター利用の推移

名　　称	福祉団体利用者	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
北　　新	コミュニティ関係	14,098	13,019	13,850	12,402	10,358
コミュニティ	その他の団体	6,713	8,569	8,553	8,705	13,652
セ ン タ ー	その他の個人	1,081	696	1,015	1,034	1,295
	計	21,892	22,284	23,418	22,141	25,285
北　信　濃	コミュニティ関係	13,688	13,209	13,761	14,578	13,640
コミュニティ	その他の団体	940	1,118	1,254	1,618	4,525
セ ン タ ー	その他の個人	582	394	739	977	485
	計	15,210	14,721	15,754	17,173	18,650
富　　丘	コミュニティ関係	17,843	17,603	20,568	25,136	19,141
コミュニティ	その他の団体	8,541	10,838	16,079	13,672	14,559
セ ン タ ー	その他の個人	20	487	236	349	402
	計	26,404	28,928	36,883	39,157	34,102
鉄　　東	コミュニティ関係	11,904	12,508	13,052	12,229	10,581
コミュニティ	その他の団体	5,961	5,831	5,346	4,635	5,726
セ ン タ ー	その他の個人	87	326	806	579	362
	計	17,952	18,665	19,204	17,443	16,669
中　心　街	コミュニティ関係	6,511	3,172	4,062	3,809	2,443
コミュニティ	その他の団体	21,089	26,714	24,505	23,517	19,606
セ ン タ ー	その他の個人	20	88	2	115	4
	計	27,620	29,974	28,569	27,441	22,053
千　　歳	コミュニティ関係	47,606	50,551	44,881	46,525	40,782
コミュニティ	その他の団体	51,149	43,844	39,700	39,797	34,808
セ ン タ ー	その他の個人	—	—	—	—	—
	計	98,755	94,395	84,581	86,322	75,590
泉沢向陽台	コミュニティ関係	27,738	24,590	25,027	23,603	22,815
コミュニティ	その他の団体	3,218	3,103	4,160	3,877	3,624
セ ン タ ー	その他の個人	594	2,041	1,703	1,642	1,626
	計	31,550	29,734	30,890	29,122	28,065
祝　　梅	コミュニティ関係	14,419	13,708	15,857	15,534	13,567
コミュニティ	その他の団体	6,383	6,838	6,386	7,892	8,205
セ ン タ ー	その他の個人	335	347	699	1,170	511
	計	21,137	20,893	22,942	24,596	22,283
北　　桜	コミュニティ関係	9,834	18,151	19,628	19,895	14,990
コミュニティ	その他の団体	3,387	6,139	6,806	6,824	6,589
セ ン タ ー	その他の個人	347	1,126	1,324	778	1,727
	計	13,568	25,416	27,758	27,497	23,306
北	コミュニティ関係	89	29	—	—	—
コミュニティ	その他の団体	3,792	2,708	2,696	2,386	2,071
セ ン タ ー	その他の個人	—	574	—	—	—
	計	3,881	3,311	2,696	2,386	2,071
中　　央	コミュニティ関係	1,145	1,158	—	—	—
コミュニティ	その他の団体	1,568	1,753	2,141	2,132	1,756
セ ン タ ー	その他の個人	—	—	3	38	117
	計	2,723	2,911	2,144	2,170	1,873
花　　園	コミュニティ関係	15,536	19,890	21,448	21,421	19,434
コミュニティ	その他の団体	10,869	10,938	10,252	9,025	10,947
セ ン タ ー	その他の個人	512	1,600	1,593	92	1,847
	計	26,917	32,428	33,293	30,538	32,228
総　　数		307,609	323,660	328,132	326,202	302,175

1　千歳コミュニティセンター利用者数は市福祉センター保健福祉事業等の利用者を含む
市民生活課・健康づくり課

185　共同利用施設利用の推移

施設名	利用者	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
東雲会館	官公庁	3,044	1,740	2,023	1,816	**1,448**
	町内会関係	—	—	—	—	**—**
	社会教育団体	9,534	9,276	7,297	6,216	**5,742**
	社会福祉団体	1,889	2,552	2,438	2,816	**2,799**
	その他	4,941	4,689	4,716	3,282	**3,100**
	計	19,409	18,257	16,474	14,130	**13,089**
末広会館	官公庁	—	832	6,364	6,832	**7,140**
	町内会関係	673	438	—	545	**330**
	社会教育団体	1,153	518	1,037	1,126	**1,168**
	社会福祉団体	29	—	—	—	**—**
	その他	992	659	1,148	1,158	**869**
	計	2,847	2,447	8,549	9,661	**9,507**
支笏湖市民センター	官公庁	297	526	289	288	**170**
	町内会関係	675	392	504	605	**440**
	社会教育団体	—	—	70	57	**87**
	社会福祉団体	460	441	377	410	**309**
	その他	208	236	597	496	**326**
	計	1,640	1,595	1,837	1,856	**1,332**

1　各年度末現在
市民生活課・支笏湖支所

186　児童遊園地一覧

遊園地名	設置場所	面積	設置管理者	設立年度
ママチ川児童遊園地	朝日町７丁目	1,634	東雲町連合会	S 43
朝日町青空児童遊園地	朝日町８丁目	339	朝日町東自治会	S 55
長都官舎児童遊園地	北信濃	400	長都官舎町内会	S 46
中央児童遊園地	中央	450	中央連合町内会	S 48
駒里児童遊園地	駒里	1,820	駒里部落会	S 48
日の出丘南団地児童遊園地	日の出丘	648	日の出丘南団地町内会	S 50
中央長都児童遊園地	根志越	1,020	中央長都連合会	S 50
平和児童遊園地	本町	5,000	本町南町内会	S 51
長都児童遊園地	長都	1,034	長都連合会	S 52
中長都児童遊園地	長都	162	中長都連合会	S 52
東千歳連合児童遊園地	幌加	725	東千歳四連合会	S 54
新富北第４区児童遊園地	新富３丁目	681	新富北町内会	S 55
北栄官舎遊園地	新富１丁目	1,600	国土交通省北栄官舎自治会	S 56
青葉２丁目児童遊園地	青葉２丁目	319	青葉２丁目町内会	S 56

1　令和２年４月１日現在
都市整備課

187　福祉団体一覧

団　　体　　名	代　表　者
社会福祉法人千歳市社会福祉協議会	力　示　武　文
千歳市共同募金委員会	九谷田　　旭
社会福祉法人せらぴ千歳地域生活支援センター	奥　貫　あい子
日赤北海道支部千歳市地区	山　口　幸太郎
千歳市赤十字奉仕団	中　山　博　子
日赤千歳市地区協賛委員会	沼　田　常　好
千歳市スキーパトロール赤十字奉仕団	藤　本　繁　美
千歳市救急法赤十字奉仕団	久保田　裕　哉
千歳市無線赤十字奉仕団	桑　原　　均
千歳市点訳赤十字奉仕団	稲　生　真奈美
千歳市民生委員児童委員連絡協議会	須　貝　　享
千歳市第 1 地区民生委員児童委員協議会	松　井　千代子
千歳市第 2 地区民生委員児童委員協議会	松　本　祐希子
千歳市第 3 地区民生委員児童委員協議会	藤　井　　宏
千歳市第 4 地区民生委員児童委員協議会	福　田　博　志
千歳市第 5 地区民生委員児童委員協議会	須　貝　　亨
千歳市第 6 地区民生委員児童委員協議会	上　田　政　則
千歳市第 7 地区民生委員児童委員協議会	伊　藤　　隆
千歳市第 8 地区民生委員児童委員協議会	箱　木　宏　光
千歳市第 9 地区民生委員児童委員協議会	佐　藤　　貞
千歳市第10地区民生委員児童委員協議会	植　村　由紀子
千歳市第11地区民生委員児童委員協議会	宮　川　朋　子
千歳市保護司会	宮　本　正　志
千歳更生保護女性会	寺　内　多寿子
千歳市町内会連合会	沼　田　常　好
千歳市老人クラブ連合会	村　上　松　夫
千歳市遺族会	渡　邉　鶴　雄
千歳市母子会	大　廣　奈津子
千歳市女性団体協議会	木　村　紀久子
千歳市子ども会育成連合会	四　方　信　次
日本ボーイスカウト千歳第1団	喜　多　英　司
公益社団法人ガールスカウト日本連盟北海道第31団	丹　波　紀美子
千歳市生活学校	松　隈　早　織
千歳市民憲章推進協議会	山　田　律　子

団　　体　　名	代　表　者
千歳市各種相談員連絡協議会	山　内　幸　子
千歳身体障害者福祉協会	伊　東　ミツ子
千歳聴力障害者協会	佐　藤　義　典
千歳視覚障害者福祉協会	菊　池　悦　子
特定非営利活動法人千歳市手をつなぐ育成会	青　木　繁　雄
千歳地区ことばを育てる親の会	鈴　木　さゆり
千歳市肢体不自由児者父母の会	岡　田　美智子
千歳市情緒障がい者父母の会	国　田　勝　雄
ひよこ父母の会	村　山　悦　子
千歳市つくし会	愛　澤　光　司
千歳地区保育士会	上　井　美　紀
全国障害者問題研究会千歳サークル	石　岡　　卓
千歳手話の会	神　能　直　子
千歳ＢＢＳ会	道　場　広　美
北海道千歳高等学校ボランティア部	吉　村　美紀子
人形劇団「かざぐるま」	橋　本　美　香
千歳音訳友の会	長谷川　逸　子
点訳絵本の会	加　来　利　江
一般社団法人北海道断酒連合会千歳断酒会	山　下　勝　美
千歳ひまわり会	米　積　利　明
北進親の会	山　本　ひとみ
ちとせりんごグループ	大久保　弘　美
千歳市こども通園センター保護者会「青い鳥」	近　藤　愛　弓
人形劇団「ピッコロ」	能　島　晴　美
北海道公立学校教職員互助会特別会員千歳市支部	菖蒲田　正　満
千歳認知症の人を支える家族の会	青　柳　　薫
千歳市家庭生活カウンセラークラブ	坂　野　睦　実
布の絵本「ゆめの会」	佐　藤　美代子
NPO法人ナルク千歳	小　西　良　夫
千歳市食生活改善協議会	島　　邦　代
札幌年金受給者協会千歳支部	村　上　松　夫
ちとせ映像クラブ	川　端　洋　一
千歳ひまわり号を走らせる会	大久保　　尚
千歳市女性会議	菊　地　利恵子

団　　体　　名	代　表　者
ふくふくコアラ	八　木　友　紀
特定非営利活動法人千歳めいぷるの会	岡　田　美智子
NPO 法人ハートフルネットワークほほえみ	中　山　伸　也
ブルーファミリア	目　黒　達　也
千歳市歯科衛生士会	瀧　川　裕　子
北海少年院篤志面接委員会	大　郷　栄　治
日本尊厳死協会北海道支部石狩南部地域懇話会	眞　鍋　辰　雄
北海道手話通訳問題研究会道央支部千歳・恵庭班	中　村　秀　子
千歳市交通安全母の会	山　内　幸　子
秋桜	成　田　けい子
千歳民謡連合会　栄春会	山　本　芳　郎
おはなしぐるんぱ	飯　間　　馨
NPO法人アシストセンターちえりす	清　水　道　代
NPO 法人千歳ひと･魅力まちづくりネットワーク	三　上　禮　子
千歳リトルシニア球団	土　居　弘　志
千歳市退職校長会	中　島　　巖
千歳市レクリエーション協会	佐久間　良　和
千歳消費者協会	小　林　純　子
樽前岳風会千歳支部	山　下　憲　弘
（公社）日本3Ｂ体操協会	小野寺　真　澄
千歳フォークダンスハートフル	及　川　美津子
千歳花倶楽部	佐々木　律　子
日本ＡＬＳ協会北海道支部千歳支会	澤　口　勇　二
子育て支援を考える会	河　岸　由里子
千歳ボランティア通訳クラブ	影　山　　廣
千歳・歩こう会	鹿　野　　毅
北海道英霊にこたえる会千歳支部	梅　沢　健　三
千歳宮城県人会	佐々木　雅　宏
美しい街づくり千歳ネットワーク	後藤田　格　布
すみれ文庫	及　川　美津子
ラ・パレッテ	袴　　澄　子
隆光書道会	山　口　紫　蘭
千歳いずみ学園保護者会	佐　藤　眞　作
千歳サケのふるさと村教授会	福　岡　和　世

団　　体　　名	代　表　者
真龍太鼓	藤　原　雅　之
千歳要約筆記の会「やませみ」	打　矢　郁　子
公益社団法人千歳地方隊友会千歳支部	岡　　昭　雄
千歳市ケアマネージャーの会	佐　藤　智　胤
北海道理容生活衛生同業組合千歳支部	小　山　道　男
社会福祉法人千歳いずみ学園	今　村　静　男
千歳市フラワーマスターの会	岡　本　あや子
千歳オカリナ虹の会	星　野　一　郎
手話サークル　しらかば	岩　倉　　節
千歳市栄典者清風会	園田　七五三一
千歳地区協力雇用主会	生　杉　　訓
ＦＰスペース千歳	北　原　三津代
しらかばカラオケ愛好会	岡　田　正　勝
もったいないわ・千歳	岩　本　典　子
千歳市防災マスターリーダー会	山　口　　満
社会福祉法人千歳福祉会	奈　良　充　康
パーキンソン病有志の会	斉　藤　武　司
千歳市芸能赤十字奉仕団	井　上　一　捷
千歳市地域密着型事業所　絆の会	糸　田　純　子
千歳飛行場騒音地区整備協議会	青　木　昭　弘
高星大学10期生会	森　　幸　男
千歳アマチュア無線協会	國　政　　平
ゆみなクラブ	星　野　一　郎
ちとせ・まち魅力検定実行委員会	山　本　　豊
たんぽぽ親の会	岩　﨑　綾　子
千歳千年そばの会	夛　田　精　孝
ちとせ傾聴ボランティアの会	高　橋　いづみ
MS・スマイルサークル	小　沼　美　幸
千歳権利擁護懇談会（らいとりんく）	古　田　　聖
千歳たばこ小売人組合　女性部	奥　野　智恵子
千歳の自然保護協会	熊　本　進　誠
マミママ's	浜　　岬
北星館書道会　筆竜胆	松　田　明　子
和紙ちぎり絵「こうぞの会」	秦　　由　基

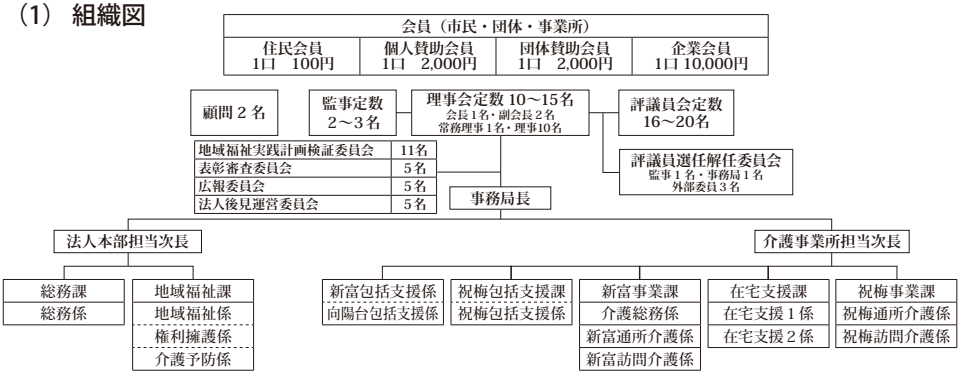
団　　体　　名	代　表　者
千歳どんぐりを育てる会	岩　満　順　郎
千歳山岳会	村　中　順　一
高星大学11期生同期会「いちいの会」	福　田　義　昭
特定非営利活動法人北陽保育園	三　溝　理　恵
社会福祉法人恵愛会	久津輪　憲　志
男の料理サークル男厨会	中　川　　晃
桜友会	大　門　幸　夫
千歳童謡「わたげの会」	児　玉　国　男
森のようちえん　といとい	松　澤　菜　緒
千歳口風琴倶楽部	工　藤　義　雄
北海道千歳高等支援学校ボランティア同好会	小　嶋　義　勝
千歳高星大学第13期生同窓会	平　野　　清
一般社団法人 LOKO	有　田　吉　輝
特定非営利活動法人 フェアリー児童デイサービスみどり台	安　井　みどり
千歳市文化団体連絡協議会	太　田　憲　之
みんなをつなげる会～すべての人がこころのかよう社会を！～	坂　井　　治
特定非営利活動法人ほっとらんど	盛　　誠　逸

※掲載団体との連絡を希望される場合は、千歳市社会福祉協議会総務課総務係までお問い合わせください（直通27-2525）

1　令和２年4月21日現在
千歳市社会福祉協議会

188　社会福祉協議会

(1)　組織図



評議員（18）	
医療機関・団体関係	市立千歳市民病院
介護施設・事業所関係	千歳市地域密着型事業所 絆の会
社会福祉法人職員 OB	千歳市社会福祉協議会元職員
更生保護関係	千歳市保護司会
女性団体関係	国際ソロプチミスト千歳
遺族会関係	千歳市遺族会
児童福祉団体関係	子育て支援を考える会
環境団体関係	千歳市環境整備事業協同組合
経済団体関係	千歳建設業協会
農協・生協関係	道央農業協同組合千歳支店
福祉委員関係	千歳市社会福祉協議会
当事者組織関係	千歳認知症の人を支える家族の会
弁護士・司法書士関係	司法書士事務所
職域団体関係	東千歳駐屯地曹友会
公益事業団体関係	千歳市シルバー人材センター
NPO・市民活動団体関係	ちとせの介護医療連携の会
NPO・市民活動団体関係	千歳市家庭生活カウンセラークラブ
学識経験者関係	北海道千歳高等支援学校

理事（14）、監事（3）	
学識経験者関係	千歳市社会福祉協議会
障がい者関係	千歳身体障害者福祉協会
社会福祉行政機関関係	千歳市職員OB
学識経験者関係	千歳市社会福祉協議会
民生委員関係	千歳市民生委員児童委員連絡協議会
共同募金委員会関係	千歳市共同募金委員会
赤十字奉仕団関係	千歳市赤十字奉仕団
社会福祉行政機関関係	千歳市保健福祉部
町内会関係	千歳市町内会連合会
老人クラブ関係	千歳市老人クラブ連合会
社会福祉施設関係	千歳地域生活支援センター
防災団体関係	隊友会千歳地方隊友会千歳支部
ボランティア関係	千歳市ボランティアセンター
学識経験者関係	公立千歳科学技術大学
社会福祉事業経験者	民生委員児童委員OB
財務管理経験者	千歳市社会福祉協議会
財務管理経験者	千歳市社会福祉協議会

1　令和２年４月１日現在
2　（　）内は配置人員を示す
千歳市社会福祉協議会

(2)　第７次地域福祉実践計画（令和２年度～６年度）

基本理念「思いやりが根づくまち千歳」

基本目標１　地域づくりを主体的に担う人づくり
基本目標２　地域での支え合いと、きずなづくり
基本目標３　いつでも、気軽に、誰でも通える地域の居場所づくり
基本目標４　満足度の高い福祉サービスづくり
基本目標５　ボランティアとともに災害に備える地域づくり
基本目標６　住民一人ひとりの相談を受け止め、解決していくしくみづくり
基本目標７　課題に柔軟に対応していくための体制づくり
基本目標８　社協の認知度アップと人材・財源確保のしくみづくり

千歳市社会福祉協議会

(3)　重点推進項目

令和２年度事業重点施策

1　支え合い活動に参加する人づくりの推進
2　社会福祉法人ネットワーク懇話会による公益的な取り組み
3　高年齢が活躍できる居場所づくりの拡大
4　災害ボランティアセンター機能の拡充
5　地域における権利擁護体制の構築
6　利用者ニーズに即した良質な福祉サービスの提供・体制の強化

千歳市社会福祉協議会

あらまし

鮮やかに彩る四季折々の風景

令和元年度の市内観光入込客数は、454万人と前年度から44万人減少となりました。特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、観光施設における国内外の観光客入込は大きく影響を受けました。市内観光入込客数の内訳としては道外客131万人（29％）、道内客323万人（71％）となっており、そのうち、29万人（６％）が宿泊、日帰りは425万人（94％）となっています。日帰り中心の近郊型観光地となっていますが、近年は市内のホテル建設が進み、宿泊客は増加傾向にあります。新千歳空港の国際線ターミナルの増築や新規路線の就航に伴い、千歳を訪れる外国人観光客も増加しており、令和元年度の訪日外国人宿泊客延数は215,900人と過去最高を記録しました。

新千歳空港などの優れた都市機能を持ち、人・物・情報が多面的に結び付く北の拠点千歳市は、国立公園支笏湖を中心に豊かな自然に恵まれた観光都市です。このほかにも、製造過程等を学べる工場見学や体験農園、体験牧場などがあります。

「見る観光」と「体験する観光」のまち千歳市は、四季折々に開催される支笏湖まつりやスカイ・ビア＆ＹＯＳＡＫＯＩ祭など多くのイベントも開催されています。毎年多くの観光客が訪れる千歳・支笏湖氷濤まつりでは、令和元年度の期間中17万人もの来場者で賑わいました。

市街地にある道の駅サーモンパーク千歳が平成27年にリニューアルオープンし、市内観光の拠点となっています。サケのふるさと千歳水族館には千歳川の水中を直接見ることができる日本初の水中観察室、サケや北方圏の様々な淡水魚を観察できる大水槽のほか、リニューアル時に整備された支笏湖の湖底を再現した支笏湖大水槽があり、令和元年度は約26万人が訪れました。また、サケのふるさと千歳水族館に隣接してインディアン水車として知られるサケの捕魚車があり、秋にはサケの捕獲風景を間近で見ることができます。

道の駅サーモンパーク千歳は農産物直売所や飲食店のほか、キッズ

スペースや屋外大型遊具があり家族連れでにぎわっています。

観光全般を取り巻く環境は、観光ニーズの多様化等で大きな変化の中にありますが、千歳市の交通アクセスの優位性と自然・農業・産業環境などの様々な観光資源を生かし、観光客受け入れのための環境の充実を図り地域資源の持続的な発展と魅力あふれる観光都市「千歳」の形成に努めています。

樽前山と風不死岳

支笏湖の桜

支笏湖湖水まつりの花火

支笏湖氷濤まつり

秋の支笏湖

美笛の滝

オコタンペ湖

支笏湖周辺マップ

ヤマセミ

アカゲラ

美笛キャンプ場

苔の洞門

※災害の影響により見学はできません。

189　国立公園支笏湖

(1) 支笏湖周辺の概要

支笏湖は、洞爺湖とともに昭和24（1949）年に国立公園に指定されています。支笏湖は公園の景観の中心をなすカルデラ湖であり、後志火山群の東端に生成されたカルデラは本来、最大径東西約15㎞・北約13㎞のほぼ円型をなしていましたが、南岸に風不死岳（1,103m）、北岸に恵庭岳（1,320m）が噴出し、長径13㎞・短径５㎞のほぼ東西に長いマユ型となっています。流入河川（通称：美笛川）、流出河川はともに千歳川で、支笏湖から流れ出た清流千歳川は東へと続き、まちに潤いをもたらしています。

支笏湖は湖面標高250mで最大水深は363.0m（秋田県田沢湖に次ぎ全国第２位）、平均水深265.4m、周囲約40㎞、面積約78.76㎢、湖水透明度17.5mです。

湖は春の新緑に始まり、ヒメマス（チップ）釣り、キャンプ、登山、サイクリング、紅葉で彩られる原始林等、多彩な季節の移り変わりがあり、湖畔にある温泉にも毎年多くの来遊者をみています。

交通も苫小牧市から25㎞、札幌市から50㎞と距離も近く、千歳市からは路線バスも運行しています。

観光課

(2) 風不死岳（1,103m）

風不死岳は、支笏湖の南岸に位置し、山の名はアイヌ語でフップ・ウシ（トドマツのあるところ）から由来しています。その名のとおり、山頂近くまでトドマツやエゾマツ、落葉広葉樹を交える森林に覆われているため、湖水の風景に四季折々の彩りを添えています。

観光課

(3) 樽前山（1,041m）

樽前山は、支笏湖の南岸に位置し、山の名はアイヌ語でオフイヌプリ（燃える山）、樽前の原名タオロマイ（高岸あるもの）から由来しています。頂上にはプリン型のドーム（溶岩円頂丘）があることで有名です。これは明治42（1909）年４月の大爆発の際、粘着性の強い酸性の溶岩を噴き出したため、遠くまで流れ出さずに火口近くに盛り上がったもので、高さ約130m最大直径は約450mもあります。樽前山には、以前にも小さなドームがありましたが明治７年の爆発で吹き飛んでしまい、現在のドームができました。僅かな時間にこのような溶岩丘を生じる現象は、西インド諸島のモンプレー火山（1902～1903年溶岩岩尖生成、現在は消滅）や洞爺湖畔の昭和新山（昭和18～20年生成）とともに世界的にも珍しく、学術的にも貴重なもので国立公園特別保護地区に指定されていますが、近年の火山活動の活発化により登山規制がなされています。

観光課

(4) 恵庭岳（1,320m）

恵庭岳は支笏湖の北岸に位置し、山の名はアイヌ語の「エ・エン・イワ」（頭のとがった岩山）から由来しています。支笏湖周辺では最も高い円錐型火山で頂上付近に東向きの火口があり、火口より東方に延長した深い亀裂がポロピナイ沢となって湖岸に達します。この亀裂には数箇所の噴気孔があります。ポロピナイから４㎞、徒歩で上り３時間、下り２時間30分で頂上からの眺望は支笏湖全景と日高山系・石狩平野・札幌などを望めますが、平成15

（2003）年十勝沖地震の影響により山頂部の一部が崩落し登山道への落石があり、第２見晴台（８合目と９合目の間に位置）から山頂までは登山規制がなされています。

観光課

(5) 紋別岳（866m）

麓が支笏湖温泉として展開しているこの山は、上り約２時間、下り約１時間半と比較的短時間で登ることができる山です。山頂には、通信用の鉄塔等が立っており、保守管理用の車道があります。
※一般車両は通行止めになっています。

観光課

(6) 苔の洞門

支寒内の唐沢（からさわ）にあるこの洞門は、1739年の樽前山大噴火の堆積物が浸食されてできた回廊状の地形で、その切り立った両岩壁に約80種類の蘚苔類（せんたい）が密生している様は見事な景観です。

圧倒的に広い面積を占めているのはエビゴケで、次いでタカネツボミゴケ、ジャゴケの順に大きな群落が見られます。この群落は適当な温度、湿度と日照量によって形成されたものとして学術的にも貴重です。2014年８月、日本蘚苔類学会「日本の貴重なコケの森」（日本のコケ100選）に認定されました。

なお、大雨災害による土砂崩れのため閉鎖となっています。

観光課

(7) 野鳥の森

野鳥に親しみながら、いろいろな野鳥やその生態について観察し、野鳥から多くのことを学ぶために開放された約100haの森林で支笏湖温泉から中モラップに至る国有林内にあります。野鳥の森の中には、観察のために約1,500mの歩道や、２棟の観察舎などが設けられています。

なお、歩道の崩落や倒木で一部通行止めとなっています。

観光課

(8) オコタンペ湖（特別保護地区）

北海道３大秘湖といわれるオコタンペ湖は、支笏湖ができた後に恵庭岳の噴出によりこの山の西北麓に生まれた周囲５㎞、湖面標高599m（支笏湖より351m高い）の小さな湖ですが、湖の西には黒々としたエゾマツ、トドマツの原始林に覆われた漁岳、小漁岳の山裾が迫ります。水の色はエメラルドグリーンで、早春の残雪、盛夏の深緑、また、秋の紅葉と四季折々の姿で湖面に彩りを添えているところは、まさに絶景で支笏洞爺国立公園最大の原始境との折り紙が付けられています。

なお、災害復旧工事のため通行止めとなっています。

観光課

(9) キャンプ場

ア　モラップキャンプ場

昭和33（1958）年市営野営場として道から移管を受けて開設し、平成９年度からは環境省が所管しています。山頂に溶岩ドームを形成した活火山樽前山を仰ぐこのキャンプ場は、支笏湖一の砂原として都会の喧騒を離れ自然に親しむキャンパーにとって絶好の憩いの場です。

開設期間　４月下旬～10月上旬

施　　設　フリーサイト
炊事場　トイレ　街灯　駐車場　管理棟

利用料金　（ア）貸テント　4,500円
（イ）キャンプ場管理費（１人１泊）大人 1,000円　小学生以上 700円
４歳以上（幼児）500円
（ウ）キャンプ場管理費（日帰り・１人）　大人　700円
小学生以上　500円
４歳以上（幼児）　350円
※平成30年７月１日より料金改定

イ　美笛キャンプ場

通称・美笛川河口付近にあり、道内でも数少ない車の乗り入れができるオートキャンプ場として､昭和52（1977）年７月に開設されています。湖と川と森林に囲まれ、釣り、散策等自然に親しむキャンパーにとって絶好の憩いとなっています。

開設期間　５月初旬～10月下旬

施　　設　管理棟　トイレ　炊事場　街灯

利用料金　（ア）貸テント（家族用１張）　1,500円
（イ）キャンプ場使用料（１人１泊）　大人1,000円　小中学生　500円
未就学児童（４歳以上）200円
（ウ）キャンプ場使用料（日帰り・１人）
大人 500円　小中学生　200円
未就学児童（４歳以上）100円

観光課

190　王子製紙千歳川発電所

支笏湖より流れ出る千歳川の水を落ち口付近で調整し、暗渠（あんきょ）送水路により水溜に誘導、第１発電所へ通します。第１発電所と、その下流約10㎞の間に４か所の発電所を設け出力最大合計37,000kw、平常17,850kwの電力を発生させ、苫小牧工場へ送電しています。

第１発電所は明治43年に完成しましたが、５か所の発電所用建設資材や製紙原料輸送のため苫小牧工場との間に軽便鉄道が通っていました。現在、千歳川落ち口に鉄橋が残り、鉄道跡はサイクリングロードとして活用されています。

第１発電所水溜付近は、春は桜、秋は紅葉と四季それぞれの風景は美しく、谷底を打つ水のこだまと飛び交う小鳥のさえずりなど、訪れた人を魅了します。

発電量などについては**第10章　93　王子製紙千歳川発電所**を参考にしてください。

王子製紙苫小牧工場

191　捕魚車（通称インディアン水車）

ＪＲ千歳駅から東へ約１㎞の距離にある道の駅サーモンパーク千歳に隣接して設置されています。この捕魚車は、（一社）日本海さけ・ます増殖事業協会が遡上するサケを捕獲するために設置しているもので、通称インディアン水車と呼ばれ、千歳の秋の風物詩として知られています。毎年秋になると千歳川を梁（やな）でせき止め、１か所だけ魚道を開けておき、その魚道をそ上するサケを水車で捕獲します。

明治29（1896）年、青葉公園下付近に設置されたのが最初で、その翌年に根志越（現在の花園）に移設され、その後千歳川護岸工事に伴い、現在のサケのふるさと千歳水族館側に設置されました。

捕魚車は、伊藤一隆が米国西海岸のコロンビア川水系で実見したもので、ここで捕獲されたサケは国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所に運ばれ採卵受精し、ふ化した稚魚は翌春、千歳川に放流され３～５年で回帰します。千歳事業所では、平成６（1994）年に明治時代のふ化室を再現した「千歳さけますの森さけます情報館」が建設されサケの一生を学習することができます。

観光課

192　道の駅サーモンパーク千歳

サーモンパークを道内で85番目の道の駅として登録したものです。

サーモンパーク内には、淡水では国内最大級の巨大水槽を有し、四季折々に変化する千歳川の中を観察できる水中観察ゾーンでサケをはじめとした様々な淡水魚の生態を観察できる「サケのふるさと千歳水族館」があり、秋には千歳川で「インディアン水車」と呼ばれる水車を利用したサケの捕獲風景を見ることができます。

道の駅では、飲食、物販、案内コーナーなどを集約した地域振興施設の建設や、利用しやすい駐車場の整備などを行い、平成27年８月８日にリニューアルオープンしました。

観光課

193　サケのふるさと千歳水族館

（1）施設概要

所 在 地　花園２丁目　サーモンパーク千歳内
構　　造　鉄筋コンクリート造　地上３階地下１階
面　　積　建築 1,511㎡　延床 2,992㎡
開　　館　平成６年９月10日
利用期間　通常　午前９時～午後５時
※年末年始除く（またメンテナンスのため休館している場合あり）
主要施設　地階　世界の淡水魚コーナーや、千歳川の水中を直接見ることができる水中観察ゾーン
１階　北方圏の淡水魚を展示する大・中・小水槽・支笏湖大水槽
２階　展示室・学習室

（公財）千歳青少年教育財団

（2）利用状況の推移

年　　度	27	28	29	30	元
利用者数	291,850	259,666	254,851	254,941	**258,376**

※平成27年度は７月25日～平成28年３月31日までの利用状況
（公財）千歳青少年教育財団

194　支笏湖遊覧船舶の概要

船　　舶　　名	トン数	出力（KW）	旅客定員
客船エメラルド（ＦＲＰ）	18	117.68	50
客船サファイア（ＦＲＰ）	17	117.68	50

1　令和２年４月１日現在
北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所

195　観光入込客数

（1）市内観光入込客数の推移

（単位　千人）

年　度	観光客入込数			左の内訳		宿泊客延べ数（千人泊）	
	計	道外	道内	日帰り客数	宿泊客数		うち訪日外国人
29	5,240.5	1,514.1	3,726.4	4,961.3	279.2	336.5	159.0
30	4,977.2	1,430.5	3,546.7	4,686.8	290.4	353.8	208.4
元	**4,542.5**	**1,309.8**	**3,232.7**	**4,248.3**	**294.2**	**351.7**	**215.9**

観光課

（2）市街地観光入込客数の推移

（単位　千人）

年　度	観光客入込数			左の内訳		宿泊客延べ数（千人泊）
	計	道外	道内	日帰り客数	宿泊客数	
29	4,278.5	1,256.9	3,021.6	4,132.8	145.7	179.8
30	3,962.7	1,172.2	2,790.5	3,803.4	159.3	199.2
元	**3,557.3**	**1,054.5**	**2,502.8**	**3,395.7**	**161.6**	**199.1**

観光課

（3）支笏湖観光入込客数の推移

（単位　千人）

年　度	観光客入込数			左の内訳		宿泊客延べ数（千人泊）
	計	道外	道内	日帰り客数	宿泊客数	
29	962.0	257.2	704.8	828.5	133.5	156.7
30	1,014.5	258.3	756.2	883.4	131.1	154.6
元	**985.2**	**255.3**	**729.9**	**852.6**	**132.6**	**152.6**

観光課

196　市内宿泊施設の概要

地　　区	施設数	客室数	収容人員
市街地・周辺地区	21	2,676	4,482
支笏湖地区	11	244	903

1　令和２年５月１日現在
観光課

197　ホテル・旅館の概況（地区別）

(1) 市街地・周辺地区

ホテル・旅館名	電　話	客室数	収容人員
ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳	２２－２３１１	438	689
ホテルルートイン千歳駅前	４０－１１００	330	490
ホテルグランテラス千歳	２２－１１２１	256	408
ベストウェスタンプラスホテルフィーノ千歳	４０－００３３	154	364
ＪＲイン千歳	２５－８３５７	185	364
ポルトムインターナショナル北海道	４５－６０１２	171	342
エアターミナルホテル	４５－６６７７	188	278
クイーンズホテル千歳	２６－０００１	153	245
千歳ステーションホテル	４９－３０００	138	201
ホテルウイングインターナショナル千歳	２４－２１１１	152	182
千歳第一ホテル	２７－２０００	119	149
ホテルエリアワン千歳	２６－１１５６	55	126
千歳エアポートホテル	２６－１１５５	87	124
Ａｉｒ　Ｈｏｓｔｅｌ　ＬＣＣ	２２－３６６６	33	109
ホテルかめや	２３－２００２	52	103
ホテルリブマックス千歳	２３－８１００	49	89
トイロンズホテル	２２－４１００	40	88
ビジネスホテルホーリン	２３－１１６６	34	54
ピエス・チトセ・エスワン	0120-949-484	26	45
新千歳空港温泉	４６－４１２６	11	22
松原温泉旅館（泉郷）	２９－２５３６	5	10

1　令和２年５月１日現在
2　ホテル等名は収容人員順で掲載した
3　**資料２（2）ア**に再掲
観光課

(2) 支笏湖周辺

ホテル・旅館名	電話	客室数	収容人員
丸駒温泉旅館	２５－２３４１	56	260
しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の謌	２５－２２１１	53	197
支笏湖ユースホステル	２５－２３１１	18	108
しこつ湖鶴雅別荘碧の座	２５－６００６	25	96
休暇村支笏湖	２５－２２０１	39	88
支笏湖第一寶亭留翠山亭	２５－２３２３	29	73
レイクサイドヴィラ翠明閣	２５－２１３１	8	20
モーラップ樽前荘（ライダーハウス）	２５－２９０２	8	30
ラップランド（民宿）	２５－２２３９	3	14
支笏荘（民宿）	２５－２７１８	3	11
ログベアー（民宿）	２５－２７３８	2	6

1　令和２年５月１日現在
2　**資料２（2）イ**に再掲
観光課

198　温泉

温泉名	開湯	住所	泉質	効能
丸駒温泉	大正 4	幌美内	塩化物泉 （含土類・石膏－食塩泉）	神経痛、関節痛、筋肉痛、冷え性、慢性婦人病等
松原温泉	昭和44	泉郷	含硫黄ナトリウム－塩化物泉 （ナトリウム・塩化物泉）	リウマチ性疾患、神経痛、皮膚病等
新千歳空港温泉	平成23	美々	ナトリウム・塩化物泉 （弱アルカリ性温泉 Ph8）	神経痛、関節痛、筋肉痛、冷え性、疲労回復
支笏湖温泉	平成26	支笏湖温泉 （第二号泉源）	ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物温泉 （低張性弱アルカリ性低温泉）	神経痛、関節痛、筋肉痛、冷え性、虚弱児童、慢性婦人病等

1　令和２年５月１日現在
2　温泉名は主なものを開湯順で掲載した
観光課

スカイ・ビア＆ YOSAKOI 祭

航空祭

千歳 JAL 国際マラソン

捕魚車「インディアン水車」
とサケのふるさと千歳水族館

清流千歳川噴水フェスティバル

あらまし

民主主義が健全に発展していくためには、その基盤ともいえる選挙が正しく行われることが不可欠であり、そのためには、市民一人ひとりが積極的に投票し、政治参加をすることが必要です。

選挙に参加するためには、選挙人名簿に登録されていることが条件となりますが、令和２年３月１日現在の選挙人名簿登録者数は81,107人で、選挙執行当日は市内30か所に投票所を設置しています。

令和元年７月21日に執行された第25回参議院議員通常選挙では、選挙区の投票率が50.70％と前回の通常選挙（平成28年）を3.84ポイント下回る結果となりました。

近年の選挙では、全国における投票率の低下傾向が懸念されていますが、千歳市では全投票者数に占める期日前投票者数の割合が高い状況の中で、選挙管理委員会では各支所に設置している臨時期日前投票所のほか、令和元年７月の参議院議員通常選挙から、日本航空専門学校に臨時期日前投票所を設置し、より投票しやすい環境づくりに努めています。

今後につきましても、市民の政治や選挙への関心が投票率へつながるよう、引き続き投票期日の周知や期日前投票制度をはじめとする各種投票制度の啓発に努めるとともに、公募による投票立会人、投開票事務従事者の追加登録に加え、満18歳になった方へ初めて選挙人名簿に登録された旨の登録通知を行います。

市議会は、市の予算や条例などの重要な事項を審議し、決定する機関です。

議員の数は、条例改正により、平成29年５月執行の市議会議員選挙以降は、これまでの25名から２名削減し、23名となっています。

市議会には、定例会（年４回）と必要に応じて開く臨時会があります。市議会の最終的な決定（議決）は、本会議で行いますが、効率的・専門的な審議を行うために、常任委員会や特別委員会を設置しています。

令和２年４月１日現在、千歳市では特別職のほか市長部局（含市立千歳市民病院）、教育委員会、水道局など計1,057人の職員で、市民主体・市民協働の都市経営、分かりやすく・開かれた市政、「第６期総合計画」の着実な推進により「みんなで生き生き 活力創造都市 ちとせ」を目指しています。なお、「第６期総合計画」の計画期間は令和２年度までであることから、令和３年度を始期とする「第７期総合計画」の策定を進めています。

千歳市では「広報ちとせ」、「市民カレンダー」を全戸に配布し、市政の状況をお知らせするとともに、広く市民ニーズを把握するため「市長への手紙」や市のホームページで「市長へのポスト」を実施しているほか、パブリックコメントや広報広聴モニター制度を活用し、地域における市民の声を聴く取組みを進めています。

透明性の高い開かれた市政をより一層進展させるため、情報公開制度と個人情報保護制度を運用し、受付から公開・開示までを全庁統一した窓口で対応しております。また、市政情報コーナー及び行政資料室では、各種計画書を始め、「新千歳市史」や「要覧ちとせ」などの行政資料を閲覧することができます。

マイナンバーカード（個人番号カード）を利用して全国のコンビニエンスストアで証明書を取得できるコンビニ交付サービスについて、平成29年２月からは住民票などの証明書を、平成30年３月からは戸籍証明書について、取扱いを開始しました。

コンビニエンスストアにおける収納サービスでは、全道の自治体に先駆け開始した、水道料金・下水道使用料の納付をはじめ、平成26年度からは市道民税などについてもその取扱いを開始し、平成29年度からは市道民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、平成30年度からは水道料金・下水道使用料について、クレジットカードによる収納サービスを開始し、より利便性を充実させた行政サービスを提供しています。

199　選挙人名簿登録者数の推移

年	総　　数	男	女
28	77,062	38,904	38,158
29	79,844	40,355	39,489
30	80,327	40,614	39,713
31	80,598	40,764	39,834
2	**81,107**	**41,096**	**40,011**

1　各年３月１日現在
選挙管理委員会事務局

200　投票区別選挙人名簿登録者数

投　票　区（投票所）	区　　域	選挙人名簿登録者数（人）		
		男	女	計
第１（総合福祉センター）	東雲町、朝日町	682	637	1,319
第２（千歳小学校）	本町、真々地、真町、平和、平和防衛省所有、泉沢（一部）	1,797	1,015	2,812
第３（千歳中学校）	清水町、幸町、千代田町、栄町	1,332	1,472	2,804
第４（緑小学校）	錦町、春日町、緑町、大和	2,012	2,121	4,133
第５（北進小中学校）	北栄	697	724	1,421
第６（北新コミュニティセンター）	新富	1,388	1,543	2,931
第７（北桜コミュニティセンター）	北斗、北信濃724番地	1,510	1,151	2,661
第８（信濃小学校）	信濃、富士、北信濃（一部）	2,355	2,212	4,567
第９（桜木小学校）	北信濃（一部）、上長都（一部）、自由ヶ丘、桜木	2,241	2,305	4,546
第10（鉄東コミュニティセンター）	青葉丘、青葉、流通１丁目	1,060	988	2,048
第11（青葉中学校）	住吉、東郊、根志越（一部）、豊里	2,598	2,454	5,052
第12（日の出小学校）	日の出丘、旭ヶ丘１・４丁目、日の出、流通２丁目（一部）	1,099	1,095	2,194
第13（祝梅小学校）	旭ヶ丘２～３丁目、梅ヶ丘、流通3丁目（一部）、弥生１・３丁目、寿１～２丁目	1,634	1,690	3,324
第14（祝梅コミュニティセンター）	祝梅（一部）、弥生２丁目、寿３丁目、根志越（一部）、流通２～３丁目（一部）	1,993	683	2,676
第15（末広中区町内会館）	末広	1,191	1,410	2,601
第16（花園コミュニティセンター）	稲穂、花園	1,551	1,739	3,290
第17（高台小学校）	富丘１～２丁目、高台	1,359	1,647	3,006
第18（富丘コミュニティセンター）	富丘３～４丁目、北信濃（一部）、あずさ	1,508	1,706	3,214
第19（北陽小学校）	北光、北陽、長都駅前１～３丁目、北信濃（一部）、上長都（一部）	2,731	2,922	5,653
第20（勇舞中学校）	勇舞、長都駅前４・５丁目、みどり台北、みどり台南、北信濃（一部）、長都（一部）、上長都（一部）、都（一部）	2,855	2,945	5,800
第21（千歳第二小学校）	祝梅（一部）、根志越（一部）、幸福、清流	1,874	1,963	3,837
第22（桂木町内会館）	蘭越、桂木、新星	913	851	1,764
第23（向陽台小学校）	若草、白樺	1,360	1,496	2,856
第24（泉沢小学校）	泉沢（一部）、柏陽、文京、里美、福住	2,746	2,649	5,395
第25（北コミュニティセンター）	都（一部）、長都（一部）、釜加	147	139	286
第26（中央コミュニティセンター）	中央	41	55	96
第27（泉郷公民館）	泉郷	91	79	170
第28（農民研修センター）	幌加、協和、新川、東丘	173	159	332
第29（駒里公民館）	駒里、美々、柏台、柏台南	101	91	192
第30（支笏湖市民センター）	支笏湖温泉、幌美内、モラップ、藤の沢、奥潭、支寒内、水明郷、美笛	57	70	127
合　　計		41,096	40,011	81,107
在外選挙人名簿に登録されている在外選挙人の数		7	16	23

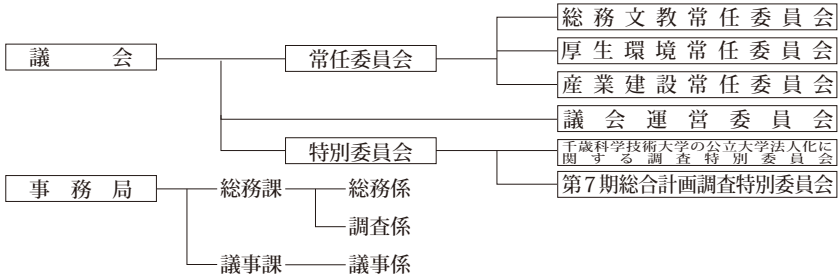
1　令和２年３月１日現在
選挙管理委員会事務局

201　各種選挙投票概要

選挙名	執行年月日	当日有権者数（人）			投票者数（人）			投票率（%）
		総数	男	女	総数	男	女	
千歳市議会議員選挙	21年5月31日	72,142	36,445	35,697	44,758	22,895	21,863	62.04
衆議院小選挙区選出議員選挙	21年8月30日	74,091	37,556	36,535	54,646	28,270	26,376	73.76
衆議院比例代表選出議員選挙	21年8月30日	74,091	37,556	36,535	54,641	28,268	26,373	73.75
最高裁判所裁判官国民審査	21年8月30日	74,061	37,545	36,516	52,174	26,984	25,190	70.45
参議院選挙区選出議員選挙	22年7月11日	74,492	37,767	36,725	47,414	24,858	22,556	63.65
参議院比例代表選出議員選挙	22年7月11日	74,492	37,767	36,725	47,413	24,858	22,555	63.65
衆議院北海道第5区選出議員補欠選挙	22年10月24日	74,676	37,817	36,859	38,655	20,655	18,000	51.76
北海道知事選挙	23年4月10日	73,635	37,203	36,432	41,752	22,179	19,573	56.70
北海道議会議員選挙	23年4月10日	73,504	37,099	36,405	41,125	21,829	19,296	55.95
千歳市長選挙	23年4月24日	無投票						
千歳市議会議員補欠選挙	23年4月24日	73,280	36,942	36,338	21,055	12,602	8,453	28.73
衆議院小選挙区選出議員選挙	24年12月16日	75,535	38,117	37,418	44,551	23,610	20,941	58.98
衆議院比例代表選出議員選挙	24年12月16日	75,535	38,117	37,418	44,545	23,609	20,936	58.97
最高裁判所裁判官国民審査	24年12月16日	75,513	38,109	37,404	42,710	22,558	20,152	56.56
千歳市議会議員選挙	25年5月26日	無投票						
参議院選挙区選出議員選挙	25年7月21日	76,647	38,837	37,810	41,110	21,838	19,272	53.64
参議院比例代表選出議員選挙	25年7月21日	76,647	38,837	37,810	41,107	21,836	19,271	53.63
衆議院小選挙区選出議員選挙	26年12月14日	76,501	38,721	37,780	43,716	23,221	20,495	57.14
衆議院比例代表選出議員選挙	26年12月14日	76,501	38,721	37,780	43,712	23,218	20,494	57.14
北海道知事選挙	27年4月12日	74,884	37,690	37,194	43,028	22,222	20,806	57.46
北海道議会議員選挙	27年4月12日	74,759	37,594	37,165	42,371	21,835	20,536	56.68
千歳市長選挙	27年4月26日	無投票						
千歳市議会議員補欠選挙	27年4月26日	74,599	37,488	37,111	25,870	14,021	11,849	34.68
衆議院北海道第5区選出議員補欠選挙	28年4月24日	77,008	38,863	38,145	40,582	21,209	19,373	52.70
参議院議員通常選挙	28年7月10日	79,274	40,158	39,116	43,237	22,758	20,479	54.54
千歳市議会議員選挙	29年5月28日	77,394	38,873	38,521	37,954	19,452	18,502	49.04
衆議院小選挙区選出議員選挙	29年10月22日	79,940	40,362	39,578	46,004	23,918	22,086	57.55
衆議院比例代表選出議員選挙	29年10月22日	79,940	40,362	39,578	46,004	23,918	22,086	57.55
北海道知事選挙	31年4月7日	78,627	39,613	39,014	43,469	22,032	21,437	55.29
北海道議会議員選挙	31年4月7日	78,439	39,485	38,954	42,465	21,487	20,978	54.14
千歳市長選挙	31年4月21日	無投票						
参議院選挙区選出議員選挙	元年7月21日	81,538	41,408	40,130	41,339	21,371	19,968	50.70
参議院比例代表選出議員選挙	元年7月21日	81,538	41,408	40,130	41,339	21,370	19,969	50.70

選挙管理委員会事務局

202　市議会機構図



1　令和2年4月1日現在
議会事務局

203　議員定数および常任委員会別委員定数

議員定数	常任委員会別委員定数		
	総務文教	厚生環境	産業建設
23	9（8）	7	7

1　令和２年４月１日現在
2　議長は総務文教常任委員会委員を辞退
議会事務局

204　案件別審議概要（平成31年１月～令和元年12月）

区分	開会回数	会期日数	本会議日数	案件								
				総数	議案	報告	諮問・同意	決議	意見書	請願・陳情	認定	調査
総数	6	96	28	158	81	42	10	2	9	4	10	－
定例会	4	94	26	152	79	39	9	2	9	4	10	－
臨時会	2	2	2	6	2	3	1	－	－	－	－	－

1　案件は議決時点による（請願・陳情は継続審査中を含む）
議会事務局

205　歴代市議会議長

歴代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	滝川亮次	昭和33年５月１日	昭和34年４月30日
2代	吉田信一	34年５月１日	44年６月19日
3代	中川英男	44年６月23日	45年１月31日
4代	鈴木助雄	45年２月24日	49年６月24日
5代	村上茂治	49年６月24日	52年６月19日
6代	大矢秀計	52年６月21日	56年６月19日
7代	瀧澤榮八	56年６月23日	60年６月19日
8代	山口吉弘	60年６月25日	平成元年６月19日
9代	園田七五三一	平成元年６月26日	３年６月24日
10代	高野功	３年６月25日	５年６月19日
11代	黒木晃	５年６月29日	５年８月３日
12代	山越勇美	５年８月３日	６年３月14日
13代	山口貞四郎	６年３月14日	９年６月19日
14代	梅尾要一	９年６月27日	11年６月17日
15代	金等	11年６月17日	13年６月19日
16代	梅尾要一	13年６月29日	15年１月15日
17代	中山竹生	15年１月22日	15年６月19日
18代	藤田弘	15年６月19日	15年９月18日
19代	細見正美	15年９月19日	17年６月19日
20代	山本芳郎	17年６月30日	19年６月７日
21代	霍田隆良	19年６月７日	21年６月19日
22代	石川一郎	21年７月29日	23年６月６日
23代	本宮輝久	23年６月６日	25年６月19日
24代	高秀政博	25年６月28日	27年６月３日
25代	香月正	27年６月３日	29年６月19日
26代	古川昌俊	29年６月28日	令和元年６月13日
27代	佐々木雅宏	令和元年６月13日	在任中

1　令和２年４月１日現在
議会事務局

206　市議会議員名簿

氏　　名	会　　派	住　　所	備　　考
岩　満　順　郎	自民党議員会	千歳市北栄２丁目６番10－２号	
飯　田　盛　好	自民党議員会	千歳市桂木４丁目２番21号	
大　山　益　巳	自民党議員会	千歳市桜木５丁目４番20－１号	
今　野　正　恵	公明党議員団	千歳市桜木３丁目２番４号	
平　川　美由紀	公明党議員団	千歳市弥生３丁目７番１号	
仲　山　正　人	公明党議員団	千歳市長都駅前２丁目２番９号	
宮　原　伸　哉	無所属	千歳市北斗３丁目５番７号	副議長
末　村　友　幸	自民党議員会	千歳市春日町３丁目３番６号	
山　口　康　弘	自民党議員会	千歳市清流１丁目７番１号	
松　倉　美　加	自民党議員会	千歳市春日町５丁目２番７号	
小　林　千代美	ちとせの未来を創る会	千歳市信濃１丁目14番25－404号	
北　山　敬　太	ちとせの未来を創る会	千歳市末広３丁目８番16号	
松　隈　早　織	ちとせの未来を創る会	千歳市桂木６丁目６番３号	
渡　辺　和　雄	ちとせの未来を創る会	千歳市花園７丁目２番18号	
五十嵐　桂　一	自民党議員会	千歳市清水町１丁目23番地の２	監査委員
岡　部　いづみ	自民党議員会	千歳市末広４丁目７番８－１号	
山　崎　昌　則	自民党議員会	千歳市豊里３丁目６番16号	
香　月　　正	自民党議員会	千歳市桜木２丁目１番２号	
古　川　昌　俊	自民党議員会	千歳市自由ケ丘１丁目１番11号	
坂　野　　智	自民党議員会	千歳市高台５丁目１番22号	
落　野　章　一	無所属	千歳市栄町１丁目20番地の36	
吉　谷　　徹	日本共産党	千歳市信濃３丁目29番15－701号	
佐々木　雅　宏	無所属	千歳市幌加824番地の105	議長

1　令和２年４月１日現在
2　氏名は議席番号順に掲載した
議会事務局

207　歴代市長

歴　代	氏　名	就任年月日	退任年月日
初　代	山　崎　友　吉	昭和33年７月１日	昭和34年４月29日
2　代	米　田　忠　雄	34年４月30日	50年３月22日
3　代	東　峰　元　次	50年４月27日	62年４月26日
4　代	梅　沢　健　三	62年４月27日	平成３年４月26日
5　代	東　川　　孝	平成３年４月27日	15年４月26日
6　代	山　口　幸太郎	15年４月27日	在　任　中

職員課

208　歴代助役

歴　代	氏　名	就任年月日	退任年月日
初　代	高　橋　為　次	昭和33年７月１日	昭和34年５月２日
2　代	神　藤　為五郎	34年７月10日	38年７月９日
3　代	東　峰　元　次	38年10月１日	50年２月17日
4　代	岩　瀬　正　人	50年５月29日	57年11月８日
5　代	菅　原　文　彌	58年５月17日	62年５月16日
6　代	杉　森　一　身	62年５月17日	平成３年５月16日
7　代	小　松　　裕	平成３年５月17日	７年５月16日
8　代	松　岡　信　之	７年５月17日	11年５月16日
9　代	鈴　木　　修	11年５月17日	16年３月31日
10　代	川　端　正　裕	16年４月１日	19年３月31日

1　地方自治法の改正により、平成19年４月から助役制度に代えて副市長制度が設けられた
職員課

209　歴代副市長

歴　代	氏　名	就任年月日	退任年月日
初　代	川　端　正　裕	平成19年４月１日	平成19年４月30日
2　代	駒　澤　文　雄	19年５月１日	平成27年４月30日
3　代	横　田　隆　一	27年５月１日	在　任　中

職員課

210　歴代収入役

歴　代	氏　名	就任年月日	退任年月日
初　代	新　谷　喜久夫	昭和33年７月１日	昭和54年12月15日
2　代	富　永　　正	54年12月16日	62年12月15日
3　代	東　川　　孝	62年12月16日	平成３年１月16日
4　代	田　中　　哲	平成３年２月22日	７年２月21日
5　代	瀬　川　　賢	７年５月17日	13年３月31日
6　代	太　田　正　孝	13年４月１日	16年３月31日
7　代	野　元　和　光	16年４月１日	19年３月31日

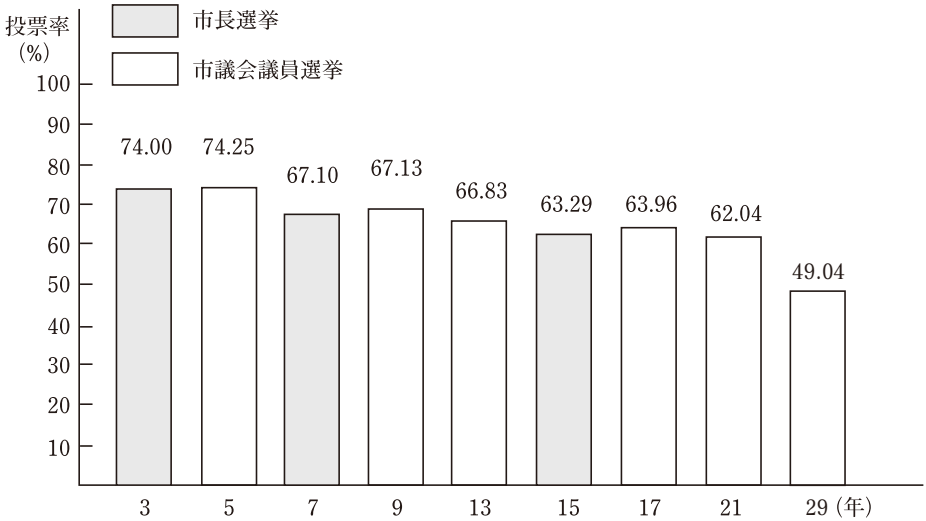
1　地方自治法の改正により、平成19年4月から収入役制度が廃止された
職員課

211　監査委員

職　名	氏　名	住　所	選出区分	選任年月日
委　員	千　葉　英　二	春日町１丁目４番18-１号	識見者	平成30年４月１日
	五十嵐　桂　一	清水町１丁目23番地の２	議　会	令和元年６月13日

1　令和２年４月１日現在
監査事務局

身近な選挙投票率



選挙管理委員会事務局

212　行政委員会

(1) 教育委員会

職　名	氏　　名	住　　所	職　業	選　任　年　月　日
教育長	佐々木　　智	信濃３丁目14－12	公務員	令和元年10月１日(新)
職務代理者	佐々木　義　朗	支笏湖温泉番外地	会社役員	平成18年10月１日(再)
委　　員	荒　井　由紀恵	清流６丁目５－21	無　　職	27年10月１日(再)
	橋　場　正　人	幌加1181－３	農　　業	28年10月１日(新)
	吉　村　恭　子	信濃４丁目１－12	団体職員	29年10月１日(新)

1　令和２年４月１日現在
教育委員会企画総務課

(2) 選挙管理委員会

職　名	氏　　名	住　　所	職　業	選　任　年　月　日
委員長	北　村　建　興	上長都382－413	会社役員	平成20年３月30日（再）
職務代理者	荒　　洋　一	旭ヶ丘４丁目７－２	団体役員	平成31年２月１日（再）
委　　員	山　下　早　苗	清流６丁目５－22	無　　職	令和２年３月30日（新）
	鶴　　友　助	桜木３丁目８－７	会社員	令和２年３月30日（新）

1　令和２年４月１日現在
選挙管理委員会事務局

(3) 公平委員会

職名	氏名	住所	職業	選任年月日
委員長	川辺　豊	勇舞５丁目６番13号	大学教授	平成29年７月３日
委員	粟崎尚子	栄町１丁目３番地の２	会社役員	30年12月17日(再)
	佐藤大吾	幸町６丁目18番地の２－703号	司法書士	令和元年６月30日

1　令和２年４月１日現在
公平委員会事務局

(4) 固定資産評価審査委員会

職名	氏名	住所	職業	選任年月日	備考
委員長	河野宏之	信濃１丁目７－９	団体職員	令和元年12月22日(再)	
委員	奥村　篤	札幌市中央区南２条東１丁目１-１１第３泊ビル601号室	不動産鑑定士	平成30年12月21日(新)	
	井上英幸	信濃２丁目28－３	会社役員	平成29年７月21日(再)	

1　令和２年４月１日現在
納税課

(5) 農業委員会

職名	氏名	住所
会長	長島信行	新川821－70
職務代理者	平沖道徳	根志越2505－4
委員	宮澤徳夫	都271－13
	三溝健雄	北陽1丁目12－1
	登坂英樹	泉郷472－6
	平岡　博	長都99－5
	今　鉄雅	幌加502－1
	片桐好英	幌加825－24
	樋口　司	祝梅436－1
	川端智之	北陽4丁目6－16

職名	氏名	住所
委員	田村正司	協和1943－22
	遠藤義博	中央2524－2
	鈴木弘樹	泉郷78－18
	清水利一	東丘1200－9
	平岡日出男	勇舞5丁目9－3
	黒澤譲治	東丘819－22
	藤田勝久	稲穂3丁目7－16
	中村由美子	駒里2280－2
	山形繁雄	釜加55－9
	高橋　正	文京4丁目5－5

1　令和２年７月20日現在
農業委員会事務局

213　市組織図・職員数

市　長

副市長

- 企画部　50
  - 次長　48
    - 企画課　7
      - 企画調整係
      - 行政評価係
      - 主査（長期総合計画策定担当）
    - 主幹（政策推進担当）　5
      - 主査（政策推進担当）
      - 主査（シティセールス戦略担当）
      - 〈北海道移住交流促進協議会派遣〉
    - 市民協働推進課　4
      - 市民協働推進係
      - 男女共同参画推進係
    - まちづくり推進課　7
      - 都市計画係
      - 開発指導係
    - 主幹（交通政策担当）　4
      - 主査（交通政策担当）
    - 空港政策課　6
      - 空港調整係
      - 空港政策係
      - 主査（空港周辺対策担当）
      - 〈国土交通省派遣〉
    - 基地政策課　3
      - 基地政策係
      - 基地調整係
    - 秘書課　3
      - 秘書係
    - 広報広聴課　4
      - 広報係
      - 広聴係
    - 主幹（アイヌ政策推進担当）1
    - 公立大学政策課　3
      - 総務係
      - 財務係
    - 主幹（大学施設整備担当）
      - 主査（大学施設整備担当）
  - 部付次長（公立千歳科学技術大学派遣）1

- 総務部　84
  - 次長（総務・財務担当）　58
    - 総務課　10
      - 総務係
      - 法制係
      - 情報公開係
      - 文書統計係
      - 車両管理係
    - 危機管理課　6
      - 渉外係
      - 防災・危機対策係
    - 参事（危機管理担当）
    - 防災学習交流施設
      - 防災学習交流施設係
    - 契約管財課　7
      - 契約係
      - 管財係
    - 財政課　7
      - 財政係
      - 財政調整係
    - 税務課　19
      - 課税管理係
      - 市民税係
      - 土地係
      - 家屋係
    - 納税課　8
      - 納税係
      - 主査（特別整理担当）
  - 次長（組織・人事担当）　25
    - 職員課　14
      - 人事係
      - 主査（人事戦略担当）
      - 人材育成係
      - 厚生係
      - 〈東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会派遣〉
      - 〈指宿市派遣〉
    - 主幹（職員健康管理担当）1
    - 行政管理課　8
      - 行政経営係
      - 情報政策係
      - 情報システム係
    - 主幹（働き方改革推進担当）1
      - 主査（働き方改革推進担当）

- 市民環境部　74
  - 次長　54
    - 市民生活課　10
      - 市民生活係
      - 生活環境係
      - 防犯・交通安全係
    - 市民課　9
      - 市民係
      - 年金係
    - 主幹（個人番号カード担当）2
    - 国保医療課　20
      - 国保給付係
      - 国保料係
      - 医療助成係
      - 収納係
    - 環境課　9
      - 環境計画係
      - 環境保全係
      - 自然環境係
    - 向陽台支所　1
    - 東部支所　1
    - 支笏湖支所　1
  - 環境センター　19
    - 廃棄物管理課　8
      - 総務係
      - 建設計画係
      - 施設係
    - 廃棄物対策課　8
      - 廃棄物対策係
      - 資源循環推進係
  - 参事（道央廃棄物処理組合派遣）
    - 参事補（道央廃棄物処理組合派遣）
  - 主幹（道央廃棄物処理組合派遣）2
    - 主査（道央廃棄物処理組合派遣）

- 会計管理者　9
  - 会計室　8
    - 会計課　8
      - 出納係
      - 審査係

- 議　会
  - 事務局　9
    - 次長　8
      - 総務課　3
        - 総務係
        - 調査係
      - 議事課　4
        - 議事係

- 選挙管理委員会
  - 事務局　3
    - 選挙課　3
      - 管理係
      - 選挙係

- 監査委員
  - 事務局　4
    - 監査課　2
      - 監査係
    - 主幹（技術担当）　1

- 保健福祉部　86
  - 総合保健センター　1
  - 次長（福祉・救急医療担当）55
    - 福祉課　22
      - 総務係
      - 保護１係
      - 保護２係
      - 生活支援係
    - 高齢者支援課　15
      - 高齢福祉係
      - 介護保険係
      - 介護認定係
      - 地域支援係
    - 障がい者支援課　9
      - 障がい福祉係
      - 障がい者認定係
      - 自立支援係
    - 救急医療課　8
      - 休日夜間・急病センター　救急医療係
      - 看護係
  - 次長（保健担当）　29
    - 健康づくり課　7
      - 管理係
      - 健康企画係
    - 母子保健課　12
      - 母子保健係
      - 母子支援係
    - 市民健康課　9
      - 市民健康係
      - 特定健診係

- 産業振興部　39
  - 次長　24
    - 商業労働課　6
      - 商業振興係
      - 労政係
      - 主査（商業振興プラン担当）
    - 公設卸売市場　2
      - 管理係
    - 農業振興課　8
      - 調整計画係
      - 農産係
      - 畜産係
    - 農村整備課　6
      - 耕地林務係
      - 施設係
    - 主幹（産業政策担当）　1
      - 主査（産業政策担当）
  - 産業支援室　14
    - 企業振興課　6
      - 企業振興係
      - 企業誘致係
    - 科学技術振興課　2
      - 科学技術振興係
    - 開発振興課　5
      - 開発振興係
      - 開発工事係

- こども福祉部　74
  - 次長　73
    - こども政策課　13
      - こども政策係
      - 保育係
      - 給付係
    - こども家庭課　6
      - こども家庭係
      - 児童相談係
    - 子育て総合支援センター　8
      - 児童支援係
      - 主査（児童指導担当）
      - ちとせっこどもセンター係
      - げんきっこどもセンター係
    - 主幹（児童館等運営調整担当）1
      - 主査（児童館等運営調整担当）
    - 認定こども園つばさ　15
      - 認定こども園つばさ副園長
    - 認定こども園ひまわり　14
      - 認定こども園ひまわり副園長
    - こども療育課　15
      - 療育給付係
      - 相談支援係
      - 療育係
      - 主査（療育指導担当）

- 公平委員会
  - 事務局
    - 書記

- 農業委員会
  - 事務局　5
    - 管理課　5
      - 企画振興係
      - 農地係

- 固定資産評価審査委員会
  - 書記

- 観光スポーツ部　22
  - 次長　21
    - 交流推進課　3
      - 交流推進係
      - 国際交流係
    - 観光課　9
      - 観光企画係
      - 観光事業係
      - 水産振興係
    - スポーツ振興課　8
      - スポーツ振興係
      - スポーツ施設係
      - 誘致推進係
    - 主幹（支笏湖観光担当）

総　職　員　数	1,057人
特　別　職	5人
一　般　職	1,052人
うち病院医療職員	283人

1　令和２年４月１日現在
2　再任用職員を含まない
3　任期付職員を含まない
4　他自治体等からの派遣職員を含まない

行政管理課

- 建設部 61
  - 次長 60
    - 道路管理課 10
      - 管理係
      - 占用係
      - 維持係
    - 市営住宅課 5
      - 住宅管理係
      - 住宅収納係
    - 主幹（建築政策担当） 2
      - 主査（建築政策担当）
    - 事業庶務課 7
      - 事業庶務係
      - 事業調整係
      - 用地庶務係
    - 道路建設課 9
      - 道路計画係
      - 幹線道路係
      - 生活道路係
    - 都市整備課 7
      - 公園整備係
      - 公園管理係
    - 建築課 10
      - 建築係
      - 建築指導係
    - 営繕課 5
      - 営繕係
      - 設備係
    - 電気設備課 4
      - 共同受信施設係
      - 電気設備係
- 薬局 8
  - 薬剤科 7
    - 薬剤係
    - 薬品管理係
- 医療技術室 34
  - 放射線科 8
    - 放射線係
  - 臨床検査科 9
    - 第一臨床検査係
    - 第二臨床検査係
  - 臨床工学科 6
    - 臨床工学係
  - リハビリテーション科 8
    - 理学療法係
    - 作業療法係
  - 栄養管理科 3
    - 栄養管理係
- 地域医療連携室 6
  - 地域医療連携課 6
    - 地域連携係
    - 医療相談係
- 入院支援センター 2
  - 入院支援課 2
    - 入院支援係
- 健診センター 1
  - 管理課 1
    - 管理係
- 医療安全管理室 1
  - 医療安全管理課 1
    - 医療安全管理係
    - 主査（医療品安全管理担当）
    - 主査（放射線安全管理担当）
    - 主査（医療機器安全管理担当）

- 市民病院 299
  - 副院長 34
    - 診療部（内科系担当） 10
      - 診療科（内科担当） 3
        - 内科
      - 診療科（循環器科担当） 5
        - 循環器科
      - 診療科（消化器科担当） 2
        - 消化器科
    - 診療部（小児科担当） 4
      - 診療科（小児科担当） 3
        - 小児科
    - 診療部（外科系担当兼救急室長） 11
      - 診療科（外科担当） 4
        - 外科
      - 診療科（整形外科担当） 2
        - 整形外科
      - 診療科（眼科担当） 2
        - 眼科
      - 診療科（耳鼻咽喉科担当） 1
        - 耳鼻咽喉科
      - 診療科（皮膚科担当） 2
        - 皮膚科
    - 診療部（外科系担当） 5
      - 診療科（脳神経外科担当） 1
        - 脳神経外科
      - 診療科（泌尿器科担当） 1
        - 泌尿器科
      - 診療科（麻酔科兼手術室担当）
        - 麻酔科 2
    - 診療部（産婦人科担当） 2
      - 診療科（産婦人科担当） 2
        - 産婦人科
    - 診療部（透析室担当） 1
      - 診療科（透析室担当）
        - 透析室
  - 感染対策室 1
    - 感染対策課 1
      - 感染対策係
  - 副院長 182
  - 看護部 182
    - 次長（業務・教育担当） 180
    - 次長（医療安全・労務担当） 1
    - 主幹（庶務・研修兼癌育支援担当） 2
      - 主査（療養支援担当）
    - 主幹（助産外来担当） 1
    - 第一外来看護科 10
      - 第一外来看護係
    - 第二外来看護科 9
      - 第二外来看護係
    - 救急外来看護科 16
      - 救急外来看護係
    - 3階東病棟看護科 36
      - 3階東病棟看護係
    - 3階西病棟看護科 31
      - 3階西病棟看護係
    - 4階東病棟看護科 29
      - 4階東病棟看護係
    - 4階西病棟看護科 34
      - 4階西病棟看護係
    - 手術室看護科 11
      - 手術室看護係

- 消防本部 132
  - 次長 20
    - 総務課 7
      - 総務係
      - 管理係
      - 消防団担当係
      - 主査（防災・危機対策係長兼務）
      - （札幌市消防局派遣）
    - 警防課 5
      - 警防係
      - 防災企画係
    - 予防課 7
      - 予防係
      - 消防設備係
      - 保安係
      - 違反是正係
  - 消防署 111
    - 警備1課 9
      - 警備1係
      - 消防装備1係
    - 警備2課 9
      - 警備2係
      - 消防装備2係
    - 査察課 13
      - 査察1係
      - 査察2係
    - 救急課 18
      - 救急調整係
      - 救急1係
      - 指令1係
      - 救急2係
      - 指令2係
    - 富丘出張所 11
      - 1係
      - 2係
    - 向陽台出張所 11
      - 1係
      - 2係
    - 西出張所 21
      - 消防1係
      - 救急1係
      - 消防2係
      - 救急2係
    - 支笏湖温泉出張所 7
      - 1係
      - 2係
    - 祝梅出張所 11
      - 1係
      - 2係

- 事務局 29
  - 次長 10
    - 総務課 7
      - 総務係
      - 調整係
    - 施設課 2
      - 施設係
  - 経営戦略室 18
    - 経営企画課 7
      - 財政係
      - 企画係
    - 医事課 11
      - 医事係
      - 診療情報管理係
      - 情報システム係
  - 泉郷診療所
  - 支笏湖診療所

公営企業

- 水道局 45
  - 次長 45
    - 経営管理課 10
      - 総務係
      - 財政係
      - 主査（経営企画担当）
      - （組合専従）
    - 水道サービス課 7
      - 給排水係
      - 管路管理係
    - 水道整備課 13
      - 水道計画係
      - 水道工事係
      - 水道維持係
      - 水道設備保全係
    - 下水道整備課 14
      - 下水道計画係
      - 下水道工事係
      - 下水道維持係
      - 下水道設備保全係
      - 主査（スラッジセンター担当）

教育委員会

- 教育部 56
  - 次長 51
    - 企画総務課 15
      - 総務係
      - 企画係
      - 施設係
      - 小学校
      - 中学校
    - 主幹（新設校建設担当） 2
      - 主査（新設校建設担当）
    - 学校教育課 8
      - 学校教育係
      - 特別支援教育係
      - 主査（特別支援教育学校指導担当）
    - 青少年課 4
      - 生徒指導係
      - 青少年指導係
    - 生涯学習課 7
      - 生涯学習推進係
      - 社会教育係
    - 埋蔵文化財センター 6
      - 管理係
      - 調査係
    - 主幹（国指定史跡担当） 1
    - 学校給食センター 3
      - 業務係
      - 主査（学校給食センター整備担当）
    - 文化施設課 4
      - 文化施設係
  - 学校指導室 4
    - 学校指導課 3
      - 指導係
      - 教職員係

214　主要広報広聴活動

区　　分	内　　容	活　動　内　容
広報ちとせ	市の仕事についての説明やお知らせ記事を中心に編集。市民の生活に役立つ情報などを掲載	A４版　26ページ オフセット印刷 毎月10日発行
市民カレンダー	ごみの収集や救急当番医などの定期的なお知らせや開催行事を掲載	A２版　オフセットカラー印刷 毎月１日発行
要覧ちとせ	市の現況を統計資料に基づいて紹介	毎年発行　A５版
写真誌ちとせ	市の現況を写真などを用い５か国語で紹介	元年度発行　A４版
市役所だより	地域の生活情報紙「ちゃんと」に市役所だより欄を設け、急を要するお知らせ事項を随時掲載	31年度　29回掲載
声の広報	視覚障がい者の方に市民カレンダー、広報ちとせの内容をカセットテープ・CDに録音して配布	月１回録音
点字版広報	視覚障がい者の方に市民カレンダー、広報ちとせの内容を点字化して配布	月１回点字化
市民相談室	市民の日常生活における問題の解決、相談に当たる	日常生活に関する相談は常時 弁護士による無料法律相談は毎週金曜日
市政懇談会	市民と市理事者が、地域の抱える問題等について懇談（町内会連合会と共催）	
市長相談日	団体等から市政に対する要望などを市長が直接聞いて、今後のまちづくりに反映させる	
広報広聴モニター	市政と市民のパイプ役として定員20人に委嘱	任期１年間
市長への手紙	広報ちとせに専用の用紙を折り込み市政に対する要望や意見などを受付	毎年実施
市長へのポスト	インターネットを活用し、市政に対する要望や意見などを受付	
市政相談等	市政に対する要望や意見などを広報広聴課で随時受付 また、ファクシミリでも24時間受付（22－8851）	
パブリックコメント	市の計画等の策定案を事前に公表し、市民からの意見を求め意思決定を行い結果等を公表する手続	31年度　３件実施

広報広聴課・総務課・市民生活課

215　陳情・請願・要望件数の推移

区　　分	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総　　数	22	22	31	22	31
建設関係	7	6	5	5	4
衛生関係	—	—	—	—	—
公害関係	—	—	—	—	—
生活関係	11	12	16	12	20
社会関係	4	4	10	5	7

広報広聴課

216　法律相談件数の推移

区　　分	27年度		28年度		29年度		30年度		元年度	
	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談	市民相談	弁護士相談
総　　数	915	116	857	121	736	127	898	147	725	144
金銭貸借関係	88	10	83	16	42	17	46	13	43	19
土地・家屋関係	69	12	73	14	63	25	84	28	52	20
財産・相続関係	193	14	185	11	163	21	196	24	146	21
夫婦・家庭関係	252	24	251	34	271	27	322	34	283	38
生活に関する問題	276	42	212	32	113	23	175	30	120	32
交通事故関係	28	11	30	10	17	4	13	5	12	4
そ　の　他	9	3	23	4	67	10	62	13	69	10

1　弁護士相談は市民相談の内数を再掲
市民生活課

217　名誉市民

授与年月日	氏　　名	主　な　公　職	備　考
昭和29年９月７日	中　川　種次郎	千歳外３村戸長、町議会初代議長	逝　去
30年５月１日	渡　部　栄　蔵	村・町議会議員、町議会議長	逝　去
34年９月24日	山　崎　友　吉	町長、初代市長	逝　去
52年３月14日	伊　藤　　弘	町議会議員、商工会議所会頭、道議会議員	逝　去
53年３月29日	吉　田　信　一	小学校長、町・市議会議員、市議会議長	逝　去
58年９月22日	米　田　忠　雄	市長、道議会議員	逝　去
61年12月22日	松　樹　亮　溪	村助役、選管委員長、社会福祉協議会会長	逝　去
平成元年９月14日	東　峰　元　次	市助役、市長	逝　去
18年６月19日	東　川　　孝	市収入役、市長	逝　去

1　令和２年６月１日現在
総務課

218　市功労者

表彰年度	功労別	氏名
昭和42	産業功労	・広重定次郎
	産業功労	・戸田菊次
	産業功労	・清水清信
	自治功労	・川合新三郎
	自治功労	・松樹亮溪
	自治功労	・滝川亮次
	自治功労	・谷本亀
	自治功労	・吉田信一
	自治功労	・熊谷正
	自治功労	・前田政太郎
43	自治功労	・吉田峯蔵
	自治功労	故輪島忠三郎
	産業功労	故坂井由太郎
	産業功労	・沢田浅吉
	その他功労	・藤本健太郎
44	自治功労	・高塚憲正
	産業功労	・今要作
	自治功労	故村田貢
	その他功労	・荒川作次
	文化功労	・田村千代枝
45	自治功労	故中川英男
	自治功労	・今与自郎
	自治功労	・高橋為次
	自治功労	・広重貞雄
	その他功労	・田中東作
46	産業功労	・小池金吾
	自治功労	・信田信太郎
47	文化功労	・岸本貞治
48	産業功労	・長島善作
	自治功労	・内村ナツ
49	自治功労	・鈴木助雄
	自治功労	・渡部郁郎
	その他功労	・西野忠義
50	自治功労	・伊藤弘
	自治功労	故佐藤文喜
	自治功労	故登坂修司
51	自治功労	・半田景明
	自治功労	・羽馬聞正
	自治功労	・菅原悳一
52	自治功労	・村上茂治
	自治功労	・氏原輝雄
	産業功労	・大蔵長蔵
53	産業功労	・尚和耕作
	自治功労	故片岡静夫
	自治功労	・神藤為五郎
54	自治功労	・鈴木茂夫
	自治功労	・前田利次
55	社会福祉功労	・沖中顕蔵

表彰年度	功労別	氏名
昭和55	社会福祉功労	・川名重蔵
	自治功労	・植村利三
	産業功労	故右近久雄
56	産業功労	・新谷利夫
	消防功労	・浅見恒松
57	自治功労	故森清八
	自治功労	・唐木田福善
	産業功労	・山崎武
58	社会福祉功労	・山本芳久
	自治功労	・新谷喜久夫
	自治功労	・藤居敏雄
	産業功労	故佐々木ヨシヱ
59	自治功労	故伊賀大二
	社会福祉功労	故山田達二
	社会福祉功労	・北岡体一
	産業功労	・森由太郎
	自治功労	・大橋久雄
	自治功労	・生田正義
60	産業功労	・山崎徳雄
	産業功労	・斉藤正三
	教育文化功労	・長見義三
	自治功労	・安澤健次
	自治功労	・廣重兼太郎
	自治功労	・河野有三
61	自治功労	・佐々木孝一
	産業功労	・新沼武雄
	産業功労	・力示武四
	社会福祉功労	・小川豊治
	社会福祉功労	・渡邉富重
62	産業功労	・木村豊次
	自治功労	・佐竹信夫
	産業功労	・近川宗信
	自治功労	・三津谷時男
	保健衛生功労	・中里和夫
	産業功労	・桑島一雄
	産業功労	故古谷一二
63	自治功労	故長内孝信
	保健衛生功労	・和田健次郎
	産業功労	・千代信一
	教育文化功労	・真鍋辰夫
	産業功労	・岩本正生
	産業功労	・小泉磯太
	社会福祉功労	・園部とき
	産業功労	・前田正榮
平成元	自治功労	・岩瀬正人
	自治功労	・千葉正
	自治功労	・瀧澤榮八
	自治功労	・谷口定士

表彰年度	功労別	氏名
平成元	自治功労	・本宮義輝
	教育文化功労	故大谷利夫
2	自治功労	・大矢秀計
	自治功労	・木村與一
	社会福祉功労	・杉原婦紀
	保健衛生功労	・中村俊夫
	産業功労	・千葉進
3	自治功労	・西山美代子
	社会福祉功労	・佐々木徳雄
	保健衛生功労	・伊勢俊明
	産業功労	・倉内清
	社会福祉功労	故鈴木平八郎
4	社会福祉功労	故松原哲
	自治功労	・金山政治
	社会福祉功労	・中川タマ
	社会福祉功労	佐々木みき
	保健衛生功労	・西條忠光
	保健衛生功労	・真鍋滋夫
	産業功労	・森本吉雄
5	自治功労	・山田範長
	社会福祉功労	小財アツ
	保健衛生功労	山崎秀一
	産業功労	・藤本敬一
	産業功労	・曙正義
	産業功労	・藤間宏
	産業功労	故小路正義
	社会福祉功労	故中島千勝
	社会福祉功労	故廣重マツエ
	自治功労	故奥野文蔵
6	産業功労	故伊藤弘二
	自治功労	故高塚興正
	社会福祉功労	故渡邊十郎
	社会福祉功労	・中濱慶介
	保健衛生功労	・伊丸岡宗一
	産業功労	・若山長大
	産業功労	・清水修
	住民運動実践功労	・中浦忠男
7	社会福祉功労	・荒谷正男
	保健衛生功労	・服部康治
	保健衛生功労	・阿部忠彦
	産業功労	・井坂由雄
	住民運動実践功労	花野孟雄
8	自治功労	・開発幸治
	社会福祉功労	・舟生博
	保健衛生功労	・寺山才一
	産業功労	・加藤武仁
	産業功労	・原美文
	消防功労	細川誠一

表彰年度	功労別	氏名
平成9	自治功労	・長島善松
	自治功労	・山口貞四郎
	社会福祉功労	木滑八重子
	保健衛生功労	・吉田直子
	産業功労	・小笠原幸雄
	産業功労	・坂井義夫
10	自治功労	・島倉充平
	自治功労	・宮澤一成
	自治功労	・今要吉
	社会福祉功労	・西野義照
	保健衛生功労	・神谷敏夫
	産業功労	・茎津春松
	産業功労	芳賀慶之
	産業功労	故八木勝男
	産業功労	故渡部茂
11	社会福祉功労	・村井茂信
	保健衛生功労	・稲場昭徳
	産業功労	・今村孝雄
	教育文化功労	・関寛
	消防功労	小柳重信
12	自治功労	・高野功
	社会福祉功労	川名茂
	保健衛生功労	・佐藤統一
	保健衛生功労	・遠藤昭治
	産業功労	・内山壽夫
13	自治功労	・根本敏美
	産業功労	・橋場孝光
	住民運動実践功労	・宮尾力
14	自治功労	故赤間重昭
	社会福祉功労	・小城照美
	保健衛生功労	・田中一朗
	産業功労	・和田儀曽治
	教育文化功労	・林元一
15	自治功労	・今清
	社会福祉功労	藤澤勲
	産業功労	近藤一夫
	消防功労	大谷勇一
	住民運動実践功労	・里見季子
16	自治功労	園田七五三一
	社会福祉功労	・馬場貞子
	社会福祉功労	故徳満國次郎
	産業功労	・亀谷光一
	産業功労	故佐々木徳記
17	自治功労	故伊藤馨
	社会福祉功労	冨樫保
	社会福祉功労	中尾曉吉
	産業功労	神野昇
18	自治功労	石井博美

表彰年度	功労別	氏名
平成18	社会福祉功労	丸山俊子
	社会福祉功労	・榊原武雄
	産業功労	山田睦雄
	消防功労	・荒川重昭
19	社会福祉功労	門倉美全
	社会福祉功労	・佐々木繁信
	社会福祉功労	矢島渡
	産業功労	・戸田恭介
20	社会福祉功労	坂本美智子
	産業功労	落合幸四郎
	産業功労	・上井昭一
	産業功労	・沼山佐太郎
	教育文化功労	水戸正美
21	社会福祉功労	西澤久
	社会福祉功労	故増田良一
	保健衛生功労	・尾谷透
	産業功労	・髙慶繁博
	産業功労	岩本久生
22	自治功労	中山竹生
	社会福祉功労	・福井厚徳
	社会福祉功労	蜂谷愛子
	保健衛生功労	小西藤平
	産業功労	・冨樫謙次
23	自治功労	河野眞範
	社会福祉功労	・長岡ミツ
	保健衛生功労	・中村堅次
	産業功労	山本良平
	産業功労	・今忠吉
24	自治功労	中山伸也
	社会福祉功労	宮本ヒロ子
	保健衛生功労	・長澤邦雄
平成24	産業功労	小笠原良
	消防功労	故細越一信
25	自治功労	・大古瀬千代
	社会福祉功労	宮田伸子
	保健衛生功労	赤堀氾昌
	産業功労	登坂善一郎
26	自治功労	霍田隆良
	社会福祉功労	須磨紀子
	社会福祉功労	原政勝
	産業功労	五十嵐宏
	産業功労	・佐々木金治郎
27	社会福祉功労	早坂義人
	社会福祉功労	鈴木愛子
	産業功労	中山和朗
	産業功労	早川信雄
28	自治功労	村上洋子
	社会福祉功労	仲澤和洋
	保健衛生功労	村上忠功
	産業功労	橋爪宏征
29	自治功労	米田忠彦
	社会福祉功労	村本昭子
	社会福祉功労	山内幸子
	産業功労	鈴木英範
30	自治功労	細見正美
	自治功労	荒牧光良
	自治功労	山田律子
	社会福祉功労	丸山成士
	産業功労	近藤久雄
令和元	自治功労	高秀政博
	自治功労	川瀬正明
	産業功労	瀧澤順久

1　令和２年６月１日現在
2　氏名前「・」は逝去を表す
総務課

219　市民栄誉賞受賞者

授与年月日	氏名	実績
昭和63年３月30日	房野抄子	第15回冬季オリンピックカルガリー大会スピードスケート女子500m８位入賞
平成３年７月２日	廣重力	北海道大学第14代学長
22年３月28日	穂積雅子	第21回オリンピック冬季競技大会バンクーバー大会　スピードスケート女子チームパシュート銀メダル　女子3,000m６位入賞　女子5,000m７位入賞

1　令和２年６月１日現在
総務課

220　市技能功労者

（1）市技能功労者

表彰年度	氏名	職種
昭和53	・阿部行雄	塗装工
	・萱場幸太郎	左官
	・佐藤一郎	建築大工
	・竹内福一	板金工
	・仲カ美ズ	美容
54	・飯塚清	建築大工
	・金澤豊治	板金
	・佐藤君一	左官
55	・伊藤豊春	建築大工
	・田中鐵雄	電気工事士
	・古館鉄之助	自動車整備工
	・水口龍吉	建築大工
56	・清野保三	建築大工
	・中島優造	塗装工
	萬谷幸二郎	板金工
57	・伊藤常正	塗装工
	・髙橋利雄	理容師
	・野口豊吉	洋服仕立工
58	・丹波七郎	建築大工
	・細越寅雄	建築大工
59	・今村秀雄	電気工事士
	・上山秀男	家具建具職
	・小林和夫	板金工
	・高木實夫	広告美術技能士
60	・五十嵐松榮	理容師
	・鈴木吉郎	自動車整備工
	・髙橋廣治	配管工
	・花井卓三	調理師
61	・遠藤武雄	自動車整備工
	・千代信一	電気工事士
	・難波一夫	マッサージ師
	・藤井實	調理師
62	秋岡英雄	菓子製造工
	・長岡義一	畳工
	・吉川利政	理容師
63	・石橋清二	塗装工
	北谷昇	自動車整備工
	・黒澤冨藏	電気工事士
平成元	・伊藤介石	理容師
	・南義一	自動車整備工
2	川下京三郎	塗装工
	・川端留吉	理容師
3	梅澤孟子	理容師
	・林京一	自動車整備士
4	・坂本石松	あん摩・マッサージ指圧師
	佐藤歌子	美容師
	皿方信雄	板金工
	・髙澤正明	理容師
	・山本勝	配管工
5	小倉常滿	板金工
	・永井司	自動車整備工
	・村本廣二	自転車組立整備士
6	岩佐榮	鉄骨とび職
	・谷川幸市	パン・菓子製造工
	中澤成价	調理師
7	五十嵐宏	理容師

表彰年度	氏名	職種
平成7	竹内茂雄	建築板金工
	・中本陽三	造園工
8	生杉訓	建築大工
	・森谷吉夫	調理師
9	川原博明	調理師
	佐藤勳	建築板金工
10	多賀勲	建築板金工
	・長沼一雄	あん摩・マッサージ指圧師
	山下サツ子	美容師
11	・野村直記	建築塗装工
12	黒木芙美子	美容師
	・冨樫謙次	電気工事士
	富樫重正	左官工
13	・石井公一	左官工
14	今井聡	美容師
	柴崎東一	橋梁とび工
	・鈴木秀男	自動車整備士
	山本聖十	理容師
15	神田雄	調理師
	武田直樹	建築塗装工
	・引地隆夫	建築とび工
16	工藤護	建築機械運転士
	佐藤博隆	調理師
	竹内由信	製本作業員
	・千葉久義	電気工事士
	長崎清光	配管工
17	川上昇	美容師
	齊藤武司	広告美術工
	白戸久夫	調理師
18	下田敏行	調理師
19	越前谷敏彦	建築大工
	落野章一	あん摩・マッサージ指圧・はり・きゅう師
	・木村照男	配管工
	中垣武志	建築塗装工
20	近藤久雄	電気工事士
	田村二郎	とび工
	前田正忠	建築塗装工
21	齊藤不二夫	建築塗装工
22	藤本敏廣	配管工
23	岡崎進	美容師
	藤原加代子	理容師
	古館孝司	自動車整備士
24	佐々木俊英	配管工
25	斉藤正志	美容師
	鈴木俊治	自動車整備士
	梨ノ木修	理容師
26	尾本眞二	建築塗装工
	手小威名基	調理師
	平野幸也	配管工
27	黒澤雅裕	電気工事士
	金延三	はり・きゅう師
28	田岸税	建築大工
29	大浅行雄	建設機械運転士
30	竹本美佐子	美容師
令和元	山根俊哉	建築塗装工

1　令和２年４月１日現在
2　氏名前「・」は逝去を表す
商業労働課

(2) 千歳市民文化表彰受賞者

表彰年度	千歳市民文化賞		千歳市民文化奨励賞	
	対象部門	氏名又は団体名	対象部門	氏名又は団体名
平成4	芸術（書道）	中川　藤市	芸術（社交ダンス）	青木　貞夫
			教育その他（文化財保護）	登坂　英治
			教育その他（文化財保護）	中本ムツ子
5	芸術（華道）	園部　とき	教育その他（民謡）	千歳民謡連盟
	芸術（書道）	田代　智彦		
	教育その他（文芸）	千歳市民文芸の会		
6	芸術（短歌・書道）	内村　ナツ	芸術（邦舞）	毎床ソヱ子
	芸術（華道）	門脇美穂子	芸術（華道）	千歳華道連盟
			教育その他（学校教育）	千歳中学校吹奏楽部
7			芸術（民謡）	開発　幸治
			芸術（民謡）	千鳥会
			芸術（合唱）	千歳女声合唱団
8	芸術（箏曲）	大谷智恵子	芸術（手工芸）	藤田　令子
	教育その他（ユネスコ活動・郷土文化）	真鍋　滋夫	教育その他（社会教育活動）	育児グループ玉匂会
9	芸術（文芸）	神出　杉雄	芸術（手工芸）	境　公美子
	芸術（俳句）	市村　正之	芸術（邦舞）	西川鯉智惠（石山智惠子）
			芸術（吹奏楽）	千歳吹奏楽団
10	芸術（民謡）	須川　正直		
	芸術（盆栽）	福田　留次		
	芸術（書道）	有馬　静峰（有馬　良博）		
11	芸術（短歌）	丸山　俊子	芸術（民謡）	福士　優子
			芸術（クラシックギター）	竹形　貴之
12	教育その他（アイヌ文化伝承）	故　小田　イト	教育その他（吹奏楽）	北栄小学校スクールバンド
13	芸術（民謡）	北岡　榮吉	教育その他（リコーダー）	富丘中学校リコーダー部
14	芸術（俳句）	丹野　　茂		

表彰年度	千歳市民文化賞		千歳市民文化奨励賞	
	対象部門	氏名又は団体名	対象部門	氏名又は団体名
平成15	芸術（文芸）	森下　　洋	芸術（ピアノ）	鈴木　絢子
	芸術（木彫り）	草彅スミ子		
16	芸術（書道）	藤田　政保		
	芸術（民謡）	太田　義孝		
17	芸術（文芸）	三好　憙彦	芸術（美術）	千歳美術協会
			芸術（郵趣文化）	久我　　昇
18	芸術（邦舞）	毎床ソヱ子		
19	芸術（千歳市文化団体連絡協議会運営）	稲場　昭徳	芸術（吟剣詩舞）	千歳詩道連盟
20	芸術（詩吟）	小松　静子	芸術（和装文化）	齋藤　　京
			芸術（民謡）	佐藤テル子
			科学（地域学）	千歳を知る会
21	芸術（文芸）	綾部　清隆		
	科学（電波適正利用活動）	増田　清吉		
22	芸術（絵画）	川名　　茂		
	芸術（民謡）	千歳民謡連盟		
23	芸術（民謡）	中野みどり	芸術（工芸）	三浦千津子
			科学（文化財保護）	千歳文化財保護協会
			芸術（書道）	黒百合書道会
24	芸術（詩吟・吟舞）	坂上智惠子	芸術（作詩）	菊地　　勝
25	芸術（組織運営）	米田　忠彦	芸術（美術）	亀田くるみ
			芸術（音楽）	北斗中学校音楽部
26	芸術（舞踊）	西川鯉智恵（石山智恵子）	芸術（美術）	福田　真子
27	芸術（美術）	塩谷　　博	芸術（美術）	室澤はるか
28	芸術（音楽）	濵﨑　計介	芸術（美術）	穂積　　佳
29	芸術（美術）	愛澤　光司	芸術（美術）	中山　芽映
	芸術（音楽）	瀬戸山一義	芸術（文学）	栗沢まり（栗林真理）

表彰年度	千歳市民文化賞		千歳市民文化奨励賞	
	対象部門	氏名又は団体名	対象部門	氏名又は団体名
平成30	芸術（音楽）	金子　光弘	芸術（美術）	足立　莉菜
	芸術（美術）	奈良　孝秋	芸術（美術）	中山　留位
			芸術（美術）	森本　桂如
令和元	芸術（音楽）	鴨林　三枝		
	芸術（美術）	北島　裕子		
	科学（自然科学）	山下　菊光		

教育委員会生涯学習課

(3) 市スポーツ賞

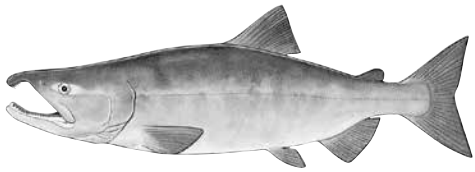
年　度	千歳市スポーツ賞	千歳市スポーツ奨励賞	千歳市スポーツ敢闘賞
平成8年度（第１回）	浅利作造	金谷志信	
	大矢秀計		
	横山國利		
９年度（第２回）	寺山才一		
	西内　一		
	友部秋夫		
10年度（第３回）	坂本光令	茂木健二	
		ミドル千歳	
11年度（第４回）	工藤春光		
	北山眞一		
12年度（第５回）	柏本博明		
	平井一夫		
13年度（第６回）	水谷洋三		
14年度（第７回）			
15年度（第８回）	正木一郎		
16年度（第９回）	佐々木勝利		
17年度（第10回）	末岡　誠	小山佳祐	佐藤拓真
18年度（第11回）		神出設計ポプリ	
19年度（第12回）	田中　實	斎藤　實	
	髙橋富範		
20年度（第13回）	望月暎夫	小澤雄次朗	
	中野次男		
21年度（第14回）	馬場弘幸	穂積雅子	
	林　健		

年　度	千歳市スポーツ賞	千歳市スポーツ奨励賞	千歳市スポーツ敢闘賞
22年度	吉井光夫	松本　梓	
(第15回)	野田善郷	山田那瑠亜	
23年度	西野正紀		
(第16回)	小林髙英		
24年度	水島政子		
(第17回)			
25年度	平山　裕		
(第18回)			
26年度	今野善行	吉村優那	
(第19回)			
	綱引次男		
27年度	為野宜己		
(第20回)	三上幸男		
28年度	吉永悦也		
(第21回)	佐藤正次		
29年度	石川一郎		
(第22回)	興梠三男		
	河村知明		
	佐伯修身		
30年度	村井政孝	渡辺由香理	
(第23回)	江口　宏		
	山本晴雄		
令和元年度	高木　是		
(第24回)	大江晃己		
	森　満		
	生島　実		
	福田博志		

スポーツ振興課

市の魚　サケ

平成８(1996)年11月１日制定



（サケ科の海産硬骨魚）

「千歳」という地名が生まれる以前から川にはたくさんのサケがそ上し、この地に住む人々の貴重な食糧でした。

今も千歳川をそ上するサケは、捕魚車「インディアン水車」とともに秋の風物詩となっています。

地下観察室で川中のサケのそ上が見られる「サケのふるさと千歳水族館」などサケを主役とした施設が市内観光の一大ポイントとなっています。

あらまし

伸びゆくまちの財政

令和２年度の我が国の経済は、海外経済の減速等を背景に外需が弱いものの、雇用・所得環境の改善等により、内需を中心に緩やかな回復が期待されており、消費税率引上げ後の経済動向を引き続き注視し、あわせて米中貿易摩擦など海外発の下方リスクによる悪影響に備える必要があることから、政府は、機動的かつ万全の対策を講じ、民需主導の持続的な経済成長の実現につなげていくこととしております。

また、令和２年度の地方財政計画は、通常収支分について、極めて厳しい地方財政の現状等を踏まえ、歳出面においては、人づくり革命の実現や地方創生の推進等に対応するために必要な経費を計上するとともに、社会保障関係費の増加を適切に反映した計上を行い、歳入面においては、地方の一般財源総額について、令和元年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保することを基本に策定されました。

このような中、令和２年度当初予算の編成に当たっては、財政標準化計画のもと、中長期的な視点で財政規律を維持し、「第６期総合計画」の着実な推進を図り、今後も持続的な発展を目指す『千歳の魅力を高める“上昇”予算』として、取りまとめております。

その結果、一般会計では総額で496億265万8,000円、６特別会計では148億8,508万4,000円、これに３公営企業会計を加えた全会計では804億2,650万4,000円の規模となっています。

しかしながら、都市部を中心に感染が拡大し、世界的にも患者数と死亡者数が急増している新型コロナウイルス感染症は、内外経済に甚大な影響をもたらし、世界経済は戦後最大とも言うべき危機に直面しており、我が国経済は感染症拡大の影響により大幅に下押しされ、国難とも言うべき厳しい状況に置かれております。

こうした中で、政府は、感染拡大を防止し、早期に収束させるとともに、雇用の維持、事業の継続、そして生活の下支えを最優先に取り組む観点から、緊急に対応すべき対策を講じております。

このことから、千歳市としても、感染防止対策などを講じ、事態の早期収束に取り組むとともに、雇用や事業、市民の生活を守り抜くため、令和２年度予算については、局面に応じて補正予算を編成し、適時適切に対応しております。

221　一般会計決算の推移

（単位　千円）

年　度	歳　入（A）	歳　出（B）	差　引（A）－（B）
21	45,438,368	45,038,146	400,222
22	44,624,543	44,035,975	588,568
23	44,369,378	43,853,585	515,794
24	42,519,728	41,498,266	1,021,462
25	43,548,832	42,966,895	581,937
26	36,467,350	36,008,835	458,515
27	37,446,167	36,689,669	756,498
28	38,542,996	38,069,953	473,043
29	40,921,283	40,847,382	73,901
30	**40,243,540**	**39,753,220**	**490,320**

財政課

222　平成30年度決算状況

（1）一般会計　歳入

（単位　千円）

款	予算現額 A	収入済額 B	予算額に対する収入割合 B/A(%)	収入済額構成比(%)
総額	**41,162,389**	**40,243,539**	**97.8**	**100.0**
市税	15,112,500	15,257,596	101.0	37.9
地方譲与税	845,001	836,222	99.0	2.1
利子割交付金	16,000	17,947	112.2	0.1
配当割交付金	19,000	24,259	127.7	0.1
株式等譲渡所得割交付金	32,000	21,019	65.7	0.1
地方消費税交付金	1,979,000	2,012,170	101.7	5.0
ゴルフ場利用税交付金	62,000	59,677	96.3	0.2
自動車取得税交付金	100,000	83,005	83.0	0.2
国有提供施設等所在市町村助成交付金	530,000	517,080	97.6	1.3
地方特例交付金	88,000	87,570	99.5	0.2
地方交付税	3,535,662	3,596,476	101.7	8.9
交通安全対策特別交付金	18,000	13,413	74.5	0.0
分担金及び負担金	142,095	125,229	88.1	0.3
使用料及び手数料	1,232,284	1,233,788	100.1	3.1
国庫支出金	7,750,486	7,617,880	98.3	18.9
道支出金	2,716,073	2,467,338	90.8	6.1
財産収入	906,091	902,700	99.6	2.2
寄附金	251,833	281,002	111.6	0.7
繰入金	1,857,456	1,287,357	69.3	3.2
繰越金	73,647	73,901	100.3	0.2
諸収入	1,123,041	1,096,210	97.6	2.7
市債	2,772,220	2,631,700	94.9	6.5

一般会計　歳出

（単位　千円）

款	予算現額 A	支出済額 B	予算額に対する支出割合 B/A(%)	支出済額構成比(%)
総額	**41,162,389**	**39,753,220**	**96.6**	**100.0**
議会費	226,231	219,956	97.2	0.6
総務費	4,374,945	4,190,502	95.8	10.5
民生費	13,167,717	12,817,860	97.3	32.2
衛生費	2,047,072	1,972,962	96.4	5.0
労働費	35,554	34,108	95.9	0.1
農林水産業費	813,347	475,046	58.4	1.2
商工費	1,063,212	1,035,001	97.3	2.6
土木費	3,398,689	3,294,120	96.9	8.3
消防費	623,116	600,341	96.3	1.5
教育費	3,555,032	3,427,429	96.4	8.6
公債費	3,477,720	3,477,320	100.0	8.7
諸支出金	2,183,492	2,140,548	98.0	5.4
職員費	6,028,309	5,983,726	99.3	15.1
予備費	18,356	0	0.0	0.0
災害復旧費	149,597	84,301	56.4	0.2

財政課

(2) 特別会計

（単位　千円）

会計名	収入済額	支出済額	差引残高
国民健康保険	7,854,833	7,843,713	11,120
土地取得事業	452	0	452
公設地方卸売市場事業	63,033	62,873	160
霊園事業	27,093	26,998	95
介護保険	5,208,801	5,018,746	190,055
後期高齢者医療	1,057,138	1,055,299	1,839
計	**14,211,350**	**14,007,629**	**203,721**

財政課

(3) 企業会計

（単位　千円）

会計名	収益的			資本的		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
水道事業	2,335,303	2,164,970	170,333	314,606	925,665	△611,059
下水道事業	3,483,616	3,312,384	171,232	423,391	1,435,686	△1,012,295
病院事業	6,282,702	6,237,826	44,876	471,470	950,670	△479,200
計	**12,101,621**	**11,715,180**	**386,441**	**1,209,467**	**3,312,021**	**△2,102,554**

財政課

223　予算状況

(1) 令和元年度

ア　一般会計

（単位　千円）

歳入			歳出		
款	予算額	構成比(%)	款	予算額	構成比(%)
総額	**41,947,094**	**100.0**	総額	**41,947,094**	**100.0**
市税	15,311,500	36.5	議会費	224,002	0.5
地方譲与税	841,001	2.0	総務費	2,664,142	6.4
利子割交付金	23,000	0.1	民生費	13,470,903	32.1
配当割交付金	32,000	0.1	衛生費	1,939,873	4.6
株式等譲渡所得割交付金	30,000	0.1	労働費	36,453	0.1
地方消費税交付金	2,051,000	4.9	農林水産業費	518,290	1.2
ゴルフ場利用税交付金	57,000	0.1	商工費	1,076,159	2.6
自動車所得税交付金	45,000	0.1	土木費	3,009,229	7.2
環境性能割交付金	27,000	0.1	消防費	920,277	2.2
国有提供施設等所在市町村助成交付金	520,000	1.2	教育費	6,282,956	15.0
地方特例交付金	100,000	0.2	公債費	3,492,489	8.3
地方交付税	4,340,000	10.4	諸支出金	2,151,204	5.1
交通安全対策特別交付金	14,000	0.0	職員費	6,121,117	14.6
分担金及び負担金	140,979	0.3	予備費	40,000	0.1
使用料及び手数料	1,291,634	3.1			
国庫支出金	7,345,469	17.5			
道支出金	2,725,709	6.5			
財産収入	637,360	1.5			
寄附金	1,813,110	4.3			
繰入金	797,361	1.9			
繰越金	60,000	0.1			
諸収入	1,030,771	2.5			
市債	2,713,200	6.5			

イ　特別会計

（単位　千円）

会計名	元年度
国民健康保険	7,985,715
土地取得事業	380
公設地方卸売市場事業	42,962
霊園事業	30,337

合計名	元年度
介護保険	5,472,355
後期高齢者医療	1,101,469
計	14,633,218

ウ　企業会計

（単位　千円）

会計名	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	2,385,574	2,257,772	444,356	1,008,666
下水道事業	3,428,821	3,255,405	440,201	1,394,063
病院事業	6,514,701	6,492,507	385,101	878,618
計	12,329,096	12,005,684	1,269,658	3,281,347

財政課

(2) 令和２年度

ア　一般会計

（単位　千円）

歳入 款	予算額	構成比(%)	歳出 款	予算額	構成比(%)
総額	**49,602,658**	**100.0**	総額	**49,602,658**	**100**
市税	15,753,000	31.8	議会費	228,506	0.5
地方譲与税	827,001	1.7	総務費	7,363,661	14.8
利子割交付金	10,000	0.0	民生費	14,540,275	29.3
配当割交付金	25,000	0.0	衛生費	2,199,136	4.4
株式等譲渡所得割交付金	16,000	0.0	労働費	43,753	0.1
法人事業税交付金	92,000	0.2	農林水産業費	511,511	1.0
地方消費税交付金	2,167,000	4.4	商工費	1,360,626	2.7
ゴルフ場利用税交付金	56,000	0.1	土木費	3,402,614	6.9
環境性能割交付金	63,000	0.1	消防費	420,668	0.9
国有提供施設等所在市町村助成交付金	500,000	1.0	教育費	5,371,950	10.8
地方特例交付金	90,000	0.2	公債費	5,159,217	10.4
地方交付税	4,600,000	9.3	諸支出金	2,169,589	4.4
交通安全対策特別交付金	14,000	0.0	職員費	6,791,152	13.7
分担金及び負担金	149,365	0.3	予備費	40,000	0.1
使用料及び手数料	1,297,987	2.6			
国庫支出金	8,239,086	16.6			
道支出金	2,806,530	5.7			
財産収入	1,269,434	2.6			
寄附金	10	0.0			
繰入金	5,200,226	10.5			
繰越金	60,000	0.1			
諸収入	3,530,019	7.1			
市債	2,837,000	5.7			

イ　特別会計

（単位　千円）

会計名	２年度
国民健康保険	8,074,137
土地取得事業	380
公設地方卸売市場事業	47,348
霊園事業	26,686

合計名	２年度
介護保険	5,582,652
後期高齢者医療	1,153,881
計	14,885,084

ウ　企業会計

（単位　千円）

会計名	収益的		資本的	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	2,430,436	2,270,430	624,782	1,236,421
下水道事業	3,480,345	3,320,422	509,387	1,442,452
病院事業	6,708,385	6,774,864	420,101	894,173
計	**12,619,166**	**12,365,716**	**1,554,270**	**3,573,046**

財政課

224　市税収入の推移

（単位　千円）

年度	予算額	調定額A	収入済額B	徴収率B/A（%）	Bの対前年伸長率（%）
21	13,433,400	14,551,541	13,581,257	93.3	△ 7.6
22	13,456,500	14,431,940	13,497,914	93.5	△ 0.6
23	13,828,000	14,950,743	14,069,959	94.1	4.2
24	13,799,000	14,734,735	13,988,841	94.9	△ 0.6
25	13,938,300	14,610,447	14,004,379	95.9	0.1
26	14,088,000	14,747,139	14,236,632	96.5	1.7
27	14,121,600	14,804,927	14,284,870	96.5	0.3
28	14,548,000	15,373,414	14,979,548	97.4	4.9
29	14,761,400	15,236,551	14,893,642	97.7	△ 0.6
30	**15,112,500**	**15,570,509**	**15,257,596**	**98.0**	**2.4**

財政課

225　市税収入の内訳（平成30年度）

（単位　千円）

区分	予算額	調定額A	収入済額B	収入率B/A(%)	Bの構成比（%）
総額	**15,112,500**	**15,570,509**	**15,257,596**	**98.0**	**100.0**
市民税	6,478,600	6,661,550	6,542,344	98.2	42.9
固定資産税	6,705,800	6,916,763	6,753,459	97.6	44.2
軽自動車税	213,100	218,463	212,721	97.4	1.4
市たばこ税	791,000	818,408	818,408	100.0	5.4
入湯税	28,000	26,820	26,820	100.0	0.2
都市計画税	896,000	928,505	903,844	97.3	5.9

1　収入済額には還付未済額を含む
財政課

226　地方債の状況

（単位　円）

区　　分	平成29年度 末現在高 A	平成30年度 発行額 B	元金償還額C	平成30年度 末現在高 A＋B－C
総　　額	**58,873,983,058**	**3,495,800,000**	**4,755,975,269**	**57,613,807,789**
一般会計	**36,821,002,691**	**2,631,700,000**	**3,289,045,390**	**36,163,657,301**
総務債	1,083,611,878	223,500,000	75,893,084	1,231,218,794
民生債	816,875,936	2,300,000	106,744,968	712,430,968
衛生債	3,136,061,807	131,900,000	309,926,489	2,958,035,318
農林水産業債	135,301,002	55,100,000	6,106,330	184,294,672
商工債	162,483,360	－	7,583,310	154,900,050
土木債	8,036,938,648	421,000,000	1,042,011,335	7,415,927,313
消防債	477,248,724	47,700,000	43,500,664	481,448,060
教育債	3,111,853,688	244,600,000	359,266,324	2,997,187,364
災害復旧債	69,000,000	5,600,000	8,610,275	65,989,725
減税補てん債	400,317,944	－	105,505,191	294,812,753
臨時財政対策債	15,233,625,704	1,500,000,000	964,043,420	15,769,582,284
第三セクター等改革推進債	4,157,684,000	－	259,854,000	3,897,830,000
特別会計	**7,200,000**	**23,400,000**	－	**30,600,000**
公設地方卸売市場事業会計	7,200,000	23,400,000	－	30,600,000
企業会計	**22,045,780,367**	**840,700,000**	**1,466,929,879**	**21,419,550,488**
水道事業	7,269,317,929	294,600,000	424,785,665	7,139,132,264
下水道事業	9,642,392,773	149,100,000	650,198,077	9,141,294,696
病院事業	5,134,069,665	397,000,000	391,946,137	5,139,123,528

財政課

227　財政力指数の推移

年度	26	27	28	29	**30**
指　数	0.760	0.772	0.780	0.793	**0.801**

1　地方公共団体の財政力の強弱を示す指数で、この数値が1に近く1を越えるほど財源に余裕がある団体

2　財政力指数＝$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$（過去３年度間平均値）

財政課

228　経常収支比率の推移

年度	26	27	28	29	**30**
指　数	90.8	89.6	91.1	91.9	**91.0**

1　地方公共団体の財政構造の弾力性を判断する指標で、おおむね70～80％の間に分布するのが一般的

2　経常収支比率＝ $\frac{\text{経常経費充当一般財源の額}}{\text{経常一般財源の額}}$ ×100（％）

財政課

229　将来負担比率の推移

年度	26	27	28	29	**30**
指　数	86.7	82.1	71.5	61.7	**61.2**

1　地方公共団体が将来負担しなければならない借入金などに対し、返済し続ける財政力があるのかを示す指標で、市町村の場合、350％を超えると財政健全化団体となる

2　将来負担比率＝ $\frac{A-(B+C+D)}{(E-F)}$ ×100（％）

A ＝将来負担額
B ＝充当可能基金額
C ＝特定財源見込額
D ＝地方債現在高等に係る基準財政需要額算入見込額
E ＝標準財政規模
F ＝元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額

財政課

230　実質公債費比率の推移

年度	26	27	28	29	**30**
指　数	9.8	9.8	9.9	9.5	**9.1**

1　地方公共団体の一般財源に占める公債費や、公営企業債に対する繰出金などの公債費に準ずるものを含めた実質的な公債相当額（普通交付税が措置されるものを除く）に充当された割合をいい、この比率が18％を超えると、地方債の発行に際し総務省の許可が必要となる

2　実質公債費比率＝ $\frac{(A+B)-(C+D)}{(E-D)}$ ×100（％）

上記の算式による比率の過去３年度間の平均

A ＝元利償還金
B ＝準元利償還金
C ＝元利償還金又は準元利償還金に充てられた特定財源
D ＝基準財政需要額算定額
E ＝標準財政規模

財政課

231　市有財産の状況

（1）公有財産

（単位　㎡）

区　分		土　地	建　物
行政財産		12,799,916.17	468,163.86
内訳	公用財産	735,476.69	58,325.91
	公共用財産	12,064,439.48	409,837.95
普通財産		4,352,585.74	12,233.64
合　計		**17,152,501.91**	**480,397.50**

1　令和２年３月 31 日現在
契約管財課

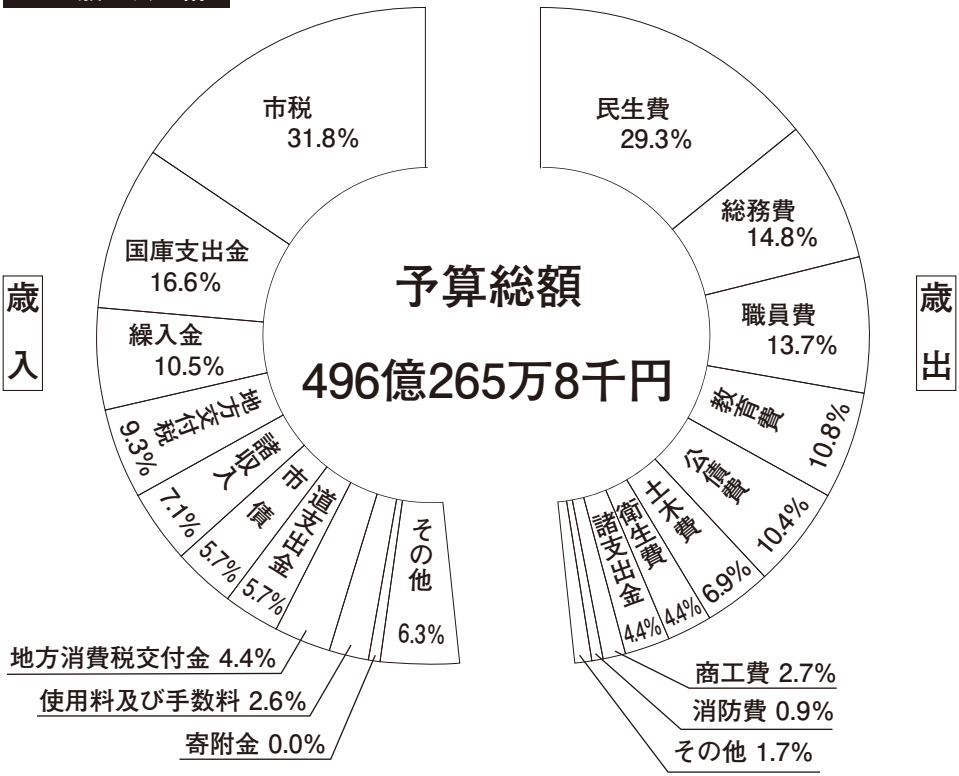
（2）評定価格

（単位　円）

区　分	金　額
有価証券	3,528,554,678
出資による権利	215,189,000
基　金	17,140,125,693

1　令和２年３月 31 日現在
会計課

一　般　会　計



〔主な歳入〕

（単位　千円）

区　　分	予　算　額
市　　税	15,753,000
国庫支出金	8,239,086
繰入金	5,200,226
地方交付税	4,600,000
諸収入	3,530,019
市債	2,837,000
道支出金	2,806,530
地方消費税交付金	2,167,000
使用料及び手数料	1,297,987
寄附金	10
その他	3,171,800
歳入計	49,602,658

〔主な歳出〕

（単位　千円）

区　　分	予　算　額
民生費	14,540,275
総務費	7,363,661
職員費	6,791,152
教育費	5,371,950
公債費	5,159,217
土木費	3,402,614
衛生費	2,199,136
諸支出費	2,169,589
商工費	1,360,626
消防費	420,668
その他	823,770
歳出計	49,602,658

財政課

あらまし

地域を守る大きな力

千歳市には、陸上自衛隊東千歳・北千歳駐屯地、航空自衛隊千歳基地に各部隊が所在し、市内に居住する自衛官とその家族等は人口の25%を占め、町内会活動をはじめスポーツ・文化団体での活動を通して市民生活と大きな関わりあいを持っています。

陸上自衛隊の第７師団は、北部方面隊に属する陸自唯一の機甲師団で東千歳駐屯地に師団司令部と各部隊を置き、石狩管内南部地区と胆振、日高管内、空知管内の一部を警備担当区域とし、北千歳駐屯地にも部隊が駐屯しています。第１特科団は、北千歳駐屯地に団本部と主力が駐屯する陸自唯一の特科団であり、地対艦誘導弾、自走榴弾砲などを有する野戦砲部隊です。また、第１高射特科団は東千歳駐屯地に団本部を置く、陸自最大の高射特科団で地対空誘導弾を装備し、航空自衛隊と連携して北海道の防空を担っています。

航空自衛隊千歳基地は、北海道の第一線航空基地として北部航空方面隊に属する第２航空団が展開しています。第２航空団は戦闘航空団として、北日本全空域の領空侵犯に対処するほか、陸上・海上自衛隊の作戦行動に対する支援にあたっています。また、基地には地対空誘導弾などを装備し重要区域を防空する高射部隊のほか、飛行場機能を維持する施設部隊、捜索や救助活動に当たる救難部隊、政府専用機を運用する特別航空輸送隊などが配備されています。

各部隊は国防の任務にあたっているほか、国際平和協力活動や国際緊急援助活動などに参加し、国際社会の平和と安定に貢献するとともに大規模災害が発生した際には人命救助、生活支援などの災害派遣活動を行っています。また、各種イベントの開催や支援を通して地域社会との密接な関係を築いています。

さらに、自己完結組織の特性を生かし防災会議や総合防災訓練などにも積極的に参加するなど力強い存在となっています。

自衛隊組織の見直し等により人員が減少した場合、北方の守りや災害発生時の対応に不安が生じるほか、地域経済やまちづくりにも深刻な影響を及ぼすことから、千歳市では、自衛隊の現体制の維持、強化

に努め、自衛隊が有する機能と人材などを生かした共存共栄のまちづくりを進めています。

232　陸上自衛隊

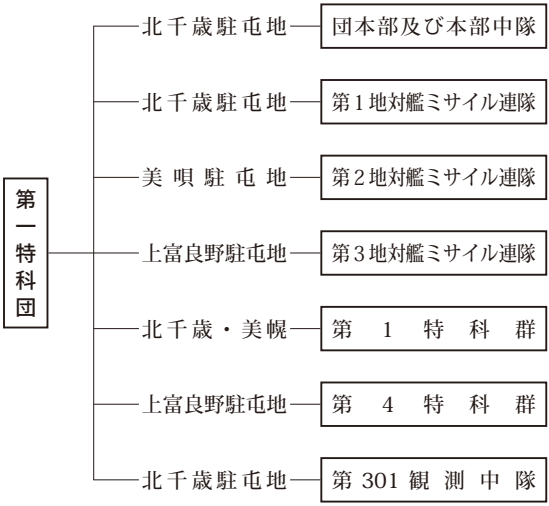
（1）第７師団編成組織

第七師団	東千歳駐屯地	師団司令部及び師団司令部付隊	
	東千歳駐屯地	第11普通科連隊	千歳
	北千歳駐屯地	第７１戦車連隊	室蘭・登別・伊達・豊浦 壮瞥・洞爺湖
	北恵庭駐屯地	第７２戦車連隊	夕張・恵庭・北広島・南幌 由仁・長沼・栗山
	南恵庭駐屯地	第７３戦車連隊	苫小牧・白老
	東千歳駐屯地	第７特科連隊	厚真・安平・むかわ・日高・平取
	静内・東千歳駐屯地	第７高射特科連隊	新冠・浦河・様似・えりも・新ひだか
	東千歳駐屯地	第７後方支援連隊	
	東千歳駐屯地	第７施設大隊	
	東千歳駐屯地	第７通信大隊	
	東千歳駐屯地	第７偵察隊	
	丘珠駐屯地（札幌飛行場）	第７飛行隊	
	東千歳駐屯地	第７化学防護隊	
	東千歳駐屯地	第７音楽隊	

1　部隊名の後の地名は警備隊区担当市町村を表す
陸上自衛隊第７師団

(2) 第１特科団編成組織

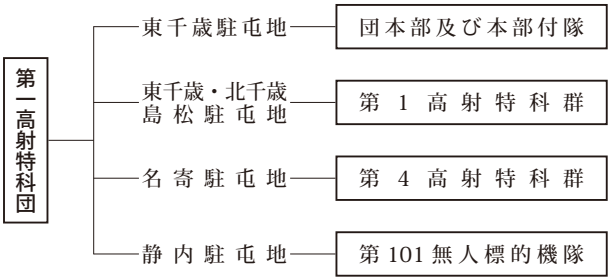
主要装備　203ミリ自走榴弾砲　88式地対艦誘導弾システム
多連装ロケットシステム　対砲レーダ装置等



陸上自衛隊第１特科団

(3) 第１高射特科団編成組織

主要装備　対空戦闘指揮統制装置（ADCCSI型）　地対空誘導弾ホーク　無人標的機等



陸上自衛隊第１高射特科団

233　航空自衛隊

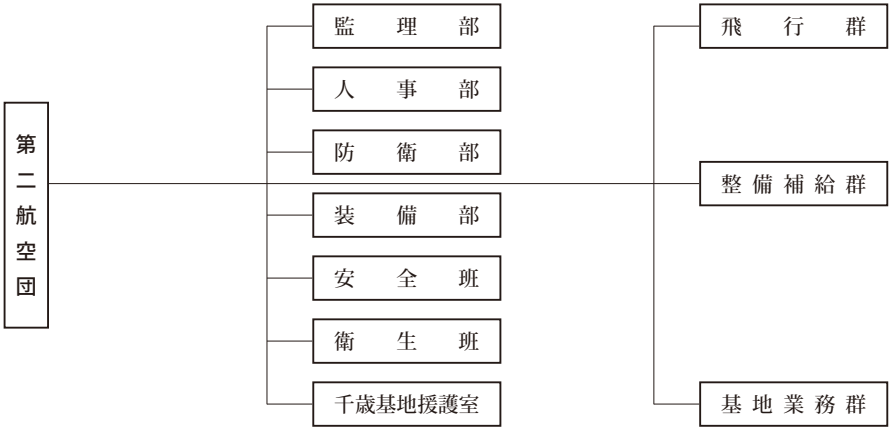
(1) 千歳基地所在部隊編成組織

千歳基地	第２航空団	北部日本全空域を防空するとともに領空侵犯に対処する部隊（F－15J／DJ・T－4）
	第１移動警戒隊	移動用レーダーでレーダーサイト防空網を補完する部隊
	第３高射群	重要防空地域へ侵入する目標を地対空誘導弾で防空する部隊（ペトリオット）
	北部航空施設隊第２作業隊	千歳飛行場の除雪、北海道の航空自衛隊関連施設工事などを行う部隊
	千歳救難隊	事故機の捜索・救助、緊急物資輸送や災害派遣に活躍する部隊（UH－60J　U－125A）
	基地防空教導隊	基地防空部隊の教導を担当する部隊（基地防空SAM　VADS）
	千歳管制隊	千歳飛行場と新千歳空港の航空管制業務を24時間体制で行う部隊
	千歳気象隊	航空気象観測を担当し、航空機の飛行運用を支援する部隊
	特別航空輸送隊	政府専用機を運航する部隊（B－777－300ER）
	第３移動通信隊	各基地間、災害派遣現場等との間に臨時通信網を確保する部隊

1　（　）は主要装備
航空自衛隊千歳基地

(2) 第２航空団編成組織

配備航空機　F－15J／DJ戦闘機　T－４練習機



航空自衛隊千歳基地

(3) 千歳飛行場施設概要

千歳飛行場は、防衛省が設置・管理する航空法第56条の５による共用飛行場です。

面　積　約1,060万㎡

滑走路　東側滑走路　延長3,000m　幅60m（セメントコンクリート舗装）
　　西側滑走路　延長2,700m　幅45m（アスファルトコンクリート舗装）

1　**表63**に再掲
航空自衛隊千歳基地

要覧ちとせ

資　　料

1　千歳市第６期総合計画

2　コンベンション都市　千歳

3　姉妹都市交流

4　友好親善都市交流

5　その他の交流

北海道千歳市

1　千歳市第６期総合計画

【序論】

第１章　計画のあらまし

1　計画策定の趣旨

千歳市は、これまで「総合建設計画」から「新長期総合計画」まで、５期にわたり「総合計画」を策定し、計画的なまちづくりを進め発展してきました。

しかし、今日の市民生活や地方自治体を取り巻く環境は、少子高齢化の進展と人口減少社会の到来、社会経済のグローバル化、環境問題の深刻化による消費型社会から循環型社会への転換、自主自立の分権型社会の移行など、大きな変革期を迎え、新たな対応が求められています。

このため、時代の変化に対応しながら持続的な都市の発展と市民生活の向上を目指す「第６期総合計画」を策定し、長期的な展望に基づくまちづくりの指針とします。

2　本計画の性格と策定の視点

（１）計画の性格

総合計画は、次のような性格を持った計画です。

①　まちづくりのビジョンを示す計画

総合計画は、本市におけるまちづくりの最上位に位置付けられる計画であり、まちづくりの目標とその取組方向を示しています。

分野ごとの個別計画の目標や施策については、本計画との整合性を図っていくこととします。

②　まちの発展と市民生活の向上を目指す総合的な計画

総合計画は、まちづくりの分野すべてを網羅するものであり、長期展望に立ったまちの発展と市民生活の向上を目指し、総合的かつ計画的な行政運営の指針を示しています。

③　市民とともに活動する行動指針となる計画

総合計画は、行政運営のみならず、市民や団体などの活動と連動し、市民と行政が一体となったまちづくりを進めるための指針を示しています。

（２）策定の視点

総合計画を策定する上で重視した点は、次のとおりです。

①　自主自立のまちづくりを目指す

少子高齢化の進展や人口減少社会の到来、また、環境問題の深刻化による循環型社会への転換などは、地域社会に大きな影響を及ぼすものであることから、これまでの社会資本整備や行政サービスの提供のあり方を見直すとともに、本市のまちの特性や資源を生かし、選択と集中による都市経営を進めながら自主自立のまちづくりを目指す計画としました。

②　市民の満足度を高める

市民アンケートをはじめ、中学生・高校生や各種団体・町内会などからの意見収集、都市経営会議、総合計画審議会、パブリックコメントなどの幅広い市民の参加により得られたまちづくりに対する意見を反映・尊重し、市民生活の満足度を高める計画としました。

③　取組の成果を測る

市民とまちづくりの目標を共有し、市民と一体となったまちづくりを進めるため、施策ごとに目標を明示するとともに成果指標を設定し、その取組の成果を測ることができる計画としました。

3　計画策定の趣旨

総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」により構成します。

（1）基本構想

基本構想は、千歳市を取り巻く社会動向や地域の現状・課題などを踏まえ、今後の目指すべき将来都市像やまちづくりの目標、それを実現する施策の展開について基本的な考え方を定めたものです。

長期的な視点に立ち、基本構想の目標年次は令和2年度（2020年度）とします。

（2）基本計画

基本計画は、基本構想に示した将来都市像とまちづくりの目標を実現するための基本的施策等を定めたものです。

基本計画の計画期間は、平成23年度（2011年度）から令和2年度（2020年度）までの10年間とし、社会経済情勢の変化などを踏まえ、中間年において進捗状況等を点検し、必要に応じて見直しを行います。

（3）実施計画

実施計画は、基本計画に示された基本的施策等を具現化するために必要な事業等を示したものです。

実施計画の計画期間は3年間とし、事業の評価結果や優先度・緊急度及び財政状況等を総合的に判断しながら毎年見直しを行います。

第2章　新たなまちづくりに向けて

1　時代の潮流

科学技術の飛躍的な発展により、人々の生活は快適さと利便性の向上が図られていますが、他方、地球的規模、さらには我が国特有の諸課題が発生し、これらはより複雑化しつつあります。

今後の千歳市のまちづくりを考える上で、次のような時代の潮流を踏まえ、対応していくこととします。

地球社会

■　情報通信の拡大・高速化と交流の国際化

世界的なインターネット通信の普及・拡大に伴い、国境を越えた地球レベルでの情報・モノ・人の交流が拡大し、様々な場面で情報の共有と即時性が高まっています。

地球的規模の交流が進む中で、互いの文化や伝統、多様な価値観を尊重し合い、相互理解と協調による国際関係の構築が求められています。

■　経済の国際化と構造変化

情報通信・交通ネットワークの拡大や資本の移転の進展に伴い、各分野における国際的な経済活動が活発化すると同時に、経済競争が激しくなっています。

欧米や日本を中心とした従来の世界経済は、中国やインドなどの新興国の台頭により構造が変化しつつあり、競争が激化・複雑化する中で、日本の経済は新たな国との協調・協力関係の構築が求められるとともに生産の分業、生産活動拠点の分散、物流機能の強化が進められています。

■　地球環境の保全

地球的規模での人口増加と経済活動の拡大などに伴い、世界各地における森林伐採、大気汚染、水質汚濁、オゾン層の破壊などの環境破壊が進み、地球上の自然生態系に大きな影響をもたらしています。

二酸化炭素などの温室効果ガスの発生量が増加し、温暖化をはじめとする気候変動が進み、それに起因すると考えられる災害が世界各地で発生するなど、人命や人類の存亡にかかわる深刻な問題となっていることから、温室効果ガス発生の抑制と地球環境の保全に対する意識が高まっています。

変　容

■　人口の減少と少子高齢化の進展

日本では長期にわたり少子化が続いた結果、平成17年（2005年）から人口が減少する社会を迎えました。一方、日本人の平均寿命は年々伸びて世界トップクラスを維持し、加えて、間もなく「団塊の世代」が高齢者（65歳以上）となることから、人口全体の高齢化は加速し、これまでにない高齢社会が到来しようとしています。

過度な人口減少と高齢化の進展に伴い、従来のコミュニティの維持が困難となる小規模集落なども増加しつつあり、新たな制度づくりや生きがいづくり、子どもの育成など、今後、様々な分野において、これまでのあり方を見直していくことが求められています。

■　国内経済の低迷と雇用形態の多様化

近年、日本の経済は、原油価格の高騰や原材料の産出減少、さらには金融不安に端を発した世界同時不況などの影響を大きく受け、経済活動全体が低迷し、企業の倒産や失業率の上昇、個人所得の減少などの問題を抱えています。特に、新規学卒者をはじめとする雇用不安が社会問題となっており、その一方では、人口の減少と高齢化の進展による将来的な労働力の不足が懸念されています。

さらには、これらの問題が深刻化している中で、企業における労働需要の変化、女性の社会進出や家庭と仕事を両立させる労働者の増加を背景に、雇用形態が多様化しています。

■　ライフスタイルの変化と多様化

高齢化の進展や経済情勢の変化、自己実現意識の高まりなどに伴い、人々の価値観はますます変化し多様化しています。また、心の豊かさや健康管理、自然とのふれあいなどへの志向が強まっており、これらに関する活動参加やスローライフといわれるような生活行動、移住などの実践行動が拡大しています。

■　地域主権型社会への移行

地方分権が進む中、地方自治体が自らの責任において、地域のことは地域の住民が決める地域主権型社会への移行が進みつつあります。

これに伴い、それぞれの地域の特性やニーズに即したより効果的な政策立案と予算配分を行うとともに、必要な公共サービスを円滑に実施していくための仕組みづくりが進んでいます。

安　心

■　社会保障の充実

少子高齢化の進展、世帯構造の変化、女性の社会進出、雇用形態の変化など社会全体の構造変化により、困難に直面した人々を社会全体で支援する社会保障は、その対象や範囲、給付内容等を見直し、国民生活の安定を支えています。一方で、経済成長の鈍化と国・地方の財政難を受けて、社会保障制度を支えるべき財政基盤は大きく揺らいでおり、将来にわたり持続可能な社会保障制度の検討が進められています。

また、高齢化、核家族化が進展し、家庭や地域における介護、相互扶助の機能が低下してきていることから、高齢者や障がい者を支えていくためのコミュニティなどの体制づくりや環境整備が進められています。

■　医療の確保と健康の増進

全国的な医師の診療科遍在、地域偏在が急速に進み、多くの地方が深刻な医師不足に陥るとともに、大幅な赤字を抱える公立病院の規模縮小や存続問題が各地で議論され、医療への不安が高まっています。特に、全国的な産婦人科医不足は深刻で、少子化対策の観点からも喫緊の課題となっており、国の政策として医師確保の取組が行われていますが、十分とはいえない状況にあります。

また、新たなウイルスなどへの対応として、国際化の進展に伴う感染症の拡大を防止するため、国際規模による予防・治療対策が取り組まれています。

さらに、近年、生活習慣病の増加や若年化が進んでおり、生活習慣改善による疾病予防と生活の質（クオリティ・オブ・ライフ）の向上を目指し、健康増進の取組が重視されています。

■　自然災害と事故・人的災害への対応

国内外を問わず、大規模地震やそれに伴う津波、大型台風や集中豪雨による河川氾濫及び土石流、火山噴火、竜巻、落雷、熱波や寒波など、様々な自然災害が多発し、それらに対する不安と関心が高まる中で、各種対策が進められています。

また、世界では国際的なテロ事件が頻発するとともに、国内では、従来はあまり見られなかった凶悪事件や社会的な弱者が被害者となる事件、整備・点検不良や運用規則等の逸脱による事故などが多発しており、地域・社会全体としてこれらの事件・事故の防止、さらには犯罪抑制のための対応を進めるとともに、企業等におけるコンプライアンス（法令遵守）の取組が重視されています。

2　千歳市の歩みと特性

（1）千歳市の歩み

■　「千歳」の誕生

千歳があるこの地は、2万2千年前の氷河期から人々の生活の跡をたどることができます。豊かな大地は、縄文時代よりもはるか以前から今日に至るまで人々の暮らしを支えてきました。

千歳一帯は、かつて「シコツ」と呼ばれていました。これはアイヌの人たちの言葉で「大きなくぼ地、谷」という意味です。この地に「千歳」という地名が付けられたのは、文化2年（1805年）江戸幕府蝦夷地奉行（箱館奉行）の羽太正養（はぶと　まさやす）が、そこには多くの鶴が生息していたことから「鶴は千年、亀は万年」の故事にちなんで「千歳」と命名したといわれています。

明治12年（1879年）に郡区町村編制法により、これまでの大小区が廃止され、郡（区）町村制となり、明治13年（1880年）、千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞の6村からなる胆振国千歳郡各村戸長役場が千歳村に置かれました。その後、大正4年（1915年）には、千歳・長都・蘭越・烏柵舞の4村が合併して千歳村となりました。

■　市制施行以前（戸長役場時代～昭和32年（1957年））

戸長役場が開庁した当時、千歳は室蘭街道（現、国道36号）の小さな宿場町として交通ルート上にありましたが、明治25年に現在の鉄道室蘭本線が開業してからは近代交通の影に押し込まれ、人々の往来がなくなり活気を失っていきました。

そのような中、大正15年（1926年）、鉄道札幌線（苗穂－沼の端間）の開通を記念して、小樽新聞社（後に統合されて北海道新聞社）の飛行機が千歳に着陸することとなり、村民総出で未墾の原野に着陸場を造りました。これが飛行場の歴史の始まりです。

その後、拡張を重ねた飛行場は昭和14年（1939年）に海軍航空隊の基地、終戦後には米軍基地となった後、昭和26年（1951年）に北海道空港の指定を受け、千歳－羽田間に民間航空の定期路線が開設

されることとなりました。その後、昭和29年（1954年）には陸上自衛隊駐屯地、昭和32年（1957年）には航空自衛隊千歳基地の開設などにより人口は急増しました。

■　市制施行以降（昭和33年（1958年）～現在）

昭和33年（1958年）7月1日に市制を施行し、北海道第17位の人口で道内24番目となる「市」として千歳市が誕生しました。

★　総合建設計画（昭和38年度（1963年度）～昭和45年度（1970年度））

昭和38年（1963年）に、「内包的成長」と「外延的成長」を図り、調和のとれた豊かな市民生活の実現を目指して、8年間を計画期間とする「総合建設計画」を策定しました。

昭和39年（1964年）には、新産業都市建設促進法の指定を受け、駐留米軍撤退に伴う駐留軍離職者対策と生産都市への脱皮を図るため、北海道で初めての市営による第1工業団地の造成が始まりました。

その後は第2工業団地、民間による第3工業団地の造成が進み、工業の集積が進む都市へと変貌しました。

★　第2期総合開発計画（昭和46年度（1971年度）～昭和55年度（1980年度））

札幌オリンピックを控えた昭和46年（1971年）4月からは、10年間を計画期間とし、「千歳市が持つ交通、産業、自然などの優れた特質を生かし、健康で豊かな生活のできる福祉社会の建設」を目標とする「第2期総合開発計画」が始まりました。

同年、道内初の高速道路である北海道縦貫自動車道千歳ＩＣ－北広島ＩＣ間が開通しました。

昭和49年（1974年）には、現在の泉沢向陽台地区を工業団地（臨空工業団地）と住宅団地として整備することを決定し、昭和53年（1978年）から第1期の造成工事に着手し、昭和54年（1979年）には泉沢向陽台の開村式が行われました。

また、昭和53年（1978年）には千歳飛行場主滑走路の南方1,000メートル移動、昭和55年（1980年）には、鉄道千歳線の複線化と電化、市街地区間の鉄道高架の供用開始、千歳空港駅（現、南千歳駅）の開業など交通機能の充実が図られました。

★　第3期総合開発計画（昭和56年度（1981年度）～平成2年度（1990年度））

昭和56年度（1981年度）から平成2年度（1990年度）までは、「未来に向かって豊かな　すこやかに支えあう　ふるさとづくり」を副題とする「第3期総合開発計画」による取組を進めました。

職住近接型の泉沢向陽台住宅地及び臨空工業団地の開発は引き続き進められ、昭和57年（1982年）には臨空工業団地における操業第1号の工場が完成しました。

また、昭和56年（1981年）には鉄道石勝線の開通、昭和63年（1988年）には民間航空機専用の新千歳空港の開港など、空・陸の交通拠点機能が強化され、これらの利点を生かし産業基盤の整備を進めるとともに、総合福祉センターや市民文化センターの開設、市立図書館の新築移転など都市機能の充実を図りました。

★　第4期総合計画（平成3年度（1991年度）～平成12年度（2000年度））

平成3年度（1991年度）から平成12年度（2000年度）までは、「せせらぎに創造し　世界にはばたくつどいの里」を都市づくりのテーマとする「第4期総合計画」による取組を進めました。

平成4年（1992年）には新千歳空港の旅客ターミナルビルが完成し、平成6年（1994年）からは国内初の24時間空港として運用が開始されました。さらに、平成11年（1999年）には北海道横断自動車道千歳恵庭ＪＣＴ－夕張ＩＣ間が開通し、空・陸交通の拠点機能の充実が図られました。

都市機能の充実を背景に平成５年（1993年）に地方拠点都市地域の指定を受け、空港周辺地域においては「千歳美々プロジェクト」や「千歳オフィス・アルカディア」などのプロジェクトを進めました。また、産学官が共同して光科学技術の頭脳拠点の形成を目指す「ホトニクスバレープロジェクト」については、平成10年（1998年）に事業の核となる千歳科学技術大学が開学しました。

★　新長期総合計画（平成13年度（2001年度）～平成22年度（2010年度））

21世紀の幕開けとなった平成13年度（2001年度）からは、平成22年度（2010年度）を目標年次とする「新長期総合計画」による取組を進めました。「新長期総合計画」においては、目指す将来都市像を「ひと・まち☆きらり　地球の笑顔が見えるまち　千歳」とし、千歳市が持つ特性や都市基盤などを有効に生かしながら、何よりも市民生活を大切にし、地球的視野に立った役割を担っていくことを主題としました。

空港周辺地域においては、各種プロジェクトが進められ、平成13年（2001年）には千歳アルカディア・プラザが開業し、平成14年（2002年）には千歳科学技術大学大学院博士前期課程、平成16年（2004年）に同大学院博士後期課程が開設されました。さらに、移転新築による市立千歳市民病院の開院をはじめとして、医療・福祉施設の充実を図りました。

一方、同年には、長引く景気低迷や国の三位一体の改革による地方交付税の大幅な削減に伴い、平成14年度（2002年度）から取り組んできた財政健全化対策を見直し、新たな財政健全化対策として取組を進めることとしました。

この対策期間中は、全事業の見直し、受益者負担の適正化等を進める一方で、事業の選択と集中による効果的な経費配分を行い、平成20年（2008年）に子育て総合支援センターを開設しました。

平成21年（2009年）までの財政健全化対策の取組により、５年間で見込まれた財源不足を解消しましたが、将来にわたる安定した財政運営を図るため、平成21年度（2009年度）に千歳市の財政運営の目指すべき将来像となる財政標準化計画を策定しました。

平成22年（2010年）には新千歳空港国際線旅客ターミナルビルが完成し、国際交流都市としての機能が更に向上しました。また、同年、防災学習の拠点施設となる防災学習交流センターの供用を開始しました。

このように、千歳市は、空・陸の交通拠点機能の優位性を生かし、優れた産業基盤と魅力ある都市機能の整備を進め、北海道の拠点都市として発展を続けています。

（２）千歳市の特性

千歳市は、北海道内において人口増加を続けている数少ない都市です。千歳市が、これからも持続的に発展していくためには、地域の特性を再認識、再発見し、それらを生かした取組を進めることが重要です。

■　優れた空・陸の交通拠点機能

○千歳市は、北海道の政治・経済の中心都市である札幌市に近接し、北海道の空の玄関・新千歳空港や鉄道・道路などの交通ネットワークが整備されています。

○新千歳空港は、東京国際空港（羽田空港）をはじめとして、関西国際空港、中部国際空港、福岡空港などの国内主要空港や東アジア地域などの国外空港と直結され、また、国際線旅客ターミナルビルの完成により空港機能が強化されています。

○鉄道は市内で千歳線と石勝線が接続し、また、道路は高速道路２路線や国道６路線、道道12路線により札幌をはじめとする道内の主要都市や観光地、産業拠点などと結ばれています。

■　多種多様な企業が立地する工業集積都市

○千歳市は、空・陸の交通拠点機能を生かし、第1工業団地を皮切りに臨空工業団地、流通業務団地など特色のある工業団地を造成し積極的に企業誘致を進めてきた結果、食料品、飲料、化学工業製品、電子部品・デバイス、電気機械器具などの多種多様な製造業や道路貨物運送業などの企業が立地し、道内有数の工業集積都市となっています。

○新千歳空港に隣接した美々地区には、光科学技術を学術研究分野とする公立千歳科学技術大学が所在しており、産学官の連携により、光科学技術の頭脳拠点と新技術産業の創出・育成の場の形成を目指す「ホトニクスバレープロジェクト」が進められています。

■　道内有数の農業産出地帯

○千歳市の農業は、大規模農業を営む農家が多く、また、耕地面積に対する畑作の割合が97％以上と非常に高いことが特徴です。また、畜産業も盛んで、多様な農業が展開されています。

○てん菜の生産をはじめとして、生乳や鶏卵の出荷量は石狩管内一を誇り、畜産産出額や農業全体の農業産出額はいずれも管内で高い水準にあります。

○良好な交通の利便性を生かし、市内の農業者が協力して、都市と農村の交流を図るグリーン・ツーリズムを推進しており、様々な農業体験や新鮮な農産物直売などの取組が行われています。

■　特色ある水産業

○千歳川では、明治21年（1888年）から続くサケ・マス増殖のため、親魚の捕獲と稚魚のふ化・放流が実施されており、北海道におけるサケ・マス増殖事業の中心的な役割を担っています。また、ふ化事業に用いるサケの親魚を捕獲するため、毎年8月下旬から12月初旬にかけて稼動する通称インディアン水車は、国内でも唯一の水力だけで回転する捕魚車であり、サケの遡上時期には多くの市民や観光客などが見学に訪れます。

○支笏湖では、ヒメマス（チップ）の資源保護と増殖のために明治以来100年以上にわたり、ふ化放流事業が実施されています。平成20年（2008年）には支笏湖漁業協同組合が漁業権を取得し、ヒメマスを次の世代に継承するための増殖事業を行っています。

■　豊かな自然環境

○千歳市の西部に位置する支笏湖は、昭和24年（1949年）に国立公園の指定を受け、全国第2位の水深で、国内でも有数の透明度を誇っています。

○支笏湖の周囲は、樽前山（1,041m）や風不死岳（1,102m）、恵庭岳（1,320m）などの山々が連なるとともに、北海道三大秘湖の一つといわれているオコタンペ湖や秘境「苔の洞門」、樹齢300年以上の樹木がそびえる「巨木の森」などがある広大な自然の宝庫です。

○豊かな自然と静かな環境に囲まれた支笏湖周辺には3つの温泉が所在し、訪れる人々を癒す道内有数の観光地となっています。

○支笏湖から流れ出て、市街地の中央を流れ、下流部において石狩川と合流する千歳川は、毎年サケが遡上する清流です。また、千歳川の支流の一つである内別川は、千歳市民の飲み水を支える水源であり、その流域にある大小の湧水群は名水百選に選ばれています。

■　先人が時代とともに築いてきた文化財

○千歳市は、埋蔵文化財が豊富で、平成21年（2009年）4月までに確認した遺跡数は285か所にのぼり、国指定の史跡にはウサクマイ遺跡群、キウス周堤墓群があり、重要文化財には美々4遺跡から出土した

動物型土製品、ママチ遺跡から出土した土製仮面、美々８遺跡から発掘されたアイヌ文化の木製品を中心とした出土品があります。さらに、市指定史跡は美々貝塚、市指定有形文化財は男性土偶など３件があります。

○埋蔵文化財以外では、近代・現代の歴史・文化を伝える市指定有形文化財として、「シコツ」から「千歳」に改名された由来が記載された釜加神社弁財天御厨子、郵便を扱っていた新保旅館に掛けられていた駅逓看板があり、また、無形文化財としては泉郷獅子舞、アイヌの伝統的芸能と工芸技術が指定されています。さらに、アイヌの古式舞踊は国指定の重要無形民族文化財に指定されています。

■　日本有数の防衛施設が所在するまち

○千歳市には、二つの陸上自衛隊駐屯地と一つの航空自衛隊基地があり、日本における北方の防衛拠点となっています。

○自衛隊は国家的な防衛機能のほか、災害発生時の対応など市民生活を守る大きな存在となっているとともに、地域活動やイベントなど様々な面でまちづくりに深くかかわりを持っています。

■　道内一若いまち

○平成21年（2009年）10月現在、千歳市の人口（住民基本台帳及び外国人登録名簿による人口）は93,801人で、各種産業の振興や住宅地の整備等により着実に増加しています。

○年齢別人口構成（平成21年10月1日現在）は、年少人口（０～14歳）が14,117人で15.1%、生産年齢人口（15～64歳）が63,980人で68.2%、老年人口（65歳以上）が15,704人で16.7%となっています。平成17年（2005年）の国勢調査による市の平均年齢は39.4歳と道内一若いまちであり、人口に対する婚姻数、出生数の割合が高くなっています。

○千歳市には民間事業所のほか、自衛隊や官公庁に勤める人が多いことから、転入及び転出についてはそれぞれ毎年6,000人程の人口移動があります。

3　市民の評価と意向

本計画の策定に当たっては、幅広い市民の意見を計画に反映・尊重することに努めています。その一つの方策として、市のまちづくりや市政運営等に関する市民の評価や意向を把握し、その結果を計画に反映させることを目的に、平成20年（2008年）９月に市民まちづくりアンケートを実施しました。

調査においては、満18歳以上の無作為抽出した市民3,000人に調査票を郵送し、1,228人（回収率40.9%）から回答を得た結果、「住みごこち」については７割以上が肯定的な評価であり、また、今後のまちづくりについては約６割が「安心・安全」を重視しています。

（１）住みごこち

千歳市の住みやすさに関しては、「住み良い」とする市民が72.4%を占めました。

・「住み良い」21.7%

・「どちらかといえば住み良い」50.7%

（２）定住意向

これからも千歳市内に住み続けたいとする市民は、78.2%を占めました。一方、市外に移りたい主な理由としては、「医療や福祉面が不安だから」（38.4%）、「騒音・振動・悪臭などの公害が多いから」（34.3%）などが挙げられています。

・「今の場所に住み続けたい」62.8%

・「市内の別の場所に移りたい」15.4%

（3）今後のまちづくりのキーワード

今後の千歳市のまちづくりを進めていく上でのキーワードについては、「安心・安全（安らぎ）」（59.2%）がもっとも高く、次いで「自然の豊かさ」（48.6%）、「活力・にぎわい」（40.0%）、「便利さ」（39.3%）、「やさしさ・思いやり」（38.7%）、「快適さ（気持ちよさ）」（38.6%）、「経済的な豊かさ」（38.5%）などと続きます。

（4）千歳市での暮らしについての満足度と重要度

千歳市での暮らしについての満足度と重要度では、重要度が高く満足度が低い項目として、「病院・診療所などの医療環境」、「道路や歩道の除排雪」、「働く場の確保」、「騒音・振動・悪臭などの公害防止」、「高齢者の自立支援」などが挙げられています。また、重要度が高い項目としては、「子育ての環境や支援」、「消防・救急体制」、「ごみの収集・リサイクル」、「自然災害などに対する防災体制」、「健康づくりや病気の予防」など、満足度が低い項目としては、「中心市街地のにぎわいづくり」、「バスの利用のしやすさ」、「観光都市としての魅力づくり」などが挙げられています。

4　まちづくりの課題

（1）少子高齢化と人口減少社会

日本では、出生率の低下による少子化の影響により、人口減少と急速な高齢化が進んでおり、千歳市においても例外ではありません。

千歳市の出生数は年間およそ1,000人で推移しているものの、10年前と比較すると減少傾向にあり、一方、死亡数は増加傾向にあります。年齢別人口構成の推移においては、0歳～14歳人口は減少しており、65歳以上人口は年々増加しています。

千歳市は、北海道内では平均年齢が若く、これまで人口増加が続いているまちですが、高齢化率は徐々に上昇しており、少子化の影響との相関により将来的には人口減少に転じる見込みとなっています。

このため、未来を担う子どもたちが健やかに育つことができ、高齢者が健康で安心して暮らせる環境づくりと福祉サービスの充実を進めるとともに、快適で効率的な都市機能の整備を図り、まちの活力を持続させていくことが重要です。

（2）地域でお互いを助け合う社会の実現

千歳市では、毎年多くの人口移動があり、また、世帯構造の変化や生活様式の多様化などの影響から、家庭や地域社会における人間関係の希薄化も見られ、家庭における子育て力の低下、地域ぐるみで子どもや高齢者を見守る環境の喪失などが懸念されています。

また、少子高齢化の影響やライフスタイルの多様化などから、地域によっては地域活動の担い手が不足する状況となっており、地域コミュニティの衰退につながる懸念があります。

このため、子どもから高齢者まですべての人々が地域でお互いに助け合い、心の豊かさやゆとりある生活が実現できる社会をつくることが重要です。

（3）地域医療体制の充実

全国的な医師の診療科偏在、地域偏在を背景として、千歳市においても産婦人科や小児科のみならず、他の診療科でも医師不足の影響が現実のものとなり、医療に対する不安が高まっていることから、地域医療機関と連携し、地域医療体制の充実を図っていく必要があります。

また、救急医療体制においても、在宅当番医の高齢化や医師不足の影響などにより、これまでどおりの体制を維持していくことは厳しい状況となっており、近隣自治体との連携を含め新たな対応策の検討に取り組んでいくことが重要です。

さらに、病気の予防においては、日頃から健康づくりや生活習慣の改善などの一次予防対策を充実していくことが求められており、個人の取組を支援する仕組みづくりが重要です。

（4）地球環境との共生

私たちの生命を支える自然環境では、地球温暖化や生態系の崩壊、資源の枯渇など、地球的規模での環境問題が深刻化し、その影響が懸念されています。

これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄といった経済活動のあり方から、廃棄物の減量化やリサイクルの推進、省エネルギーへの取組など、環境への負荷の少ない循環型社会に対応した社会経済システムへの転換が進められています。

千歳市においても、自然環境の保全とともに省資源・省エネルギー、リサイクルの推進といった環境にやさしい資源循環型のまちづくりを進め、学校教育の場をはじめとする環境教育の充実を図りながら、市民・事業者・行政が一体となって総合的な環境保全対策の取組を推進していくことが重要です。

（5）安全と安心の充実

各地で地球温暖化などの影響とされる集中豪雨のほか、大規模な地震などの自然災害が発生しており、災害対策への関心が高まっています。

また、犯罪発生率の上昇や犯罪の凶悪化、社会的な弱者が被害者となる犯罪の多発、食品における異物混入や不正表示など、日常生活における不安が高まっており、安全で安心できる社会づくりが求められています。

千歳市においても、防災や防犯対策の充実、消費者利益の保護、交通安全の推進、火災や事故等に対応した消防・救急体制の強化など、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して総合的な取組を進めることが重要です。

（6）学びの意欲と豊かな心の育成

核家族化、世代間や地域社会における交流の希薄化などの影響を受けて、知恵や経験を学ぶ機会が失われつつありますが、これからの社会においては、各個人が自己の啓発や生活の充実のため、自ら学習し、その意欲を高めていくことが重要となります。

千歳市においても、市民一人ひとりがそれぞれのライフスタイルに合わせ、まちづくり活動やスポーツ・文化などの様々な生涯学習に取り組むことができる社会を実現する必要があります。

また、未来を担う子どもたちに対しては、応用力や表現力等を習得した確かな学力を養うとともに、家庭、学校、地域社会全体で「豊かな心」と「生きる力」を育んでいくことが重要です。

（7）活力ある産業の創出・育成

経済活動のグローバル化や価値観の多様化などの影響を受けて、産業構造はこれまでの規格大量生産型、労働集約型から、高付加価値型、知識集約型へと転換が進んでおり、あらゆる分野において、より高い専門性や技術が求められています。

千歳市のまちの活力を高めるためには、企業誘致を推進するとともに高度技術産業の創出と集積、異業種連携、地元の産品や技術を活用した地域経済の活性化、雇用機会の創出、都市近郊型の特性を生かした農業の振興や広域的な連携を含めた観光都市としての魅力づくりなどを総合的に進め、競争力のある産業を育てていくことが重要です。

（8）都市機能の充実

千歳市は、これまで人口の増加に合わせた計画的な市街地の整備を進めてきましたが、少子高齢・人口減少社会の到来や社会経済構造の変化など都市を取り巻く状況が大きく変化していることから、長期的な視野に立った計画的な土地利用と魅力ある市街地の形成を推進する必要があります。

新千歳空港を核とする道央の交通拠点都市としての特性を生かし、まちのにぎわいを創出するとともに、交通実態等に合わせた道路整備や公共交通の充実、良好な緑地や水辺環境の保全など、都市機能の充実に取り組むことが重要です。

（9）自衛隊との共存共栄

千歳市は、市内に二つの陸上自衛隊駐屯地と一つの航空自衛隊基地が所在する日本一の自衛隊のまちです。その歴史は、昭和25年（1950年）に設置された警察予備隊千歳臨時部隊の駐屯、さらに昭和27年（1952年）に陸上自衛隊の前身となる保安隊千歳駐屯地の創立から半世紀以上にわたっています。

自衛隊隊員及びその家族を合わせると千歳市の人口の約25％を占めており、自衛隊は災害発生時の対応をはじめとして、まちづくりの様々な面において深いかかわりを持っており、自衛隊と共存共栄するまちづくりを進めることが重要です。

（10）健全な行財政運営

近年、国から地方へと様々な権限や財源が移譲される地方分権改革の中で、地方が担う役割と期待が更に大きくなっています。

地方財政を取り巻く環境は、税収増が期待できない社会経済情勢や高齢化の進展等に伴う社会保障費の増加などにより、今後一層厳しい状況になるものと予想されています。

また、自己決定・自己責任の考え方を基本に、市民と行政がともに課題と目標を共有しながら、協働により地域特有の資源を生かした行政運営を行うことが求められています。

千歳市においては、創意工夫による行政運営を確かなものにするため、市民と行政の適切な役割分担と連携による「市民協働」の取組を更に拡大するとともに、行政経営力の向上と財政基盤の強化を図り、自主自立のまちづくりを進めることが重要です。

基本思想

第１章　目指す都市像

１　基本理念

『千歳』は「鶴は千年、亀は万年」という故事にちなんで命名され、村民総出の労働奉仕により歴史に残る着陸場を造りました。

多くの先人が時を重ねて守り育ててきた数々の貴重な財産は、新たな魅力を加え、その開拓精神は、市民協働によるまちづくりへと受け継がれています。

今日、経済情勢の変化や国際化、情報化の進展、人口減少社会の到来、地域主権型社会への移行、市民のライフスタイルの多様化、少子高齢化など千歳市を取り巻く社会経済環境は大きく変貌し、新たな課題が発生してきています。

こうした課題に対応するためには、新千歳空港や支笏湖など、千歳市が持つ特性や資源、都市基盤などを有効に生かした施策の展開が一層重要となっています。

平成19年（2007年）４月には、市民と行政が協力してまちづくりを進めることが必要との考えから、「みんなで進める千歳のまちづくり条例」を施行し、以来、その実践に取り組んできました。

『まちの資源は“ひと”』です。市民が、お互いに助け合い、元気に輝き、調和を図っていくことが、活力あふれるまちづくりの原動力となります。

本計画においては、これまでのまちづくりの足跡と時代の潮流を踏まえ、郷土の更なる発展と住みよさを実感し誇りを持てるまちの実現に向けて、まちの活力が市民との協働により持続し、都市として安定的な発展を続けながら質的な成熟を図っていくことを基本理念とします。

2 将来都市像

基本理念に基づき、まちの活力と発展が持続することを目指す千歳市の将来都市像を次のとおりとします。

『みんなで生き生き　活力創造都市　ちとせ』

「みんなで」……　市民・市民団体・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら連携してまちづくりに取り組み（市民協働）、そのことが市民やまちの活力が生まれる推進力となること。

「生き生き」……　子どもから高齢者までの様々な市民が、健康で元気にあふれて活動し、社会の中においてその人らしい生活を送ることができること。

「活力創造都市」…　千歳市が持つ特性や資源、都市基盤を生かし、市民が生き生きと活動し、盛んな企業活動が行われ、まちの勢いがあり、さらにそこから新たな活力が生まれる都市。

3 将来人口

本計画の目標年次である令和２年度（2020年度）の人口については、次のように設定します。

千歳市では、恵まれた生活環境や立地条件などを背景に都市基盤の整備を進める一方、各種産業の振興を促進してきた結果、今日まで人口の増加が続いています。

全国的には平成17年度（2005年度）から人口減少社会に突入し、年々人口が減少しており、千歳市の人口も、少子高齢化による影響から将来的には減少に転ずることが見込まれていますが、当面は増加が続くものと推測されます。

本計画においては、まちの活力を持続させていくために様々な取組を進めることにより人口増加を維持し、令和２年度（2020年度）の人口については当初、95,000人と設定していました。

しかし、中間年を迎えた平成27年度に社会経済情勢の変化や計画の進捗状況等を検証し、内容の一部を見直すとともに本計画を一段と進めることで戦略的に人口の増加を目指すため、令和２年度の将来人口を95,000人から97,000人に上方修正しています。

4 土地利用の基本方針

（１）土地利用の基本方向

千歳市は、東西に細長い行政区域を持ち、東から西に向かい、生産性の高い「農業地域」、空港や鉄道を中心に人口の９割以上が居住する「都市地域」、山岳、湖などの自然環境に恵まれた国立公園支笏湖をはじめとして広大な国有林等を主とする「森林地域」及び「自然公園地域」で構成されています。

また、市街地の東・西・南の三方に防衛施設が位置しているとともに、国・公有地が総面積の約75％を占めていることなど、土地利用が制限されていることが千歳市の特徴となっています。

近年の少子高齢化・人口減少、経済等のグローバル化、地球環境問題の進行等を背景に、持続可能なまちの発展を目指すためには、自然環境の保全を図りつつ、有効かつ適切な土地利用を進めていくことが重要です。

このことから、土地利用の基本方向を次のとおりとします。

① 環境と経済の調和を基本とし、市民が生き生きと暮らし、各種の産業が展開できる社会の実現を目指し、各地域の特性などを十分に踏まえながら、都市地域・農業地域・森林地域及び自然公園地域ごとに土地利用の質的向上を図ります。

② 自然環境の保全を図りつつ、市民の生命及び財産を災害から守り、安全な生活を確保するための都市基盤の整備について、総合的かつ計画的に進めます。

③ 少子高齢・人口減少社会に対応したまちづくりに向けて、教育、医療、商業などの既存の施設や土地などを有効活用し、安定的かつ成熟した都市形成を推進するとともに、市街地の無秩序な拡大を抑制します。

（2）地域類型別の土地利用の基本方向

都市地域、農業地域、森林地域及び自然公園地域の土地利用の基本方向は、次のとおりとします。

① 都市地域

●市街地については、少子高齢化・人口減少の進展等の中で、環境への負荷の少ない豊かで暮らしやすい都市形成を目指し、安全で快適な都市生活のために必要な都市機能の適正配置や既存の施設・土地などの有効活用、利便性の良い交通環境の確保を推進します。

●住宅系市街地及び商業系市街地については、拡大を抑制することとし、未利用地の有効利用を推進することを基本とします。

●工業系市街地については、今後も企業誘致を推進し多様な産業の集積を目指し、未利用地の有効活用を進めるほか、地域産業の活性化等を踏まえ、新千歳空港周辺の都市的土地利用の可能性について検討します。

●自然災害などに対する安全性を高めるとともに、地域の実情を考慮しながら、災害に強い都市構造の形成を図ります。

●良好な都市景観の創出などにより、美しくゆとりある都市環境の形成を推進します。

② 農業地域

●生産性が高く魅力ある農業経営を目指すため、土地改良や排水整備など優良農地の確保に努めます。

●農村における景観や生態系の維持・形成を図るとともに、適正な農用地利用に配慮しながら、地域資源の特性を生かした都市と農村の交流を促進する環境づくりに努めます。

③ 森林地域及び自然公園地域

●国立公園である支笏湖及びその周辺地域については、貴重な動植物、山岳、湖沼、景観などを有しており、優れた財産として保護するとともに、エコツーリズムなどにおける自然体験・学習等の場として節度ある利用を促し、環境との調和に努めながら計画的な利用を図ります。

●国有林をはじめとする原生的な森林や貴重な動植物が生息・生育する森林については、自然環境の維持と保全に努めます。

●国立公園以外の良好な自然を形成している地域については、将来にわたって市民がその恵みを享受できるよう、自然環境の適切な保全に努めるとともに、自然環境との調和を保った適切な利用を図ります。

第2章　まちづくりの基本目標

本計画が目指す将来都市像を実現していくため、次のようなまちづくりの基本目標を定めます。

［第1　あったかみのある地域福祉のまち］

・世代や性別、障がいなどにかかわらず、すべての市民が主役となり、地域でお互いに支え合いながら、心の豊かさやゆとりある生活が実現でき、安心して暮らし続けられる、あったかみのあるまちづくりに取り組みます。

・市民一人ひとりが主役となった健康づくりや疾病予防対策を進めるとともに、地域の医療水準の

向上を図りながら、医療体制の充実に取り組みます。
・高齢者や障がい者が安全に安心して自立した生活を送ることができる地域づくりを進めるとともに、未来を担う子どもたちの健全な育成を図り、安心して子どもを生み育てることができるように地域全体で子育てを支援するまちづくりに取り組みます。
・市民が安心し快適な日常生活を送れるよう市民生活の安定を図るとともに、だれもが住み良さを実感し、支え合うコミュニティづくりに取り組みます。
・男女が性別にかかわらず、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合う男女共同参画社会の実現に向けて取り組みます。

［第２　人と地球にやさしい環境のまち］
・地球温暖化防止に向けて、環境に配慮した行動の啓発を進めながら、環境学習の推進を図り、地球環境の保全と低炭素社会の形成に取り組みます。
・資源の消費抑制・有効活用による環境への負荷低減や環境保全を進めるため、資源の有効活用を推進する循環型社会の形成に取り組みます。
・市民の快適な暮らしを支えるため、豊かな自然環境の保全と環境汚染等の未然防止に努め、生活環境の向上に取り組みます。

［第３　安全で安心して暮らせるまち］
・市民の生命及び財産を守るため、市民の防災意識の向上や防災訓練への参画を促すとともに、治水の推進を図るなど、あらゆる災害に対応できる総合的な防災対策の強化に取り組みます。
・地域における防犯や交通安全、子どもや要援護者の安全確保を図り、市民が安心して暮らすことができる地域社会の実現に取り組みます。
・複雑多様化する各種災害への対応力を強化するため消防・救急体制の充実に取り組みます。
・防衛施設や航空機の飛行、車両の走行等に起因する諸障害については、関係機関との調整を図りながら、その改善に取り組みます。
・住環境の整備や安全で安定的な水道供給の充実を図るとともに、快適で安全な冬季間の生活・交通環境を確保するため、効果的な除排雪に取り組みます。

［第４　学びの意欲と豊かな心を育む教育文化のまち］
・社会の変化と個々のライフスタイルの多様化の中で、市民一人ひとりが時代に柔軟に対応して、自ら課題を解決し、また、学んだ成果を地域で生かす生涯学習のまちづくりに取り組みます。
・子どもたちの豊かな心と生きる力を育むため、幼稚園、小中学校、高等学校など、様々な段階における学校教育と生涯にわたる学習ニーズに応じた社会教育の充実に取り組みます。
・個性を生かした文化の創造やスポーツの振興、貴重な文化財の保護と活用、未来を担う心豊かな青少年の育成を図るとともに、姉妹都市をはじめ国内外の様々な地域との交流を促す環境づくりに取り組みます。

［第５　活力ある産業拠点のまち］
・経営の安定化や担い手の育成・確保など農林業の振興を推進するとともに、千歳市特有の水産資源の保護と増殖に取り組みます。
・千歳市が持つ、空港を核とした交通の利便性や立地条件の優位性等を生かし、商業の振興や流通機能の充実を図るとともに、企業誘致の推進、高度技術産業や新産業の集積に取り組みます。
・千歳市の特性や資源を生かしながら、多様化するニーズに対応できる観光の振興を進めるとと

に、だれもが健康で安心して働くことのできる就業の場の確保と雇用の安定に取り組みます。

［第６　都市機能が充実したまち］

・長期的な視野に立ち、計画的な土地利用と魅力ある市街地の形成を推進するとともに、まちのにぎわいを再生し、だれもが安全で快適な都市生活を営むことができるよう、安定した地域社会の形成を目指し、コンパクトで成熟した都市づくりに取り組みます。
・空・陸の交通拠点機能に優れた千歳市の特性を生かし、新千歳空港や道路などの交通機能の充実と公共交通の利便性の向上を図るとともに、各種都市機能の充実に取り組みます。
・緑地の保全と緑化の推進を図り、市民が緑と親しみ、ふれあう機会の確保に取り組みます。

第３章　行政経営の基本目標

本計画を着実に進めていくため、次のような行政経営の基本目標を定めます。

［市民協働による自主自立の行政経営］

・市民と行政が良きパートナーとしてそれぞれの特性や役割を理解し、対等の関係で市民協働によるまちづくりに取り組みます。
・地域経済や地域活動、コミュニティの形成に大きな役割を担っている自衛隊と共存し、発展していくことを目指すまちづくりに取り組みます。
・効率的、安定的な行財政運営や連携による広域行政を推進し、地域主権型社会に対応できる自主自立のまちづくりに取り組みます。

企画課

2　コンベンション都市　千歳

コンベンションとは簡単にいえば、「人・物・情報等の複合的、総合的な集人・交流の場」です。コンベンションによって、労働力の需要が増大することはもちろん、交通・宿泊・飲食・観光など間接的効果が相乗し、地域経済を活性化することができるのです。

このことから、千歳市では、コンベンション都市形成に努めていますが、コンベンション都市の要件としては、

１．コンベンションをまちづくりのひとつの柱とするという構想をもつこと
２．参加者を集める以上、アクセス確保が容易であること
３．地域外から人が集まるので、宿泊施設が必要であること
４．参加者のコミュニケーションにとって、飲食は重要な要素となること
５．コンベンションを行う場としての施設整備が行われていること
６．コンベンション開催都市としての魅力は観光をはじめ基本的都市機能が充実されていること

などが挙げられます。

この６つの要件について、千歳市は北方圏を指向した国際空港を有する北海道の空陸交通の拠点都市であり、国立公園支笏湖を始めとする緑あふれる自然と清冽（せいれつ）な千歳川が流れるまちとして観光面でも充実し、また都市基盤も充分に整備されており、まちぐるみでコンベンション機能の充実に力を注いでいます。

コンベンションの開催は、住み良い活力のある地域づくりを創造する契機となり、新しい千歳の姿を世界、そして国内、道内の人々に紹介する機会ともなることから、千歳市では毎年多くのコンベンションが開催されています。

なお、コンベンション都市要件の２、４、６については、**第８章　空港・運輸・通信、第16章　観光・レクリエーション**などを参照してください。

交流推進課

(1) 施設

施設名	設備
北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)	大ホール　1,275席、中ホール　412席
	会議室　210席外
ホテルグランテラス千歳	会議室　600席外
ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳	会議室　650席外
新千歳空港ポルトムホール	メインホール　405席外

1　令和２年５月１日現在
2　300席以上収容の施設を掲載した
観光課

(2) ホテル・旅館の概況（地区別）

ア　市街地・周辺

ホテル・旅館名	電話	客室数	収容人員
ＡＮＡクラウンプラザホテル千歳	２２－２３１１	438	689
ホテルルートイン千歳駅前	４０－１１００	330	490
ホテルグランテラス千歳	２２－１１２１	256	408
ベストウェスタンプラスホテルフィーノ千歳	４０－００３３	154	364
ＪＲイン千歳	２５－８３５７	185	364
ポルトムインターナショナル北海道	４５－６０１２	171	342
エアターミナルホテル	４５－６６７７	188	278
クイーンズホテル千歳	２６－０００１	153	245
千歳ステーションホテル	４９－３０００	138	201
ホテルウイングインターナショナル千歳	２４－２１１１	152	182
千歳第一ホテル	２７－２０００	119	149
ホテルエリアワン千歳	２６－１１５６	55	126
千歳エアポートホテル	２６－１１５５	87	124
Ａｉｒ Ｈｏｓｔｅｌ ＬＣＣ	２２－３６６６	33	109
ホテルかめや	２３－２００２	52	103
ホテルリブマックス千歳	２３－８１００	49	89
トイロンズホテル	２２－４１００	40	88
ビジネスホテルホーリン	２３－１１６６	34	54
ピエス・チトセ・エスワン	0120-949-484	26	45
新千歳空港温泉	４６－４１２６	11	22
松原温泉旅館（泉郷）	２９－２５３６	5	10

1　令和２年５月１日現在
2　ホテル等名は収容人員順で記載した
3　**表197**（1）に再掲
観光課

イ　支笏湖周辺

ホテル・旅館名	電話	客室数	収容人員
丸駒温泉旅館	２５－２３４１	56	260
しこつ湖鶴雅リゾートスパ水の謌	２５－２２１１	53	197
支笏湖ユースホステル	２５－２３１１	18	108
しこつ湖鶴雅別荘碧の座	２５－６００６	25	96
休暇村支笏湖	２５－２２０１	39	88
支笏湖第一寶亭留翠山亭	２５－２３２３	29	73
レイクサイドヴィラ翠明閣	２５－２１３１	8	20
モーラップ樽前荘（ライダーハウス）	２５－２９０２	8	30
ラップランド（民宿）	２５－２２３９	3	14
支笏荘（民宿）	２５－２７１８	3	11
ログベアー（民宿）	２５－２７３８	2	6

1　令和２年５月１日現在
2　**表197（2）**に再掲
観光課

（3）令和元年度スポーツ大会実績

規模別	参加希望者				
	100人未満	100～199人	200～399人	400人以上	計
全国	2	0	0	5	7
全道	8	12	20	17	57
管内・ブロック	20	34	45	26	125
計	**30**	**46**	**65**	**48**	**189**

（公財）千歳市体育協会

（4）コンベンションの実績

平成４年	国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議	（国際会議・930人）
５年	北海道基地協議会研修会	（全道会議・283人）
	エアフレイト・アジア'93本会議	（国際会議・198人）
	北海道母子寡婦福祉大会	（全道大会・1,230人）
	北海道技術家庭科教育研究大会	（全道大会・310人）
	石狩管内婦人大会	（石狩大会・400人）
	麻薬・覚醒剤禍撲滅運動北海道大会	（全道大会・460人）
６年	北海道基地協議会研修会	（全道会議・283人）
	国際民間航空機関航空運送政策セミナー	（国際会議・209人）
	石狩管内教育研究会千歳市学校課題研究指定校発表会	（石狩大会・260人）
７年	北海道基地協議会研修会	（全道会議・310人）
	日本下水道協会北海道地方支部第32回定期総会	（全道会議・300人）

平成７年	全道造形教育研究大会	（全道大会・450人）
	北海道学校給食研究大会	（全道大会・700人）
	全道老人クラブ大会	（全道大会・1,400人）
８年	第20回全国高等学校総合文化祭	（全国大会・850人）
	第29回ガン予防道民大会	（全道大会・1,500人）
	国際農業シンポジウム	（国際会議・250人）
	防衛施設庁所管補助事業等実務担当者研修会	（全道会議・250人）
	北海道ぼけ老人を支える家族の会研修会	（道央ブロック会議・250人）
	第46回北海道公立小中学校事務研究大会	（全道大会・1,000人）
９年	国際連合アジア太平洋経済社会委員会（ＥＳＣＡＰ）	
	地域経済協力委員会第９回調整グループ会合	（国際会議・100人）
	第27回北海道養護教員研究大会千歳大会	（全道大会・829人）
	第42回北海道母と女性教職員のつどい	（全道大会・1,500人）
10年	先端有機ホトニクス物質と応用に関する国際会議（ICONO'4）	（国際会議・178人）
	第30回全国ボランティア研修会	（全国大会・500人）
	北海道社会教育研究大会	（全道大会・720人）
	北海道・東北商工会議所連絡会議	（全道・東北大会・285人）
11年	ＱＣサークル北海道支部大会	（全道大会・400人）
	ＱＳＤＳ改善事例発表会	（全道大会・450人）
	千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・108人）
12年	光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）	（国際会議・410人）
	デジタルシティ国際会議	（国際会議・460人）
	石狩管内中学校音楽発表会	（石狩大会・1,000人）
	日本青年会議所道央ブロック大会	（道央大会・1,400人）
	石狩管内ＰＴＡ連合会研究大会千歳大会	（石狩大会・1,400人）
	北海道合唱コンクール中・高等学校部門	（全道大会・800人）
	北海道言語障害児教育研究大会	（全道大会・400人）
	石狩地区子育て支援センター	（石狩大会・300人）
13年	石狩管内音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	北海道小学校長会教育研究石狩・千歳大会	（石狩大会・1,500人）
	第25回赤十字北海道大会	（全道大会・2,000人）
	北海道基地協議会実務担当者研修会	（全道大会・268人）
	第２回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・250人）
	全道女性保護の会研修会	（全道大会・283人）
	石狩管内ＰＴＡ連合会母親研修会	（石狩大会・252人）
14年	ＩＴＵ－Ｔ国際会議	（国際会議・900人）
	北海道保育研究大会	（全道大会・350人）
	第３回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・92人）
15年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	第４回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・84人）
16年	ISO/IEC JTC1/SC 25千歳会議	（国際会議・961人）
	第54回北海道公立小中学校事務研究大会	（全道大会・990人）
	第25回健康増進研修大会	（全道大会・1,188人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	第５回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・72人）
17年	第39回全国障害者問題研究全国大会	（全国大会・1,500人）
	第52回日本ＰＴＡ北海道ブロック研究大会千歳大会	（全道大会・1,000人）
	情報科学用有機材料第142委員会30周年記念シンポジウム	（国際会議・50人）
	第６回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・70人）
18年	第７回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・146人）
19年	北海道里親研修大会全国里親会北海道地区里親研修大会	（全国大会・321人）
	㈳日本青年会議所北海道地区協議会第56回北海道地区大会千歳大会	（全国大会・1,200人）

平成19年	第８回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・120人）
	2008ふゆトピア・フェアin千歳	（全国大会・12,000人）
20年	第９回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・400人）
	Ｊ８サミット2008千歳支笏湖	（国際会議・134人）
21年	第10回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・500人）
22年	第12回日中韓三カ国環境大臣会合	（国際会議・120人）
	石狩管内中学校文化連盟音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,000人）
	第11回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・358人）
23年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,148人）
	第41回北海道養護教員研究大会	（全道大会・750人）
	きょうされん北海道支部2011全道大会	（全道大会・250人）
	第60回全道身体障害者福祉大会千歳大会	（全道大会・733人）
	第45回北海道公立学校教頭会研究大会千歳大会	（全道大会・1,005人）
	第45回全道高等学校書道展・研究大会	（全道大会・1,200人）
	第40回全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会全国大会千歳大会	（全国大会・402人）
	第44回北海道言語障害児教育研究大会千歳大会	（全道大会・1,200人）
	第12回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
24年	第13回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
	第36回全道高等学校放送発表大会兼第59回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・2,100人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,200人）
	第45回がん予防道民大会	（全道大会・700人）
	第67回北海道算数数学教育研究大会	（石狩大会・439人）
	北海道高等学校文化連盟第35回放送コンテスト	（全道大会・600人）
25年	第14回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,240人）
	第63回北海道公立小中学校事務研究大会	（石狩大会・600人）
	第55回北海道スポーツ推進委員研究協議会	（全道大会・550人）
26年	第15回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・300人）
	第38回全道高等学校放送発表大会兼第61回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・2,000人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,200人）
	石狩ＰＴＡ連合会研究大会千歳大会講演会	（石狩大会・600人）
	北海道高等学校文化連盟第37回放送コンテスト	（全道大会・845人）
27年	北海道柔道連盟柔道指導者研修会	（全道会議・490人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,575人）
	麻薬・覚醒剤乱用防止運動北海道大会	（全道大会・800人）
	第16回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・312人）
28年	第17回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・200人）
	第27回北海道救急医学会救急隊員部会総会・研修会	（全道会議・300人）
	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,442人）
	第57回全道ろうあ者大会	（全道大会・830人）
	北海道高等学校文化連盟第39回放送コンテスト	（全道大会・650人）
	第40回全道高等学校放送発表大会兼第63回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・2,000人）
29年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,500人）
	北海道柔道連盟柔道審判研修会	（全道会議・680人）
	石狩管内放課後児童会・学童クラブ指導員研修会	（石狩大会・300人）
	北海道中学校長会創立70周年記念第59回北海道中学校長会研究大会石狩・千歳大会	（全道会議・326人）
	第18回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・220人）
30年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,600人）

平成30年	北海道柔道連盟柔道審判研修会	（全道会議・680人）
	第19回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・240人）
	第42回全道高等学校放送発表大会兼第65回ＮＨＫ杯全国高校放送コンテスト北海道大会	（全道大会・3,240人）
	第63回北海道母と女性教職員のつどい	（全道大会・630人）
令和元年	石狩管内中学校音楽発表会（器楽部門）	（石狩大会・1,600人）
	北海道柔道連盟柔道審判研修会	（全道会議・560人）
	第20回千歳光科学国際フォーラム	（国際会議・147人）

1　国際会議は250人未満の会議も掲載している
交流推進課・観光課・文化施設課

（5）国際会議の実績（再掲）

平成４年	国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議	（930人）
５年	エアフレイト・アジア'93本会議	（198人）
６年	国際民間航空機関航空運送政策セミナー	（209人）
８年	国際農業シンポジウム	（250人）
９年	国際連合アジア太平洋経済社会委員会（ＥＳＣＡＰ） 地域経済協力委員会第９回調整グループ会合	（100人）
10年	先端有機ホトニクス物質と応用に関する国際会議（ＩＣＯＮＯ'4）	（178人）
11年	千歳光科学国際フォーラム	（108人）
12年	光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）	（410人）
	デジタルシティ千歳会議「国際シンポジウム」	（460人）
13年	第２回千歳光科学国際フォーラム	（250人）
14年	ＩＴＵ－Ｔ国際会議	（900人）
	第３回千歳光科学国際フォーラム	（92人）
15年	第４回千歳光科学国際フォーラム	（84人）
16年	ISO/IEC JTC1/SC 25千歳会議	（961人）
	第５回千歳光科学国際フォーラム	（72人）
17年	情報科学用有機材料第142委員会30周年記念シンポジウム	（50人）
	第６回千歳光科学国際フォーラム	（70人）
18年	第７回千歳光科学国際フォーラム	（146人）
19年	第８回千歳光科学国際フォーラム	（120人）
20年	第９回千歳光科学国際フォーラム	（400人）
	Ｊ８サミット2008千歳支笏湖	（134人）
21年	第10回千歳光科学国際フォーラム	（500人）
22年	第12回日中韓三カ国環境大臣会合	（120人）
	第11回千歳光科学国際フォーラム	（358人）
23年	第12回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
24年	第13回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
25年	第14回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
26年	第15回千歳光科学国際フォーラム	（300人）
27年	第16回千歳光科学国際フォーラム	（312人）
28年	第17回千歳光科学国際フォーラム	（200人）
29年	第18回千歳光科学国際フォーラム	（220人）
30年	第19回千歳光科学国際フォーラム	（240人）
令和元年	第20回千歳光科学国際フォーラム	（147人）

交流推進課

3　姉妹都市交流

(1) アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市

千歳市は、昭和43年（1968年）6月、アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジ市と日米間で70番目の姉妹都市提携を市議会において議決し、昭和44年4月21日千歳市長ほか親善使節団一行が、アンカレジ市を訪問して盟約書に調印しました。以来、両市の交流は年ごとに深まり、平成11年10月には姉妹都市提携30周年を迎え、アンカレジ市長を始め11人の友好使節団が来千しました。平成20年9月には、千歳市市制施行50周年記念式典参加のため、アンカレジ市議会議長始め4人が来千しました。平成21年7月には姉妹都市提携40周年を迎え、千歳市長を始め36人の市民訪問団がアンカレジ市を訪問しました。令和元年9月には、姉妹都市提携50周年を迎え、アンカレジ市長を始め15人が来千され、記念植樹、記念式典、祝賀会など各種行事に参加し、式典では、両市長が姉妹都市提携確認書にサインを交わしました。

今日まで、高校生の交換留学を皮切りにガールスカウト、少年野球、学校間交流など様々な分野での交流を続けており、令和2年1月には、新たな交流として、お互いの先住民族による交流が始まりました。

州 概 要

1741年　（寛保元年）　ロシア皇帝の命を受けたデンマーク人ベーリングによって探検されてからロシア人が入植。

1867年　（慶応3年）　アメリカ合衆国が約720万ドルでこの土地を買収。

1959年1月（昭和34年）　アメリカ合衆国で49番目の州となる。（州都はジュノー市）

広さは日本の4倍で合衆国一を誇り（約152万㎢、人口は約73万人）北米大陸最高峰のデナリ山（6,194m）がそびえ、世界最大の氷河マラピスナが横たわります。

主な産業は石油、観光、水産、林業、鉱業ですが、州の歳入の多くは石油に依存しています。

シンボルは、州花〔忘れな草〕、州鳥〔雷鳥〕、州魚〔キングサーモン〕、州木〔アラスカヒノキ〕、州技〔犬ゾリ〕。

市 概 要

アラスカ中南部に位置するアラスカ最大の都市で、約29万人が住んでいます。1914年にアラスカ鉄道建設基地本部が置かれたことにより交通の要所となり、さらに第2次世界大戦が契機となって国防の町として発展しました。近年は国際空港としても有名となり、名実ともにアラスカ経済、産業、行政機能の中心地となっています。現在のアンカレジ市は旧市街と近隣の町村が合併したもので、全米都市賞に3回輝くなど合衆国で最も成長著しい都市に数えられています。（市制施行1920年11月23日）

気　　候

アラスカの春は一面凍りついた川の氷が砕け始めた瞬間から巡ってきます。5月中旬には青葉が茂り、6月・7月には野に咲く花々を楽しめる季節となり、渡り鳥がアラスカに帰ってきます。7月・8月と夏は短めですが、日中平均温度が15℃近くになり、観光客が最も訪れる季節です。日照時間が大変長く白夜となって、夏至には日没時間が4時間ほどしかありません。この季節にさけが群れをなして遡上します。9月・10月の秋は、空気が澄み晴天の日が続き、大自然の森林は一斉に紅葉・黄葉を始め、深緑色の常緑樹との間で美しいコントラストを生み出します。11月から3月までの冬の季節はすがすがしく乾燥し、晴れた寒さの厳しい日と曇りの寒さの和らいだ日が交互に訪れます。一面銀世界となりオーロラが見えやすくなり、冬至には日照時間が5.5時間ほどになります。

経　　済

アンカレジは州の主要な企業活動・金融・行政の中心であり、輸送・物流の基点で、最も急成長の分野である州の国際貿易、観光業の多くが拠点にしています。

アンカレジは重要な港であるとともに、アラスカ鉄道の要衝であり、ジョイント・ベース・エルメンドルフ－リチャードソンという大きな軍事基地を有しています。連邦政府と州政府による官営の事業所と観光事業はアンカレジの経済基盤の主要な要因となっています。

公式訪問（主なもの）

千歳→アンカレジ

昭和44年４月	姉妹都市提携盟約書調印
45年11月	アンカレジ開基50周年記念式典
48年２月	アンカレジ訪問千歳友好使節団
51年７月	アメリカ建国200年記念、アンカレジ市計画による「千歳デー」に招待
54年９月	千歳市開基100年・姉妹都市提携10周年記念行事としてアンカレジ訪問千歳友好使節団
59年７月	スポーツ交流少年野球使節団
63年７月	市制施行30周年記念・新千歳空港オープン記念行事としてアンカレジ訪問友好使節団及びスポーツ交流使節団
平成３年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団及びスポーツ交流使節団
６年３月	第６回北方都市市長会議及び国際冬の見本市に市長一行４人が参加
９月	姉妹都市提携25周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団
12年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団及び少年野球使節団
16年２月	市長一行４人が第11回北方都市会議参加のためアンカレジを訪問し、「市長会議」や「国際冬の見本市」に参加
21年７月	姉妹都市提携40周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団
26年８月	姉妹都市提携45周年記念・アンカレジ訪問千歳市民訪問団

アンカレジ→千歳

昭和44年７月	千歳市開基90年記念式典
50年９月	千歳訪問友好使節団
54年８月	千歳市開基100年記念式典
11月	千歳・アンカレジ姉妹都市盟約10周年記念式典
59年４月	千歳市民文化センターオープン記念式典
62年７月	「千歳・日航国際マラソン」に参加
平成元年10月	千歳市開基110年記念式典、姉妹都市提携20周年記念式典
４年７月	新千歳空港ターミナル供用開始記念式典
10月	ウインター・シティーズ・アンカレジ　’94セミナー
11年10月	千歳開庁120年記念式典、姉妹都市提携30周年記念式典
12年６月	アンカレジ市長友好親善交流
20年９月	千歳市市制施行50周年記念式典
令和元年９月	千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念式典

市民友好親善交流

昭和48年２月	アンカレジ訪問千歳友好使節団（40人）
54年９月	千歳市開基100年、姉妹都市提携10周年記念行事として、チャーター便「ちとせ号」でアンカレジ訪問千歳友好使節団結成（153人）
59年７月	スポーツ交流少年野球使節団（27人）
63年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団（105人）
平成３年７月	少年野球交流、女子ソフトボール交流、中学生研究グループ（104人）
６年３月	千歳国際交流協会設立記念事業・小学生姉妹都市派遣団（24人）
９月	姉妹都市提携25周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団（59人）
7年１月	姉妹都市提携25周年記念・チトセアンカレジスレッドドッグレース1995開催（以後12年１月まで開催）
７月	アンカレジ訪問少年野球使節団（19人）
12年７月	アンカレジ訪問千歳友好使節団（28人）少年野球使節団（19人）
13年１月	アンカレジ訪問千歳スケートスポーツ少年団（15人）
21年７月	姉妹都市提携40周年記念・アンカレジ訪問千歳友好使節団（36人）、子どもサミット開催
26年８月	アンカレジ訪問千歳市民訪問団（30人）、ユースサミット開催、YOSAKOIソーラン披露

少年野球交流（ホームステイ）

千歳→アンカレジ

昭和59年７月	27人	７泊９日滞在	４試合
63年７月	21人	５泊７日滞在	４試合
平成３年７月	20人	５泊７日滞在	３試合
７年７月	19人	５泊７日滞在	３試合
12年７月	19人	５泊７日滞在	３試合

アンカレジ→千歳

昭和58年８月	20人	６泊７日滞在	４試合
62年８月	19人	５泊６日滞在	３試合
平成２年８月	19人	９泊10日滞在	４試合
５年８月	25人	９泊10日滞在	４試合
10年８月	19人	９泊10日滞在	３試合

姉妹校交流（千歳小学校－サンドレイク小学校）

平成４年１月	両校児童の作品交換を中心とした交流を開始
５年８月	アンカレジ少年野球訪問団にサンドレイク小児童が含まれていたため、千歳小にて交歓会、青葉公園にてキャンプを実施
６年３月	小学生姉妹都市派遣団（うち千歳小７人）がサンドレイク小を訪問
６月	サンドレイク小日本語集中訓練教育プログラムの児童20人が来千し、ホームステイ、体験入学、キャンプなどを通して交流
８年６月	サンドレイク小日本語集中訓練教育プログラムの児童21人が来千し、ホームステイ、体験入学、キャンプなどを通して交流

9年3月　千歳小学校一行52人（児童44人・引率８人）がサンドレイク小学校を訪問し、全校歓迎集会や一日体験入学、ホームステイなどを通して交流

10年6月　サンドレイク小学校一行52人（児童35人・引率17人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

11年7月　千歳小学校一行36人（児童21人・卒業生3人・引率12人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

12年6月　サンドレイク小学校一行59人（児童39人・引率20人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

15年1月　千歳小学校一行29人（児童11人・卒業生10人・引率８人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会、犬ゾリ体験などを通して交流

16年6月　サンドレイク小学校一行55人（児童36人・引率19人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

17年8月　千歳小学校一行34人（児童17人・卒業生７人・引率10人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

18年6月　サンドレイク小学校一行46人（児童32人・引率14人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

20年1月　千歳小学校一行27人（児童16人・卒業生３人・引率８人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会、犬ぞり体験などを通して交流

21年6月　サンドレイク小学校一行42人（児童30人・引率12人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

23年1月　千歳小学校一行24人（児童10人・卒業生７人・引率７人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

24年6月　サンドレイク小学校一行35人（児童22人・引率13人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

26年1月　千歳小学校一行22人（児童13人、卒業生３人、引率６人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

26年6月　サンドレイク小学校一行35人（児童21人・引率14人）が来千し、ホームステイや交歓会、運動会などを通して交流

28年1月　千歳小学校一行15人（児童10人・引率５人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

28年6月　サンドレイク小学校一行45人（児童29人・引率16人）が来千し、ホームステイや交歓会、運動会などを通して交流

学校間交流（市内小学校－サンドレイク小学校）

30年1月　市内小学校一行39人（児童32人・引率７人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

30年6月　サンドレイク小学校一行28人（児童17人・引率11人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

令和2年1月　市内小学校一行24人（児童18人・引率６人）がサンドレイク小学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流

学校間交流（市内中学校－ミアーズ中学校）

平成22年３月	ミアーズ中学校一行17人（生徒12人・引率５人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
23年１月	市内中学校一行12人（生徒９人・引率３人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
25年１月	市内中学校一行15人（生徒12人・引率３人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
25年６月	ミアーズ中学校一行20人（生徒15人・引率５人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
27年１月	市内中学校一行16人（生徒12人・引率４人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
27年５月	ミアーズ中学校一行29人（生徒23人・引率６人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流
29年１月	市内中学校一行24人（生徒20人・引率４人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
29年５月	ミアーズ中学校一行23人（生徒20人・引率３人）が来千し、ホームステイや交歓会を通して交流
31年１月	市内中学校一行24人（生徒20人・引率４人）がミアーズ中学校を訪問し、ホームステイや交歓会などを通して交流
令和元年５月	ミアーズ中学校一行22人（生徒18人・引率４人）が来千し、ホームステイや交歓会などを通して交流

交通推進課

(2) 鹿児島県指宿市

千歳市と鹿児島県指宿市との交流は、昭和48年指宿市から「菜の花キャンペーン」のＰＲの一行が来千したことに始まります。その後、指宿市は「千歳・支笏湖氷濤まつり」に、千歳市は「指宿アロハまつり」に、それぞれの観光イベントを中心にミスなどを派遣し合い、交流を続けてきました。

こうした友好関係が続く中、平成５年指宿市長からの正式な姉妹都市提携の申入れを受け、同年12月の定例市議会で全会一致でこれを可決。平成６年４月15日指宿市制施行40周年記念式典の席上において調印式が行われ、当市としては初の国内姉妹都市提携となりました。

この姉妹都市提携により、商店街振興組合による両市の特色を生かした経済交流や両市小学生の相互派遣交流など、各分野での幅広い交流が始まり、市職員の派遣交流も行っています。

平成17年１月には、姉妹都市提携10周年を記念し、これまでの交流状況や指宿市の様子を紹介する「姉妹都市交流10年のあゆみ展」を開催しました。

平成18年１月には、山川町及び開聞町と市町村合併を行い、新「指宿市」が誕生しました。

平成20年には、千歳市市制施行50周年記念式典参加のため、田原迫市長を始め４人が来千しました。また、この来千に合わせて、大和地区にオープンした「指宿公園」の記念セレモニーを行いました。

平成23年10月には、大規模災害が発生した場合を想定し、千歳市と指宿市間で災害時等の相互応援に関する協定を締結しました。

令和元年９月には、姉妹都市提携25周年を記念し、最北端の休暇村支笏湖と最南端の休暇村指宿によるランチメニューのレシピ交換を行い、地元食材を活用したランチを両市民に提供しました。

概　　要（令和２年４月１日現在）

面　　積　　148.84㎢（東西16.538㎞、南北16.791㎞）
人　　口　　38,859人（男17,894人、女20,965人）
世 帯 数　　17,897戸

地　　勢

薩摩半島の最南端に位置し、錦江湾から東シナ海に臨む長く美しい海岸線を有しています。市の全域を霧島火山脈が縦断しており、その湧出量の豊富なことは全国でもまれで、特に摺ケ浜海岸と伏目海岸で行われる「天然砂むし温泉」は世界にも類がありません。

年間平均気温は、暖流の影響で約19℃と高く、温暖で亜熱帯的な気候のため、市内にはソテツが自生し、幸せを呼ぶ熱帯蝶のツマベニチョウが乱舞する北限の地ともいわれています。また、温暖な気候と泉熱を利用したソラマメやオクラ、メロン、ナス、マンゴーなどの温泉栽培、熱帯性の観葉植物の栽培も盛んに行われています。

南国情緒豊かな変化に富んだ景観は年間300万人もの国内外の観光客を魅了し、南九州地域の観光拠点としての役割も担っています。

歴　　史

今から約２万５千年前の旧石器時代には、既に先人達が豊かな自然に囲まれながら生活を営んでいました。日本で初めて縄文土器と弥生土器の新旧関係を証明した国指定史跡指宿橋牟礼遺跡など歴史的にも貴重な文化財が点在しています。また、薩摩富士と呼ばれる開聞岳周辺には、海幸彦・山幸彦の神話を始め、天智天皇の后である瑞照姫の伝説も数多く残っています。

さらに、中世の板碑には「湯豊宿」とも表記されており、歴史的にも湯の豊かな宿として知られていました。江戸時代には、薩摩藩主島津家代々の温泉別邸があり、島津斉興が造った「殿様湯」は市の指定文化財として現在も残っています。

観　　光

主な観光イベントとしては、いぶすき菜の花マラソン大会（1月）、アロハ宣言セレモニー（4月）、山川みなと祭り（6月）、かいもん夏まつり（8月）、指宿温泉祭（9月）、いぶすき産業まつり（12月）などがあり、毎年大勢の観光客が訪れています。

中央部には九州一の大きさを誇る池田湖、南西部には標高924mの薩摩富士の別名で呼ばれる秀峰開聞岳、南部には南国ムード漂う長崎鼻、東部には３月から10月の潮の干満で陸続きになる環境省のかおり風景百選に認定された知林ヶ島を有しています。

また、１日に10万ｔも湧き出る唐船峡周辺は、国土交通省の水の郷百選に認定されています。

市の花・木・魚・鳥・蝶（平成18年６月20日制定）
花（ハイビスカス・菜の花）、木（ツゲ・ギョボク）、魚（カツオ）、鳥（メジロ）、
蝶（ツマベニチョウ）

交流推進課

4　友好親善都市交流

（1）ノルウェー王国ヴィッケン県コングスベルグ市

ア　提携年月日

昭和63（1988）年８月31日

イ　経　　過

昭和52年、千歳市民歩くスキーの会は、歩くスキー普及を図るため山三ふじやの協力により千歳インターゴルフ場を会場に「歩くスキーまつり」を開催、昭和56年には本場ノルウェーで開催のホルメンコーレンマーチの名から「ちとせホルメンコーレンマーチ」と命名されました。

昭和53年以来、駐日ノルウェー王国大使などが毎年のように来千、第10回大会を迎えたのを機会に大使より「この歩くスキー大会の盛り上がりをノルウェー王国との都市提携に結び付けてはどうか」との提案がなされ、大使からコングスベルグ市を紹介され、昭和63年に友好親善都市を提携しました。

平成31年までに43回の「ちとせホルメンコーレンマーチ」が開催され、大会に合わせ駐日大使などが来千し、親善を深めています。

また、平成14年６月には千歳市訪問団一行９人がコングスベルグ市を訪問し、学校間交流やスポーツ交流など、今後の交流の推進について意見交換を行いました。さらに、平成15年２月には、コングスベルグ市長夫妻が同市在住のプロスキー選手とともに千歳市を訪問され、ホルメンコーレンマーチに参加するとともに、市内の小中学生と交流を深めました。

平成26年１月には、友好親善都市提携25周年を記念して、千歳市訪問団一行（市内中学生６人、市内高校生８人、引率３人）がコングスベルグ市を訪問しました。ホームステイ、学校訪問、交歓会などを通してコングスベルグ市民との友好を深めるとともに、ノルウェー王国の経済や文化、医療や教育システムについて学習しました。

平成26年６月には、コングスベルグ市の職員ハルバル・ベーヌム氏が１か月間市内に滞在し、エネルギーシステムや建築様式に関する視察研修を行ったほか、市民との交流を深めました。

平成30年9月に友好親善都市提携30周年を記念し、千歳市長をはじめとする、ちとせホルメンコーレンマーチ大会関係者を中心とした訪問団を結成し、9月3日にコングスベルグ市役所内においてサンド市長と山口市長が友好親善都市提携確認書にサインを交わしました。

交流推進課

（2）中華人民共和国吉林省長春市

ア　提携年月日

平成16（2004）年10月11日

イ　経　　過

長春市との交流は民間交流団体である日中交流千歳市民会議が中心となり20年以上にわたって農業実習生の受入れや長春市訪問団の派遣などを行っており、長春市からも人民政府訪問団や経済訪問団などが来訪するなど相互の交流が行われてきました。

このように民間交流団体による交流が長年にわたり培われ交流の基礎が出来あがっていることや、両市の友好提携実現に向けて強い市民要望があること、そして長春市から両市間の交流について正式な要請を受けたことなどから、市長、議長などを含む訪問団が長春市を訪問し、平成16年10月に友好親善都市合意書に調印しました。

平成18年６月25日には、永年にわたり千歳市と長春市との交流に尽力をいただいた故 藤本敬一様が、長春市名誉市民の称号を授与されました。

平成20年10月には、千歳市市制施行50周年を記念し、日中交流千歳市民会議が企画した「千歳・長春、市民交流事業」に市長、議長などを含む訪問団25人が長春市を訪問し、両市の交流を深めました。

平成26年10月には、友好親善都市提携10周年を記念して、日中交流千歳市民会議の会員をはじめ、市及び市議会関係者による長春市訪問交流事業を実施し、長春市との継続的交流を目的としたマラソン交流を平成28年から実施しています。

交流推進課

5　その他の交流

（1）大韓民国済州特別自治道観光協会（千歳観光連盟との姉妹提携）

ア　提携年月日

昭和56（1981）年9月1日

イ　経　　過

自然景観の美しい観光地を有する千歳観光連盟と済州特別自治道観光協会は、日韓両国民の友好増進を図り、交流を深めることでお互いの観光事業の発展を図ることを目的に昭和56年に姉妹提携をしています。

また、新千歳空港からは、平成元年より大韓航空がソウルに直行便を運航するなど、千歳市民にとって韓国は身近な国となっています。

交流推進課

（2）大韓民国空港高等学校（千歳高等学校との姉妹校提携）

ア　提携年月日

平成６（1994）年11月８日

イ　経　　過

かねてから日本の高等学校と姉妹校提携を希望していた韓国ソウル市の空港高等学校は、駐札幌韓国教育院長と千歳市教育長の仲介により同じく空港都市に所在する高等学校として千歳高等学校が紹介されました。

両校の話合いの後、平成６年11月に千歳高等学校の代表団が訪韓、21世紀を担う国際人を育成することを目的として姉妹校の提携をし、７年２月には空港高等学校の代表団が来千、市民文化センターにおいて姉妹校提携式が行われました。

両校の交流は、平成７年以来毎年代表団が来訪するなど活発に展開されています。

交流推進課

要覧ちとせ

千歳略年表

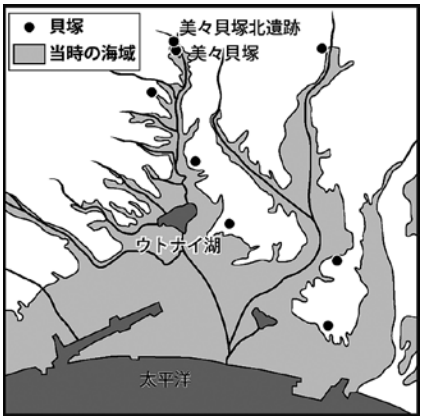
北海道千歳市

1　ちとせ略年表

4万2千年前	支笏火山大噴火
3万年前	千歳に初めて人が住む（祝梅下層遺跡）
2万4千年前	細石刃文化（柏台1遺跡）
2万年前	恵庭岳大噴火
1万8千年前	細石刃文化（オルイカ2遺跡・祝梅川上田遺跡）
1万5千年前	細石刃文化（祝梅上層遺跡・メボシ川2遺跡・オサツ16遺跡）
1万4千年前	縄文文化も小規模ながら見られ始める（キウス4遺跡・キウス9遺跡）
8千年前	樽前山大噴火
7千年前	美々川・美沢川など千歳の川辺に縄文時代の村ができ始める 子供の足跡をつけた土版が作られる（美々7遺跡）
6千年前	縄文海進　美々貝塚（市指定史跡）や盛土遺構（美々貝塚北遺跡）が造られる
4千年前	環壕が造られる（丸子山遺跡）
3千2百年前	中央地区に大規模な集団墓地が造られる（国指定史跡キウス周堤墓群） 石棒（市指定有形文化財）が作られる
3千年前	動物形土製品（国指定重要文化財）が作られる（美々4遺跡）
2千5百年前	樽前山大噴火
2千4百年前	土面（国指定重要文化財）が作られる（ママチ遺跡） 男性土偶（市指定有形文化財）が作られる（ウサクマイA遺跡） 続縄文文化（北海道）・弥生時代（本州）
千3百年前	東北より蕨手刀（市指定有形文化財）が伝わる（ウサクマイA遺跡） 擦文文化（ウサクマイC遺跡・ウサクマイN遺跡・末広遺跡・丸子山遺跡）
7百年前	アイヌ文化（末広遺跡・美々8遺跡・オサツ2遺跡）
3百年前	チャシが造られる（アッテウシ・フレドイヒ・シュトクンネヒ・ペサなどのチャシ）

教育委員会埋蔵文化財センター

縄文海進のようす



教育委員会埋蔵文化財センター

江戸時代末の千歳橋付近

正保元（1644）年	「正保御国絵図」シコツ越えが描かれる
万治元（1658）年	志古津弁天堂建立　地名「志古津」初出（『福山秘府』）
寛文６（1666）年	僧円空　自作仏像奉納
７（1667）年	樽前山大規模噴火
享保９（1724）年	東蝦夷地シコツ－餓死者多発
元文４（1739）年	樽前山大噴火
享和２（1802）年	幕府「蝦夷地奉行（箱館奉行）」を新設・羽太正養、戸川安論を任命
文化２（1805）年	「シコツ川」を「千歳川」と命名（羽太正養命名）
安政４（1857）年	荒井金助・村垣範正　石狩－千歳間道路を開削
	松浦武四郎　千歳（支笏湖）周辺踏査（５回目の蝦夷地踏査）
慶応３（1867）年	樽前山中噴火
明治２（1869）年８月	千歳・長都・漁・島松・蘭越・烏柵舞６村＝胆振国千歳郡編成
20日	高知藩の支配地が千歳郡、勇払郡、夕張郡となる
３（1870）年	高知藩開拓者ママチ川両岸に入植
４（1871）年５月	勇払開拓出張所設置
５（1872）年２月３日	樽前山大噴火溶岩円頂丘崩壊
５月	開拓使千歳出張所開庁（担当　藤田　武三）
10月１日	千歳郵便取扱所設置
	新保旅館開業（千歳初の旅館）
６（1873）年12月	室蘭街道（現・国道36号）開通　開拓使が千歳に駅逓所開設
７（1874）年２月８日	樽前山噴火（２・16にも噴火）
４月28日	開拓使千歳出張所廃止、勇払出張所所管となる
８（1875）年２月	開拓使民事局所管となる
11月	稲荷神社（後の千歳神社）、豊受姫大神を祭り郷社となる
10（1877）年	支笏湖街道（沼街道）開削（ママチ、藤の沢経由）
11（1878）年11月13日	官営美々鹿肉缶詰製造所開設（M13～休業、M17・６廃止）
12（1879）年７月23日	郡区町村編成－苫小牧を本郡とする五郡役場設置　開拓後、郡区町村編制法施行により管内大小区廃止
10月15日	寺小屋開設
13（1880）年３月１日	勇払外五郡郡役所開庁（苫小牧）
	千歳郡各村戸長役場開庁（初代戸長　石山　専蔵）
	巡査駐在所分署開設
４月１日	千歳教育所開設（戸長宅）
14（1881）年９月２日	明治天皇行幸・千歳行在所泊（新保旅館）
16（1883）年10月７日	樽前山噴火（10・８、11・15にも噴火）
17（1884）年５月	山口県人31戸・千歳入植（長岡　源次兵衛外140人）
18（1885）年１月４日	樽前山噴火（３・26にも噴火）
６月	千歳学校校舎設置（現・錦町１、民家借り上げ）
19（1886）年４月13日	樽前山噴火（４・15～16、28にも噴火）
20（1887）年９月３日	樽前山噴火（10・７～８にも噴火）
21（1888）年12月	さけ・ますふ化場開設（伊藤　一隆技師）
22（1889）年４月	千歳学校、千歳簡易科小学校となる
23（1890）年８月	千歳由仁道路開通
24（1891）年	ケヌフチ神社（現・泉郷神社）建立
25（1892）年７月	札幌警察署千歳巡査駐在所開設
26（1893）年	千歳原野殖民地区画割完了（号線設定）
27（1894）年２月	千歳原野殖民地払下開始
	ネシコシ・オルイカ・ケヌフチ官林解放
２月８日	樽前山噴火
３月	千歳簡易科小学校新築（本町３）
	阿寒湖カバチェップ（ヒメマス）卵移植（支笏湖）
28（1895）年	ネシコシ造田本格化
29（1896）年７月１日	千歳郵便局為替・貯金取扱開始
11月９日	捕魚車（インディアン水車）始動
30（1897）年６月13日	千歳郡漁・島松２村離脱－漁村外一ヶ村戸長役場開庁（７・15）

明治30（1897）年 7月　　千歳郡千歳村のうち幌内を長沼に帰属
　　1日　千歳郡千歳村外四ヶ村戸長役場開庁
　32（1899）年 9月　　長都に私立教育所開設（土谷弥之進、河本勇吉）
　33（1900）年 6月　　千歳尋常小学校阿宇砂里分教場設置
　　9月24日　幌加簡易教育所設置
　　10月 8日　嶮淵簡易教育所仮教場設置
　　11月21日　長都簡易教育所設置
　34（1901）年 6月 3日　長都尋常小学校開校
　　12月 1日　近唐簡易教育所設置
　35（1902）年 4月　　木臼簡易教育所設置
　39（1906）年 9月 1日　阿宇砂里簡易教育所設置
　　ママチ川上に牧場経営
　　乳牛飼養（戸田菊治）
　41（1908）年 1月 1日　千歳郵便局電信取扱開始
　　8月12日　王子製紙苫小牧工場専用鉄道（山線・王子軽便鉄道）運行開始（S26・5・10廃止）
　42（1909）年 4月　　樽前山大噴火（4・17～19に噴火）
　43（1910）年 7月12日　王子製紙千歳第1発電所送電開始
大正元（1912）年 10月 1日　烏柵舞特別教授所設置
　　11日　千歳郵便局電話通話取扱開始
　4（1915）年 4月 4日　第1回村会議員選挙執行
　　20日　千歳村2級町村制施行（千歳・長都・蘭越・烏柵舞村合併4・1）
　5（1916）年 3月　　王子製紙千歳第二発電所完成
　6（1917）年 4月　　嶮渕尋常小学校・近唐尋常小学校・木臼尋常小学校・阿宇砂里尋常小学校開校
　　30日　樽前山噴火（5・12にも噴火）
　　12月　私立王子尋常小学校開校（烏柵舞特別教授所廃止）
　7（1918）年 5月　　樽前山噴火
　　王子製紙千歳第三発電所完成
　　6月　千歳小学校高等科新設
　　6日　新嶮渕尋常小学校仮校舎授業開始
　　13日　樽前山噴火
　　10月　嶮渕尋常小学校新築完成
　8（1919）年 4月 1日　農産物検査所開設（竜丑内＝新川）
　　5月 4日　樽前山噴火
　　王子製紙千歳第四発電所完成
　9（1920）年 7月17日　樽前山噴火（7・22にも噴火）
　　10月 1日　第1回国勢調査実施（1,065世帯、5,366人）
　　12月13日　千歳尋常小学校根志越分教場開設（根志越青年倶楽部）
　10（1921）年 7月 6日　樽前山噴火
　11（1922）年 4月24日　樽前山噴火（4・25にも噴火）
　　7月　摂政宮支笏湖行啓（本道初行啓）
　　8月 4日　消防組創設
　12（1923）年 2月21日　樽前山噴火（このほか6～8月に噴火）
　　嶮渕小学校高等科併置
　13（1924）年 4月 1日　根志越特別教授所開設（旧・千歳尋常小学校分教場）
　　6月　国立公園地域編入の請願、「支笏湖」を「千歳湖」に改名する上申書提出
　　7月　「北海道千歳郡千歳村字『ママチ』二航空場設置ノ件」衆議院請願委員会採択
　　9月　千歳地方ひょうの害　農地被害1,400ha・被害額10,500円
　15（1926）年 5月 1日　釜加特別教授所開設
　　8月22日　北海道鉄道札幌線（苗穂－沼の端）開業　千歳・美々駅設置（H29・3・3廃止）
　　10月　樽前山噴火（10・19、24、26、30）
　　22日　小樽新聞社機「北海」第1号千歳着陸場飛来
昭和3（1928）年 9月　　樽前山噴火（9・6、10・25にも噴火）

昭和４（1929）年９月　千歳市街電灯供用開始
５（1930）年６月22日　「キウスチャシ」（周堤墓群）史跡仮指定（～Ｓ24）
６（1931）年４月　烏柵舞尋常高等小学校開校（旧・私立王子尋常高等小学校）
８（1933）年２月　第１次千歳村経済更生計画樹立
５月　美笛　金鉱脈第１露頭発見
９（1934）年10月28日　千歳飛行場開場式　北海タイムス社機「北斗」飛来
10（1935）年９月24日　千歳郵便局電話交換開始
市街通話開始
10月　中島商事、鉱山操業開始（美笛／10月～金採掘開始　坑外専用軌道敷設＝ガソリン機関車５両配置）（Ｓ27・７千歳鉱山軌道廃止）
11（1936）年９月　支笏湖郵便局開局（水溜郵便取扱所廃止）
胆振嶮渕郵便局開局
10月　千歳鉱山㈱創立　金採掘本格開発（美笛）
５日　第34回陸軍特別大演習期間中旅客機便臨時就航（千歳－羽田）
11月15日　樽前山噴火（11・25にも噴火）
12（1937）年２月15日　千歳鉱山特別教授所開設
12月　支笏湖郵便局集配・電信電話取扱開始（集配三等局昇格）
13（1938）年４月11日　第２次経済更生計画樹立・特別助成村指定
８月11日　美笛郵便局開局
10月13日　都市計画区域指定
14（1939）年４月１日　千歳村１級町村制施行
８月27日　日本初世界一周機「ニッポン」、米アラスカ州ノームに向け発航
11月　札幌警察署千歳警部補派出所開設
１日　千歳海軍航空隊開庁（陸上攻撃機・艦上戦闘機部隊）（５日開隊式／Ｓ18・３・１解隊）
12月　千歳鉱山製錬所完成
17日　北海道農産物検査所札幌支店千歳出張所開設（由仁町字三川）
千歳農業会内駐在所開設
15（1940）年３月　胆振種馬所千歳種付所開設（嶮渕）
４月　北海道林産物検査所札幌支所千歳駐在所開設（Ｓ19北海道石狩千歳林産物検査所）
16（1941）年10月１日　木更津海軍航空廠大湊支廠千歳分工場設置（Ｓ17第41海軍航空廠千歳支廠、Ｓ19千歳が本廠）
11月　コンクリート道路完成（千歳駅－航空隊営門）
17（1942）年１月　北海少年院開設
21日　美笛郵便局電信電話取扱開始
４月１日　北海道食糧営団千歳出張所開設
５月１日　町制施行（初代町長　岡本　幸信）
７月２日　千歳第一土地区画整理組合設立認可
18（1943）年１月16日　森林組合設立
２月１日　千歳町国民健康保険組合事業開始
４月１日　金鉱業務整備令実施、千歳鉱山休山（保坑）
８月１日　鉄道省　北海道鉄道戦時買収（バス部門戦時統合北海道中央乗合自動車）
19（1944）年１月１日　千歳電話中継所開設
５月20日　千歳農業会発足（農会・産業組合統合）
７月２日　樽前山噴火
20（1945）年10月５日　連合国軍米軍進駐（第５航空軍）
15日　終戦連絡札幌事務所千歳出張所開設（Ｓ23廃止）
31日　札幌財務局千歳管財出張所開設
21（1946）年４月１日　千歳第二国民学校開校（３月根志越特別教授所廃止）
11月１日　日本医療団千歳病院開設（開院Ｓ22・１、Ｓ23・８・１北海道移管）
20日　蘭越国民学校開校
12月24日　札幌日傭勤労署千歳出張所開設
22（1947）年１月12日　日本医療団千歳病院開院（旧・海軍航空基地営外酒保）（Ｓ23・10道立千歳病院となる）

昭和22（1947）年 4月1日　札幌土木現業所千歳派出所開設
北海道作物報告事務所千歳出張所開設
5日　民選初町長選挙（第1回統一地方選挙　2代町長　山崎　友吉当選）
30日　町議会議員選挙
5月　恵庭営林署千歳・烏柵舞・紋別担当区事務所開設
1日　鉱山中学校開校
6月　千歳中学校開校・幌加中学校開校
7月　総合計画樹立
1日　北海道中央乗合自動車（現・中央バス）札幌－千歳間バス運行開始（9・1本町に千歳営業所新設）
9月23日　湖畔・東部（由仁町三川）支所開設
23（1948）年 1月　札幌保健所千歳支所設置
2月22日　千歳駅全焼
3月2日　千歳渉外労務管理事務所開設（旧・2代役場庁舎）
7日　自治体警察・千歳町警察発足
26日　東千歳農業協同組合設立認可
4月8日　千歳町開拓農業協同組合設立認可
14日　千歳町農業協同組合設立認可
6月1日　千歳第3小学校開校（S43・7廃校）
8月20日　東千歳開拓農業協同組合設立認可
12月1日　札幌保健所千歳支所が江別保健所千歳支所に改称
20日　道立野幌高等学校千歳分校（千歳中学校併置／後の千歳高校）開校（S24・5・1開校式）
31日　千歳駅完成（3代目）
烏柵舞小学校移転新築
24（1949）年 1月　特別調達庁札幌調達局千歳調達事務所開設（現・防衛事務所）
29日　支笏湖小学校開校
4月　米陸軍第7歩兵師団来駐
8日　札幌公共職業安定所千歳出張所開設
13日　千歳商工会設立
5月16日　支笏洞爺国立公園指定
24日　千歳観光協会設立
30日　千歳町開拓生産農業協同組合設立認可（6・25設立）
6月10日　千歳第一土地区画整理事業完了
10月17日　「開町」70年記念式典挙行
『躍進千歳の姿』刊行（千歳初の史書）
25（1950）年 4月1日　道立野幌高等学校千歳分校、豊平町立月寒高等学校千歳分校に変更
30日　北海道千歳高等学校独立設置認可（5・2開校）
5月23日　役場庁舎移転（東雲町1丁目）
8月25日　警察予備隊千歳臨時部隊駐屯（100ビル）
27・28日　千歳川流域大雨水害
9月23日　千歳音頭発表（支笏湖畔）
26（1951）年 1月29日　樽前山噴火（7・28にも噴火）
4月23日　町長・町議会議員選挙（無投票／2代町長　山崎　友吉再選）
27日　米陸軍第45歩兵師団（オクラホマ州兵部隊）朝鮮出兵のため来駐
5月　美笛支所開設（S52・11・30閉鎖）
10日　王子軽便鉄道（山線）廃止
7月　開発建設部千歳出張所開設
20日　農業委員会発足　第1回農業委員選挙
8月頃　米空軍千歳基地　北海道空港（北海道の拠点空港）指定
10月25日　民間航空再開・日本航空千歳空港所開設
26日　日本航空就航（千歳－羽田）
12月　千歳中学校新築移転（栄町4丁目）
米陸軍第1騎兵師団朝鮮から来駐（S30・3撤退完了）
27（1952）年 4月　東千歳中学校開校

昭和27（1952）年 5月1日　町章制定　町制施行10周年記念式挙行
7月　千歳鉱山軌道撤去
10月5日　町教育委員選挙
30日　千歳町警察の存廃を決める住民投票（廃止決定）
11月1日　教育委員会発足
12月4日　室蘭街道　一級国道36号となる（S40・4・1一般国道36号）
12日　保安隊千歳駐屯地開庁（現・北千歳）
28（1953）年 1月1日　国警札幌方面千歳地区警察署開設（千歳町警察廃止）
28日　千歳駅全焼
3月30日　千歳第2次都市計画施行区域決定
4月1日　千歳少年院開院
5月21日　千歳駅前巡査派出所開設
25日　北栄小学校開校
8月8日　胆振千歳郵便局新庁舎完成（本町3丁目）
9月14日　樽前山噴火
10月1日　消防本部新庁舎完成（東雲町2丁目）
3日　千歳保健所開設（江別保健所千歳支所昇格）
11月2日　千歳（千歳橋）－札幌（豊平町定山渓鉄道踏切）間道路舗装竣工＝「弾丸道路」
29（1954）年 3月　青葉公園敷地の払い下げを受ける
4月1日　町立千歳高等学校道立移管
千歳駅完成（4代目）
18日　千歳公民館開館
支笏湖畔集団施設地区指定
5月2日　樽前山噴火（11・19にも噴火）
5日　千歳保育所開設
16日　千歳保健所新庁舎完成（東雲町4丁目）
29日　千歳町体育協会発足
6月26・27日　第1回支笏湖湖水まつり（千歳・苫小牧共催）
7月1日　北海道札幌方面千歳警察署となる
8月10日　日本ヘリコプター輸送（現・ＡＮＡ）就航
23日　昭和天皇・香淳皇后御来町（全国巡幸最終奉迎地）
25日　陸上自衛隊東千歳駐屯地開庁
9月　米空軍第4戦闘要撃航空団来駐
15日　陸上自衛隊第1特科団来駐
23日　陸自第11普通科連隊東千歳来駐
26日　洞爺丸台風（15号台風）、支笏湖樽前山一帯森林大被害
11月5日　大火　幸町2丁目出火・17棟全半焼
30（1955）年 1月　上水道給水開始
2月4日　樽前山噴火
4月30日　町長・町議会議員選挙（2代町長　山崎　友吉再選）
農村地区の有線放送通話開始
5月23日　長都中学校開校（H17・3閉校）
6月　ディーゼルカー（キハ17）運行
7月22日　千歳・追分地方局地的豪雨　ケヌフチ・ママチ川氾濫・被害額7,407千円
9月1日　札幌税関支署千歳出張所開設
11日　大火　幸町1丁目出火・全半焼144棟・罹災世帯160・被害額13,925千円
31（1956）年 1月　駒里・中央・泉郷・水明中学校が千歳中学校から独立開校
3月　青葉公園都市計画公園認可
4月　末広小学校開校
5月　千歳川・ケヌフチ川改修着工（長都原野開発事業所）
6月　南長都地区開拓計画実施
18日　北栄小学校で石狩管内最初の完全学校給食を開始
8月5日　町営と場開設（北信濃）
9月15日　冷害（40数年来）

昭和31（1956）年12月１日　公益質屋開設（Ｓ43・３・１廃止）
32（1957）年４月１日　緑小学校開校
５月１日　航空自衛隊第２航空団先遣隊移駐（５・20飛行隊移駐）、（浜松から・千歳飛行場周辺でＦ－86Ｆ×２墜落）
８月　青葉中学校開校
24日　第２航空団主力移駐（浜松・Ｆ－86Ｆ装備）
９月２日　航空自衛隊千歳基地開庁
10月１日　町内字名廃止
33（1958）年３月１日　役場庁舎完成移転（東雲町２丁目）
公民館移転（東雲町１丁目　旧・町役場庁舎）
国鉄長都仮乗降場開設
５月１日　真々地保育所開設（H24・３・31民営化、あずさつくし保育園として移転開園）
６月　米空軍完全撤退
23日　天皇陛下（皇太子殿下として）支笏湖御遊覧
７月１日　市制施行（初代市長　山崎　友吉）
千歳駅前郵便局開局
千歳特別無線中継所開設
長都駅開業
８月　本町巡査派出所開設
９月　モーラップ野営場市移管
11月１日　市営ガス事業供給開始
12日　美笛－大滝間道路開通式・丸駒－石山間道路開通（Ｓ34豪雨土砂崩れにより不通）
12月　消防庁舎完成
34（1959）年２月１日　千歳救難隊編成完結（Ｔ－６・Ｈ－19装備）
４月20日　水明小中学校藤の沢分校開校（Ｓ42・３廃止）
23日　豪雨　河川氾濫・道路決壊・被害額2,332千円
30日　市長選挙（２代市長　米田　忠雄当選）
市議会議員選挙
９月５・６日　局地的雷雨　美笛川橋梁流出・道路決壊・被害額2,332千円
24日　「開基」80年記念式典挙行　千歳市賛歌制定
35（1960）年４月　国民健康保険事業開始
５月　千歳小学校特殊学級（児童会館内＝旧・幸病院）設置
７月１日　ディーゼル急行「すずらん」運行
８月４日　全国レクリエーション大会開催（支笏湖）
11月８日　千歳商工会議所設立
36（1961）年５月１日　大火　幸町５丁目出火（全半焼30棟・罹災世帯70・損害額5,452万円）
16日　市議会解散決定（リコール住民投票）
24日　昭和天皇・香淳皇后をお迎え、第12回植樹行事及び国土緑化大会開催（支笏湖モラップ山麓）
６月20日　市議会議員選挙（解散による一般選挙）
７月24・25日　水害　下釜加・長都地方　住宅浸水189戸・被害額79,711千円
28日　千歳川切替工事完了根志越橋下流約6,000m新水路完成
８月11・12日　第３回国立公園大会開催（支笏湖・モラップ）
10月25日　公害対策協議会設立
30日　クマ・ステーション命名（Ｓ35～38米軍第３基地集約／主力＝ＡＳＡ千歳）
11月25日　電話自動式化　即時通話化（札幌・恵庭・支笏湖畔等）
12月１日　千歳飛行場東側滑走路供用開始
37（1962）年１月６日　陸上自衛隊第１特科団北千歳駐屯地移駐
18日　陸上自衛隊第７混成団東千歳駐屯地来駐
３月12日　交通安全都市宣言
４月　千歳中学校特殊学級設置（千歳児童会管内）
７月28日　幌加峠改修工事完了
８月３日　台風９・10号来襲　被害額78,600千円

昭和37（1962）年 ８月15日　陸上自衛隊第７混成団改編　第７師団創設（東千歳駐屯地）
９月15日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－104Ｊ型戦闘機配備（第２航空団）
11月８日　市民会館開館
12月１日　蘭越生活会館開館
14日　千歳小学校・千歳中学校校舎新築（16日落成式典）
20日　企業誘致第１号新世乳業操業開始
38（1963）年 ４月１日　千歳空港ターミナルビル供用開始
空港警備警察官派出所開設（Ｈ６改称・空港警備派出所）
30日　市長選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
５月24日　強風　農作物被害・被害額24,286千円
６月　市営牧野開設（美々）
15日　支笏湖診療所診療開始
７月20日　「千歳民報」創刊
12月　千歳市総合建設計画樹立
15日　国設モーラップスキー場開設（Ｈ６休止）
39（1964）年 １月　道立千歳高等学校新校舎に移転
４月１日　ＮＨＫ受信料市街地周辺半額免除（航空機騒音）
消防団東千歳分団設置
２日　消防団支笏湖分団設置
４日　新産業都市建設促進法指定
５月　水明小学校廃校（藤の沢分校は千歳小学校分校となる）
水明中学校藤の沢分校は水明中学校に統合
６月３・４日　大雨水害　釜加地方・被害額66,800千円
７月10日　公共下水道事業着手
８月７～９日　第１回千歳空港まつり開催（Ｓ49～56中止／Ｈ９～スカイ＆ビアフェスタ）
９月９・10日　オリンピック東京大会聖火空路到着　市内５区間リレー（空港～長都川左岸）
10月１日　給食センター開設（東雲町４丁目）
16日　末広保育所開設
12月１日　蘭越浄水場通水式
12日　第二小学校新築移転
16日　末広郵便局開局
40（1965）年 ２月15日　豪雪　美笛地区降雪40㎝・260世帯孤立
４月　洞爺支笏湖線（現・国道276号）主要道道認可
千歳小学校藤の沢分校が藤の沢小学校として独立開校
５月25日　市議会議員選挙
８月10日　丸市魚菜卸売市場業務開始
22日　電話・全国即時通話化（全国主要520地域）
９月10日　台風23号来襲　住宅浸水133戸・農業被害311ha・美笛地区被害甚大（死者２名）
27日　国鉄千歳線千歳恵庭間複線化
10月30日　東千歳調理場（学校給食第２センター）新築落成（Ｈ５・７・22閉所）
12月１日　千歳北栄郵便局開局
16日　暴力追放都市宣言
41（1966）年 ３月　水明中学校閉校
８月17～21日　集中豪雨・被害額47,845千円
11月11日　市営工場団地立地企業第１号北海道民芸木工㈱千歳工場操業
12月22日　清く明るく正しい選挙都市宣言
23日　末広し尿処理場完成
42（1967）年 １月　日の出小学校開校
３月　藤の沢小学校廃校
４月１日　千歳市立病院開院（旧・道立千歳病院移管）
28日　市長・市議会議員補欠選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
５月　北栄警察官派出所（現・新富交番）開所
７月７日　用途地域指定（1,302ha）

昭和42（1967）年 ９月20日　北海道初有料道路「支笏湖畔有料道路」（6.97㎞）開通
10月　市営食肉処理センター開設（美々・Ｈ４廃止）
25日　農村集団自動電話開通（567戸）
26日　市内路線バス運行開始（中央バス、千歳バス）
千歳バス開業（Ｓ50・12・19　千歳相互観光バス譲渡）
11月25日　千歳空港乗降客年間100万人突破
43（1968）年 ２月25日　第１回市功労者表彰
３月27日　青少年健全育成都市宣言
泉郷小中学校廃校
４月１日　信濃小学校開校
５月16日　十勝沖地震発生　市内全域被害・被害額16,375千円
７月　千歳第３小学校廃校
17日　千歳消費者協会設立
８月30日　歩道橋完成（市内初・千歳小学校前）
９月　島松千歳線道道認可
11月10日　胆振千歳郵便局新築移転（東雲町３丁目）
12月１日　千歳春日郵便局開局
18日　キウス環状土籬群（周堤墓群）、北海道文化財（史跡）指定（Ｓ54国指定）
44（1969）年 １月　北栄保育所開設
３月31日　市消防に化学消防車配備
４月21日　千歳市長一行アンカレジ市訪問　姉妹都市盟約書調印
５月21日　市議会議員選挙
８月２日　「開基」90年記念式典挙行　『千歳市史』刊行
９月　都市診断を報告（東洋大学学長　磯村　英一）
11月10日　千歳中学校完全防音体育館完成（北海道初）
12月６日　青少年会館開館
20日　青年の家支笏湖青少年研修センター開所（Ｈ17・３・31閉所）
45（1970）年 ２月８日　全日本冬季総合大会滑降競技大会開催（８日女子・12日男子・恵庭岳・12日　滑降コース）
３月16～20日　雪害　道道洞爺支笏湖線全線不通・苫小牧営林署員行方不明
４月　高台小学校開校
大型旅客機就航（日航・ＤＣ－８型　全日空・ボーイング727型）
６月29日　スポーツ都市宣言
航空自衛隊第３高射群新編完結（千歳基地）
８月　第１回市民納涼盆踊り大会
９月16日　江別市有林約634ha売買契約締結
12月１日　千歳飛行場東側3,000m滑走路供用開始
18日　消防署富丘出張所開所
46（1971）年 １月　東小学校開校（幌加・協和・東丘小学校統合）
２月５～10日　滑降競技大会開催・恵庭岳滑降コース
７～13日　札幌国際冬季スポーツ大会（プレオリンピック）
３月31日　米軍クマ・ステーション閉鎖（東千歳）
４月　北進小・中学校開校（旧・千歳小・中学校北栄分校）
１日　千歳市第２期総合開発計画スタート
10日　公民館新築開館
25日　市長・市議会議員補欠選挙（２代市長　米田　忠雄再選）
５月15日　市街化区域及び市街化調整区域決定
６月30日　千歳渉外労務管理事務所閉鎖
７月５日　千歳公民館長都分館新築開館
８月20日　第１回千歳川まつり（現・千歳川清掃）
12月４日　道央自動車道（高速千歳ＩＣ－北広島ＩＣ）開通
47（1972）年 １月17日　真町中学校開校
29日　第11回オリンピック冬季大会聖火市内リレー
２月３～13日　第11回オリンピック札幌冬季大会

昭和47（1972）年 2月5・7日　オリンピック冬季大会滑降競技大会開催（５日女子・７日男子・恵庭岳滑降コース）
３月　中央中学校廃校（真町中学校統合）
24日　陸上自衛隊第１高射団編成（東千歳／後の第１高射特科団）
６月28日　北栄・新富が自治省モデルコミュニティ地区指定
７月１日　養護老人ホーム「千寿園」開設
９月19日　道央自動車道（高速千歳ＩＣ－北広島ＩＣ）４車線全面開通
12月20日　千歳市土地開発公社設立（H26・３・31解散）
48（1973）年 １月　青葉中学校校舎新築移転
15日　広報「ちとせ」発刊500号
25日　千歳恵庭高等職業訓練所開校
２月28日　公設卸売市場開業
３月16日　ガス工場移転（第１工業団地）
４月　北海道千歳北陽高校開校（中央仮校舎）
ガス水道局庁舎移転（旧・拓銀・本町３丁目）
千歳市民生委員連絡協議会発足
１日　千歳手形交換所開設
５月20日　市議会議員選挙
６月３日　千歳共同仕入センター完成
７日　Ｆ－104Ｊ型戦闘機墜落（祝梅）
10月１日　乳幼児・寝たきり老人医療費無料化実施
17日　長都大橋完成
12月４日　市道第２停車場線（旧・中央大通）東11線－９線間開通
49（1974）年 １月20日　北新コミュニティセンター開設
３月　末広小学校新築移転
４月１日　「市民カレンダー」発行開始
学校給食センター新築移転（第２工業団地）
17日　大型旅客機就航（日航ボーイング747型　全日空Ｌ－1011型）
東千歳中学校校舎落成
共同火葬場新築移転（根志越）
７月１日　千歳市医師会による救急急病当番病院制度開始
８月１～６日　ボーイスカウト第６回日本ジャンボリー開催（千歳原＝東千歳）
４～６日　皇太子殿下、千歳御滞在
10月１日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－４ＥＪ型戦闘機配備（第２航空団）
17日　支笏湖勤労青少年フレンドシップセンター開設（H15・３閉所）
11月１日　人口６万人突破
12月１日　東亜国内航空機就航（丘珠から移転／H16・４・１合併（日本航空ブランド））
50（1975）年 １月　住吉保育園開設
２月12日　千歳市・恵庭市境界問題解決「境界確認に関する協定書」調印（千歳市上長都地区）
４月　富丘中学校開校
27日　市長選挙（３代市長　東峰　元次当選）
市議会議員補欠選挙
30日　支笏湖温泉通湯式（39℃ナトリウム－炭酸水素塩泉）
６月１日　支笏湖自然の村開村
30日　米軍千歳基地完全閉鎖
８月10日　美々貝塚発掘調査
23日　台風６号来襲　ケヌフチ川決壊・被害額395,000千円・祝梅川溢水ほか
12月19日　千歳相互観光バス運行開始（千歳バス継承）
27日　北海道千歳北陽高校新築移転（現・北陽）
この年　支笏湖ヒメマス水かび病発生・全面禁漁～Ｓ53
51（1976）年 ４月　千歳医師会准看護学院開校（Ｓ55・４改称－看護高等専修学校）
１日　青少年指標制定
祝梅小学校開校

昭和51（1976）年 4月1日　市立図書館開館
市立病院増改築し、千歳市立総合病院と改称
23日　千歳市婦人団体協議会発足（現・千歳市女性団体協議会）
26日　市庁舎新築移転（現・本庁舎）
5月1日　下水終末処理場運転開始
8日　北信濃コミュニティセンター開設
6月1日　支笏湖ヒメマス釣り2年ぶりに解禁（～7月）
8月21日　国鉄千歳線開通50周年記念式典
10月22日　千歳飛行場開設50周年記念式典
12月21日　国鉄千歳線高架事業都市計画決定
52（1977）年 4月23日　美々貝塚が市史跡指定、磨製石棒・男性土偶・駅逓看板が市有形文化財指定
5月22日　市議会議員選挙
7月23日　国設美笛野営場開設
9月19日　支笏湖畔国民休暇村開業（全国28番目、道内初）
10月16日　第1回支笏湖紅葉まつり開催
11月15日　千歳鉱山職住分離完了
30日　美笛支所閉鎖
53（1978）年 1月11日　千歳消防団美笛分団解団式
3月31日　鉱山小中学校廃校
蘭越小学校廃校（緑小学校統合）
支笏湖自然の村閉村
4月1日　桜木小学校開校
5月14日　樽前山小噴火（苫小牧測候所推定・22時53分～23時36分）
6月17日　スポーツセンター開設
8月14日　泉沢開発造成工事着手（11日「泉沢向陽台」命名）
9月7日　千歳空港国際化促進道民大会（札幌市）
10月16日　千歳富丘郵便局開局
23日　恵庭営林署千歳地区合同担当区事務所新築移転（桂木）
11月　千歳商工技術研修センター落成
16日　消防総合庁舎新築移転（現・消防庁舎）
30日　ニチイ千歳ショッピングデパート開店（現・イオン千歳店）
12月1日　千歳飛行場東側滑走路南方移動供用開始
23日　泉沢市民スキー場開設
54（1979）年 1月30日　第1回千歳支笏湖氷濤まつり開催
2月11日　千歳空港利用客通算乗降客数5000万人達成（全国4番目）
3月1日　戸長役場開設100年記念式典
11日　富丘コミュニティセンター開設
4月1日　特別養護老人ホーム「暢寿園」開園
22日　市長・市議会議員補欠選挙（3代市長　東峰　元次無投票再選）
5月22日　千歳市民友好訪中団出発
23日　ウサクマイ遺跡群、国史跡指定
6月6日　動物形土製品、国重要文化財指定
7月1日　市民憲章制定
8月4日　「開基」100年記念式典挙行
10月7・8日　第1回千歳川さけ祭り（現・インディアン水車まつり）開催
23日　キウス周堤墓群、国史跡指定
24日　千歳市防災訓練（真々地地区）
25日　泉郷獅子舞、市無形文化財指定
11月9日　姉妹都市提携10周年記念式典（サリバン・アンカレジ市長来千）
17日　泉沢向陽台開村式
12月15日　開基100年記念タイムカプセル収納式
55（1980）年 2月16日　農民研修センター開設
5月1日　支笏湖自然科学館（支笏湖ビジターセンター）開設
27日　日本近距離航空（現・エアーニッポン）千歳就航

昭和55（1980）年 7月10日　国鉄千歳線高架供用開始
21日　蕨手刀、市有形文化財指定
10月１日　千歳線電化供用開始、千歳空港駅開業・空港駅連絡歩道橋供用開始（現・南千歳駅）
11月１日　アーケード落成（ニューサンロード　H18・11・30撤去）
56（1981）年 1月20日　千歳警察署新築移転（東雲町５）
２月22日　鉄東コミュニティセンター開設
27日　樽前山小噴火
３月16日　千歳空港・植物防疫法及び家畜伝染予防法空港指定
20日　千歳空港・税関空港指定
23日　千歳空港国際定期便初就航（日本航空ホノルル線（成田経由）定期便就航（S62・12・30運休））記念祝賀会開催・記念訪米団出発
４月　千歳いずみ学園新園舎完成
１日　千歳市第３期総合開発計画スタート
千歳市環境保全公社設立（７・17財団法人）
北斗保育園開設
５月24日　市議会議員選挙
７月５日　第１回千歳日航ポピュラーマラソン（現・千歳JAL国際マラソン）大会開催
８月３～６日　“前線と台風12号による北海道の大雨”　雨量327㎜・被害額3,190,710千円
22～24日　“台風15号と前線による大雨”　農業壊滅的打撃・被害額1,101,550千円
31日　済州道観光協会と姉妹提携調印（千歳観光連盟）
10月１日　国鉄石勝線開業（千歳空港－新得間）
30日　千歳駅前広場完成
57（1982）年 ２月11日　「三笠宮寛仁親王殿下と輪になって語ろう障害者とボランティアの集い」開催
３月12日　千歳青少年教育財団設立（H24・４・１公益財団法人）
４月　向陽台小学校開校
14日　千歳市農協野菜集出荷施設完成
23日　千歳市・長沼町境界確認調印式
26日　泉沢養魚場開設
５月19日　クリーンジャパンセンターが千歳市を「社会システム実験モデル都市」に指定（千歳市環境保全公社）
７月20日　千歳市文化団体連絡協議会設立
10月２日　臨空工業団地操業第１号・明昌特殊産業千歳工場完成
11月29日　リサイクルセンター運転開始
12月10日　再開発ビル（ちとせデパート入居／現・千歳タウンプラザ）オープン／中心街コミュニティセンター開設
11日　千歳梅ヶ丘郵便局開局
58（1983）年 ２月５日　高齢者事業団事務所完成
７日　人口７万人突破
３月20日　『増補千歳市史』刊行
４月１日　総合福祉センター開設（千歳コミュニティセンター含む）
13日　航空自衛隊千歳基地Ｆ－15Ｊ型戦闘機配備（第２航空団）
15日　千歳飛行場周辺移転先地公共施設整備事業・北斗５丁目宅地分譲開始
24日　市長選挙（３代市長　東峰　元次再選）
７月15日　一村一品製品化第１号「ハスカップの詩」発表
８月10日　支笏湖畔下水終末処理場（支笏浄湖苑）運転開始
19日　全国基地関係協議会正副会長会議開催
９月８日　常陸宮妃殿下総合福祉センター御視察
11月21日　東部支所東丘移設（由仁町三川→農民研修センター）
12月20日　航空３社機内放送「札幌千歳空港」から「千歳空港」に統一（旧空港時代）
22日　紫明女子学院歌志内から移転開院
千歳少年院廃止（Ｓ51～58院生収容なし）
59（1984）年 ４月　北斗中学校開校

昭和59（1984）年 4月　　向陽台保育園開設
1日　市民文化センター開設（S58・12・1竣工）
14日　支笏湖畔有料道路無料化
5月27日　支笏湖公園線自転車道全線開通
7月18日　千歳市シルバー人材センター設立（H24・4・1公益財団法人）
10月1・2日　全国都市行政研究会総会開催
5日　国道276号美笛峠新ルート開通
15日　千歳自由ケ丘郵便局開局
24日　電話局番2桁移行
11月6日　消防署向陽台出張所開所
27日　市内から映画館なくなる
60（1985）年 3月28日　ナイベツ川湧水「名水百選」に選定
5月26日　市議会議員選挙
8月1日　小規模授産施設ちとせ開設
20日　第16回全国中学校卓球大会開催
10月1日　環境センター廃棄物破砕処理施設始動
道東自動車道千歳－夕張間整備計画路線昇格
31日　エキノコックス汚染地域指定
11月25日　千歳白樺郵便局開局
12月22日　ひびけ市民の“第9”発表会
12月25日　北海少年院移転完了
61（1986）年 1月14日　千歳市公園緑化協会設立（3・28財団法人）
2月1日　グリーンベルト地下駐車場開業
24日　千歳鉱山休山式
3月15日　第1回千歳21世紀フォーラム「都市と空港」開催
24日　札幌支笏湖国際観光モデル地区指定（旧・運輸省）
4月1日　支笏湖市民センターオープン
市の木・花・鳥を新規制定
20日　湖畔が「支笏湖温泉」に字名変更
6月1日　直通バス運行（千歳空港－美笛経由－洞爺湖温泉）
（北海道中央バス・道南バス、1日1往復）
7月1日　夜間救急医療業務委託一本化（千歳医師会）
15日　札幌国際エアカーゴターミナル設立
27日　青空公園内アスファルト舗装スケートリンク竣工
8月10日　千歳飛行場・鉄道千歳線60周年記念事業「昔を偲ぶ集い」開催
10月1日　泉沢地区第2期開発事業起工式
22日　千歳飛行場開基60周年・鉄道千歳線開通60周年記念事業式典
62（1987）年 2月2日　住民基本台帳オンライン業務開始
3月　職安千歳出張所　札幌東公共職業安定所管轄となる
31日　道央テクノポリス推進地域協議会設立総会（於苫小牧市）
航空自衛隊北部航空警戒管制団第8移動警戒隊創隊
4月　向陽台中学校開校
1日　泉沢向陽台コミュニティセンター開設
26日　市長選挙（4代市長　梅沢　健三当選）
市議会議員補欠選挙
5月12日　青葉公園に市民球場オープン
7月1日　航空自衛隊千歳基地　ジェット燃料タンク落雷爆発炎上（第2航空団）
8月26日　“62年8月大雨災害”　雨量254㎜・被害額298,340千円
9月13日　皇太子殿下・同妃殿下、第11回全国育樹祭御出席（支笏湖・モラップ）
11月1日　祝梅コミュニティセンター開設
14日　千歳川放水路事業促進連合協議会設立（於札幌市）
18日　「サーモン橋」開通
12月15日　グリーンベルト地下駐車場第2期オープン
この年　千歳空港年間乗降客数旅客数1000万人突破
63（1988）年 2月1日　市立図書館新築移転

昭和63（1988）年 ２月５日　公共空地整備事業竣工
３月28日　暴力追放・防犯都市宣言
４月　日本航空学園千歳校開校
６月20日　新千歳空港管制塔運用開始（千歳管制隊）
７月10日　新千歳空港オープニングフェスティバル開催
17日　おさつ駅前土地区画整理組合設立
20日　新千歳空港開港（Ａ滑走路供用開始）
国際エアカーゴ初便就航
23日　青葉公園中央広場開園
８月６・７日　第１回清流千歳川噴水フェスティバル開催
31日　コングスベルグ友好親善都市声明文に署名（コングスベルグ）
12月15日　長都へき地保育所落成
17日　東千歳地区水道事業通水式（Ｈ元事業完了）
平成元（1989）年 ２月14日　道央テクノポリス開発計画承認（全国26番目）
３月１日　戸長役場開庁110年記念式
５月１日　たんぽぽ夜間保育園開園
13日　おさつ駅前土地区画整理事業起工式
21日　市議会議員選挙
６月２日　コリアンエアー　ソウル線定期便就航
６日　北海道横断自動車道千歳－夕張間杭打ち式
28日　北海道さけますふ化場千歳支場新庁舎落成
７月８日　新千歳空港ターミナルビル新築工事起工式
９月11日　第44回国民体育大会石狩支庁管内大会旗・炬火リレー採火式（支笏湖畔）
18～21日　第44回国民体育大会野球競技会
10月　青空公園「ふれあいセンター」完成
21日　名水ふれあい公園開園
28日　「開基」110年記念式典挙行
30日　千歳・アンカレジ市姉妹都市提携20周年記念式
11月４日　ＪＲ長都駅西口構外待合室寄付採納　ＪＲ長都駅前広場待合室竣工
12月１日　消防署西出張所開所
13日　東千歳地区水道事業竣工
２（1990）年 ２月２日　廃棄物焼却処理施設完成
26日　東千歳へき地保育所改築落成
28日　蘭越生活館改築竣工
３月31日　航空自衛隊第３高射群改編・ナイキシステムからペトリオットシステムへ換装完了
航空自衛隊第３移動通信隊新設（千歳基地）
７月２日　コンチネンタル航空（現・ユナイテッド航空）　グアム・サイパン線定期便就航（Ｈ30・１・15運休）
８月１日　支笏湖小学校環境庁長官賞受賞
北海道地価監視区域指定
３～５日　全国障害者問題研究会第24回全国大会
８日　「おはよう橋」開通（ふるさと創生事業）
11日　第１回北海道ビールまつり・イン・ちとせ開催
14日　国際航空貨物取扱施設竣工
９月９日　道央恵庭地区圃場整備事業完成記念式
10月28日　キャセイ・パシフィック航空　香港線定期便就航（Ｈ10・10・24運休→Ｈ13・12・２再開）
11月28日　千歳美々ワールド設立（Ｈ11・８・27解散決議・千歳市土地開発公社事業承継）
30日　陸上自衛隊第７師団司令部庁舎竣工
国営千歳地区直轄明渠排水事業竣工式
12月６日　航空自衛隊千歳基地200ビル（海軍航空隊司令部庁舎）大規模改修
３（1991）年 ２月１日　千歳市農協・東千歳農協合併　新「千歳市農業協同組合」発足
15日　消防署富丘出張所増改築庁舎落成

平成３（1991）年 ３月４日　おさつタウンセンター落成
４月　支笏湖診療所新築移転
１日　千歳市第４期総合計画（Ｈ３～12年度）スタート
20日　中央バス「高速ちとせ号」（千歳市内－札幌）運行
21日　市長選挙（５代市長　東川　孝当選）
市議会議員補欠選挙
５月８日　札幌入国管理局千歳・苫小牧出張所開設
日本道路公団札幌建設局千歳工事事務所新事務所庁舎落成
15日　日本航空　香港－名古屋－新千歳－ニューヨーク線貨物定期便就航（エバーグリーン・インターナショナル機・Ｈ３・11　臨時化・Ｈ５・２運休）
７月15日　グリーンベルト地下駐車場地下連絡通路開通式
20日　市民憲章ブロンズ像完成
８月１日　消防支笏湖温泉分遣所、出張所昇格
済州道姉妹提携10周年記念交流訪問団出発
９月７日　千歳霊園経営許可（11・３分譲開始）
14日　市役所庁舎等土曜閉庁制実施（毎月第２・第４土曜日）
22日　千歳航空少年団結団式
10月１日　泉沢向陽台証明事務取扱所開設（消防署向陽台出張所内）
第５回ツール・ド・北海道第１ステージスタート
７日　新千歳空港輸入食品届出窓口開設
16日　日本ユニバーサル航空就航（国内貨物専用・Ｈ４・９休止）
22日　航空自衛隊Ｆ―15Ｊ型戦闘機標的曳航ワイヤー切断ミス事故　民家・工場・架線等被害（第２航空団）
28日　青葉公園冒険の森開設
30日　人口８万人突破
11月３日　千歳霊園永代貸付開始
25日　千歳長都駅前郵便局開設
12月10日　北桜コミュニティセンター開設
11日　向陽台警察官派出所開設
４（1992）年 ２月１日　新千歳空港簡易ガス事業火入れ式・供給開始
千歳川取水施設取水開始
３日　日本航空　ホノルル線定期便就航再開（ＪＡＺ／H15・９・30運休）
３月１日　暢寿園デイサービスセンター開設
17日　道央自動車道、186台多重衝突事故発生（長都川橋付近）
27日　陸上自衛隊第１地対艦ミサイル連隊創設
５月11～15日　国際連合アジア・太平洋経済協力千歳会議（国連フォーラム）
７月１日　新千歳空港ターミナルビル供用開始・新千歳空港駅開業・新千歳空港内郵便局開局
ハートピアショップ「るぴなす」（新千歳空港ビル内）開店（H16・３・31閉店）
17日　消防創設70周年記念式典
８月５・６日　第34回自然公園大会開催（支笏湖・モラップ）
６～８日　全国水環境保全市町村連絡協議会（名水シンポジウム）
９月13日　全日本「第９を歌う会」千歳演奏会
21日　泉郷開拓100年記念式典
30日　道央自動車・札樽自動車道連結（札幌ＪＣＴ）
千歳市防災訓練（青葉運動場）
10月27日　カンタス・オーストラリア航空　ケアンズ線定期便就航（H10・３・31運休）
11月３日　第１回千歳市民文化賞・文化奨励賞贈呈式
５（1993）年 ３月　中央小学校閉校式
１日　新千歳空港24時間運用第１回テストフライト（３・１、９、21）
10日　㈶千歳市体育協会設立（H25・４・１公益財団法人）
４月１日　情報公開制度スタート

平成５（1993）年 ４月17日　北海道エアロポリス・プロジェクト・プレゼンテーション開催
５月23日　オール北海道オープンアーチェリー大会開催
30日　市議会議員選挙
６月１日　開基記念総合武道館開館
航空自衛隊特別航空輸送隊編成完結（千歳基地）
７月20日　新千歳空港24時間運用第２回テストフライト（７・20、27、８・３）
22日　東千歳調理場閉所式
８月８日　第26回全日本少林寺流空手道全国選手権大会
17日　千歳・苫小牧地方拠点都市地域指定
22日　第27回全日本医科学生体育大会準硬式野球大会開催
25日　おさつ駅前土地区画整理事業竣工記念式典
９月20日　北海第１号ブロンズ除幕式（空港広場）
10月12日　第26回全国昭和市長会開催
26日　麻薬・覚醒剤禍撲滅運動北海道大会開催
11月１日　支笏湖ヒメマス移植100年・養殖ヒメマス出荷10周年記念事業開催
６（1994）年 ２月９日　総合武道館・北海道赤レンガ建築賞受賞
14日　美々プロジェクト起工式
３月29日　北海道エアフロント開発創立総会（H11・４・１解散）
４月　北陽小学校開校
２日　市立総合病院泉郷診療所新築移転
８日　消防緊急通信指令施設運用開始
15日　鹿児島県指宿市と姉妹都市提携盟約調印
19日　市営牧場新築移転（駒里）
５月22日　市議会議員補欠選挙
６月　防衛庁技術研究本部東千歳地区空力維持研究施設開所
23日　新千歳空港24時間運用開始（国内初）
30日　新千歳空港深夜早朝便初就航
７月９日　全道信用組合野球大会開催
25～29日　国際民間航空機関航空運送政策セミナー開催
８月20日　第24回全国中学校選抜剣道大会開催
９月７日　流通業務団地造成起工式
10日　千歳サケのふるさと館開館
12月５日　北海道さけますふ化場千歳支場「さけの里ふれあい広場」開設
17日　ＪＲ長都駅跨線橋（自由通路－おさつスカイロード）供用
18日　第21回全道自衛隊剣道大会開催
７（1995）年 １月18日　北海道総合在宅ケア事業団千歳訪問看護ステーション開所
２月１日　千歳福祉サービス公社設立（H25・３・31解散、社協に統合）
３月17日　千歳ワールド・マーケット・プレイスＮＥＷＳ開業（H10・３・31閉鎖）
31日　マルチメディア情報センター開設（H15・９・30閉鎖）
４月　北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
15日　市民ギャラリー落成
23日　市長選挙（５代市長　東川　孝再選）
市議会議員補欠選挙
５月25日　ガスパイプライン千歳市内ルート合意
６月27日　航空自衛隊千歳管制隊新ラプコン落成
７月１日　第18回全日本学生軟式野球選手権大会
４日　ホトニクスバレー講演・説明会
８月23日　千歳命名190年シンポジウム「江戸時代にみる千歳の風景」
９月１日　東京事務所開設（千代田区平河町）（H17・３閉所）
10月１日　個人情報保護制度スタート
２日　向陽台支所開設
新周堤墓発見（中央キウス４遺跡）
14日　ヒメマスフォーラム開催
17日　人口８万５千人突破

平成７（1995）年 10月21日　第36回全日本初生雛雄雌鑑別選手権大会
12月　インディアン水車サケ捕獲過去最多（55万尾／年）
18日　千歳警察署住吉交番開所
８（1996）年 ２月29日　北海道砂利採取連絡協議会設立
３月19日　ガスパイプライン（勇払－札幌）竣工
26日　㈶千歳科学技術大学設立準備財団許可
29日　陸上自衛隊北千歳駐屯地129特科大隊新編完結
４月１日　ひので児童館開設
26日　新千歳空港Ｂ滑走路供用
５月29日　千歳・苫小牧・恵庭－災害時広域「相互応援協定」締結
６月４日　皇太子同妃殿下、千歳サケのふるさと館御視察
７月　青葉陸上競技場改修完成
（全天候型青色ウレタン走路－全国２番・道内初）
４日　千歳・新千歳空港乗降客数２億４千万人突破
18日　千歳オフィス・アルカディア起工式
８月17日　第24回北海道青年祭開催
９月20日　スカイフェスタ　ニューチトセ　96（空の日）
21日　千歳飛行場を造った村民顕彰の碑除幕式
10月16日　石油資源開発㈱基礎試錐「馬追」開坑式（泉郷）
22日　千歳線開通・千歳空港開港70年記念式典、市民フォーラム
11月１日　市の魚を制定（ヒメマス・サケ）
５日　インディアン水車設置100年記念特別講演開催
15日　国際農業シンポジウム開催
12月２日　千歳科学技術大学建設工事起工式
９（1997）年 2月4～7日　ＥＳＣＡＰ（国際連合アジア太平洋経済社会委員会）調整グループ会合開催
４月　泉沢小学校開校
１日　北コミュニティセンター開設
消防署祝梅出張所開設
在宅福祉総合センター「ほっとす」開設
５月25日　市議会議員選挙
６月１日　市営ガス事業譲渡（北海道ガス・５・20認可）
市民文化センター証明事務取扱所開設（H16・３・31閉鎖）
８月９・10日　第１回北海道スカイ＆ビアフェスタちとせ開催（ビールまつり＋空港まつり）
25日　千歳市防災総合訓練（臨空工業団地内）
10月１日　市指定ごみ袋導入
29日　ＫＬＭオランダ航空　アムステルダム線定期便就航（H14・２・１運休）
11月22日　「山線鉄橋」（旧王子軽便鉄道千歳川鉄橋）解体修復完了・開通式
12月２・３日　支笏湖・東部支所開設50周年を祝う会
10（1998）年 ３月27日　通信・放送機構「千歳ホトニクスリサーチセンター」開設
28日　北海道エアシステム（ＨＡＣ）就航（H23・６・11撤退）
30日　新葬斎場完成
４月１日　しなの児童館開設
11日　千歳科学技術大学第１回入学式
５月11日　ジェイ・エア　就航
６月８日　千歳郵便局新築移転（千歳駅前）
28日　チャイナ・ノーザン航空（現・チャイナ・サザン航空）瀋陽線定期便就航（H24・９・１運休）
７月20日　温水プール落成
30日　ビア・ワークスちとせ落成
８月11日　千歳市支笏湖ヒメマスふ化場開設（水産庁より譲渡）
10月５日　千歳ヤマセミ郵便局開局
12～15日　第４回先端有機ホトニクス物資と応用に関する国際会議（ＩＣＯＮＯ’４）開催

平成10（1998）年 10月19日　自衛隊札幌地方連絡部千歳募集事務所新築事務所開き
22日　商店街振興組合連合会創立20周年記念式典
12月１日　ペデストリアンデッキ（南千歳駅南口）開通
14日　千歳駅エレベーター・エスカレーター完成
20日　北海道国際航空（現・ＡＩＲＤＯ）就航
11（1999）年 ２月28日　ちとせデパート営業終了（自己破産）
３月１日　戸長役場開庁120年記念式（市民ホール）
25日　道央圏連絡道路新千歳空港―日の出ランプ間供用
26日　千歳市地域振興券利用開始（～９・30）
４月１日　中央コミュニティセンター開設
アリス保育園開園（併設・地域子育て支援センター）
16日　千歳信用組合経営不振・事業譲渡決定（専和信用組合）
24日　スカイマーク・エアラインズ（現・スカイマーク）就航（H12・６・30運休→H18・４・28再開）
25日　市長選挙（無投票／５代市長　東川　孝再選）
５月６日　千歳いずみ学園祝梅分場開設
７月10日　支笏洞爺国立公園指定50周年記念フォーラム
17・18日　YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭
30日　千歳川放水路計画中止決定
千歳オフィス・アルカディア竣工式
８月２日　向陽台在宅介護支援センター開所
４日　最高気温33.1度記録（新千歳航空測候所観測史上２位・鉄道一時運行休止）
24日　山線鉄橋、市有形文化財指定
10月１日　千歳命名195年・開庁120年記念式典
千歳・アンカレジ姉妹都市提携30周年記念式典
７日　道東自動車道千歳恵庭ＪＣＴ－夕張ＩＣ間開通
12・13日　千歳光科学国際フォーラム
11月６日　道立千歳高等学校創立50周年・新校舎落成記念式典
15日　札幌東公共職業安定所千歳出張所移転
29日　千歳東郊郵便局開局
12月13日　北央信用組合営業開始（旧・専和信用組合）
12（2000）年 ４月１日　祝梅在宅福祉センター「祝梅ほっとす」開設
千歳市福祉共同作業所「ほほえみ」開所
ほくおう児童館開館
26日　支笏湖美化センター開館
５月８日　人口８万８千８百人突破
７月28日　東日本電信電話㈱千歳営業所廃止
９月５～８日　光メモリ国際シンポジウム（ＩＳＯＭ）開催
15・16日　全国生涯学習まちづくりフォーラム開催
28日　中央バス「支笏湖バスターミナル」営業終了
10月２日　気象庁ドップラーレーダー完成（新千歳空港）
24日　デジタルシティ千歳会議開催
31日　ゆうまいタウンプラザ竣工（11・１イトーヨーカドー千歳店開店）
12月31日　ちとせ21世紀カウントダウンフェスティバル開催
13（2001）年 ２月12日　支笏湖結氷（湖水開き一週間延期）
４月１日　千歳市新長期総合計画（H13～22年度）スタート
道央農業協同組合発足（千歳・恵庭・江別・野幌農協合併）
千歳オフィス・アルカディア「千歳アルカディア・プラザ」開業
ごみ収集業務民間委託祝祭日収集開始
２日　水道局新庁舎開庁（東雲町３丁目）
消防署支笏湖温泉出張所新築移転
５月20日　市議会議員選挙
６月５日　苔の洞門岩盤崩落全面閉鎖
７月22日　サハリン航空（現・オーロラ航空）　ユジノサハリンスク線定期便就航

平成13（2001）年 8月1日　チャイナ・ノースウエスト航空（現・チャイナ・イースタン航空）
上海線定期便就航
9月7日　第２回千歳光科学国際フォーラム開催
12～14日　第25回赤十字北海道大会開催
10月1日　しゅくばい児童館開館
26日　千歳空港開港75周年・民間航空再開50周年記念式典
14（2002）年 2月20日　千歳市ＩＳＯ１４００１認証取得（～Ｈ18・２）
3月　道央圏連絡道路国道36号－日の出ランプ間供用
2日　千歳医師会看護高等専修学校閉校
16日　千歳科学技術大学第1回卒業式
25日　市立市民病院本体施設竣工
27日　陸上自衛隊第７化学防護隊創隊
4月1日　千歳科学技術大学大学院（修士課程）開設
千歳市ファミリー・サポート・センター開設（８・１サービス開始）
3日　せいりゅう児童館開館
5月29日　都市ガス－天然ガス化完了（北海道ガス）
7月9～11日　ＩＴＵ－Ｔ（国際電気通信連合）国際会議
9月1日　市立千歳市民病院開院
2日　循環型コミュニティバス（通称ビーバス）運行開始
26日　人口９万人突破
10月22日　北海第１号操縦士、酒井憲次郎飛行士のブロンズ像除幕式
12月10日　千歳こどもデイケアルーム開設（市民病院敷地内）
15（2003）年 1月24日　第１回千歳川光と氷のオブジェ開催（～２・３）
3月25日　道央圏連絡道路日の出－寿ランプ間供用
30日　エバー航空　台北線定期便就航
4月1日　下水道汚泥処理施設「スラッジセンター」供用
27日　市長選挙（６代市長　山口　幸太郎当選）
市議会議員補欠選挙
8月1日　おさつジャンボバス運航開始
31日　日本航空機製造YS－11型機民航ラストフライト（エアーニッポン女満別線）
9月1日　障害者総合支援センター開設
12月5日　深夜貨物定期便就航（全日空新千歳－羽田）
16（2004）年 4月1日　千歳駅前大型商業施設「ペウレ千歳」開業（千歳駅バスターミナル機能供用開始・千歳駅市民サービスセンター開設（H31・４・30閉鎖））
いずみさわ児童館開館
市庁舎全面禁煙
5月1日　特別養護老人ホーム「やまとの里」開設
6月21日　JTC1 SC25千歳会議開催（情報技術機器の相互接続の標準化）
10月11日　長春市友好親善都市合意調印
17（2005）年 1月30日　千歳命名200年記念事業　千歳市民劇「シコツ越え」開催
3月12日　千歳タウンプラザ（旧・エスプラザ）開業
15日　支笏湖青少年研修センター閉所
20日　長都小・中学校閉校
4月1日　水防センター開設
つくし保育園開設
29日　千歳アウトレットモール・レラ開業
5月29日　市議会議員選挙
30日　住民参加型ミニ市場公募債「千歳命名200年記念債」発行
31日　千歳市駒里農業協同組合設立認可
6月2日　道央農業振興公社設立
25日　道の駅「サーモンパーク千歳」オープン
7月6日　北海道競馬場外発売所「Aiba千歳」開所
9月6日　航空自衛隊第２航空団所属Ｆ－15Ｊ型戦闘機空中接触（積丹上空）
10月　社会福祉協議会事務所新築移転（旧・市立総合病院看護婦宿舎位置）
1日　エアトランセ　就航（H19・３・31撤退）

平成17（2005）年11月９日　山三ふじや創業100年記念祝賀会開催
18（2006）年２月20日　千歳市環境マネジメントシステムISO14001自己適合宣言
４月１日　地域支援包括センター新設（新富ほっとす内）市内に４ブランチ設置
職安千歳出張所、千歳公共職業安定所に昇格
支笏湖動力船規制要綱発表
７日　市民文化センターリニューアルオープン
５月１日　家庭ごみの有料化実施
６月１日　コリアンエアー　釜山線定期便就航
７月１日　チャイナエアライン　台北線定期便就航
15～17日　第１回スカイ・ビア＆YOSAKOI祭（スカイ＆ビアフェスタ＋YOSAKOIソーランちとせトーナメント祭）
８月１日　市民活動交流センター「ミナクール」開設
10月23日　千歳空港開港80年記念（献花式）
この年　新千歳－羽田間航空路線年間乗降客数１千万人突破（年間1,014万2,091人）
19（2007）年４月１日　市社会教育施設　指定管理者に運営移管始まる
４日　ギャラクシーエアラインズ（貨物専用）就航（H20・10・６事業廃止）
18日　エアチャイナ　北京線定期便就航
20日　千歳アウトレットモール・レラ２期拡張オープン
22日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
５月２日　チャイナ・サザン航空　大連線定期便就航
６月26日　天皇皇后両陛下、千歳サケのふるさと館御視察
７月２日　市役所、旅券窓口開設
11月　支笏湖漁業組合設立
20（2008）年2月23・24日　長都地区暴風雪害　第７師団災害派遣・車両約50台救出等
25～28日　在日米軍再編に伴う訓練移転初回実施（米海兵隊岩国FA－18×４）
４月１日　子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」開設（ちとせっこ児童館等併設）
千歳保育所が民営化され千歳春日保育園になる
24日　空港公園オープン（柏台南）
７月１～10日　ジュニア・エイトサミット2008千歳支笏湖開催
13日　市制施行50周年記念メインイベント（「第九」合唱演奏会）開催
９月７日　市制施行50周年記念式典
11月１・２日　世界ラリー選手権（WRC）第14戦ラリージャパン開催
21（2009）年２月28日　イトーヨーカドー千歳店（ゆうまいタウンプラザ）閉店
３月２日　戸長役場開庁130年記念式
30日　千歳市開拓農業協同組合解散
４月24日　スーパーアークス長都店（ちとせモール（旧・ゆうまいタウンプラザ））開店
５月31日　市議会議員選挙
７月27日　千歳・アンカレジ姉妹都市提携40周年記念式
８月１・２日　支笏洞爺国立公園指定60周年記念事業開催
24～28日　世界一周機「ニッポン」千歳出発70周年記念パネル展開催
９月11日　支笏湖自然保護官事務所改築開所式
15日　千歳命名205年・開庁130年記念事業「千歳の歴史写真展」開催
22（2010）年３月19日　『新千歳市史　通史編　上巻』刊行
26日　新千歳空港国際線旅客ターミナルビル供用開始
４月１日　ほくよう児童館開館
埋蔵文化財センター　長都移転（展示室等開設／旧・長都小中学校）
フジドリームエアラインズ就航
24日　防災学習交流センター「そなえーる」開設
５月22・23日　第12回日中韓三カ国環境大臣会合開催
７月１日　エアーニッポン就航（丘珠から移転）
12月18日　道央圏連絡道路　寿－中央ランプ間供用
28日　サハリン航空（現・オーロラ航空）　ハバロフスク線定期便就航（H23・３・27運休）

平成23（2011）年 2月29日　日本航空ジャンボ・ボーイング747－400Ｄ型機ラストフライト（退役ツアー）
3月12日　3・11東日本大震災　千歳市災害対策本部設置
4月　全国瞬時警報システム－ジェイ・アラート運用開始
1日　第６期総合計画（H23～32年度）スタート
ちとせ環境と緑の財団発足（環境保全公社＋緑化協会／H25・４・１公益財団法人）
24日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
市議会議員補欠選挙
5月5日　イースター航空（LCC＝格安航空）ソウル線定期便就航
6月1日　ホテル日航千歳売却　ホテルグランテラス千歳となる
7月1日　防災学習交流施設「防災の森」オープン
千歳市内ハイヤー・タクシー全面禁煙（全国最後）
15日　ジンエアー（LCC）ソウル線定期便就航
新千歳空港国内線旅客ターミナル商業施設リニューアルオープン
8月11日　観測史上最高気温34.2度記録（新千歳航空測候所）
31日　人口全道10位達成94,390人（室蘭市94,104人抜く）
9月9日　天皇陛下　千歳市役所行幸
24（2012）年 2月19日　第１回ちとせ・まち魅力検定実施（『要覧ちとせ』から出題）
3月1日　ピーチ・アビエーション（LCC）就航
23日　真町中学校閉校式
4月　勇舞中学校開校
1日　真々地保育所が民営化、あずさつくし保育園として移転開園
7月3日　ジェットスター・ジャパン（LCC・日本航空系）就航
10日　千歳警察署支笏湖駐在所改築開所式
8月1日　エアアジア・ジャパン（LCC・ＡＮＡ系／ＷＡＪ）就航（H25・10・26ＡＮＡ提携解消・運航終了→バニラ・エアへ社名変更）
9月4日　トランスアジア航空（H28・11・22解散決議）　台北線定期便就航（同日運休）
10月28日　ＡＮＡボーイング787型機就航（ＡＮＡ・日航　H25・１・16～５・25運航停止）
31日　タイエア　バンコク線定期便就航
ハワイアン航空　ホノルル線定期便就航
11月1日　花園コミュニティセンター　開設
3日　航空自衛隊千歳チーム　第38回社会人野球日本選手権初出場（京セラドーム大阪）
12月9日　新千歳空港国際線年間出入国者数100万人突破（年間107万9,400人）
11日　キウス周堤墓群「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」世界文化遺産候補構成資産に追加（縄文遺跡群世界遺産登録推進本部）
25（2013）年 1月　真冬日連続23日記録（アメダス観測史上第１位）月間真冬日28日
3月5日　支笏湖温泉第２泉源湧出（ナトリウム－炭酸水素塩・塩化物温泉／動力揚水33.2度）
4月　北海道千歳高等支援学校開校
1日　社会福祉協議会　福祉サービス公社事業継承
30日　人口９万５千人突破（95,094人）
5月11・12日　第１回グリーンベルトはるまつり開催（グリーンベルト芝生公園・千歳川河畔公園）
26日　市議会議員選挙（史上初無投票）
7月10日　広報「ちとせ」発刊1000号（S26創刊）
20日　「千歳民報」創刊50周年（S38創刊／苫小牧民報社）
8月3日　道央自動車道　新千歳空港インターチェンジ開業
10月1日　市消防本部ほか管内６消防本部－消防救急デジタル無線システム運用開始
12月23日　ティーウェイ航空（LCC）ソウル線定期便就航
26（2014）年 1月28日　チャイナ・サザン航空　広州線定期便就航（H26・３運休）
バニラ・エア（LCC・ＡＮＡ系（旧ＷＡＪ）現・ピーチ・アビエーション）就航

平成26（2014）年 2月25・27日　越冬エゾシカ学術捕獲実施／銃器使用＋国道閉鎖－全国初
（国道453号（旧・支笏湖畔有料道路北側斜面）／酪農学園大ほか）
3月27日　北新子育て支援センター「げんきっこセンター」開館
希望が丘児童館開館
30日　ＡＮＡジャンボ・ボーイング747－400Ｄ型機退役フライト（ＮＨ74）
31日　千歳市土地開発公社解散
4月1日　全国コンビニエンスストア市税等収納サービス開始
市営住宅窓口センター開設（指定管理－管理・入退去・収納業務等委託）
10日　しあわせサポートセンター開所（介護予防センター、更生保護サポートセンターほか入居）
13日　支笏湖温泉第２泉源配湯（第１泉源廃泉）
19日　「ダイナックスアリーナ（スポーツセンター）」リニューアルオープン
（ネーミングライツスポンサー＝ダイナックス（H26・3・28調印））
5月12日　千歳青年会議所創立50周年記念式典（S39・５・10設立）
6月～8月　支笏湖ヒメマス釣果最多記録（解禁期間）15万8,741尾
7月21日　姉妹都市提携20周年を記念して指宿市から天然記念物・池田湖大うなぎ贈られる（「いぶりん」と命名し展示＝サケのふるさと千歳水族館）
28日　養護老人ホーム千寿園移転新築落成記念式典（８・１開所）（大和４丁目）
8月9日　航空自衛隊千歳管制隊無事故管制500万回達成（S37・１・１米空軍移管～）
9月11・12日　支笏湖地区集中豪雨（11日午前５時35分大雨特別警報発令／支笏湖地区住民に避難勧告、土石流により国道453号不通、美笛キャンプ場封鎖など）
市街－インディアン水車水没
10月1日　市民文化センター・ネーミングライツ「北ガス文化ホール」（ネーミングライツスポンサー＝北海道瓦斯（H26・９・25調印））
26日　スプリング航空（LCC）上海線定期便就航
11月20日　北海道国際航空（エア・ドゥ）国際チャーター便初運航（新千歳－台北）
12月19日　支笏湖ヒメマスふ化場改築落成（12・25開場式／旧施設解体H26・6・26）
ホンコン航空　香港線定期便就航
27（2015）年 2月1日　チャイナエアライン　高雄線定期便就航
17日　千歳公民館、文部科学省第67回優良公民館表彰受賞
18日　新千歳空港深夜早朝発着枠30回を苫小牧市地域協議会基本合意
3月7日　夕張シューパロダム竣工式（夕張市ゆうばり文化スポーツセンター）
29日　ティエンジン航空　天津線定期便就航
4月1日　石狩東部広域水道企業団千歳川浄水場供用（３・31通水式、供給先４市１町１企業団）
市立末広・北栄保育所廃止、幼保連携型認定こども園新設（市立２園、私立５園）
北海道空港、新千歳空港ロジスティクスセンター分譲開始（H25・11・15造成着手）
ふるさと千歳ナンバープレート（デザイン＝擬人化飛行機）、原付自転車などに交付開始
26日　市長選挙（無投票／６代市長　山口　幸太郎再選）
市議会議員補欠選挙
5月1日　合葬墓「千縁塚」埋葬始まる（末広第一霊園）
2日　エアアジアＸ（LCC）バンコク線定期便就航（代替運航＝マレーシア・エアアジアＸ）
16日　薬用作物集出荷貯蔵施設竣工（日本初／ＪＡ道央）
7月1日　千歳プレミアム付商品券発売開始
25日　千歳サケのふるさと館がサケのふるさと千歳水族館としてリニューアルオープン
8月8日　道の駅サーモンパーク千歳リニューアルオープン
24日　東川　孝　前千歳市長死去市葬執行（８/18逝去）
9月29日　製造品出荷額全道第４位（苫小牧・室蘭・札幌・千歳）平成26年工業統計調査速報値

平成27（2015）年10月１日　エアアジアＸ（LCC）クアラルンプール線定期便就航
15日　新千歳空港深夜早朝時間帯発着枠拡大（６便→30便・８/22地元合意）
28日　航空自衛隊第３高射群　地対空誘導弾ペトリオット（PAC3）を配備
11月12日　千歳市の自衛隊を支える中央大会開催（東京都千代田区砂防会館106人出席）
第40回土地区画整理全国大会（広島市）おさつ駅みどり台土地区画整理組合最高賞受賞
12月３日　エアプサン（LCC）プサン線定期便就航
30日　支笏湖丸駒温泉旅館創業100年
28（2016）年２月６日　千歳市町内会連合会設立50周年記念式典
17日　平成27年国勢調査速報値　人口95,664人（対前回比2.2％増）
人口増加数全道第２位、人口増加率市部全道１位
23日　日本航空機・航空事故（福岡行ボーイング737／左エンジン発煙→機内流入→緊急脱出・原因＝着氷による不完全燃焼）
４月６日　デマンドバス「心－ふれあいバスおおぞら号」運行開始（長都・中長都・釜加）
５月１日　人口９万６千人突破（96,230人）
７月１日　アシアナ航空　ソウル線定期便就航
ペウレ千歳　「千歳ステーションプラザ」に名称変更
20日　チェジュ航空（LCC）ソウル線定期便就航
８月20日　スプリングジャパン（LCC）成田線定期便就航
９月26日　国産初小型ジェット旅客機ＭＲＪ初飛来
10月１日　市内バス路線再編
スクート（LCC）シンガポール線定期便就航
７日　千歳空港開港90周年記念　毛利　衛　宇宙飛行士特別講演会
12月25日　エアプサン（LCC）大邱線定期便就航
29（2017）年２月１日　コンビニ交付サービス開始（住民票、印鑑登録証明書など）
３月26日　フジドリームエアラインズ　山形線定期便就航
中国東方航空　南京線定期便就航
海南航空　杭州線・長沙線就航（H29・９・５運休）
４月１日　第２住吉保育園開設
北海道千歳リハビリテーション大学開学
上海吉祥航空　上海線定期便就航
５月28日　市議会議員選挙（女性過去最多６名当選）
８月８日　道の駅サーモンパーク千歳年間来場者数100万人突破（1,016,309人）
９月５日　千歳市休日夜間急病センター（ささえーる）診療開始
24日　ピーチ・アビエーション（LCC）台北線定期便就航
10月29日　エアアジア・ジャパン（LCC）中部線定期便就航
12月26日　支笏湖が2016年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続10年第１位
この年　路線別旅客数で新千歳－羽田が国際197路線で最多の905万1,293人
30（2018）年３月25日　アイベックスエアラインズ松山線定期便就航
４月１日　ちとせスマイル保育園開設
認定こども園おひさま開設
11日　エアアジアX（LCC）バンコク線定期便就航
18日　「千歳市人口ビジョン・総合戦略～みんなで97,000プロジェクト～」（平成28年３月策定）における目標人口９万７千人達成（97,012人）
５月８日　イースター航空（LCC）釜山線就航
７月２日　市制施行60周年記念式
９月６日　北海道胆振東部地震発生（午前３時７分頃）（安平町で震度６強）
10月29日　イースター航空（LCC）清州線定期便就航（R元・９・５運休）
11月26日　エアソウル（LCC）仁川線就航
12月　支笏湖が2017年公共用水域水質測定結果で湖沼の部連続11年第１位
７日　フィリピン航空　マニラ線定期便就航
21日　ウラル航空　ウラジオストク線定期便就航
31（2019）年２月12日　市役所第２庁舎開庁

平成31（2019）年	3月1日	千歳命名215年・戸長役場開庁140年記念式
	23日	マリンド・エア　クアラルンプール線就航
	28日	『新千歳市史　通史編　下巻』刊行
	29日	札幌市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約締結
	4月	公立千歳科学技術大学開学
	1日	あんじゅ認定こども園開園
	21日	市長選挙（無投票／6代市長　山口　幸太郎再選）
	23日	新千歳空港年度別乗降客数過去最高2,363万2,641人（対前年比2.3％増） ＝国内線1,977万6,630人（0.9％増）＋国際線385万6,011人（10.4％増）
令和元（2019）年	8月30日	千歳市と恵庭市の連携施策の充実拡大に関する覚書の締結
	9月4日	千歳・アンカレジ市姉妹都市提携50周年記念式
	11月1日	深圳航空　無錫線定期便就航
	29日	山東航空　青島線定期便就航
	12月16日	フィンランド航空　ヘルシンキ線定期便就航 カンタス航空　シドニー線定期便就航
2（2020）年	1月14日	厦門航空　福州線定期便就航
	15日	北海道エアポートによる新千歳空港ターミナルビル経営開始
	17日	四川航空　成都線定期便就航
	21日	新千歳空港年別乗降客数過去最高2,459万4,904人（対前年比5.5％増） ＝国内線2,073万2,744人（5.9％増）＋国際線386万2,160人（3.7％増）
	4月1日	あさ陽認定こども園開園

1　平成9年から千歳市は「開基」を「千歳命名○○年・開庁○○年」に改称したが、過去に実施した事業名までは変更していない

2　新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年3月以降、新千歳空港の国際線定期便は運航していない。（空港政策課）

総務課

2　事業年表

（1）泉沢開発事業

昭和45（1970）年９月	泉沢地域634haを11億７千万円で江別市から買収
47（1972）年12月	千歳市土地開発公社設立
49（1974）年６月	市議会議員協議会に基本構想の検討を報告
51（1976）年２月	市議会議員協議会に基本計画書を提出
３月	市議会「中核的工業団地造成に関する要望意見書」議決
52（1977）年７月	市議会「泉沢土地利用問題特別委員会」設置
９月	泉沢開発プロジェクトチーム「千歳市の将来と泉沢」発刊
53（1978）年６月	泉沢地区市街化区域編入
	住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
７月	工事中の防災措置に関する計画承認
８月	住宅地名称を「泉沢向陽台」に決定
	開発行為許可（都市計画法第29条）
	泉沢開発着工式挙行
53（1978）年10月	住宅地造成工事発注　一般分譲地予約受付開始
54（1979）年３月	市議会「泉沢地域開発等特別委員会」設置
10月	千歳臨空工業団地造成開始
11月	開村式挙行
56（1981）年４月	千歳臨空工業団地販売開始
57（1982）年４月	向陽台小学校開校
59（1984）年４月	向陽台保育園開園
７月	北海道電力臨空工業団地内変電所供給開始（６万６千ＫＶＡ）
８月	泉沢地区（２期住宅地）市街化区域編入
10月	千歳市消防署向陽台出張所完成
11月	全天候型テニスコート（３面）完成
60（1985）年３月	泉沢向陽台コミュニティ協議会発足
７月	向陽台水泳プール完成
９月	日本航空大学校千歳校誘致決定
11月	千歳市白樺郵便局開局
61（1986）年３月	泉沢開発記念誌〈大いなる挑戦〉完成
４月	第２期計画に伴う環境影響評価書提出
５月	第２期計画に伴う防災協議成立
	泉沢地区（２期工業地）市街化区域編入
	第２期計画に伴う実施設計完成
７月	第２期計画に伴う住宅金融公庫宅地造成資金融資に係る計画承認
８月	第２期計画に伴う環境影響評価書確定告示
	第２期計画に伴う開発行為許可（都市計画法第29条）
10月	第２期開発着工式挙行
12月	第２期都市計画用途地域の変更告示
62（1987）年４月	泉沢向陽台コミュニティセンター完成
	向陽台中学校開校
63（1988）年４月	日本航空学園千歳校開校
５月	第２期泉沢向陽台住宅地分譲開始
平成２（1990）年１月	業務施設用地の名称「千歳サイエンスパーク」と決定、分譲開始
３（1991）年４月	向陽台つくし幼稚園開園
12月	向陽台警察官派出所開設
５（1993）年５月	臨空工業団地に全天候テニスコート（４面）完成
６（1994）年４月	向陽台公園完成
10月	住宅地文京地区造成開始
７（1995）年４月	北海道千歳リハビリテーション学院（現・北海道千歳リハビリテーション大学）開校
９月	住宅地文京地区分譲開始
10月	泉沢自然の森竣工・向臨橋竣工・渡橋式挙行・ハヤブサ公園完成・向陽台支所開設

平成８（1996）年７月　泉沢自然の森キャンプ場オープン
10月　泉沢開発事業最終完了検査
９（1997）年３月　竣工記念誌＜泉沢～森の中の新しい都市＞完成
４月　泉沢小学校開校
10（1998）年７月　泉沢向陽台１万人達成セレモニー実施
10月　泉沢竣工記念事業実施
13（2001）年１月　向陽台病院開院
16（2004）年４月　いずみさわ児童館開館
17（2005）年12月　道道泉沢新千歳空港線　供用開始
25（2013）年８月　道央自動車道新千歳空港インターチェンジ開業
26（2014）年３月　千歳市土地開発公社解散
29（2017）年４月　北海道千歳リハビリテーション大学開学
向陽台ファミリークリニック開院

開発振興課

（2）水道事業

昭和27（1952）年４月　水道事業施行議案可決
５月　上水道新設工事認可申請（昭和28年３月認可）
給水人口　22,000人　１人当たり225ℓ／日　最大配水量　4,950㎥／日
計画目標年次　昭和37年度
浄水施設：（春日浄水場）千歳川伏流水
配水施設：高架水槽・自然流下
９月　湖畔地区簡易水道工事施行議案可決
28（1953）年４月　簡易水道布設工事認可申請（昭和28年５月認可）
給水人口　2,000人　１人当たり150ℓ／日　最大配水量　450㎥／日
計画目標年次　昭和43年度
12月　上水道新設工事着手
簡易水道布設工事着手（昭和29年３月完成）
29（1954）年６月　千歳町上水道条例制定
30（1955）年１月　春日浄水場給水開始
32（1957）年12月　創設工事完成　総事業費　87,509千円
36（1961）年12月　第１期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　40,000人　１人当たり250ℓ／日　最大配水量　10,000㎥／日
計画目標年次　昭和46年度
取水施設：内別川取水堰
導水施設：沈砂池、導水管
浄水施設：（蘭越浄水場）緩速ろ過池、塩素滅菌設備、浄水池
送水施設：送水ポンプ室、送水ポンプ、送水管
配水施設：配水管
37（1962）年８月　第１期拡張工事着手
39（1964）年10月　事業変更認可申請（第１期拡張事業変更）　予定事業費　280,000千円
浄水施設：緩速ろ過池から急速ろ過池に変更
配水施設：配水管
12月　蘭越浄水場給水開始
40（1965）年４月　料金改定　上水道36％値上げ
42（1967）年３月　第１期拡張工事完成　総事業費　221,905千円
43（1968）年３月　中央長都地区開拓地に特別給水
44（1969）年３月　第２期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　85,000人　１人当たり400ℓ／日　最大配水量　34,000㎥／日
計画目標年次　昭和58年度　予定事業費　755,000千円
取水施設：内別川取水堰増改造
導水施設：導水管変更
浄水施設：着水井、混和池、急速ろ過池増設、塩素滅菌設備増設

昭和44（1969）年３月　送水施設：送水管増設、送水ポンプ室増設、送水ポンプ変更
配水施設：配水池増設、配水管
８月　第２期拡張工事着手
45（1970）年７月　ナイベツ川原水汚濁防止のため薬品混和池、沈澱池の補修着手（昭和46年12月完成）
46（1971）年10月　長都・釜加地区水道施設工事着手（昭和51年３月完成）
47（1972）年２月　事業変更認可申請（第２期拡張事業変更）
配水人口　85,000万人　１人１日最大給水量　400ℓ／日
１日最大給水量　34,000㎥／日　計画目標年次　昭和58年度
予定事業費　1,170,000千円
浄水施設：混和地変更、フロック形成池、沈殿池
送水施設：送水ポンプ室増設
12月　駒里地区に専用水道利用組合設立、上水道分水
48（1973）年12月　航空自衛隊千歳基地へ分水開始
49（1974）年10月　陸上自衛隊北千歳駐屯地へ分水開始
50（1975）年11月　陸上自衛隊東千歳駐屯地へ分水開始
51（1976）年７月　料金改定　上水道、簡易水道61.76％値上げ
53（1978）年２月　第２期拡張工事事業の一部変更申請・認可
給水人口　68,250人　１人１日最大給水量　498ℓ／日
１日最大給水量　34,000㎥／日　計画目標年次　昭和58年度
事業費継続分　1,670,934千円
新規分　1,099,471千円
} 2,770,405 千円
送水施設：送配水管、泉沢送水ポンプ
配水施設：泉沢高架配水池、駒里配水池（ポンプ）、泉郷配水池（ポンプ）、塩素滅菌設備（駒里、泉郷）
３月　駒里専用水道廃止
４月　支笏湖畔地区簡易水道第１期拡張事業変更申請・認可
給水人口　450人　１人当たり最大給水量　2,888ℓ／日
最大給水量　1,300㎥／日　計画目標年次　昭和62年度
取水施設：深井戸
導水施設：導水ポンプ・導水管
浄水施設：混和池
配水施設：配水池・配水本管
55（1980）年４月　料金改定　簡易水道272.24％値上げ
57（1982）年２月　第３期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　77,400人　１人１日最大給水量　542ℓ／日
１日最大給水量　42,000㎥／日　計画目標年次　昭和60年度
予定事業費　4,347,000千円
取水施設：祝梅川取水井
導水施設：祝梅川集水井
浄水施設：浄水池
送水施設：送水ポンプ増設
配水施設：蘭越配水池増設、上長都高架配水池、配水管
58（1983）年４月　料金改定　上水道45.5％値上げ
12月　上長都高架配水池（球形ＲＣドームＰＣ造　2,034㎥）新設
59（1984）年４月　石狩東部広域水道企業団（漁川浄水場）から受水開始
62（1987）年３月　薬品沈澱池　１池（12,500㎥）築造
第４期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　82,470人　１人１日最大給水量　544ℓ／日
１日最大給水量　44,800㎥／日　計画目標年次　平成４年度
予定事業費　2,676,000千円
浄水施設：フロック形成池増設、沈殿池増設
送水施設：送水ポンプ増設、泉沢送水ポンプ増設、送水管
配水施設：蘭越配水池変更、配水管
63（1988）年７月　東千歳地区水道管布設工事着手（平成元年11月完成）
12月　東千歳地区一部給水開始

平成元（1989）年４月　料金改定　上水道、簡易水道３％値上げ（消費税相当分）
10月　名水ふれあい公園開園
２（1990）年４月　料金改定　上水道、簡易水道1.93％値下げ
３（1991）年６月　事業変更認可申請（第４期拡張事業変更）
第４期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　82,200人　　１人１日最大給水量　544ℓ／日
１日最大給水量　44,800㎥／日　計画目標年次　平成５年度
予定事業費　2,677,000千円
取水施設：千歳川取水口
導水施設：千歳川導水管、導水ポンプ
浄水施設：蘭越配水池変更
４（1992）年２月　千歳川からの取水開始（祝梅川水利権の振替）
６（1994）年８月　第５期拡張工事事業変更申請・認可
給水人口　89,400人　　１人１日最大給水量　568ℓ／日
１日最大給水量　50,800㎥／日　計画目標年次　平成10年度
予定事業費　6,491,100千円
取水施設：深井戸
導水施設：導水管
配水施設：塩素滅菌設備、オゾン接触層、活性炭接触
７（1995）年11月　千歳市公営企業経営審議会設置
８（1996）年４月　新千歳空港周辺プロジェクト関連の幹線配水管整備事業着手（平成15年３月完成）
７月　地下水高度浄水処理施設稼動
10月　料金改定　上水道45.90％、簡易水道28.39％値上げ
９（1997）年４月　料金改定　上水道、簡易水道２％値上げ（消費税相当分）
10（1998）年３月　蘭越浄水場新管理棟完成
10月　蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場建設着手
12（2000）年３月　蘭越浄水場浄水池及び送水ポンプ場供用開始
４月　下水道事業と組織統合
13（2001）年４月　水道局新庁舎新築移転
15（2003）年11月　フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事着手
17（2005）年２月　薬品注入設備増設（建築・機械・電気）
３月　フロック形成池・沈澱池機械設備・上屋建築工事完成
７月　急速ろ過池洗浄強度増強工事着手
８月　第６期拡張事業変更申請・認可
給水人口　93,900人　　１人１日最大給水量　597ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　平成27年度
配水施設：配水池新設
18（2006）年９月　臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管事業着手
20（2008）年10月　臨空工業団地配水池工事着手
21（2009）年３月　泉沢幹線配水管工事着手
急速ろ過池洗浄強度増強工事完成
24（2012）年８月　事業変更認可申請（第６期拡張事業変更）
給水人口94,800人　　１人１日最大給水量　574ℓ／日
１日最大給水量　54,400㎥／日　計画目標年次　平成34年度
配水施設：排水管
26（2014）年４月　料金改定　上水道、簡易水道３％値上げ（消費税相当分）
27（2015）年３月　臨空工業団地配水池・泉沢幹線配水管供用開始
４月　石狩東部広域水道企業団（千歳川浄水場）から受水開始
30（2018）年４月　料金改定　上水道17.5％値上げ
令和元（2019）年10月　料金改定　上水道、簡易水道２％値上げ（消費税相当分）

水道局経営管理課

（3）清掃事業

昭和31（1956）年	清掃条例施行　じん芥は特別清掃区域を設け、町（失業対策事業）が処理
33（1958）年	市制施行、計画収集地域を定め、市直営じん芥計画収集を実施
	じん芥処理手数料賦課制徴収
34（1959）年	じん芥捨場指定（美々）
37（1962）年	清掃条例全面改正、「千歳市清掃条例」制定
39（1964）年	じん芥処理手数料賦課制から従量制に改正
42（1967）年	末広し尿処理場完成運転開始（嫌気性加温消化方式、処理能力54kℓ／日）
43（1968）年	千歳市衛生団体連合会発足
44（1969）年	じん芥収集従量制からパック方式（紙袋）に改正、手数料無料化実施、市内ごみ箱全廃清掃センター完成
47（1972）年	廃棄物の処理及び清掃に関する条例施行　事業系廃棄物処理、埋立手数料徴収
48（1973）年	じん芥、し尿計画収集完全実施（市街化区域内）
	美々廃棄物処理場（約12ha）　汚水浄化槽設置
	農村地域じん芥収集実施（３回／年）
	大型じん芥収集実施（１回／月）
55（1980）年	千歳市廃棄物処理計画の基本構想策定
	トラックスケール施設装置
56（1981）年	千歳市環境保全公社設立（７月19日財団法人）
57（1982）年	千歳市リサイクルセンター完成
59（1984）年	有害物を多く含んだ特定のごみ分別収集実施（１回／月）
	美々廃棄物埋立処分場及び浸出水処理施設設置
	一般家庭じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別モデル地区（３地区）設定、分別収集実施
60（1985）年	普通じん芥（可燃ごみ・不燃ごみ）分別収集実施
	千歳市環境センター破砕処理場完成
63（1988）年	千歳市一般廃棄物処理基本計画策定
平成２（1990）年１月	千歳市環境センター焼却処理場、管理棟及び車庫棟完成
３（1991）年４月	コンポスト容器購入補助金助成開始
５（1993）年４月	千歳市廃棄物の処理及び清掃に関する条例全部改正
９月	千歳市廃棄物減量等推進審議会設置
６（1994）年３月	汚水投入施設稼動（処理能力28kℓ／日）
	小動物焼却施設建設（焼却能力最大170kg／時間）
４月	廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
７（1995）年３月	千歳市廃棄物最終処分場建設（防衛補助）
	埋立面積46,800㎡（容積362,764㎥）
	浸出水処理施設　平均120㎥／日
８（1996）年４月	収集曜日の変更
９（1997）年４月	農村地域（３回／月）から（４回／月）へ変更
10月	市指定ごみ袋の実施
10（1998）年４月	中心街事業系廃棄物の自己処理化実施（プリペイド方式の導入）
	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
11（1999）年５月	容器包装リサイクル法に基づく第２期「千歳市分別収集計画」策定
13（2001）年４月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
	新リサイクルセンター完成運転開始
	４種資源物収集（１回／週）の実施
	市街地区じん芥収集運搬業務の完全民間委託
	祝日収集の実施
	大型ごみの戸別収集実施
	特定家庭用機器の戸別収集実施
	有害ごみ収集（１回／月）から（１回／週）へ変更
15（2003）年３月	千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
４月	農村地域の可燃ごみ収集（２回／月）から（１回／週）へ変更
16（2004）年３月	千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正

平成17（2005）年３月　２号焼却炉のダイオキシン対策工事完了（防衛補助事業）
４月　廃棄物処理手数料改定（じん芥処理手数料、埋立等処分手数料）
６月　容器包装リサイクル法に基づく第４期「千歳市分別収集計画」策定
12月　千歳市廃棄物最終処分場（第３埋立処理場）建設（防衛補助）
埋立面積45,000㎡（容積310,000㎥）
浸出水処理施設 120㎥／日
18（2006）年３月　千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
５月　家庭ごみの有料化実施
11月　千歳市廃棄物最終処分場（第２埋立処理場）埋立終了
19（2007）年３月　南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」締結
（期間：Ｈ19年度試験受入・Ｈ20・４・１からＨ27・３・31まで）
６月　容器包装リサイクル法に基づく第５期「千歳市分別収集計画」策定
21（2009）年４月　廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料）
22（2010）年４月　千歳市環境センターの施設運転管理を民間企業に全面委託
６月　容器包装リサイクル法に基づく第６期「千歳市分別収集計画」策定
12月　プラスチック製容器包装有料収集開始に伴う千歳市廃棄物の処理等に関する条例の一部改正
23（2011）年３月　千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
８月　新破砕処理場（太陽光発電装置付）完成運転開始
10月　プラスチック製容器包装収集（１回／週）の実施
24（2012）年３月　道央地域ごみ処理広域化推進協議会に参画表明
５月　第24回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、千歳市の参画が決定、千歳市長が会長に就任
10月　新たな集団資源回収システム（奨励金方式）の実施
25（2013）年１月　第25回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、次年度事業計画及び予算の決定
６月　容器包装リサイクル法に基づく第７期「千歳市分別収集計画」策定
11月　第26回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、道央廃棄物処理組合の設立を決定、栗山町は同組合への不参加を表明
26（2014）年１月　第27回道央地域ごみ処理広域化推進協議会開催、道央廃棄物処理組合の設立に伴う同協議会の解散を決定
２月　道央廃棄物処理組合設立、千歳市長が管理者に就任
３月　道央地域ごみ処理広域化推進協議会解散
４月　廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料、浄化槽汚泥処理手数料、生活雑排水処理手数料）使用済み小型家電の回収を実施
道央廃棄物処理組合第１回臨時会開催
12月　南空知公衆衛生組合「可燃性一般廃棄物の処理に関する協定書」延長
（期間H27.4.1からH36.3.31まで）
27（2015）年３月　道央廃棄物処理組合「ごみ処理広域化基本計画」策定
10月　道央廃棄物処理組合に栗山町が加入
28（2016）年３月　千歳市一般廃棄物処理基本計画改定
道央廃棄物処理組合「ごみ処理広域化基本計画」改定
５月　千歳市災害廃棄物処理計画策定
６月　容器包装リサイクル法に基づく第８期「千歳市分別収集計画」策定
12月　焼却施設の建設費及び維持管理費に係る関係市町の負担割合の規定により、組合規約を一部変更
29（2017）年２月　道央廃棄物処理組合「千歳市根志越」を建設予定地とする
30（2018）年３月　道央廃棄物処理組合「焼却施設基本設計」策定
31（2019）年１月　ごみ処理量の変更に伴い、焼却施設の建設費に関わる関係市町の負担割合の規定により、組合規約を一部変更
２月　焼却施設の建設予定地に係るすべての地権者と土地売買契約などを締結
４月　廃棄物処理手数料改定（事業系一般廃棄物処理手数料、産業廃棄物処分費用、し尿処理手数料）
令和元（2019）年６月　容器包装リサイクル法に基づく第９期「千歳市分別収集計画」策定

令和元（2019）年11月　道央廃棄物処理組合　焼却施設建設工事着工

廃棄物対策課・廃棄物管理課

（4）病院事業

昭和22（1947）年１月　日本医療団千歳病院開院（旧・千歳海軍航空隊隊外酒保）
23（1948）年８月　道立千歳病院となる
病床数　50
診療科 内科・外科・産婦人科
42（1967）年４月　道から移管、千歳市立病院となる
病床数　132
診療科 内科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・耳鼻咽喉科
48（1973）年８月　病院増改築第１期工事着工
50（1975）年　第２期工事完成　病床数200（一般病棟171・結核病棟29）
51（1976）年３月　増改築全工事完成　千歳市立総合病院と改称
眼科・皮膚科開設
59（1984）年４月　泌尿器科開設
平成２（1990）年４月　麻酔科開設
６（1994）年４月　泉郷診療所開設
12（2000）年４月　支笏湖診療所　保健福祉部より所属替え
13（2001）年10月　脳神経外科開設
14（2002）年９月　市立総合病院新築移転（一般病棟 190床）
市立千歳市民病院と改称
循環器科開設
15（2003）年10月　消化器科開設
17（2005）年４月　地域医療連携室設置
18（2006）年12月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.５）」の認定を受ける
20（2008）年７月　看護基準７対１取得
21（2009）年２月　市立千歳市民病院改革プラン策定
３月　電子カルテシステム導入
４月　ＤＰＣ（診断群分類による包括医療制度）運用開始
24（2012）年１月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（Ver.６）」の認定を更新する
25（2013）年４月　医療安全管理室、感染対策室設置
７月　助産外来開設
26（2014）年３月　市立千歳市民病院中期経営計画策定
29（2017）年２月　㈶日本医療機能評価機構による「病院機能評価（３rdG：Ver.1.1）」の認定を更新する
３月　地域包括ケア病床開設（16床）
市立千歳市民病院中期経営計画（改訂版）策定
７月　千歳市地域連携ネットワークシステム「ちえネット」運用開始
令和元（2019）年６月　入院支援センター開設
10月　緩和ケア病床開設（２床）

市立千歳市民病院事務局総務課

（5）下水道事業

昭和36（1961）年８月　都市下水路として下水道事業着手
39（1964）年５月　千歳市公共下水道事業認可（第１次（当初）認可）
処理面積　130ha
６月　千歳市下水道条例制定
44（1969）年７月　第２次（第１回変更）認可
処理面積　330ha
46（1971）年５月　千歳下水終末処理場建設着手
48（1973）年６月　第３次認可

昭和48（1973）年６月　　処理面積　990ha
51（1976）年４月　千歳市水洗便所改造資金貸付条例制定
５月　千歳下水終末処理場運転開始
処理能力　7,400㎥／日
52（1977）年２月　第４次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の追加）
処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）31ha
７月　東雲汚水中継ポンプ場建設着手
12月　第５次認可（支笏湖畔下水終末処理場構造変更）
53（1978）年４月　東雲汚水中継ポンプ場運転開始
12月　支笏湖畔下水終末処理場建設着手
54（1979）年４月　千歳下水終末処理場第１系列拡張完了運転開始
処理能力　22,200㎥／日
10月　第６次認可（泉沢地区の区域拡大）
処理面積　1,519ha
58（1983）年２月　下水道使用料改定
支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業受益者分担金に関する条例制定
８月　支笏湖畔下水終末処理場（支笏浄湖苑）運転開始
処理能力　1,080㎥／日
59（1984）年２月　千歳川横断下水道工事完成
口径　3,000㎜
４月　豊里汚水中継ポンプ場運転開始（暫定）
60（1985）年12月　第１・２・３工業団地汚水受入開始
61（1986）年４月　千歳下水終末処理場第２系列運転開始
処理能力　29,600㎥／日
62（1987）年３月　第７次認可（泉沢地区の区域拡大）
処理面積　1,970ha
４月　豊里汚水中継ポンプ場運転開始
千歳下水終末処理場第２系列拡張完了運転開始
処理能力　44,400㎥／日
63（1988）年７月　第８次認可（旭ヶ丘、上長都地区の区域拡大）
処理面積　2,054ha
12月　デザイン公共桝蓋設置（仲の橋通）
平成４（1992）年２月　千歳下水終末処理場第３系列運転開始
処理能力　56,000㎥／日
３月　第９次認可（美々汚泥処理センターを反映）
処理面積　2,590ha
５（1993）年４月　第10次認可（合流区域の分流化を反映）
処理面積　2,730ha
６（1994）年２月　第11次認可（支笏湖畔処理区拡張）
処理面積（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業のみ）40ha
４月　個別排水処理施設整備事業開始
６月　第12次認可（美々、流通地区の区域拡大）
処理面積　3,016ha
７（1995）年３月　千歳下水終末処理場汚泥乾燥設備運転開始
７月　千歳市特定環境保全公共下水道事業受益者分担金条例制定
８（1996）年１月　第13次認可（OA、根志越第３地区の区域拡大）
処理面積　3,078ha
３月　千歳下水終末処理場第３条系列拡張完了運転開始
処理能力67,600㎥／日
９（1997）年３月　美々汚泥処理センター建設工事着手
10（1998）年８月　第14次認可（勇舞、根志越第４、蘭越地区の区域拡大）
処理面積　3,197ha
11（1999）年６月　第15次認可（蘭越地区の区域拡大）
処理面積　3,216ha
12（2000）年４月　地方公営企業法適用し、水道事業と組織統合

平成12（2000）年６月　第16次認可（みどり台、北信濃第3地区の区域拡大）
　処理面積　3,309ha
13（2001）年４月　水道局新庁舎に移転
８月　第17次認可（勇舞第２地区を区域拡大）
　処理面積　3,319ha
千歳下水終末処理場を千歳市浄化センターへ、美々汚泥処理センターを千歳市スラッジセンターへ名称変更
15（2003）年４月　千歳市スラッジセンター第１系列供用開始
16（2004）年３月　第18次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸）
10月　千歳市浄化センター第４系列運転開始
　処理能力　79,200㎥／日
18（2006）年３月　第19次認可（事業期間延伸）
19（2007）年３月　第20次認可（合流式下水道緊急改善事業を反映）
４月　千歳市スラッジセンター第２系列供用開始
20（2008）年４月　第21次認可（北陽高校前地区の区域拡大）
　処理面積　3,350ha
21（2009）年１月　第22次認可（あずさ地区の区域拡大）
　処理面積　3,357ha
23（2011）年２月　第23次認可（支笏湖畔特定環境保全公共下水道事業の期間延伸）
24（2012）年２月　第24次認可（千歳処理区と支笏湖畔処理区の統合を反映）
　処理面積　3,402ha
　浄化センターの処理能力　74,200㎥／日
　浄化センター場内ポンプ場雨水滞水池供用開始
26（2014）年３月　第25次認可（平和地区の区域拡大）
　処理面積　3,452ha
　浄化センターの処理能力　64,200㎥／日
　水処理系列を4.0系列から3.5系列に変更
４月　下水道使用料改定　３％値上げ（消費税相当分）
28（2016）年６月　第26次認可
29（2017）年４月　支笏湖畔処理区の汚水の浄化センターへの汚水流下開始
９月　第27次認可（千歳川第15排水区と第16排水区の区域変更）
30（2018）年４月　下水道使用料改定　15.0％値下げ
31（2019）年２月　第28次認可（千歳市スラッジセンターの汚泥処理方法変更）
令和元（2019）年10月　下水道使用料改定　２％値上げ（消費税相当分）

水道局経営管理課

3　資料入手先一覧

章	事業所名	住所地	電話
1	新千歳航空測候所観測課	千歳市美々	0123 45－7712
4	国立研究開発法人水産研究・教育機構北海道区水産研究所千歳さけます事業所	千歳市蘭越無番地	0123 23－2804
7	道央農業協同組合千歳支店金融課	千歳市高台５丁目１－15	0123 23－5151
7	千歳金融協会	千歳市千代田町３丁目11番地北洋銀行千歳中央支店内	0123 23－3111
8	東京航空局新千歳空港事務所	千歳市美々	0123 23－4101
8	北海道運輸局札幌運輸支局	札幌市東区北28条東１丁目	011 731－7166
8	日本郵便株式会社北海道支社総務・人事部企画担当	札幌市中央区北２条西４丁目３	011 214－4013
8	NEXCO東日本北海道支社総合企画部総合企画課	札幌市厚別区大谷地西５丁目12－30	011 896－5804
8	北海道旅客鉄道㈱経営企画部	札幌市中央区北11条西15丁目	011 700－5717
8	新千歳空港ターミナルビルディング㈱	千歳市美々987－22	0123 46－5100
8	千歳地区ハイヤー事業協同組合	千歳市末広１丁目４－８	0123 23－2731
8	北海道中央バス㈱運輸部業務課	札幌市中央区大通東１丁目３	011 221－5163
8	道南バス㈱営業部営業課	室蘭市東町３丁目25－３	0143 45－2131
8	千歳相互観光バス㈱	千歳市里美２丁目１－５	0123 28－8822
8	あつまバス㈱	勇払郡厚真町字本郷229－１	01452 7－2311
8	ＮＴＴ東日本－北海道企画部情報セキュリティ担当	札幌市中央区北１条西４丁目	011 212－4479
9	北海道開発局札幌開発建設部公物管理業務課	札幌市北区北２条西19丁目	011 611－0111
9	北海道空知総合振興局札幌建設管理部千歳出張所	千歳市桂木６丁目１－28	0123 23－4191
10	王子製紙㈱苫小牧工場動力部動力課	苫小牧市王子町２丁目１－１	0144 32－0438
10	北海道電力㈱千歳支社	千歳市北栄２丁目２	0123 23－5101
10	北海道ガス㈱千歳支店（営業グループ）	千歳市清水町１丁目１－１	0123 26－8600
11	北海道石狩振興局地域政策部総務課	札幌市中央区北３条西７丁目５	011 231－4111
11	北海道千歳高等学校	千歳市北栄１丁目４－１	0123 23－9145
11	北海道千歳北陽高等学校	千歳市北陽２丁目10	0123 24－2818
11	北海道千歳高等支援学校	千歳市真々地２丁目３－１	0123 23－6681
11	公立千歳科学技術大学	千歳市美々758－65	0123 27－6001
11	北海道千歳リハビリテーション大学	千歳市里美２丁目10	0123 28－5331
12	千歳公共職業安定所	千歳市東雲町４丁目２－６	0123 24－2177
12	北海道石狩振興局産業振興部商工労働観光課	札幌市中央区北３条西７丁目５	011 231－4111

章	事業所名	住所地	電話
13	北海道石狩振興局保健環境部千歳地域保健室	千歳市東雲町４丁目２	0123 23－3175
14	北海道警察札幌方面千歳警察署	千歳市東雲町５丁目	0123 42－0110
16	北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所	苫小牧市港町１丁目６－15	0144 32－5901
19	陸上自衛隊第七師団司令部総務課	千歳市祝梅1016	0123 23－5131
19	陸上自衛隊第一特科団本部広報班	千歳市北信濃724番地	0123 23－2106
19	陸上自衛隊第一高射特科団第一科広報班	千歳市祝梅1016	0123 23－5131
19	航空自衛隊千歳基地第２航空団司令部広報室	千歳市平和無番地	0123 23－3101

1　資料入手先事業所名は順不同
総務課

要 覧 ち と せ

令和２年版

令和２年９月発行

発行　北海道千歳市
〒066-8686 千歳市東雲町２丁目34番地

編集　千歳市総務部総務課
電話（0123）24－0137（直通）

印刷　千歳印刷株式会社